HONDA
The Power of Dreams

Honda ナビゲーションシステム取扱説明書

Gathers

Honda Multi Car-AV System

デュアルサイズ HDD ナビコンポ

VXH-071MCVi/VXH-071MCV

ナビゲーション / オーディオ詳細編

COMPACT disc DIGITAL AUDIO　DVD VIDEO　DOLBY DIGITAL　dts 2.0+DIGITAL OUT　MP3　Plays Windows Media™
Mini Disc　MDLP　gracenote　MEMORY STICK™　VICS

Honda Access

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

保証書やアフターサービスの詳細、その他のご不明な点はお買い求めの販売店へご相談ください。

※ 取扱説明書で使用されている画面と実際の画面は、地図データベースの作成時期・種類等によって異なることがあります。

本機のナビゲーション情報は、調査時期やその取得方法により、実際の状況と異なる場合があります。また、日々刻々と変わる道路状況や交通規則には対応できません。あくまで参考情報としてご利用ください。
ナビゲーションを安全に且つ楽しくご利用いただくためには、お客様の適切な判断と安全運転への心がけをお願いいたします。

● 本書では、運転者や他の人が傷害を負ったりする可能性のあることを下記の表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。
これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険

●指示に従わないと、死亡または重傷に至るもの

⚠警告

●指示に従わないと、死亡または重傷に至る可能性があるもの

⚠注意

●指示に従わないと、軽傷を受ける可能性があるもの

● 注意していただきたいことや、アドバイスは下記の表示を使って記載しています。
しっかりお読みください。

注　意

操作に関する注意です。

アドバイス

使いこなすためのアドバイスです。

安全上のご注意

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

禁止	分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。
	ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。
禁止 強制	ヒューズ交換は、規定容量(アンペア数)を守ってください。事故・火災の原因になります。
禁止 強制	音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。
禁止	運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	ナビゲーションによるルート案内は、参考情報です。実際の交通規則を守って運転してください。
禁止	車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。
禁止	車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障の原因になります。
禁止	ディスク挿入口には、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。

禁止	高温の場所(直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で本機を長時間使用しないでください。火災・やけどの原因になります。
禁止	エンジンを停止したままで長時間使用しないでください。車のバッテリーがあがる恐れがあります。
禁止	可動ディスプレイのすきまには、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。

取り扱い上のご注意(共通)

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

● 雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。
また、リモコンスターター(市販品)なども誤動作の原因になる場合があります。

測位状態が安定してから走行する

● GPSを測位してから走行してください。測位状態が不十分なときに走り出すと自車位置がずれる場合があります。

無理な力を加えない

● 製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

● 本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う

● お手入れは乾いた布か堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

● 車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときは、常温になってからお使いください。

可動部分の動作中は操作をしない

● ディスプレイ開閉、角度調整など、動作中に操作をしないでください。ケガや故障の原因になることがあります。

温度上昇について

● 可動ディスプレイの裏面が、暖かくなりますが故障ではありません。手をふれないでください。

可動ディスプレイは必ず閉じる

● 可動ディスプレイが開ききった状態では、走行しないでください。無理な力が加わり故障の原因になります。

取り扱い上のご注意（MD/CD/DVD）

ディスクについて

結露にご注意

● 寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどディスクを取り出しておくと正常に動作します。

新品のバリに注意

● ディスクの側面やセンターホール面にバリ（突起）があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

ディスクの取り扱い

● 故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

盤面にさわらない／直射日光下に置かない／ラベルを貼ったり文字を書いたりしない／ホコリやごみが付いたら拭きとる／バリが無いことを確認する／市販のアクセサリーを使わない

特にCD-R/CD-RWは以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いため、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。

特殊な形状のディスクは使わない

● 必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

音飛びについて

● MDおよびCDは路面状況の悪いところを走行していると「音飛び」を起こすことがありますが、プレーヤーには影響ありません。車のサスペンションを通常より硬めにしていたり、サスペンションが壊れている場合は、音飛びする頻度が高くなります。

MD

ミニディスク（MD）の取り扱い

● 故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

シャッターを開けない／内部にさわらない／直射日光下に置かない／ラベルは正しい位置に一枚だけしっかり貼る／ホコリやごみが付いたら拭きとる／バリがないことを確認する

CD

コンパクトディスク（CD）のお手入れ

● 柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。

本機で使用できるディスクについて

● ディスクレーベル面に「CDロゴ」右記マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。

CD規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最良な音質の保証は致しかねます。

また、本機は音楽専用機器で録音した音楽専用のCD-R(CD-Recordable)/CD-RW(CD-ReWritable)、MP3/WMAファイル形式のCD-R/CD-RWの再生が可能です。

- 次のようなディスクは、再生できないことがあります。
  指紋やキズが付いている/車内や製品内に長時間放置した/データ書き込み状態が不安定/データ書き込みに失敗し再録音した場合など
- MP3/WMAファイルは本機対応のフォーマットで記録したディスクを使用してください。詳しくは213ページを参照してください。

CD-R/CD-RWをご使用のお客様へ

- CD-R/CD-RWが再生できない場合は、クローズセッション(ファイナライズ処理)を行っているかどうか確認してください。行われていない場合は、クローズセッション(ファイナライズ処理)を行い、再度お試しください。

DVD

本機で使用できるディスクについて

- ディスクレーベル面に「DVDロゴ」右記マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。

取り扱い上のご注意("メモリースティック")

"メモリースティック"の取り扱い

- 故障や動作不良をおこさないために次の点を守ってお使いください。
  端子部には手や金属で触れない/強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしない/分解したり、改造したりしない/水にぬらさない
- また、以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  ・高温になった車内や炎天下など気温の高い場所
  ・直射日光のあたる場所
  ・湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

誤消去防止スイッチについて

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。

表面のお手入れについて

- 水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で拭いた後、からぶきしてください。

結露にご注意

- 寒い車内を急に暖めると、本体内部に露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほど"メモリースティック"を取り出しておくと正常に動作します。

商標について

- "Memory Stick"「メモリースティック」および MEMORY STICK™ は、ソニー株式会社の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

※ "メモリースティック"PRO(プロ)、"MGメモリースティック"には対応しておりません。

取り扱い上のご注意(ハードディスク)

磁力を持つ製品を近づけない

- ハードディスク(HDD)は強磁界に弱いため、ナビゲーションにスピーカーやGPSアンテナなどの磁力を持つ製品を近づけないでください。HDD内のデータが消去される場合があります。

ハードディスクを取り外さない

- ハードディスク(HDD)のメンテナンスや地図データの更新時には、販売店がハードディスクの取り外しを行います。お客様ご自身がハードディスクを外して故障した場合は、一切保障いたしかねます。

お読みください

- この取扱説明書に記載されているソフトウェアは、ライセンスの所有者にのみ供給され、同ライセンスの許可する条件のもとでのみ使用することが許されます。
- 当該ライセンスが許可している場合を除き、本出版物のいかなる部分も株式会社ホンダアクセスの書面による事前の許可無しには、いかなる条件下でも、また電子的、機械的、録音、その他のいかなる手段によっても、コピー、検索システムの記憶、または転送を行うことはできません。
- この取扱説明書に記載された内容は、情報の提供のみを目的にしており、予告無しに変更されることがあります。
- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。

モニターのお手入れ

- モニターが汚れたら柔らかい布(シリコンクロスなど)でふいてください。
- 汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、よくしぼってからふきとってください。
- 「水」や「水で薄めた中性洗剤」は直接モニターにかけないでください。
  液体が内部に入り「シミ」や「故障」の原因になります。
- モニターは傷つきやすいため、硬いものでふいたり、こすったり、物をぶつけたり、強い力で押したりしないでください。
- ベンジン、アルコール、シンナーは使用しないでください。変色、変質の原因になります。

⚠ 注意

- 本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

取扱説明書の種類

本機には以下の取扱説明書が添付されています。必要に応じて使い分けてください。

■ ナビゲーション/オーディオ詳細編（本書）

本機のすべての機能やその使いかたについて説明しています。操作に迷ったときや、機能について詳しく知りたいときなどにお読みください。
「ナビゲーション編」では、ナビゲーション機能に関する地図の操作や各種の設定などについて説明しています。また、VICS、ハンズフリー電話などの使いかたや、ETC、リアカメラなどのオプション機能についても記載しています。
「オーディオ・テレビ編」では、CD、MD、ラジオ、“メモリースティック”、Music Rackなどを利用した音楽機能や、DVDやテレビの映像機能について説明しています。

■ クイックガイド

ナビゲーションやオーディオ機能の中で、特によく使う機能について説明しています。本機全体を理解したい場合や、とりあえず使ってみたいときなどにお読みください。

本書の見かた

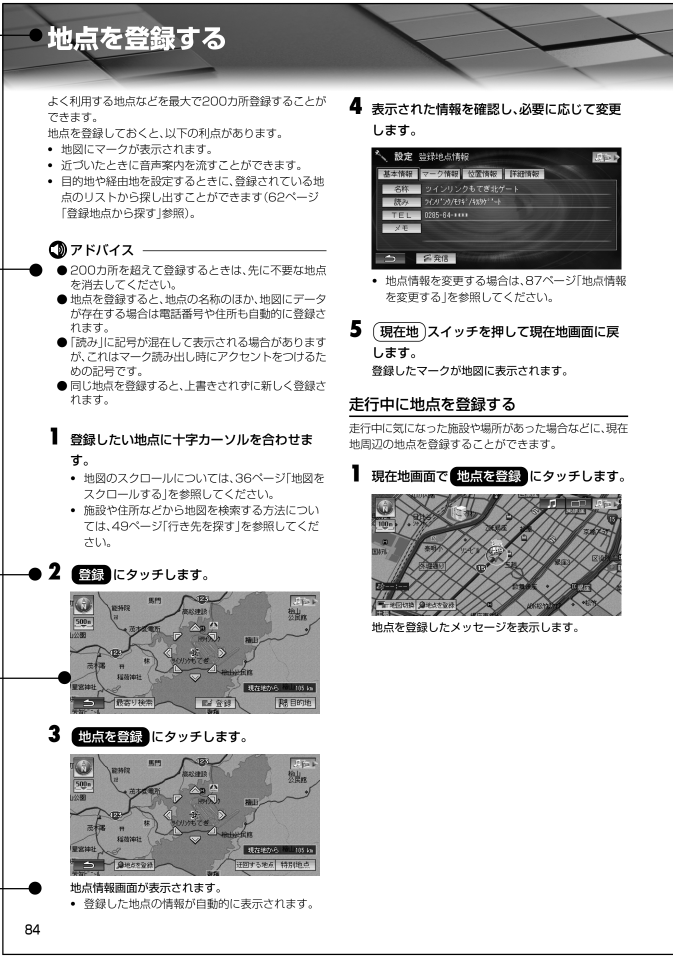
1.項目タイトル
項目ごとにタイトルがつけられています。

2.アドバイス
知っておくと便利な情報や、関連する参照先などを示しています。
注意
制限事項や注意事項など重要な説明をしています。必ずお読みください。

3.操作手順
操作の手順を示しています。

4.操作画面
操作を行う前の画面を示しています。

5.結果文
操作を行ったあとの状態を示しています。



地点を登録する

よく利用する地点などを最大で200カ所登録することができます。
地点を登録しておくと、以下の利点があります。
- 地図にマークが表示されます。
- 近づいたときに音声案内を流すことができます。
- 目的地や経由地を設定するときに、登録されている地点のリストから探し出すことができます（62ページ「登録地点から探す」参照）。

アドバイス
- 200カ所を超えて登録するときは、先に不要な地点を消去してください。
- 地点を登録すると、地点の名称のほか、地図にデータが存在する場合は電話番号や住所も自動的に登録されます。
- 「読み」に記号が混在して表示される場合がありますが、これはマーク読み出し時にアクセントをつけるための記号です。
- 同じ地点を登録すると、上書きされずに新しく登録されます。

1 登録したい地点に十字カーソルを合わせます。
- 地図のスクロールについては、36ページ「地図をスクロールする」を参照してください。
- 施設や住所などから地図を検索する方法については、49ページ「行き先を探す」を参照してください。

2 登録 にタッチします。

3 地点を登録 にタッチします。

地点情報画面が表示されます。
- 登録した地点の情報が自動的に表示されます。

4 表示された情報を確認し、必要に応じて変更します。
- 地点情報を変更する場合は、87ページ「地点情報を変更する」を参照してください。

5 現在地 スイッチを押して現在地画面に戻します。
登録したマークが地図に表示されます。

走行中に地点を登録する

走行中に気になった施設や場所があった場合などに、現在地周辺の地点を登録することができます。

1 現在地画面で 地点を登録 にタッチします。

地点を登録したメッセージを表示します。

84

■ 本書でのスイッチ表記について

・パネルスイッチは、（○○○）でスイッチ名称（（⏻/MENU）など）を表示しています。

・画面のタッチスイッチは、○○○ でスイッチ名称（設定を変える など）を表示しています。

特別地点／登録地点情報を確認・変更する

特別地点（自宅、よく行く地点）や登録地点の情報を確認したり、変更・消去することができます。

特別地点リスト画面を表示する

1 （⏻/MENU）スイッチを押したあと、設定を変える にタッチします。

2 地点編集 にタッチし、特別地点 にタッチします。

特別地点リスト画面が表示されます。

- リスト画面から、特別地点の登録（83ページ）、地点情報の確認（86ページ）、特別地点の消去（89ページ）の操作が行えます。

登録地点リスト画面を表示する

アドバイス

- 登録地点が設定されていない場合は、リストを表示することができません。

1 （⏻/MENU）スイッチを押したあと、設定を変える にタッチします。

2 地点編集 にタッチし、登録地点 にタッチします。

登録地点リスト画面が表示されます。

- 並び順変更 にタッチするたびに登録地点リストを並べかえられます。現在選択している並び順は、画面上部のタイトル部分に表示されます。
  登録順 → マーク順 → 距離順 → 登録順 …
  登録順　：新しく登録した順。
  マーク順：マークの種類ごと。
  距離順　：現在位置より近い順。
- いずれかの地点にタッチすると画面右側に地図が表示されます。さらに、完了 または地図画面にタッチすると、周辺地図画面が表示されます。
- リスト画面から、地点情報の確認（86ページ）、登録地点の消去（89ページ参照）の操作が行えます。

地点の登録

85

6.操作タイトル
操作目的ごとにタイトルがつけられています。

7.セクション見出し
セクションの見出しを表示しています。

8.補足
手順や結果に対する補足説明をしています。

目　次

はじめに

安全上のご注意

取扱説明書の種類

本書の見かた

目　次

特　長

準　備

各部の名称と操作 19
電源のON/OFF 21
ディスプレイの角度を調整する 22
CD、DVD、MD、“メモリースティック”の出し入れ 22
各画面の切りかえかた 24
画面を消す 25

メニュー画面、リスト画面について

メニュー画面を切りかえる 27
リスト画面を切りかえる 28

文字・数字の入力方法

文字を入力する 31
文節区切りを変更する 32
数字を入力する 32

ナビゲーション編

基本操作

画面の見かた 34
地図を表示する 36
地図表示のしかたをかえる 37
スクロールや検索して表示させた地図の操作 42
ナビ画面の明るさやコントラストを調整する ... 44
案内音量を調整する 45

ナビゲーション案内

目的地設定・ルート探索について 48
行き先を探す 49
目的地を設定してルートを探索する 63
目的地案内を開始する 68
案内中のルートを確認する 70
案内中のルートを変更する 72
目的地案内表示 75

地点の登録

特別地点(自宅／よく行く地点)を登録する 82
地点を登録する 84
特別地点／登録地点情報を確認・変更する ... 85
迂回地点を登録する 90
迂回地点／カメラ表示地点情報を確認・変更する 91

● カメラ表示地点登録については、169ページ「フロント(コーナー)カメラ表示地点を登録する」を参照してください。

VICS情報を見る

VICSってこんなこと 94
利用できる情報 96
VICS情報画面の呼び出しかた 100
VICS情報画面の操作 101
FM多重放送を見る 102
VICS情報を見る 103
割込み情報を見る 104
駐車場情報を見る 105
VICSに関する補足事項 107

ハンズフリー電話を使う

ハンズフリー電話について 110
携帯電話を接続する 111
電話を受ける 112
電話を切る 115
電話をかける 116
携帯電話の電話帳(メモリー)を利用する 119
発信履歴機能を利用する 123
着信履歴機能を利用する 125
通話音量を調整する 127

設定

設定画面の共通操作 130
ナビゲーション設定 134
情報設定 145
システム設定 153

オプション機能

QQコール(有料オプションサービス)を利用する 158
ETCについて 160
リアカメラの操作 162
フロント／コーナーカメラの操作 166
リアモニターについて 171
リモコンについて 172

各種データ一覧

地図マーク一覧 174
ジャンル一覧／周辺施設一覧 175
市街地図収録都市リスト 178
VICS道路交通情報マーク一覧 184

オーディオ・テレビ編

基本操作

電源のON/OFF 186
モードを切りかえる 187
各モードの操作画面 189
音量の調整 190
スペアナ画面の切りかえ 191

ラジオ操作

画面の見かた 194
ラジオを聴く 195
聴きたい放送局を選ぶ 196
放送局を記憶する 197
交通情報を受信する 199

CD/MD操作

画面の見かた 202
CD/MDを聴く 205
聴きたい曲(ファイル)を選ぶ 206
早送り・早戻しする 208
曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン) 209
曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス) ... 210
繰り返し聴く REPEAT(リピート) 211
MP3/WMAについて 213

“メモリースティック”操作

画面の見かた 216
“メモリースティック”の曲を聴く 218
聴きたい曲を選ぶ 219
早送り・早戻しする 220
曲のイントロだけを聴く
SCAN(スキャン) 221
曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス) ... 222
繰り返し聴く REPEAT(リピート) 223

Music Rack操作

Music Rackをご使用になる前に 226
Music Rackへ録音する 229
画面の見かた 232
Music Rackの曲を聴く 234
聴きたい曲を選ぶ 235
早送り・早戻しする 236
聴きたい曲を探す 237
曲のイントロだけを聴く
SCAN(スキャン) 244
曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス) ... 245
繰り返し聴く REPEAT(リピート) 246
「お気に入り」の編集 247
Music Rackの編集 252
タイトル情報を取得する 259

TV操作

画面の見かた 262
テレビを見る 264
放送局を選ぶ 265
放送局を記憶する 267
音声多重機能を使う(二重音声放送) 269
テレビ画面の調整 270

DVD/VTR操作

DVDをご使用になる前に 272
画面の見かた 274
DVDを再生する 277
メニュー/タイトルメニューを表示する ... 278
再生中止(PRE STOP)する 280
再生停止する 281
早送り・早戻しする 282
静止(一時停止)する 283
コマ送り再生する 284
スローモーション再生する 285
見たい映像を探す 286
繰り返し見る REPEAT(リピート) 288
DVDビデオ機能の切りかえ 289
DVD初期設定 290
DVD画面の調整 294
視聴制限したDVDを再生する 295
VTR(別売)を見る 296
VTR画面の調整 297

設定

音質調整画面の操作 300
音質調整 302
システム設定 307

その他

その他

言語コード一覧 310
用語説明 312
Q&A 313
故障かな？と思ったら 322
保証について／規格 327
Gracenote CDDBのご利用について 329
VICS情報有料放送サービス契約約款 ... 330
地図データについて 335
マイクロソフトからの使用許諾契約書 ... 336
目的別索引 337
索引 344

特　長

高精度ハイスピードレスポンスを可能にしたハードディスクドライブ（HDD）

大容量のハードディスクを搭載し、従来のDVD-ROMナビゲーションより各動作の大幅なスピードアップを実現しています。

大型ディスプレイでマルチ画面表示（24ページ）

7型ディスプレイを搭載しています。マルチ画面に切りかえるとナビ画面とオーディオ画面を同時に表示させることができます。しかも、画面に触れるだけの簡単操作です。

住所エリアや道路をカラフルな色彩で色分けした見やすい地図表示

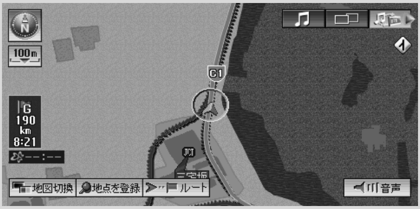
全国の道幅データにより、細街路、1車線、2車線、3車線以上の道路を高速道路、国道、主要道、県道、その他の道路で色分け表示し、実際の道路状況をナビゲーション画面にリアルに再現しています。また市街地図では、都道府県や市区町村などの境ごとで塗り分けして地図を見やすく表示します。

ドライバー視点の地図表示（40ページ）

ドライバーの視点から見た現実の風景を立体的な地図で表示することができます。

必要な道路だけを表示する都市高速マップ（78ページ）

都市高速道路を走行すると、周囲の道路表示を省略して都市高速道路の情報のみを表示できます。



今いる場所を明確に把握できる名称表示

道路名、高速道路のICの名称をわかりやすくプレートで表示します。また、同時に市区町村（または都道府県）名も表示するので現在地やスクロール位置などを明確に把握することができます。

主要な施設の3Dアイコン表示（135ページ）

ランドマークになるような著名な施設やビルを3Dアイコンで地図に表示することができます。

安全性を考慮したリアルな交差点案内（75ページ）

ルート走行時に交差点に近づくと交差点拡大図が現れ、「交差点名」「距離」「曲がる方向」「レーン案内」などを表示します。3Dイラスト情報のある交差点では、立体的な案内画面が表示されます。また高速道路のジャンクションでは、高速分岐拡大図を表示しますので安心です。

好きな地点を登録（81ページ）

よく利用する地点を登録して地図上に表示させたり、迂回したい地点などを登録してルート探索に反映させることができます。登録した情報は必要なときに登録地点リストから探し出すこともできます。

アクティブルートサーチ（68ページ）

目的地までのルートを走行中に、常に最適ルートを自動サーチし、最適ルートを発見したら、ただちに表示します。さらにVICS光ビーコンの渋滞情報をキャッチし、区間通過時間を短縮できると判断すると、“時短・最適ルート”を表示します。

渋滞などの情報を表示するVICS機能（93ページ）

VICSセンターから提供される交通情報を受信し、その情報を文字（レベル1）・簡易図形（レベル2）・地図（レベル3）で表示します。また、ビーコンユニット（別売）を接続すると、光・電波ビーコンを受信し、渋滞情報を考慮したルート探索やリアルタイムな割り込み情報を表示できます。

便利なハンズフリー電話（109ページ）

専用ケーブル※を使用して携帯電話を接続すると、ハンズフリー電話として利用することができます。携帯電話のメモリーを取り込んだり、便利なワンタッチダイヤルへの登録もできます。
※VXH-071MCVは別売です。

圧縮した音楽ディスクを再生するMP3/WMAプレーヤー（201ページ）

MP3/WMA形式で編集されたCD-R/CD-RWディスクを再生します。（MP3/WMAは一枚のCD-R/CD-RWに音楽アルバム数枚分の曲を収録することができる形式です。）

LongPlay方式で記録したMDを再生するMDLP（201ページ）

MDLP圧縮方式で長時間録音されたMDを再生します。
（MDLPは、通常の2倍、4倍の長時間録音ができるモードです。）本機はMDLP2、MDLP4に対応しています。

パソコンから録音した音楽を再生する“メモリースティック”プレーヤー（215ページ）

パソコンから“メモリースティック”にMP3/WMA形式で編集された音楽データを再生することができます。

音楽をハードディスクに録音できるMusic Rack（ミュージックラック）（225ページ）

大容量のハードディスクに、CDなど各種オーディオの音楽や音声を好きなときに録音できます。録音したデータはジャンル別や好みの分類に編集することができ、あなただけのアルバムを作成することができます。

鮮明な映像が楽しめるDVDプレーヤー（271ページ）

高画質・高音質で記録されたDVDビデオを再生することができます。

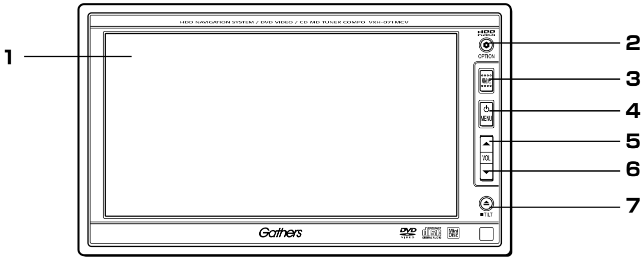
理想の音響空間を創り出す様々な音質調整機能（300ページ）

車が持つ様々な音響特性や、お使いになるメディアの特性に合った音質を創り出すことができます。

各部の名称と操作

本機はパネルに配置しているスイッチ(パネルスイッチ)を押したり、画面に表示されるスイッチ(タッチスイッチ)に直接タッチして操作します。

パネルスイッチ



1.画面
地図やメニューなどが表示されます。

2.(OPTION)スイッチ
「Audio Source切換」「自宅へ帰る」「録音開始/停止」「フロント(コーナー)カメラON/OFF※」のうち、設定した機能を動作させるときに押します。
※ フロントカメラ(別売)またはコーナーカメラ(別売)装着車のみ。

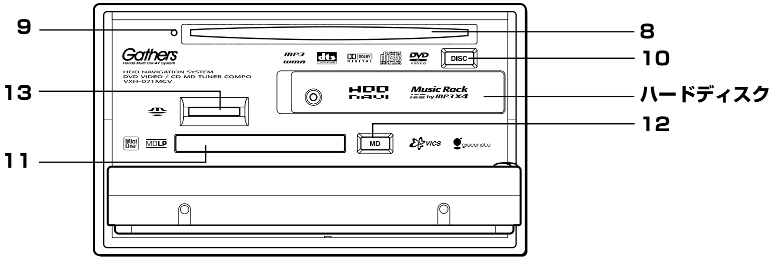
3.(現在地)スイッチ
ナビゲーションの現在地画面を表示します。現在地画面表示中は、現在地名称を表示します。

4.(⏻/MENU)スイッチ
メインメニュー画面を表示します。また、長く押すと、オーディオの電源をON/OFFすることができます。

5.(VOL▲)スイッチ
オーディオ·テレビの音量を大きくするときに押します。

6.(VOL▼)スイッチ
オーディオ·テレビの音量を小さくするときに押します。

7.(⏏/TILT)スイッチ
ディスプレイを開閉するときに押します。長く押すと、ディスプレイの角度を調整できます。



8.CD/DVD挿入口
CDやDVDを挿入します。

9.CD/DVDインジケータ
ディスクが入っているときに、インジケータが点灯します。

10.(DISC)スイッチ
CDやDVDを取り出すときに押します。ディスクが入っているときは、点灯します。

11.MD挿入口
MDを挿入します。

12.(MD)スイッチ
MDを取り出すときに押します。MDが入っているときは、点灯します。

13.“メモリースティック”挿入口
“メモリースティック”を挿入します。

注　意

● ハードディスクは絶対に取り外さないでください。故障の原因になります。メンテナンスや地図データの更新の際は、販売店にご連絡ください。

タッチスイッチ

タッチスイッチとは、画面に表示されているスイッチのことで、直接タッチして操作します。

■ タッチスイッチの操作について

- タッチスイッチは操作音が鳴るまでタッチしてください。
- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 操作できないタッチスイッチは、色がトーンダウンします。また、スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチが橙色になるものもあります。
- 「地図にタッチ」は、直接地図(タッチスイッチ以外の場所)をタッチすることを示しています。
- 操作音の音量を調整することはできません。
- 操作音のON/OFFを設定することができます(155ページ「操作音設定」参照)。

注　意

● 画面のよごれは、柔らかい布(シリコンクロスなど)で軽く拭き取ってください。手で強く押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してありますので、ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

アドバイス

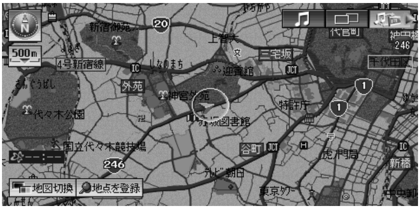
● 1つ前の画面に戻すときは、⮌にタッチします。ただし、機能によってはタッチした画面で行った操作がキャンセルされる場合があります。

電源のON/OFF

電源を入れる

本機の電源は、イグニッションキーをACCまたはONにすると自動的に入ります。電源が入るとオープニング画面に続いてモード画面（地図画面やCD画面など）が表示されます。
表示されるモード画面はイグニッションキーをOFFにする前のモード画面を表示します。例えば、TVモードでイグニッションキーをOFFからONにすると、TVモードで立ち上がります。

例）VXH-071MCV



注　意

- 動きのない画面を長時間表示させないでください。同じ画像を長時間表示しているとその画像が画面に残ってしまうことがあります。

アドバイス

- 画面の切りかえについては、24ページ「各画面の切りかえかた」を参照してください。
- 電源を入れた直後は、画面が暗く見にくいときがありますが、数分たちますと正常表示になります。また画面（液晶パネル）は、全有効画素中に微少の画素欠や常時点灯画素がありますが故障ではありません。

電源を切る

イグニッションキーをOFFにすると本機の電源も切れます。

オーディオ・テレビの電源について

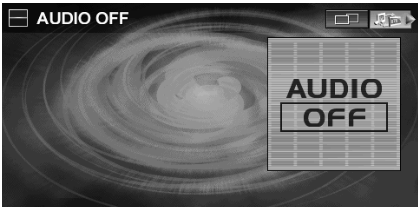
オーディオ・テレビの電源を入れるには、本機（ナビゲーション）の電源がONのときに以下のいずれかの操作を行います。

① **CD/DVD/MDなどのメディアを挿入します。**

② **⏻/MENU スイッチを押し、メインメニューから以下のタッチスイッチにタッチします。**
- CD／DVD （ディスク挿入済みの場合）
- MD （MD挿入済みの場合）
- Radio
- TV
- Music Rack （録音済みの場合）
- MEMORY STICK （“メモリースティック”挿入済みの場合）
- 交通情報
- CD-CHG （CDチェンジャー（別売）接続時）
- VTR （VTR（別売）接続時）

③ **⏻/MENU スイッチを長く押します。**

オーディオ・テレビの電源を切るには、⏻/MENU スイッチを長く押します。



ディスプレイの角度を調整する

ディスプレイの角度を6段階(0°、5°、10°、15°、20°、25°)で調整できます。画面が最も見やすい角度に調整してください。

1 **(⏏/TILT)スイッチを1秒以上押します。**

ディスプレイの角度が1段階スライドします。

2 **さらに角度をかえるときは、手順1を繰り返します。**

アドバイス

- 角度をつけたまま電源をOFFにすると、約3秒後にディスプレイは全閉します。次に電源をONにすると調整した角度になります。
- 角度をつけたままでも(⏏/TILT)スイッチを押すとディスプレイは開きます。ディスプレイを閉じると調整した角度に戻ります。
- ディスプレイを開いている場合は、角度を調整できません。

CD、DVD、MD、"メモリースティック"の出し入れ

各メディアの取り扱いについては、6～7ページ「取り扱い上のご注意」を参照してください。

注　意

- ディスプレイを開いたままにしないでください。故障や事故の原因になります。

アドバイス

- ディスプレイの角度をつけているときは、ディスプレイを閉じると調整した角度に戻ります。
- "メモリースティック"を再生中にディスプレイを開くと再生は停止されます。次にCD/DVD/MDなどを挿入した場合は、挿入したメディアが再生されます。ディスクを何も挿入しないでディスプレイを閉じた場合は、停止した位置から再生が始まります。
- CD/DVDの場合、メディアのチェックやファイル形式を読み込むまで、再生に時間がかかる場合があります。
- CD/DVD/MDを取り出すと、前回のオーディオ・テレビモードに切りかわります。

CD/DVDを入れる

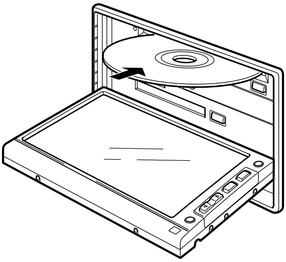
注　意

- **ディスクを挿入する前に必ずディスクが入っていない事を確認してください。**ディスクが入っているときは、挿入口横の赤いランプが点灯しています。

1 **(⏏/TILT)スイッチを押します。**

ディスプレイが開きます。

2 **レーベル面を上にしてCD/DVD挿入口にディスクを挿入します。**



途中まで挿入すると、ディスクが自動的に引き込まれます。

ディスクが挿入されると、ディスプレイが自動的に閉まり再生が始まります。

CD/DVDを取り出す

1 **(⏏/TILT)スイッチを押します。**

ディスプレイが開きます。

2 **(DISC)スイッチを押します。**

- ディスクが排出されるまで少し時間がかかります。

3 **ディスクを取り出します。**

ディスクは必ず取り出してください。

4 **(⏏/TILT)スイッチを押します。**

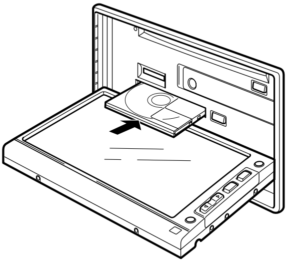
ディスプレイが閉じます。

MDを入れる

1 (⏏/TILT)スイッチを押します。

ディスプレイが開きます。

2 レーベル面を上にしてMD挿入口にMDを挿入します。



途中まで挿入すると、MDが自動的に引き込まれます。MDが挿入されると、ディスプレイが自動的に閉まり再生が始まります。

MDを取り出す

1 (⏏/TILT)スイッチを押します。

ディスプレイが開きます。

2 (MD)スイッチを押します。

3 MDを取り出します。

MDは必ず取り出してください。

4 (⏏/TILT)スイッチを押します。

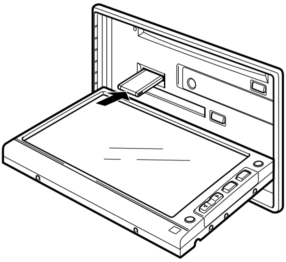
ディスプレイが閉じます。

“メモリースティック”を入れる

1 (⏏/TILT)スイッチを押します。

ディスプレイが開きます。

2 “メモリースティック”に印字された矢印に従って、挿入口に“メモリースティック”を挿入します。



- “カチッ”と音がするまで差し込んでください。

3 (⏏/TILT)スイッチを押します。

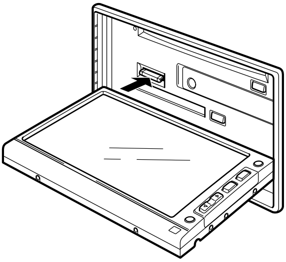
ディスプレイが閉じます。

“メモリースティック”を取り出す

1 (⏏/TILT)スイッチを押します。

ディスプレイが開きます。

2 挿入されている“メモリースティック”を押します。



“メモリースティック”が押し出されます。

3 “メモリースティック”を取り出します。

“メモリースティック”は必ず取り出してください。

4 (⏏/TILT)スイッチを押します。

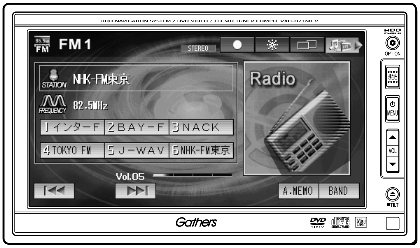
ディスプレイが閉じます。

各画面の切りかえかた

ナビゲーション画面とオーディオ・テレビ画面

ナビゲーション画面で[♫]にタッチするとオーディオ・テレビ画面に切りかわり、オーディオ・テレビ画面で(現在地)スイッチを押すとナビゲーション画面に切りかわります。

[♫]にタッチ　↓↑　(現在地)スイッチを押す



アドバイス

- ナビゲーション画面とオーディオ・テレビ画面を同時に表示させることもできます(24ページ「全画面とマルチ画面」参照)

全画面とマルチ画面

全画面で[マルチ]にタッチするとマルチ画面に切りかわります。マルチ画面で表示されているいずれかの画面にタッチすると、全画面に切りかわってタッチした画面が表示されます。

[マルチ]にタッチ　↓↑　左画面にタッチ

マルチ画面の[入替]にタッチすると、左右の画面を入れかえることができます。

[入替]にタッチ　↓↑　[入替]にタッチ

アドバイス

- マルチ画面に切りかえると、前回マルチ画面でメイン（左側）表示していた画面モードがメイン画面として左側に表示されます。
- マルチ画面では、表示される情報やタッチスイッチなどが全画面より制限されます。

リアカメラ映像の表示

リアカメラ（別売）の映像は、シフトレバーがバックギア（R）に入ると自動的に表示され、バックギア（R）以外にすると消えます。
リアカメラ（別売）を装着している場合は、ナビゲーション画面やオーディオ･テレビ画面よりも優先してカメラの映像が表示されます。
リアカメラについては、162ページ「リアカメラの操作」を参照してください。

フロント／コーナーカメラ映像の表示

フロントカメラ（別売）またはコーナーカメラ（別売）の映像は、低速で走行した場合、フロントカメラ表示地点に低速で近づいたときなどに表示されます。
フロント／コーナーカメラ（別売）を装着している場合は、ナビゲーション画面やオーディオ･テレビ画面よりも優先してカメラの映像が表示されます。
フロント／コーナーカメラについては、166ページ「フロント／コーナーカメラの操作」を参照してください。

例）コーナーカメラ映像

リアモニターの表示

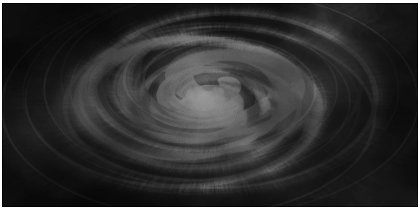
リアモニター（別売）を装着している場合は、本機の画面とは別に後部座席でDVDやTV映像を鑑賞することができます。後部座席からリモコン（別売）で操作することができます。
詳しくは、171ページ「リアモニターについて」を参照してください。

画面を消す

画面表示をOFFにし、好きな画像（壁紙）を表示させることができます。

1 **（⏻/MENU）スイッチを押したあと、［画面 消］にタッチします。**

壁紙が表示されます。



- 画面表示を通常に戻すには（⏻/MENU）スイッチまたは（現在地）スイッチを押します。
- 壁紙を変更することができます（153ページ「画面消設定」参照）。
- 表示した壁紙に時計を表示させたり、壁紙表示をOFFにすることができます（26ページ「壁紙に時計を表示させる」、「壁紙をOFFにする」参照）。

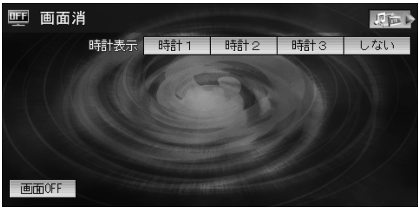
アドバイス

- 画面表示をOFFにしても、GPSによる現在地測位は継続されています。
- 画面表示がOFFのときに電話の着信があった場合は、通話終了後、画面表示OFFに戻ります。

壁紙に時計を表示させる

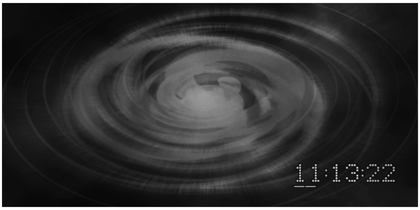
1 壁紙表示中に画面にタッチします。

2 時計1 時計2 時計3 のいずれかにタッチします。



- 時計表示をさせないときは、しない にタッチします（初期設定は「しない」）。

時計が表示されます。

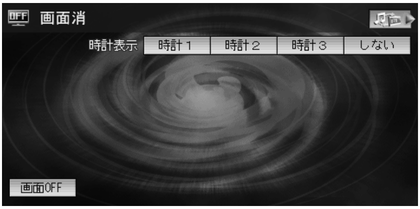


例）時計1

壁紙をOFFにする

1 壁紙表示中に画面にタッチします。

2 画面OFF にタッチします。



壁紙表示がOFFになります。

アドバイス

- 壁紙表示をOFFのまま ⏻/MENU スイッチを押して通常画面に戻したあとで、画面 消 にすると壁紙表示OFFの状態になります。
- 壁紙表示OFFを解除するには、壁紙表示OFFの画面をタッチまたは153ページ「画面消設定」で画像を変更します。

メニュー画面、リスト画面について

行き先を探したり、登録されている内容を確認するときは、メニューやリストを使って操作します。

メニュー画面を切りかえる

メニュー画面では、いずれかのタッチスイッチにタッチすると設定画面や下の階層のメニュー画面が表示されます。

メニュー画面を表示する

1 **(⏻/MENU)スイッチを押します。**

メインメニュー画面が表示されます。

2 **いずれかのメニューにタッチします。**

各メニュー画面が表示されます。

3 **利用したい項目にタッチし、画面に従って操作します。**

アドバイス

- メニュー画面を終了するには、(⏻/MENU)スイッチを押す、または⮌にタッチします。
- トーンダウンしているメニューは操作できません。
- QQコールに入会しているが、携帯電話接続ケーブル※を本機に接続していない場合は、📞スイッチのかわりに QQコール スイッチが表示されます。
※VXH-071MCVは別売です。

タブによる切りかえ

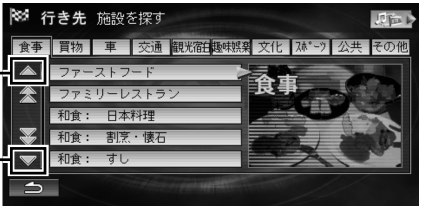
上部にタブが表示されているメニュー画面では、タブにタッチするとメニューが切りかわります。

番号で探す にタッチ

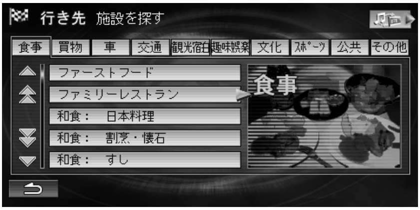
リスト画面を切りかえる

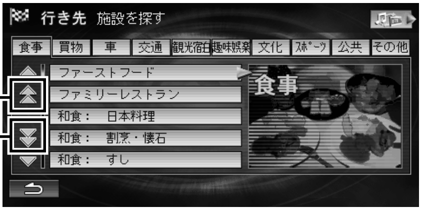
項目のスクロール

▲または▼にタッチするたびに、1項目ずつ上下にスクロールします。
⏶または⏷にタッチするたびに、5項目ずつ上下にスクロールします。住所リストや施設リストなどの場合は50音でスキップします。

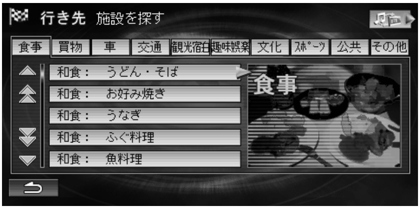


1項スクロール　▼にタッチ





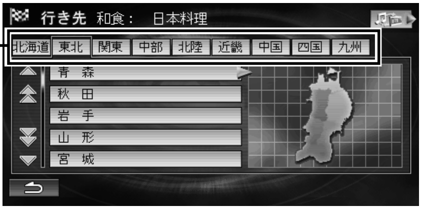
1頁スクロール　⏷にタッチ



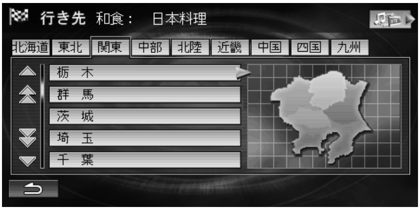
タブによる切りかえ

上部にタブが表示されているリスト画面では、タブにタッチするとリストが切りかわります。リストが存在しないタブのタッチスイッチは色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。

タブ



関東にタッチ



タブには、以下のような項目が表示されます。

- 50音の場合
  あ か さ た な は ま や ら わ
- 地方名の場合
  北海道 東北 関東 中部 北陸 近畿 中国 四国 九州
- ジャンル名の場合
  食事 買物 車 交通 観光宿泊...など

メニュー項目一覧

メニュー	タブ	機能	参照先
行き先を探す	選んで探す	住所	50ページ
		施設	51ページ
		路線別	52ページ
		おすすめドライブナビゲーター	52ページ
		目的地履歴	54ページ
	名称で探す	施設50音	55ページ
		住所50音	56ページ
		個人名	57ページ
	番号で探す	電話番号	58ページ
		郵便番号	59ページ
		マップコード	59ページ
		緯度経度	60ページ
	近くで探す	現在地周辺	60ページ
		ルート周辺	61ページ
		目的地周辺	60ページ
		周辺の建物	61ページ
		登録地点	62ページ
		地点1、地点2、地点3	64ページ
		自宅	64ページ
情報を見る		FM多重	102ページ
		VICS情報	103ページ
		VICS割込み情報	104ページ
		VICS駐車場情報	105ページ
		ETC	160ページ
設定を変える	地点編集	登録地点	85ページ
		特別地点	85ページ
		迂回地点	91ページ
		フロント(コーナー)カメラ表示地点	91ページ
	ナビゲーション	表示設定	134ページ
		案内設定	139ページ
		地図バージョン	144ページ
		自車位置修正	144ページ
	情報	VICS設定	145ページ
		電話設定	147ページ
		Memory Stick設定	148ページ
		通信設定	149ページ

次ページに続く→

設定を変える	システム	画面消設定	153ページ
		ハードディスク情報	307ページ
		画像設定	153ページ
		録音設定	307ページ
		操作音	155ページ
		オプションキー設定(フロント(コーナー)カメラ設定)	155ページ (168ページ)
		個人情報消去	308ページ
	ナビ画面調整		44ページ
	案内音量		45ページ
CD/DVD		オーディオ・テレビ編を参照してください	201ページ、271ページ
MD		オーディオ・テレビ編を参照してください	201ページ
Radio		オーディオ・テレビ編を参照してください	193ページ
TV		オーディオ・テレビ編を参照してください	261ページ
Music Rack		オーディオ・テレビ編を参照してください	225ページ
MEMORY STICK		オーディオ・テレビ編を参照してください	215ページ
交通情報		オーディオ・テレビ編を参照してください	199ページ
音質調整		オーディオ・テレビ編を参照してください	300ページ
CD-CHG		オーディオ・テレビ編を参照してください	201ページ
VTR		オーディオ・テレビ編を参照してください	296ページ
画面 消			25ページ
(電話)			109ページ

アドバイス

- 「フロント(コーナー)カメラ表示地点」、「フロント(コーナー)カメラ設定」は、別売のフロントカメラまたはコーナーカメラを装着しないと表示されません。お買い上げの販売店にご相談ください。

文字・数字の入力方法

文字の入力は、登録操作や場所の検索などで必要になります。使用する機能によって表示される画面や手順が多少異なりますが、基本的な入力方法は以下のとおりです。

■ 登録地点の名称を入力するとき

■ 50音入力で住所などを検索するとき

文字を入力する

ここでは、登録地点の名称を入力する操作を例に説明します。

1 入力したい文字の種類にタッチします。

選択した文字種の入力画面が表示されます。

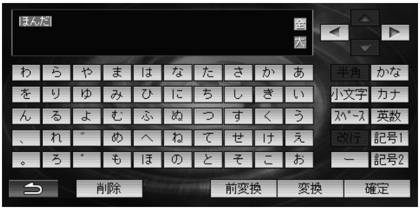
- 選択できる文字種は かな カナ 英数 記号1 記号2 です。さらに英数字、記号1、カナ※の場合は、半角 を選択できます。
  ※Music Rackの場合のみ。
- 拗音（ょ）や促音（っ）などを入力するときは、小文字 にタッチします。
- トーンダウンしているスイッチは操作できません。

2 入力したい文字や記号にタッチします。

カーソル

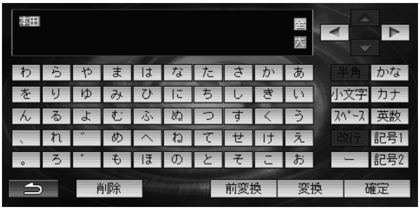
- 間違って入力した場合は、削除 にタッチして入力し直します。
  削除 にタッチするたびに、カーソルの左側から1文字ずつ文字が削除されます。
  削除 にタッチし続けると、入力したすべての文字が削除されます。
- カーソルは、◀ ▶ ▼ ▲ にタッチして移動します。

3 漢字に変換する場合は、変換 にタッチし、目的の漢字を表示させます。



- 漢字変換しない場合は、手順4へ進んでください。

漢字変換されます。



- 変換前の状態に戻すには、削除 にタッチします。
- 別の漢字に変換するには、もう一度 変換 にタッチします。
- 1つ前の漢字に戻すには、前変換 にタッチします。
- 文節区切りを変更するには、◀ ▶ にタッチします（32ページ「文節区切りを変更する」参照）。

次ページに続く→

4 確定 にタッチします。

漢字が確定されます。

- 確定したあとで修正する場合は、削除 にタッチして入力し直します。
  削除 にタッチするたびに、カーソルの左側から1文字ずつ文字が削除されます。
  削除 にタッチし続けると、入力したすべての文字が削除されます。

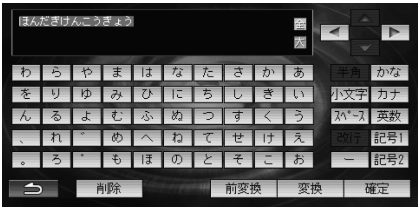
5 完了 にタッチします。

文字入力を終了し、元の画面に戻ります。

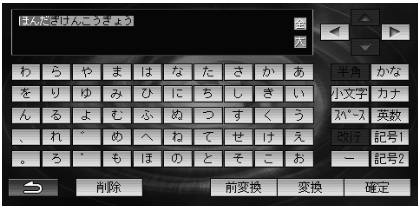
文節区切りを変更する

変換後(確定前)に ◀ ▶ にタッチすると、変換対象とする文節の区切りを変更できます。

1 ◀ ▶ にタッチして区切り位置を変更します。



◀ にタッチ



- ◀ ▶ にタッチするたびに、文節の長さが1文字ずつ増減します。
- 以降の操作は、31ページ「文字を入力する」の手順3に戻ります。

数字を入力する

ここでは、電話番号を入力する操作を説明します。

1 入力したい数字にタッチします。

カーソル

- 間違って入力した場合は、削除 にタッチして入力し直します。
  削除 にタッチするたびに、カーソルの左側から1文字ずつ数字が削除されます。
  削除 にタッチし続けると、入力したすべての数字が削除されます。
- 無効な数字や入力可能文字数以上を入力しようとすると、エラーメッセージが表示されます。

2 完了 にタッチします。

数字入力を終了します。

基本操作

ナビゲーション編

画面の見かた 34
- 現在地画面 34
- スクロール後の画面 35

地図を表示する 36
- 地図をスクロールする 36
- 施設名や住所を指定して地図を表示する 36
- 現在地を表示する 36

地図表示のしかたをかえる 37
- 縮尺を切りかえる 37
- 方位を切りかえる 38
- 地図表示を切りかえる 39

スクロールや検索して表示させた地図の操作 42
- ランドマーク情報を見る 42
- 周辺施設を検索する 42
- 地点を登録する 43
- 目的地や経由地として設定する 43
- 建物情報を見る 43

ナビ画面の明るさやコントラストを調整する 44

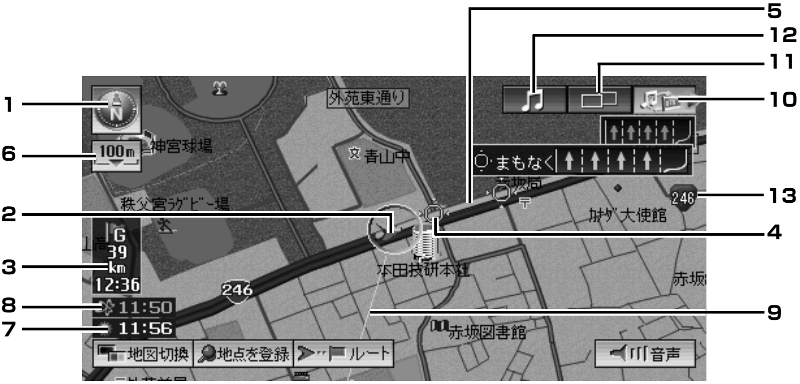
案内音量を調整する 45

画面の見かた

ナビゲーションの地図表示には現在地を表示した画面と、検索やスクロールによって表示させた画面があります。

現在地画面

現在地画面は、自車位置とその周辺を示した地図です。地図上に表示される情報は、ルート案内中かどうかによって異なります。



1. 方位マーク

地図の方角が表示されます(ノースアップのときは 、ヘディングアップのときは 、3Dのときは)。タッチするたびに地図の方向が切りかわります。地図方向の切りかえについては、38ページ「方位を切りかえる」を参照してください。
また、GPSの測位状態によってマークの背景色が異なります(非測位:灰、2D測位:うす青、3D測位:青)。
GPSについては、313ページ「GPS(グローバル・ポジショニング・システム)とは」を参照してください。

2. 自車位置マーク

現在地と車が向いている方角が表示されます。

3. 到着情報表示

目的地案内中に、通過点(目的地、経由地など)までの残距離や到着予想時刻などが表示されます。
詳しくは、77ページ「到着情報の表示」を参照してください。

4. 案内ポイント

目的地案内中に、交差点案内(レーン(車線)情報表示・交差点案内画面など)が表示される交差点に表示されます。レーン情報がある直進の交差点では「 」が、右左折の交差点では「 」が表示されます。
交差点案内については、75ページ「交差点・高速分岐案内」を参照してください。

5. ルート表示

目的地案内中に、目的地までのルートが緑色で表示されます。
案内が行われるのは、緑色のライン上に自車位置マーク があるときのみです。 ルート にタッチすると、ルートに関する情報の確認や変更ができます(70ページ「案内中のルートを確認する」参照)。

6. スケール表示

表示している地図の縮尺が表示され、 の長さがこの場合は100mを示しています。縮尺によって、地図上に表示されるマークや情報が異なります。
縮尺の切りかえについては、37ページ「縮尺を切りかえる」を参照してください。

7. 時計表示

GPSで受信した現在の時刻が表示されます。
時刻によってアイコンがかわります。

3:02 (6:00〜17:59)
9:00 (18:00〜5:59)

8. VICSタイムスタンプ

VICS情報が発信されている地域で、VICS情報が提供された時刻が表示されます。
VICS情報については、93ページ「VICS情報を見る」を参照してください。

9. 直線誘導線

目的地案内中に、現在地から見た目的地の方向を直線で示します。
直線誘導線表示については、139ページ「直線誘導線表示」を参照してください。

10.OPTIONスイッチ機能表示

OPTIONスイッチに設定した機能が表示されます。設定した機能によって形状がかわります。
表示されているアイコンはタッチスイッチではありません。

「Audio Source切換」
オーディオ･テレビモードを切りかえます（187ページ「モードを切りかえる」参照）。

「自宅へ帰る」
自宅までのルートが探索されます（64ページ「自宅へ帰る」参照）。

「録音 開始/停止」
Music Rackへの録音を開始または停止します（229ページ「Music Rackへ録音する」参照）。

「フロントカメラON/OFF」
フロント／コーナーカメラ（別売）の映像の表示／非表示を切りかえます。また、状態によってアイコンの色が緑色またはグレーにかわります（167ページ「フロント／コーナーカメラの映像」参照）。
オプションキー設定については、155ページ「オプションキー設定」を参照してください。

11.マルチ画面への切りかえスイッチ

ナビゲーション画面とオーディオ･テレビ画面を同時に表示するマルチ画面に切りかえるときにタッチします。
画面の切りかえについては、24ページ「全画面とマルチ画面」を参照してください。

12.オーディオ･テレビ画面への切りかえスイッチ

ナビゲーション画面からオーディオ･テレビ画面に切りかえるときにタッチします。
画面の切りかえについては、24ページ「ナビゲーション画面とオーディオ･テレビ画面」を参照してください。

13.路線番号表示

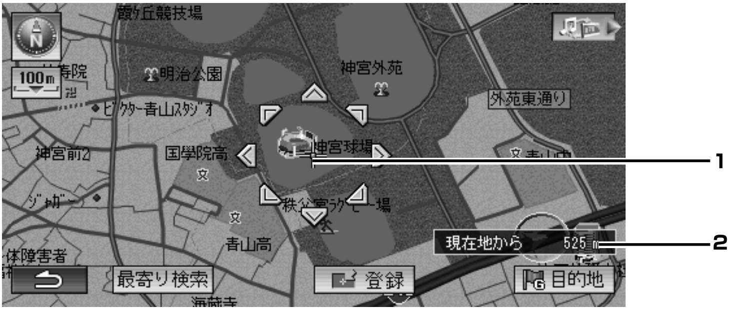
現在走行中の路線番号がアイコンで表示されます。路線番号表示については、136ページ「路線番号表示」を参照してください。

アドバイス

- ナビゲーションシステムが作動してからしばらくの間は、電波を受信しやすい場所にいても測位ができません。また、ナビゲーションシステムが作動したあとすぐに走行すると、GPSが測位するまでの時間が長くなります。方位マークが青色になってから走行することをおすすめします。
- バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなどは、GPSが測位するまでの時間が長くなる場合があります。

スクロール後の画面

地図の検索やスクロールをしたあとの画面には、カーソルや以下の情報が表示されます。地図の検索については49ページ「行き先を探す」、スクロールについては36ページ「地図をスクロールする」を参照してください。



1.カーソルマーク

十字のガイドラインが表示され、交差している点にカーソルマークが表示されます。カーソル地点の詳細情報を見たり、その地点を目的地や経由地に登録することができます。
建物情報やランドマーク情報など情報がある地点に合わせると、十字カーソルが橙色にかわります（42ページ「ランドマーク情報を見る」、43ページ「建物情報を見る」参照）。

2.現在地からの距離

現在地からカーソル位置（十字の中央）までの距離が表示されます。

アドバイス

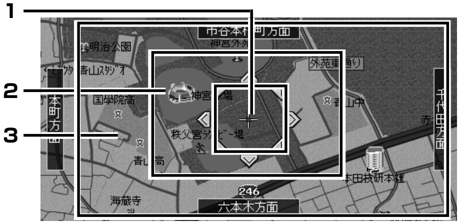
- 現在地画面に戻すには、（現在地）スイッチを押します（36ページ「現在地を表示する」参照）。

地図を表示する

見たい地域の地図を表示するには、地図を上下左右に動かす(スクロールする)方法と、施設や住所からその場所を探し出して表示する方法があります。

地図をスクロールする

地図のタッチスイッチ以外の位置にタッチすると、タッチした位置を中心として地図がスクロールされます(ワンタッチスクロール)。
スクロールしたあとは、地図画面に十字カーソルと現在地からの距離が表示されます。
また、画面にタッチし続けると、その方向に一気にスクロールされます。手を離すとスクロールが止まります。
タッチし続けるエリアによってスクロールする速さがかわります。連続スクロール中は、画面の上下左右にスクロール方面名称が表示されます。



1.エリア1:ゆっくりスクロールします。
2.エリア2:3段階でスクロールが速くなります。
3.エリア3:速くスクロールします。

アドバイス

- 走行中は安全のため、連続スクロールはできません。
- 現在地の地図に戻すには 現在地 スイッチを押します。
- 走行中に市街地図を表示している場合は安全のため、スクロールはできません。
- 3Dマップをスクロールすると、自動的に平面地図に切りかわってスクロールされます。
- スクロール方面表示は、地図のスケールが20km以下の詳細な地図で表示されます。
- スクロール方面表示を表示するかどうかを設定できます(138ページ「スクロール方面表示」参照)。
- スクロール方面表示の名称は、地図スケールによってかわります。
  10m(市街地図)~200m:大字
  500m~1km:市区町村
  2km~20km:都道府県

施設名や住所を指定して地図を表示する

表示させたい場所の施設名、電話番号、住所、緯度経度などがわかっている場合は、メニュー画面から条件を指定して、地図を表示させることができます。詳しい操作方法は、49ページ「行き先を探す」を参照してください。

現在地を表示する

地図をスクロールしたときや、検索などで他の地図を表示したり、メニュー画面を表示したときには、現在地周辺の地図に戻すことができます。

1 現在地 スイッチを押します。

現在地画面が表示されます。

アドバイス

- 表示された自車位置がズレている場合、しばらく走行しているとGPS機能によって自動的に修正されます(場合によっては数分かかることがあります)。それでも正しい位置に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地を指定してください(144ページ「自車位置を修正する」参照)。
- リアカメラ画面、VICS緊急・注意警戒画面表示中は現在地画面に戻りません。

地図表示のしかたをかえる

縮尺を切りかえる

地図を拡大したり、縮小することができます。広範囲の地図を見たいときは縮小し、詳しく見たいときは拡大します。縮尺は1/2560万〜1/1000の範囲で設定でき、画面にはスケールが表示されます（初期設定値は「500m」）。たとえば、500mスケール図では、スケールバーの長さが実際には500mであることを示しています。
縮尺によって、地図に示される情報の種類が異なります。たとえば、ランドマークは地図のスケールが200m以下の詳細な地図で表示されます。

縮尺	スケール表示	スイッチ
1/2560万	300km	▲
1/640万	50km	↑
1/160万	20km	|
1/80万	10km	|
1/40万	5km	|
1/20万	2km	|
1/10万	1km	|
1/5万	500m	|
1/2万	200m	|
1/1万	100m	|
1/5千	50m	|
1/5千	50m　市街地図	|
1/2千5百	25m　市街地図	↓
1/千	10m　市街地図	▼

1 100m にタッチします。

スケールバーが表示され、現在設定されている縮尺が表示されます。

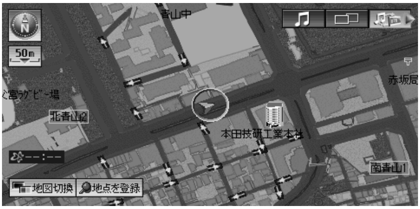
2 ▲または▼にタッチして縮尺を指定します。

- ▲にタッチするたびに地図が縮小され、▼にタッチするたびに地図が拡大されます。
- ▲または▼にタッチし続けると無段階に縮尺を指定できます。

地図表示が指定した縮尺で表示されます。

市街地図について

市街地図が収録されている都市では、「50m」「25m」「10m」スケール図にすると市街地図を表示し、さらに詳細な道路、建物形状、一方通行、建物名称などが表示されます。都市部の住宅密集地域などでも迷うことなく目的地まで正確に案内できます。



アドバイス

- 市街地図データが収録されている都市については、178ページ「市街地図収録都市リスト」を参照してください。
- 市街地図を表示しているときに時速80Km以上で走行すると、50mスケールの地図に切りかわります。そのまま縮尺を切りかえないで時速70Km以下の走行になると、再び市街地図表示に戻ります。

方位を切りかえる

方角と進行方向のどちらを固定するかによって、地図の向きを変更できます。常に北方向を上にして表示する地図（ノースアップ）と、進む方向を上に固定した地図（ヘディングアップ）があります。また、立体的な地図（3Dマップ）に切りかえることもできます（初期設定値は「ノースアップ」）。

1 ／／にタッチします。

- タッチするたびに、ヘディングアップ→3Dマップ→ノースアップの順に方位が切りかわります。

アドバイス

● 2画面表示をしているとき、右の画面では3Dマップは表示できません。

■ ノースアップ

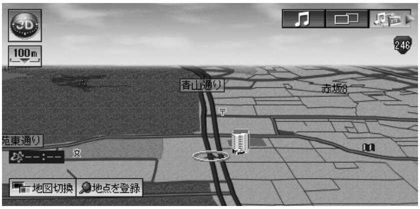
北方向が画面の上になるよう固定します。自車マークの方向は進行方向によってかわります。

■ ヘディングアップ

常に進行方向が画面の上になるよう、自車方向を固定します。方位マークの方向は進行方向によってかわります。

■ 3Dマップ表示

ヘディングアップの状態で立体的な地図（3Dマップ）を表示します。角度をかえることもできます（41ページ「3Dの角度を変更する」、135ページ「3D角度調整」を参照）。

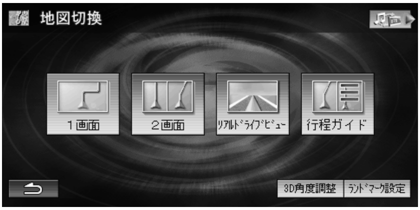


地図表示を切りかえる

地図の表示のしかたを、1画面、2画面、リアルドライブビュー、行程ガイドから選択できます。

1 現在地画面で 地図切換 にタッチします。

2 1画面 2画面 リアルドライブビュー 行程ガイド のいずれかにタッチします。



タッチした画面表示に切りかわります。

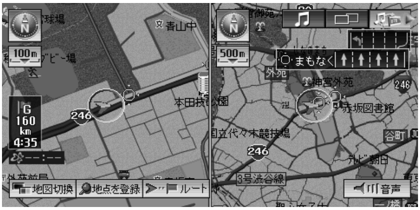
アドバイス

- ランドマーク設定 にタッチすると、地図画面に表示するランドマーク（施設マーク）を選択することができます（134ページ「ランドマーク表示」参照）。ただし、走行中は個別に選択することはできません。

■ 1画面表示

■ 2画面表示

画面を左右に分割します。
左右の画面に別々の縮尺や方位を指定できます。



アドバイス

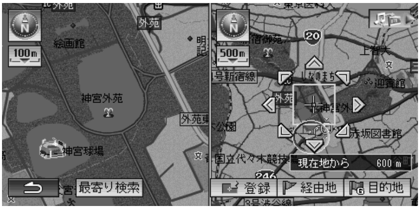
- 縮尺を変更して詳細スケールと広域スケールの2画面を表示させたり、3D市街地図とノースアップ地図とを組み合わせることなどができます。
- 2画面表示のときに左右の自車位置が若干ずれることがあります。これは左右別々に描画しているためで故障ではありません。
- 右画面には3Dマップを表示させることはできません。
- 138ページ「2画面シンクロマップ」を「する」に設定している場合、右画面をスクロールすることができます（39ページ「2画面シンクロマップについて」参照）。
- 都市高速マップは左画面にのみ表示されます（78ページ「都市高速マップ」参照）。

2画面シンクロマップについて

左右画面が同じスケールの場合

- 左右どちらかの地図をスクロールすると、一方の地図も同じ位置を表示します。

左右画面のスケールが異なる場合



- 左右どちらかの地図をスクロールすると、スケールが広域の地図側に詳細スケール地図の範囲を緑枠で囲みます。左右で地図方位が異なる場合は、矩形が斜めに表示される場合があります。

■ リアルドライブビュー

ドライバーの視点から見ているような立体的な地図を表示します。

1
2　3

1.G-Sensor

自車のハンドル操作(曲がり具合)に合わせて、中央にある緑色のボールが左右に動きます。緑色のボールが振れた最大の位置を赤で表示します。

2.車速グラフ

車速の履歴を折れ線グラフで表示します。右端が現在の速度です。

3.平均車速

リアルドライブビューを表示してからの平均車速を表示します。

アドバイス

- リアルドライブビューでは、角度をかえたり地図スケールをかえることはできません。
- リアルドライブビューでは、VICS情報は表示されません。

■ 行程ガイド表示

目的地案内中に、走行中のルートを簡易な行程図で示したものです。行程ガイド画面では、交差点や高速道路のインターチェンジ、SA/PAなどが現在地に近いほうから表示されます。(40ページ「行程ガイド画面について」参照)

行程ガイド画面について

1
3
5
4
2
6

1.走行中の道路名称

2.現在地

3.マーク

交差点やインターチェンジ、SA/PAなどを識別するためのマークが表示されます。

地点	マーク
現在地	
目的地	
経由地	
案内交差点	
高速道路入り口	
高速道路降り口	
料金所	
インターチェンジ(IC)	
サービスエリア(SA)	
パーキングエリア(PA)	
ジャンクション(JCT)	
フェリー乗り場	

4.地点名称

5.所要予測時間と距離

6.スクロールスイッチ(▲ ▼)

行程ガイドをスクロールするときにタッチします。▲にタッチすると先の行程を表示し、▼にタッチすると手前の行程を表示することができます。タッチし続けると連続で行程ガイドをスクロールします。行程ガイドを現在の位置に戻すには、現在地 スイッチを押します。

アドバイス

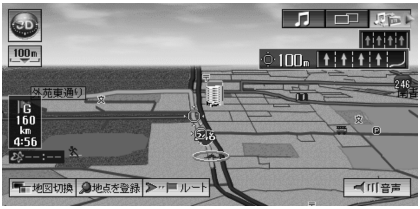
- マルチ画面を表示すると行程ガイドは消えますが、全画面表示に戻すと再び表示されます。
- 交差点に表示されるマークは、曲がる方向によってかわります。
- 高速道路を走行するとSA/PA情報が表示されます。SA/PAでは、SA/PA内の施設がマークで表示されます。[ボタン]にタッチすると詳細情報が表示されます。

- [ボタン]にタッチすると詳細情報を終了します。

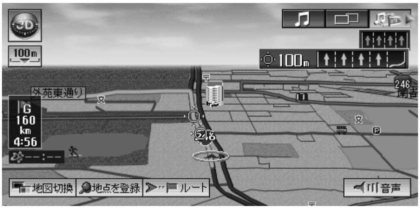
- 料金所では、料金も表示されます。
- 目的地へ到着すると行程ガイド表示を終了し、2画面表示に切りかわります。ただし、地図切換モードは行程ガイドのままです。
- 行程ガイド表示中に案内ルートを外れると、一時的に2画面表示に切りかわります。再び案内ルート上を走行すると行程ガイド表示に戻ります。
- 目的地を設定していない場合は、行程ガイドは表示できません。
- 走行中は安全のため、連続で行程ガイドをスクロールできません。

3Dの角度を変更する

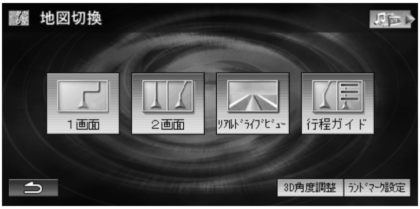
立体的な地図(3Dマップ)を表示しているときの視点の角度をかえることができます。



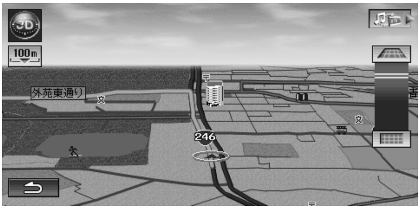
1 現在地画面で 地図切換 にタッチします。



2 3D角度調整 にタッチします。



3 [ボタン]または[ボタン]にタッチして表示角度を調整します。



- [ボタン]にタッチするたびに立体的になり、[ボタン]にタッチするたびに平面に近づきます。
- 13段階で調整できます。

4 現在地 スイッチを押して現在地画面に戻します。

アドバイス

- 表示設定メニューから3Dの角度を調整することもできます(135ページ「3D角度調整」参照)。

スクロールや検索して表示させた地図の操作

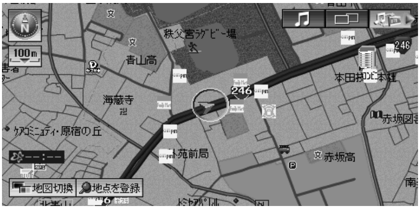
スクロールした地図や地点を検索して表示した地図では、目的地に設定したり、周辺施設を検索することができます。

ランドマーク情報を見る

地図上のランドマークやVICSマークにタッチすると、施設の名称や工事規制の内容などの情報が表示されます。

たとえば、ここでは最寄りのコンビニエンスストアの内容を表示させる手順を説明します。

1 **地図上のランドマーク(コンビニエンスストア)にタッチします。**



施設の名称が表示されます。

2 **さらに詳しく知りたい場合は 情報 にタッチします。**

詳細情報が表示されます。

- ランドマークが隣接している場合は、次へ にタッチしてランドマークを切りかえます。

3 **→|← にタッチします。**

詳細情報が閉じます。

4 **現在地 スイッチを押して現在地画面に戻します。**

アドバイス

- ランドマークによっては、詳細情報がない場合があります。
- ランドマークを表示するには、134ページ「ランドマーク表示」を参照してください。

周辺施設を検索する

表示した地図の十字カーソルの周辺施設を検索することができます。

アドバイス

- 検索結果は最大で40件まで表示され、十字カーソルから近い順に表示されます。

1 **最寄り検索 にタッチします。**

施設のジャンル名が表示されます。

- 以降の操作は、60ページ「現在地周辺／目的地周辺から探す」の手順3へ進んでください。

地点を登録する

十字カーソル位置の地点情報を地図に登録します。住所や電話番号などの情報も登録され、地図上には登録したマークが表示されます。また、登録した地点を簡単に呼び出すことができます。
登録できる地点には登録地点、特別地点(自宅、よく行く地点)、迂回地点、カメラ表示地点があります。

1 登録 にタッチします。

- 登録地点の場合、以降の操作は、84ページ「地点を登録する」の手順3へ進んでください。
- 特別地点の場合、以降の操作は、82ページ「特別地点(自宅／よく行く地点)を登録する」の手順3へ進んでください。
- 迂回地点の場合、以降の操作は、90ページ「迂回地点を登録する」の手順3へ進んでください。
- カメラ表示地点の場合、以降の操作は、169ページ「フロント(コーナー)カメラ表示地点を登録する」の手順3へ進んでください。

目的地や経由地として設定する

十字カーソル位置の地点を目的地や経由地に設定します。経由地は、すでに目的地がセットされている場合のみ設定できます。

1 目的地 または 経由地 にタッチします。

- 以降の操作は、目的地をセットした場合は65ページ「ルートの探索結果画面」、経由地をセットした場合は67ページ「経由地を設定する」の手順3へ進んでください。

建物情報を見る

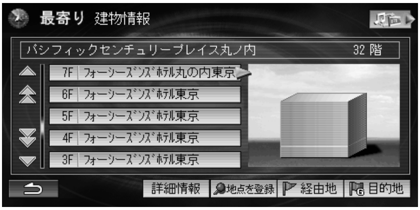
市街地図を表示しているときは、建物のフロア案内などを見ることができます。市街地図については、37ページ「市街地図について」を参照してください。

1 市街地図画面で情報を見たい建物にタッチします。

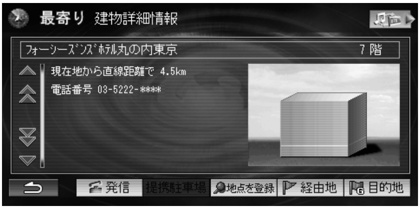
2 建物情報 にタッチします。

建物のフロア案内が表示されます。

3 フロアの施設名称にタッチし、詳細情報 にタッチします。



詳細情報が表示されます。



4 現在地 スイッチを押して現在地画面に戻します。

アドバイス

- 建物によってはフロア案内が表示されない場合があります。その場合は、建物(施設)名称のみが表示されます。

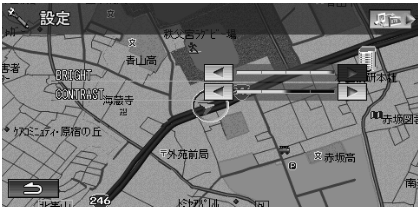
ナビ画面の明るさやコントラストを調整する

画面のコントラストや明るさをお好みに合わせて調整することができます。

1 **(⏻/MENU)スイッチを押したあと、設定を変える にタッチします。**

2 **ナビ画面調整 にタッチします。**

3 **◀ ▶ にタッチして明るさ(BRIGHT)とコントラスト(CONTRAST)を設定します。**



BRIGHT

画面の明度を調整します。

暗くするときは◀、明るくするときは▶にタッチします。

CONTRAST

全体のめりはりの強弱を調整します。

弱くするときは◀、強くするときは▶にタッチします。

- ◀ ▶ にタッチし続けると連続してレベルを調整できます。
- それぞれ15段階で設定できます。

4 **(現在地)スイッチを押して現在地画面に戻します。**

アドバイス

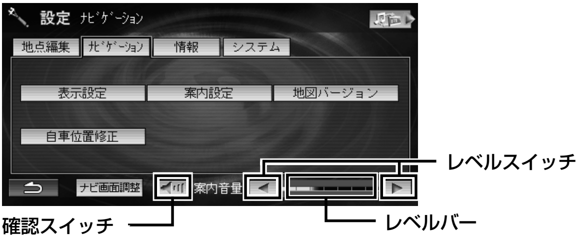
- 画面調整は、136ページ「イルミ連動」設定を「する」に設定している場合は、車のスモールランプを点灯したときと消灯したときで、別々に調整することができます。

案内音量を調整する

ナビゲーション案内音声の音量を調整します。音声をOFFにすることもできます。

1 （⏻/MENU）スイッチを押したあと、設定を変えるにタッチします。

2 「案内音量」の◀または▶にタッチして音量レベルを設定します。



- ◀にタッチするたびに音量レベルが1つ下がり、▶にタッチするたびに音量レベルが1つ上がります。
- 8段階で設定できます。
- 一番下のレベルに設定すると音声をOFFにできます。
- 🔈にタッチすると、設定した音量を音声で確認することができます。

3 （現在地）スイッチを押して現在地画面に戻します。

アドバイス

- 案内音量をOFFにすると、目的地案内画面に表示される 音声 スイッチは色がトーンダウンし操作できません。

ナビゲーション案内

ナビゲーション編

目的地設定・ルート探索について 48
行き先を探す 49
選んで探す 50
名称で探す 55
番号で探す 58
近くで探す 60
登録地点から探す 62
目的地を設定してルートを探索する 63
目的地を設定する 64
ルートの探索結果画面 65
インターチェンジ(IC)を指定する 66
経由地を設定する 67
目的地案内を開始する 68
より最適なルートが見つかった場合
（アクティブルートサーチ） 68
案内中のルートを確認する 70
ルートをスクロールする 70
全ルートを表示する 70
ルート情報(案内道路情報)を表示する 71
案内中のルートを変更する 72
別のルートを選択する 72
利用道路を変更する(条件変更) 72
経由地を変更する 72
迂回する 74
ルートを消去する 74
目的地案内表示 75
交差点・高速分岐案内 75
フェリー航路の案内 77
到着情報の表示 77
料金案内 78
都市高速マップ 78
音声案内 78

目的地設定・ルート探索について

目的地や経由地の追加、ルート探索の条件を設定して目的地へ案内するまでの流れを説明します。

＜目的地を設定する＞（64ページ）
- 地図をスクロールして設定
- 行き先を検索して設定
- 登録されている地点から設定

↓

ルートの探索結果（65ページ）

↓

＜案内開始前のルートの変更＞
- ルートを選択する（65 ページ）
- インターチェンジ（IC）を指定する（66 ページ）
- 経由地を設定する（67 ページ）

↓

案内開始（68 ページ）

↓

ルートに従って走行

＜ルートの確認＞（70 ページ）

ルートの再探索
- ルートから外れた場合（68 ページ）
- より最適なルートが見つかった場合（68 ページ）
- **＜ルートの変更＞**
  - 経由地を変更する（72 ページ）
  - 利用道路や探索条件を変更する（72 ページ）

↓

目的地到着

行き先を探す

ナビゲーション案内を行うときは、まず行き先を探す必要があります。施設や住所など、さまざまな条件で行き先を検索して、目的地に設定することができます。
検索方法は以下のとおりです。

■ 選んで探す

■ 名称で探す

■ 番号で探す

■ 近くで探す

タブ	機能	説明	参照先
選んで探す	住所	都道府県から順に住所を絞り込みます。	50ページ
	施設	ジャンルを指定して施設を絞り込みます。	51ページ
	路線別	高速道路の出入口または鉄道の駅を路線別に絞り込みます。	52ページ
	おすすめドライブナビゲーター	都道府県ごとに用意されているドライブコースをリストから選択します。	52ページ
	目的地履歴	過去に目的地として設定した地点をリストから選択します。	54ページ
名称で探す	施設50音	施設の名称を50音で入力して検索します。	55ページ
	住所50音	住所を50音で入力して検索します。	56ページ
	個人名	個人名を50音で入力して検索します。	57ページ
番号で探す	電話番号	電話番号を入力して検索します。	58ページ
	郵便番号	郵便番号を入力して検索します。	59ページ
	マップコード	マップコードを入力して検索します。	59ページ
	緯度経度	緯度と経度を指定します。	60ページ
近くで探す	現在地周辺	周辺にある施設を検索し、リストから選択します。	60ページ
	ルート周辺	ルート周辺にある施設を検索し、リストから選択します。	61ページ
	目的地周辺	目的地周辺にある施設を検索し、リストから選択します。	60ページ
	周辺の建物	現在地周辺にある建物(ビルなど)を検索し、リストから選択します。	61ページ
	登録地点	登録されている地点をリストから選択します。	62ページ

アドバイス

- 走行中は安全のため、行き先を探すメニューは操作できません。

選んで探す

住所リストから探す

住所がわかっている場合は、都道府県名から順に住所を絞り込んでいくことができます。

アドバイス

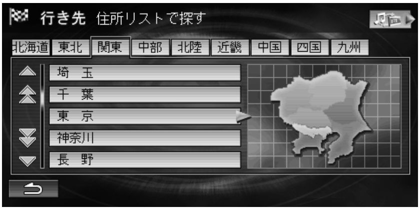
● 住所の絞り込みは、都道府県名→市区町村名→大字→丁目･字→番地→戸番の順に行われます。

1 ⏻/MENU スイッチを押したあと、行き先を探す にタッチします。

行き先メニュー画面が表示されます。

2 選んで探す にタッチし、住所 にタッチします。

3 地方名タブにタッチし、都道府県名にタッチします。



4 50音タブにタッチし、市区町村名にタッチします。

さらに詳しい住所が表示されます。

5 町名、丁目、番地などを順に指定します。

検索した住所周辺の地図が画面右側に表示されます。

- 数字入力 にタッチすると、番地を直接入力することができます。(50ページ「数字で番地を入力する」参照)
- 完了 または地図画面にタッチすると、該当する住所周辺の地図が表示されます。(42ページ「スクロールや検索して表示させた地図の操作」参照)

■ 数字で番地を入力する

1 番地を入力します。

- 丁目、番地、戸番の間には「-」(ハイフンを)入力します。
- リスト にタッチすると、入力した番地のリスト画面に戻ります。
- 完了 にタッチすると、該当する住所周辺の地図が表示されます。(42ページ「スクロールや検索して表示させた地図の操作」参照)

アドバイス

● 住所の整備状況により検索できない場合があります。その際はエラーメッセージが表示されます。⮌ にタッチしたあと、完了 または地図画面にタッチして周辺地図を表示させ、位置を指定してください。

施設を探す

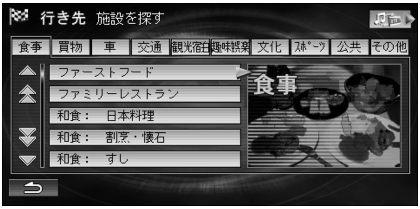
ジャンルと都道府県名を指定して、施設を探し出すことができます。
選択できるジャンル一覧については、175ページ「ジャンル一覧／周辺施設一覧」を参照してください。

1 **⏻/MENU スイッチを押したあと、行き先を探す にタッチします。**

行き先メニュー画面が表示されます。

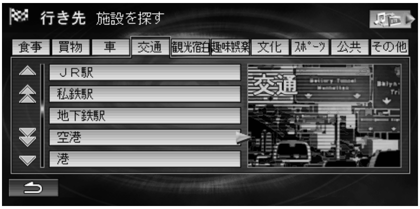
2 **選んで探す にタッチし、施設 にタッチします。**

3 **ジャンルタブにタッチします。**



ジャンル一覧が表示されます。

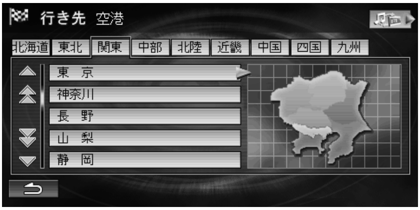
4 **施設のジャンルにタッチします。**



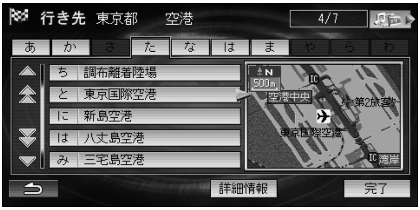
- ジャンルによっては、ブランド名を指定することができます。ブランド名にタッチします。
  全てのブランド にタッチすると全てのブランド名を対象にします。

都道府県名リストが表示されます。

5 **地方名タブにタッチし、都道府県名にタッチします。**



6 **50音タブにタッチし、施設名称にタッチします。**



- 完了 または地図画面にタッチすると、施設周辺の地図が表示されます（42ページ「スクロールや検索して表示させた地図の操作」参照）。
- 詳細情報 にタッチすると、施設の詳細情報が表示されます。

詳細情報を表示すると以下の操作ができます。

1) 発信
携帯電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。

2) 提携駐車場
施設と提携している駐車場を指定することができます。

3) 画像
施設に画像情報がある場合は、画像を表示することができます。

路線別で探す

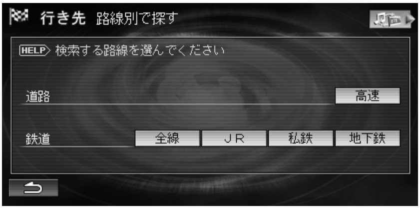
高速道路、有料道路などのインターチェンジ(IC)または鉄道の駅を、地域と路線を指定して探し出すことができます。

1 ⏻/MENU スイッチを押したあと、行き先を探す にタッチします。

行き先メニューが表示されます。

2 選んで探す にタッチし、路線別 にタッチします。

3 「道路」の 高速 または「鉄道」の 全線 JR 私鉄 地下鉄 のいずれかにタッチします。

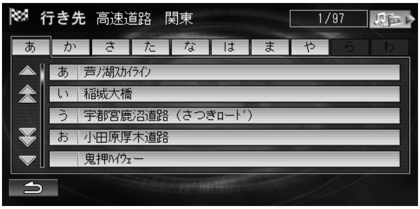


地域メニューが表示されます。

4 地域にタッチします。

高速道路／有料道路路線リストまたは鉄道路線リストが表示されます。

5 50音タブにタッチし、路線名にタッチします。



インターチェンジリストまたは駅名リストが表示されます。

6 インターチェンジ名または駅名にタッチします。

- 完了 または地図画面にタッチすると、インターチェンジまたは駅周辺の地図が表示されます(42ページ「スクロールや検索して表示させた地図の操作」参照)。
- 詳細情報 にタッチすると、インターチェンジまたは駅の詳細情報が表示されます。詳細情報を表示すると以下の操作ができます。
  1） 発信
  携帯電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。

おすすめドライブナビゲーターから探す

都道府県ごとに用意されているドライブコースから目的地、経由地を含むドライブコースを探すことができます。また、ドライブコース周辺の観光スポットや食事スポットを探してドライブコースに追加したり、ドライブコースの各地点の立ち寄り順を入れかえたり、消去することができます。

1 ⏻/MENU スイッチを押したあと、行き先を探す にタッチします。

行き先メニュー画面が表示されます。

2 選んで探す にタッチし、おすすめドライブナビゲーター にタッチします。

おすすめドライブナビゲーター画面が表示されます。

3 地方名にタッチします。

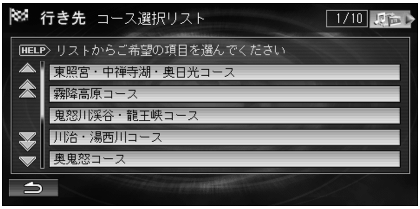
都道府県選択画面が表示されます。

4 都道府県名にタッチします。

- ほかの検索画面と都道府県名の並び順が異なります。

コース選択リストが表示されます。

5 コース名称にタッチします。

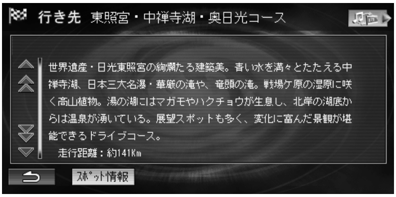


コースの簡易マップが表示されます。

6 コース設定 にタッチします。

コース設定画面が表示されます。

- コース情報 にタッチすると、ドライブコースの詳細情報が表示されます。



詳細情報を表示すると以下の操作ができます

1）スポット情報
コース情報のスポットリストが表示されます（54ページ「周辺スポット／食事スポットを探す」の手順2を参照）。

- 周辺スポット にタッチすると、コース周辺の観光スポットリストが表示されます（54ページ「周辺スポット／食事スポットを探す」参照）。
- 食事スポット にタッチすると、コース周辺の食事スポットリストが表示されます（54ページ「周辺スポット／食事スポットを探す」参照）。

7 完了 にタッチします。

- コースの経由地を消去することができます。消去したい経由地にタッチしたあとに 経由地消去 にタッチします。
- 目的地を含む経由地の順番を入れかえることができます。移動したい経由地にタッチしたあとに 上へ移動 または 下に移動 にタッチします。タッチするたびに経由地の順番が入れかわります。未登録の経由地は目的地に移動することはできません。

ルートが探索され、目的地案内が開始されます。

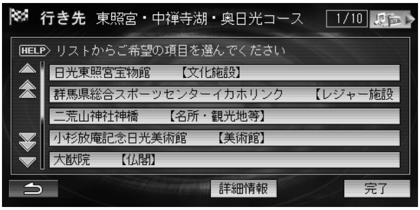
■ 周辺スポット／食事スポットを探す

コース周辺の観光または食事スポットを目的地にしたり、経由地に追加することができます。

1 周辺スポット または 食事スポット にタッチします。

コース周辺の観光または食事スポットリストが表示されます。

2 スポット名にタッチします。



- 完了 にタッチすると、施設周辺の地図が表示されます（42ページ「スクロールや検索して表示させた地図の操作」参照）。
- 詳細情報 にタッチすると、施設の詳細情報が表示されます。

詳細情報を表示すると以下の操作ができます。

1) 発信

携帯電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。

2) 画像

施設に画像情報がある場合は、画像を表示することができます。

目的地履歴から探す

以前目的地に設定した地点（100件まで）をリストから選択することができます。

1 ⏻/MENU スイッチを押したあと、行き先を探す にタッチします。

行き先メニュー画面が表示されます。

2 選んで探す にタッチし、目的地履歴 にタッチします。

目的地履歴が新しいものから順に100件リスト表示されます。

3 目的地履歴にタッチします。

- 完了 または地図画面にタッチすると、目的地履歴の周辺地図が表示されます。（42ページ「スクロールや検索して表示させた地図の操作」参照）

アドバイス

- 100件を超えた場合は、古いものから順に削除されます。
- 目的地履歴の地点を目的地に設定した場合は、古い履歴を消去して新しいものだけを記憶します。
- 選択した目的地履歴を消去するには 消去 にタッチします。すべての目的地履歴を消去するには 消去 にタッチし続けます。メッセージが表示されたら はい にタッチします。

名称で探す

施設を50音で探す

施設の名称を50音入力し、ジャンル･地域や市区町村名などで候補を絞り込んで施設を探し出すことができます。

1 (⏻/MENU)スイッチを押したあと、行き先を探す にタッチします。

行き先メニュー画面が表示されます。

2 名称で探す にタッチし、施設50音 にタッチします。

3 施設の名称の読みを入力します。

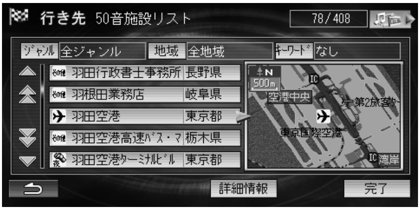
- 施設名の頭文字や最初の数文字だけを入力して検索することもできます。
- 検索先の候補がない文字のタッチスイッチは色がトーンダウンし、タッチしても入力できません。
- 1文字タッチするたびに、該当する施設名称の件数が表示されます。
- 数字や英字も読みで入力します(例:「1」→「いち」、「Z」→「ぜっと」)。
- 濁点、半濁点、長音を省略しても、小文字を大文字で入力しても検索ができます。
- 検索履歴 にタッチすると、以前に入力した読み(文字列)が新しい順に最大20件までリスト表示されます。読みにタッチして手順4に進みます。

4 完了 にタッチします。

検索された施設リストが表示されます。

- 完了 にタッチすると、入力した読みが検索履歴に記憶されます。

5 施設名称にタッチします。

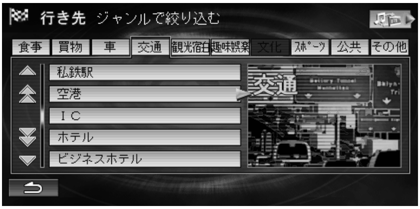


- ジャンル にタッチすると、ジャンルを絞り込んで再検索できます(55ページ「ジャンルを絞り込む」参照)
- 地域 にタッチすると、地域を絞り込んで再検索できます(56ページ「地域を絞り込む」参照)
- キーワード にタッチすると、キーワードで絞り込んで再検索できます(56ページ「キーワードで絞り込む」参照)。
- 完了 または地図画面にタッチすると、施設周辺の地図が表示されます。(42ページ「スクロールや検索して表示させた地図の操作」参照)
- 詳細情報 にタッチすると、施設の詳細情報が表示されます。詳細情報を表示すると以下の操作ができます。
  1) 発信
     携帯電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。
  2) 提携駐車場
     施設と提携している駐車場を指定することができます。

■ ジャンルを絞り込む

1 ジャンル にタッチします。

2 ジャンルタブにタッチし、施設のジャンルにタッチします。

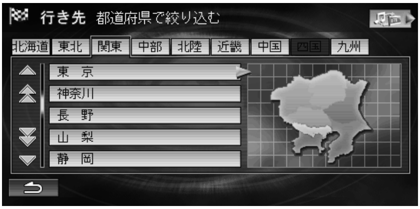


該当する施設が表示されます。

■ 地域を絞り込む

1 地域 にタッチします。

2 地方名タブにタッチし、都道府県にタッチします。



該当する施設が表示されます。

■ キーワードで絞り込む

1 キーワード にタッチします。

2 キーワードを入力します。

該当する施設が表示されます。

- 該当施設が見つからなかった場合は、メッセージが表示されます。もう一度、ほかのキーワードを入力してください。
- 入力したキーワードも検索履歴に記憶されます。

アドバイス

- ● 入力中に検索先の候補が絞り込まれたときは、自動的に検索された施設名称のリスト画面が表示される場合があります。
- ● 検索履歴は最大20件までリスト表示されます。20件を超えた場合は、古いものから順に削除されます。
- ● 検索履歴から読みを選択して 完了 にタッチした場合、または検索履歴に記憶されている読みを入力した場合は、最新の内容としてリストの一番上に登録されます。古い履歴は消去されます。
- ● 施設名称とキーワードを入れかえて入力した場合の検索結果は異なります。

住所を50音で探す

地名を50音入力して探し出すことができます。

1 (⏻/MENU)スイッチを押したあと、行き先を探す にタッチします。

行き先メニュー画面が表示されます。

2 名称で探す にタッチし、住所50音 にタッチします。

3 地名の読みを入力します。

- 住所の頭文字や最初の数文字だけを入力して検索することもできます。
- 検索先の候補がない文字のタッチスイッチは色がトーンダウンし、タッチしても入力できません。
- 1文字タッチするたびに、該当する住所の件数が表示されます。
- 数字や英字も読みで入力します(例:「1」→「いち」、「Z」→「ぜっと」)。
- 濁点、半濁点、長音を省略しても、小文字を大文字で入力しても検索ができます。
- 検索履歴 にタッチすると、以前に入力した読み(文字列)が新しい順に最大20件までリスト表示されます。リストから読みにタッチして手順4に進みます。

4 完了 にタッチします。

検索された住所がリスト表示されます。

- 完了 にタッチすると、入力した読みが検索履歴に記憶されます。

5 住所にタッチします。

- 完了 または地図画面にタッチすると、住所周辺の地図が表示されます。(42ページ「スクロールや検索して表示させた地図の操作」参照)

アドバイス

- 入力中に検索先の候補が絞り込まれたときは、自動的に検索された住所のリスト画面が表示されます。
- 検索履歴は最大20件までリスト表示されます。20件を超えた場合は、古いものから順に削除されます。
- 検索履歴から読みを選択して 完了 にタッチした場合、または検索履歴に記憶されている読みを入力した場合は、最新の内容としてリストの一番上に登録されます。古い履歴は消去されます。

個人名で探す

50音で個人名を入力して探し出すことができます。

1 (⏻/MENU)スイッチを押したあと、行き先を探す にタッチします。

行き先メニュー画面が表示されます。

2 名称で探す にタッチし、個人名 にタッチします。

3 個人名(名字)の読みを入力します。

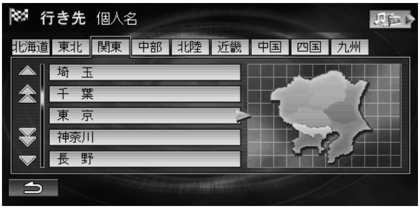
- 数字や英字も読みで入力します(例:「1」→「いち」、「Z」→「ぜっと」)。
- 濁点、半濁点、長音を省略しても、小文字を大文字で入力しても検索ができます。
- 検索履歴 にタッチすると、以前に入力した読み(文字列)が新しい順に最大20件までリスト表示されます。リストから読みにタッチして手順4に進みます。

4 完了 にタッチします。

都道府県名リストが表示されます。

- 完了 にタッチすると、入力した読みが検索履歴に記憶されます。

5 地方名タブにタッチし、都道府県名にタッチします。



6 市区町村名にタッチします。

7 町名などにタッチします。

検索された個人名リストが表示されます。

- 個人名が1件のみの場合は、周辺地図を表示します。

8 個人名にタッチします。

- 完了 にタッチすると、個人宅周辺の地図が表示されます。(42ページ「スクロールや検索して表示させた地図の操作」参照

次ページに続く→

アドバイス

- 個人名の読みの違いによっては、検索されない場合がありますので、他の読みで入力してください。
  例）金成：「かなり」「かねなり」
- 検索履歴は最大20件までリスト表示されます。20件を超えた場合は、古いものから順に削除されます。
- 検索履歴から読みを選択して 完了 にタッチした場合、または検索履歴に記憶されている読みを入力した場合は、最新の内容としてリストの一番上に登録されます。古い履歴は消去されます。

※ 個人情報保護に関する基本方針、およびナビゲーション地図に搭載されております個人データのお取り扱いにつきましては下記アドレスのホームページを御覧ください。
http://www.honda.co.jp/ACCESS/

番号で探す

電話番号から探す

電話番号がわかっていれば、目的地をすばやく探し出すことができます。また、地点登録されている地点に電話番号が設定してある場合（85ページ「特別地点／登録地点情報を確認・変更する」参照）は、登録されている地点が呼び出されます。

アドバイス

- 市外局番から入力してください。
- 局番が変更になった場合は検索できません。また、一部地域では検索できない場合があります。検索できない場合は、他の方法で探してください。

1 **（⏻/MENU）スイッチを押したあと、行き先を探す にタッチします。**

行き先メニュー画面が表示されます。

2 **番号で探す にタッチし、電話番号 にタッチします。**

3 **電話番号を入力し、完了 にタッチします。**

- 「市外局番」と「市内局番」は必ず入力してください。
- 市内局番までで検索する場合は、6桁入力します。5桁の場合は検索できません。

入力した電話番号が検索されます。

- 検索の結果が1件の場合は、地点の名称と周辺地図が表示されます。

- 検索の結果が複数カ所の場合は、候補地がリスト表示されます。リストから目的地にタッチしてください。
- 検索の結果が個人宅の場合は、名前入力画面が表示されます。57ページ「個人名で探す」の手順3へ進んでください。

- 該当箇所が見つからなかった場合は、加入者番号の近い番号を検索して地図を表示しますので、電話番号の付近にならない場合があります。

指定した場所の周辺地図が表示されます。

- 42ページ「スクロールや検索して表示させた地図の操作」を参照してください。

郵便番号から探す

郵便番号がわかっていれば、郵便番号から目的地を探し出すことができます。

1 **(⏻/MENU) スイッチを押したあと、行き先を探す にタッチします。**

行き先メニューが表示されます。

2 **番号で探す にタッチし、郵便番号 にタッチします。**

3 **郵便番号を入力し、完了 にタッチします。**

- 郵便番号の7桁をすべて入力してください。
- 先頭の3桁まで入力すると、自動的に「－」が表示されます。

入力した郵便番号で検索されます。

- 検索の結果が1件の場合は、代表地点の名称と周辺地図が表示されます。

- 検索の結果が複数カ所の場合は、候補地がリスト表示されます。リストから地点名称にタッチしてください。
- 該当箇所が見つからなかった場合は、メッセージが表示されます。もう一度、正しい郵便番号を入力してください。

指定した場所の周辺地図が表示されます。

- 42ページ「スクロールや検索して表示させた地図の操作」を参照してください。

マップコードから探す

マップコードから目的地を探し出すことができます。

アドバイス

- マップコードについては、株式会社 昭文社から出版されている「スキーマップル」・「どこでもアウトドア」・「家族でおでかけ」シリーズなどを参照してください。
- マップコードは、登録地点の位置情報に登録されています。詳しくは、86ページ「地点情報を確認する」を参照してください。
- 「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。
- 10桁までの標準マップコードに加え、「＊」を使用したマップコードHR（高分解能）に対応しています。

1 **(⏻/MENU) スイッチを押したあと、行き先を探す にタッチします。**

行き先メニュー画面が表示されます。

2 **番号で探す にタッチし、マップコード にタッチします。**

3 **マップコードを入力し、完了 にタッチします。**

- 10桁までの標準マップコードに加え、「＊」のあとに2桁まで追加することで高度な検索ができます。

指定した場所の周辺地図が表示されます。

- 42ページ「スクロールや検索して表示させた地図の操作」を参照してください。

緯度経度から探す

地点の「緯度（北緯）、経度（東経）」がわかっていれば、その数値を入力して探し出します。

1 **⏻/MENU スイッチを押したあと、行き先を探す にタッチします。**

行き先メニュー画面が表示されます。

2 **番号で探す にタッチし、緯度経度 にタッチします。**

3 **北緯と東経を入力し、完了 にタッチします。**

- 1桁の数字を入力するときは頭に「0」を付けてください。

指定した位置の周辺地図が表示されます。

- 42ページ「スクロールや検索して表示させた地図の操作」を参照してください。

近くで探す

現在地周辺／目的地周辺から探す

現在地または目的地の周辺にある施設を検索して、ジャンルで絞り込むことができます。

アドバイス

● 検索結果は最大で40件まで表示され、現在地または目的地から近い順に表示されます。

1 **⏻/MENU スイッチを押したあと、行き先を探す にタッチします。**

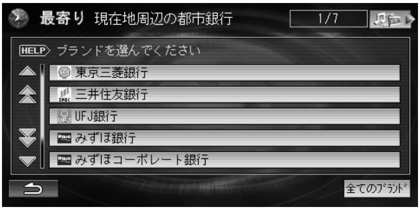
行き先メニュー画面が表示されます。

2 **近くで探す にタッチし、現在地周辺 または 目的地周辺 にタッチします。**

3 **ジャンルにタッチします。**

- その他施設 にタッチすると、施設一覧から選択できます。

4 **ブランド名称にタッチします。**



- ジャンルによってはブランド名を指定できない場合があります。
- 全てのブランド にタッチすると全てのブランド名を対象にします。

5 **施設名称にタッチします。**

- 完了 または地図画面にタッチすると、施設周辺の地図が表示されます（42ページ「スクロールや検索して表示させた地図の操作」参照）。
- 詳細情報 にタッチすると、施設の詳細情報が表示されます。詳細情報を表示すると以下の操作ができます。
  1） 発信
  携帯電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。
  2） 提携駐車場
  施設と提携している駐車場を指定することができます。
  3） 画像
  施設に画像情報がある場合は、画像を表示することができます。

ルート周辺から探す

目的地が設定されている場合は、ルートの周辺にある施設を検索して、ジャンルで絞り込むことができます。

アドバイス

- ルートが設定されていない状態では使用できません。
- 検索結果は最大で40件表示され、自車位置に近いものから順に表示されます。
- 自車位置からルート沿いの道なり約10kmまでの範囲で検索します。

1 **⏻/MENU スイッチを押したあと、行き先を探す にタッチします。**

行き先メニュー画面が表示されます。

2 **近くで探す にタッチし、ルート周辺 にタッチします。**

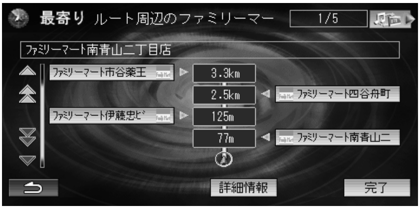
3 **ジャンルにタッチします。**

- その他施設 にタッチすると、施設一覧から選択できます。

4 **ブランド名称にタッチします。**

- ジャンルによってはブランド名を指定できない場合があります。
- 全てのブランド にタッチすると全てのブランド名を対象にします。

5 **施設名称にタッチします。**



ルートの進行方向に向って位置(左右)と距離が表示されます。

- 完了 にタッチすると、施設周辺の地図が表示されます。(42ページ「スクロールや検索して表示させた地図の操作」参照)
- 詳細情報 にタッチすると、施設の詳細情報が表示されます。詳細情報を表示すると以下の操作ができます。
  1) 発信
     携帯電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。
  2) 提携駐車場
     施設と提携している駐車場を指定することができます。
  3) 画像
     施設に画像情報がある場合は、画像を表示することができます。

周辺の建物から探す

現在地の周辺にある建物を検索できます。また、建物内の施設を検索することもできます。

アドバイス

- 検索結果は最大で40件表示され、現在地から近い順に表示されます。
- 現在地周辺に登録されている建物がない場合は、メッセージが表示され検索することができません。

1 **⏻/MENU スイッチを押したあと、行き先を探す にタッチします。**

行き先メニューが表示されます。

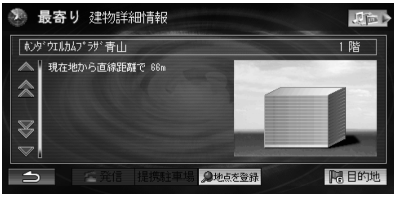
2 **近くで探す にタッチし、周辺の建物 にタッチします。**

次ページに続く→

3 建物名称にタッチします。

- 完了 または地図画面にタッチすると、建物周辺の地図が表示されます（42ページ「スクロールや検索して表示させた地図の操作」参照）。
- 建物情報 にタッチすると、建物のフロア案内が表示されます。

さらに、詳細情報を見たい場合は、施設名称にタッチし、詳細情報 をタッチします。



詳細情報を表示すると以下の操作ができます。

1） 発信
電話を接続している場合は、施設に電話をかけることができます。

2） 提携駐車場
施設と提携している駐車場を指定することができます。

登録地点から探す

登録されている地点のリストから目的地を探し出すことができます。

アドバイス

- あらかじめ地点を登録しておく必要があります（84ページ「地点を登録する」参照）。

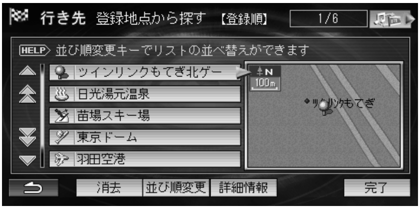
1 ⏻/MENU スイッチを押したあと、行き先を探す にタッチします。

行き先メニュー画面が表示されます。

2 登録地点 にタッチします。

登録地点リストが表示されます。

3 登録地点にタッチします。



- 並び順変更 にタッチするたびに登録地点リストを並べかえられます。
  登録順 → マーク順 → 距離順 → 登録順 …
  登録順　：新しく登録した順。
  マーク順：マークの種類ごと。
  距離順　：現在位置より近い順。
- 完了 または地図画面にタッチすると、登録地点周辺の地図が表示されます。（42ページ「スクロールや検索して表示させた地図の操作」参照）
- 詳細情報 にタッチすると、登録地点の詳細情報が表示されます。登録地点情報画面については、86ページ「地点情報を確認する」を参照してください。

アドバイス

- 選択した登録地点を消去するには 消去 にタッチします。すべての登録地点を消去するには 消去 にタッチし続けます。詳しくは、89ページ「特別地点／登録地点を消去する」を参照してください。

目的地を設定してルートを探索する

目的地案内(ルート案内)を行うには、目的地を設定することから始めます。
目的地を設定するには以下の方法があります。

項目	設定方法
地図から設定	地図をスクロールして 目的地 にタッチして設定します(64ページ「地図から設定する」参照)。
登録地点から設定	自宅を目的地に設定します(64ページ「自宅へ帰る」参照)。
	よく行く地点を目的地に設定します(64ページ「よく行く地点を設定する」参照)。
	登録されている地点の中から目的地を選択して設定します(65ページ「行き先を検索して設定する」参照)。
行き先を検索して設定	メインメニューの 行き先を探す を利用して、さまざまな方法で目的地を検索して設定します。(65ページ「行き先を検索して設定する」参照)

目的地を設定すると、自動的にルートの探索が始まります。探索された推奨ルート以外のルートを選択したり、経由地やインターチェンジなどを指定して再探索することもできます。

アドバイス

- 目的地を設定した地点は、自動的に記憶(最大100カ所まで)され、目的地の設定のときなどに、履歴から呼び出すことができます。100カ所を超えたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は消去することもできます(54ページ「目的地履歴から探す」参照)。
- 経由地の設定は目的地と同じ手順で行えます。

目的地を設定する

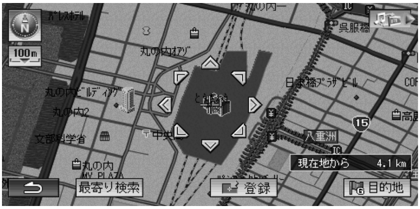
地図から設定する

地図をスクロールして目的地にしたい地点を表示し、目的地に設定することができます。

1 目的地にしたい地点に十字カーソルを合わせます。

- 地図のスクロールについては、36ページ「地図をスクロールする」を参照してください。

2 目的地 にタッチします。



目的地が設定され、現在地から目的地までのルートが探索されます（65ページ「ルートの探索結果画面」参照）。

- 目的地は1つしか設定できません。すでに目的地が設定されているときは、確認のメッセージが表示されます。 はい にタッチします。
- イグニッションキーをOFFにしても目的地（ルート）は消去されません。

自宅へ帰る

自宅が登録されていれば、簡単な操作で自宅を目的地に設定することができます。

アドバイス

- あらかじめ自宅が登録されていることが必要です。自宅を登録する方法については、82ページ「特別地点（自宅／よく行く地点）を登録する」を参照してください。

1 ⏻/MENU スイッチを押したあと、行き先を探す にタッチします。

行き先メニュー画面が表示されます。

2 自宅 にタッチします。

目的地が設定され、現在地から自宅までのルートが探索されます（65ページ「ルートの探索結果画面」参照）。

アドバイス

- 自宅が登録されていない場合は、自宅を登録することができます。自宅の位置に十字カーソルを合わせ 登録 にタッチします。
- OPTIONスイッチに「自宅へ帰る」機能を設定している場合は、OPTION スイッチを押しても自宅へ帰るルートを探索できます。確認メッセージが表示されたら はい にタッチします。

よく行く地点を設定する

よく行く地点が登録されていれば、簡単な操作でよく行く地点を目的地に設定することができます。

アドバイス

- あらかじめよく行く地点が登録されていることが必要です。よく行く地点を登録する方法については、82ページ「特別地点（自宅／よく行く地点）を登録する」を参照してください。

1 ⏻/MENU スイッチを押したあと、行き先を探す にタッチします。

行き先メニュー画面が表示されます。

2 地点1 地点2 地点3 のいずれかにタッチします。

目的地が設定され、現在地から目的地までのルートが探索されます（65ページ「ルートの探索結果画面」参照）。

アドバイス

- 選択した地点番号に地点が登録されていない場合は、地点を登録することができます。登録したい地点に十字カーソルを合わせ、登録 にタッチします。

行き先を検索して設定する

施設や住所などから行き先を探し出して目的地に設定します。

1 (⏻/MENU)スイッチを押したあと、行き先を探す にタッチします。

2 行き先を検索します。

- 検索方法については、49ページ「行き先を探す」を参照してください。

3 目的地 にタッチします。

目的地が設定され、現在地から目的地までのルートが探索されます（65ページ「ルートの探索結果画面」参照）。

ルートの探索結果画面

目的地を設定すると自動でルートの探索が始まり、現在地から目的地までの全ルートが地図に表示されます。

探索結果画面には、以下の5つのルートが表示され、それぞれ目的地までの時間と料金が表示されます。

5ルート

1）推奨
最短の時間で行ける代表的なルート

2）一般
一般道路を通る代表的なルート

3）距離
最短の距離を通る代表的なルート

4）道幅
道幅の広い道路を通る代表的なルート

5）別ルート
上記4つのルートを通らないルート
推奨以外のルートを選択するには、そのルートにタッチします。

- 案内開始
  現在地画面に戻り、選択されたルートで目的地案内を開始します（68ページ「目的地案内を開始する」参照）。
- IC変更
  利用するインターチェンジ（IC）を指定することができます。（66ページ「インターチェンジ（IC）を指定する」参照）

アドバイス

- 5ルートの中には同じルートが検索される場合があります。
- アクティブルートサーチ設定を「する」に設定しているときに、「別ルート」を選択した場合は、アクティブルートサーチ設定を「しない」にするかどうかのメッセージが表示されます（141ページ「アクティブルートサーチ」参照）。
- 料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります（141ページ「車種設定」参照）。

次ページに続く→

● 所要時間は設定した平均車速（139ページ「到着予想表示」参照）やVICS旅行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
● ルート探索中に、ほかの画面に切りかえると、選択中のルートで案内を開始します。
● 高速道路や有料道路のインターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索（68ページ「ルートから外れた場合」参照）を行ってください。
● 登録した迂回地点（90ページ「迂回地点を登録する」参照）が目的地または現在地から離れている場合、迂回エリアを通るルートを探索してしまうことがあります。その時はメッセージが表示されます。142ページ「回避エリア考慮」を「しない」に設定しているときは、メッセージは表示されません。

冬期閉鎖区間を回避する

探索されたルート上に冬期に通行できなくなる区間が含まれる場合は、探索画面にメッセージが表示されます。冬期閉鎖区間を自動回避しない設定になっているとき（142ページ「冬期閉鎖区間考慮」参照）は、以下のように操作します。

1 **メッセージが表示されたあと、回避する場合は、規制考慮 にタッチします。**

冬期閉鎖区間を通らないルートが再探索されます。
• 規制区間を回避しない場合は、案内開始 にタッチします。
目的地案内が開始され、案内が開始されます。

アドバイス

● 規制考慮 にタッチして冬期閉鎖区間を回避すると、142ページ「冬期閉鎖区間考慮」設定が自動的に「する」に変更されます。

インターチェンジ（IC）を指定する

利用するインターチェンジ（IC）を指定します。

アドバイス

● 変更できるのは、現在地間近のインターチェンジと目的地間近のインターチェンジのみです。現在のインターチェンジの前後3つの中から選ぶことができます。

1 **ルート探索結果画面で IC変更 にタッチします。**
利用予定のインターチェンジが表示されます。

2 **変更したいインターチェンジの 変更 にタッチします。**

選択されているインターチェンジの前後のインターチェンジが表示されます。

3 **利用したいインターチェンジにタッチし、登録 にタッチします。**

• ▲ ▼ にタッチすると前後のインターチェンジが表示されます。
• ジャンクションでは、分岐先のインターチェンジも表示されます。
選択されたインターチェンジの名称が表示されます。

4 **完了 にタッチします。**
• 解除 にタッチすると、指定したインターチェンジを解除し元のインターチェンジに戻ります。
ルートが再探索され、案内が開始されます。

アドバイス

- 現在地側のインターチェンジは経由地1に、目的地側のインターチェンジは経由地5に自動的に設定されます。
- 変更対象のインターチェンジ(IC)に変更前のインターチェンジが含まれる場合、変更対象のインターチェンジがかわります。たとえば、乗り口ICを変更しようとしたときに、変更対象となるICの中に降り口ICが含まれる場合は、降り口ICを含め先のICは選ぶことができません。

経由地を設定する

目的地に向かう途中で経由したい地点を設定します。経由地は最大で5カ所設定できます。

設定した経由地の変更や順番を入れかえたり、削除することもできます(72ページ「経由地を変更する」参照)。

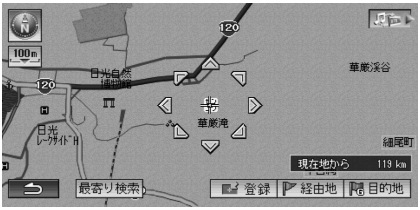
アドバイス

- 目的地の設定と同様にさまざまな条件を指定して経由地を検索することができます(49ページ「行き先を探す」参照)。その場合は、検索した場所の地図を表示させ、経由地 にタッチします。

1 経由地にしたい地点に十字カーソルを合わせます。

- 「行き先を探す」メニューで経由地を検索した場合は、完了 にタッチして周辺地図を表示します。

2 経由地 にタッチします。



経由地リストが表示されます。

3 未登録 にタッチするか、経由地を追加したい区間の 追加 にタッチします。

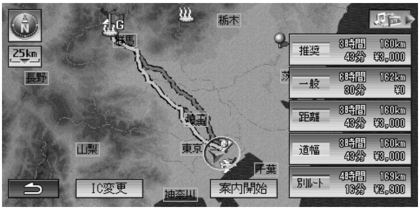
- 経由地が何も設定されていない場合、または5カ所すべて設定されている場合は、追加 はトーンダウンされ操作することができません。
- すでにセットされている経由地にタッチすると、新たに指定した経由地が上書きされます。

ルートが再探索され、案内が開始されます。

目的地案内を開始する

探索されたルートにしたがって案内走行を開始します。

1 ルート探索結果画面で 案内開始 にタッチします。



ナビゲーション案内が開始されます。

アドバイス

- 音声 にタッチすると、直近の案内を任意で聞くことができます。
- 目的地案内画面を2画面にして左右別々の縮尺や方向を表示させたり、ルートの行程ガイドを表示させることができます(39ページ「地図表示を切りかえる」参照)。
- ルート走行中の案内については、75ページ「目的地案内表示」を参照してください。

ルートから外れた場合

目的地案内中にルートから外れると、その位置から目的地までのルートが自動的に再探索されます。自動で再探索されないときは、ルート にタッチしたあと、リルート にタッチしてください。

ルートを変更する場合

目的地案内中に利用する道路を変更したり、経由地を追加したい場合などは、ルートを変更することができます。詳しくは、72ページ「案内中のルートを変更する」を参照してください。

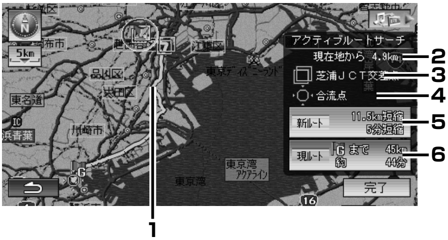
より最適なルートが見つかった場合(アクティブルートサーチ)

本機には、目的地までのルートを走行中に最新情報に基づいて最適なルートを探し出す機能「アクティブルートサーチ」があります。
最適ルートが見つかった場合は、音声案内とメッセージを表示してお知らせします。現在のルートか新ルートを選択することができます。
アクティブルートサーチは、以下の情報を基に行われます。

- VICS規制情報(通行止め、インターチェンジの閉鎖など)
- 時間曜日規制情報
- 迂回地点
- VICSビーコンユニット(別売)による時間短縮ルートの発見

■ 最適ルートが見つかると

アクティブルート画面が表示され、音声で案内されます。



1.ルート
新ルート にタッチしたときは、新ルートが緑色のラインで表示されます。
現ルート にタッチしたときは、現在のルートが青色のラインで表示されます。

2.現在地から分岐交差点までの距離

3.分岐交差点名

4.合流交差点名

5.新ルート情報
短縮(増加)距離と短縮時間

6.現在のルート情報
直近の案内地点(目的地、経由地、フェリー乗り場)までの距離と所要時間

1 新ルート または 現ルート にタッチし、完了 にタッチします。

ルートが変更または継続され、案内を開始します。

- 完了 にタッチしないまま約15秒間経過すると、選択しているルートに自動的に変更されます。

アドバイス

- ● 新ルートは現ルートに比べて距離が増加する場合があります。
- ● アクティブルート画面は、ノースアップ画面で表示されます。地図方位変更、地図縮尺変更、スクロールをすることができます。
- ● アクティブルートをキャンセルしたい場合は、⊃ にタッチするか、現ルート を選択してください。
- ● アクティブルート画面表示中に、新ルートを走行した場合は、自動的に新ルートへルートを変更します。また、新ルートまたは現ルート以外のルートを走行した場合は、アクティブルート画面を終了し、ルートを変更します。
- ● 現在地から次の分岐交差点までの距離が50kmを超える場合は、アクティブルート画面は表示されません。
- ● アクティブルートサーチ機能を有効にするかどうか、また、到着時刻が何分以上縮まる場合にルート変更するかなどを設定できます（141ページ「アクティブルートサーチ」参照）。
- ● 141ページ「アクティブルートサーチ」設定を「する」に設定しているときに、「別ルート」を選択した場合は、アクティブルートサーチ設定を「しない」にするかどうかのメッセージが表示されます。

案内中のルートを確認する

目的地案内中に、ルート全体や各区間について確認することができます。

アドバイス

- 走行中は安全のため、「ルート情報」表示、「ルートスクロール」、「別ルート選択」はできません。安全な場所に停車してから操作してください。

ルートをスクロールする

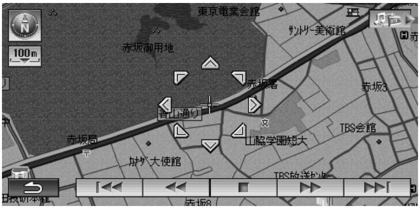
探索したルートに沿って地図を目的地までスクロールして確認します。

1 目的地案内画面で ルート にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

2 ルートスクロール にタッチします。

現在地から目的地に向けて自動的にスクロールが開始されます。



- ■ にタッチすると、スクロールが停止します。
- ◀◀ にタッチすると、現在地に向けてスクロールします。
- ▶▶ にタッチすると、目的地に向けてスクロールします。
- |◀◀ ▶▶| にタッチすると、前後の通過点まで一気にスキップされます。
- 方位や縮尺を変更することもできます（38ページ「方位を切りかえる」、37ページ「縮尺を切りかえる」参照）。

4 現在地 スイッチを押して現在地画面に戻します。

アドバイス

- 「通過点」とは、以下の地点を意味します。
  - 経由地（1～5）
  - 目的地
  - インターチェンジ（IC）
- 3Dマップへの切りかえはできません。
- ルートスクロール中に走行すると、ルートスクロールは中止されます。

全ルートを表示する

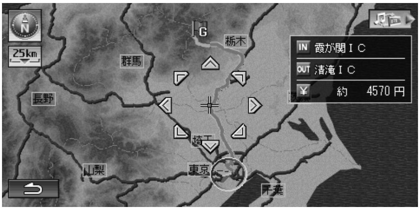
画面に全ルートを表示させせます。

1 目的地案内画面で ルート にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

2 全ルート表示 にタッチします。

現在地から目的地までのルートが表示され、乗り降りするインターチェンジと料金が表示されます。



- 全ルート表示では、スクロール、方位変更、縮尺変更が行えます。

3 現在地 スイッチを押して現在地画面に戻します。

アドバイス

- 3Dマップへの切りかえはできません。
- ルートの一部が画面に表示されない場合があります。

ルート情報(案内道路情報)を表示する

目的地までの全ルートを高速道路のインターチェンジや経由地などで分割し、区間の距離、高速道路などの料金またはインターチェンジの通過予想時刻を一覧で表示することができます。
ルート情報で確認できる情報は以下のとおりです。

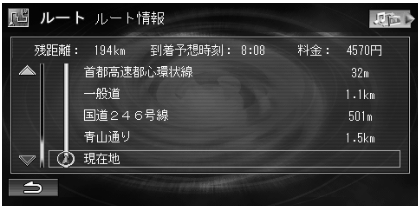
地点	マーク
目的地	G
経由地	1
フェリー乗り場	
料金所	¥
JCT	JCT
高速道路入口	IN
高速道路出口	OUT
現在地	
走行路線	―

アドバイス

- 料金は、道路によって表示されない場合があります。
- 料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 到着予想時刻は設定した平均車速(139ページ「到着予想表示」参照)やVICS旅行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより、誤差が生じることがあります。

1 **目的地案内画面で ルート にタッチします。**
ルートメニューが表示されます。

2 **ルート情報 にタッチします。**
区間ごとのルート情報が表示されます。



3 **▲ ▼ にタッチしてルート情報をスクロールします。**
- ▲ ▼ にタッチし続けると連続でスクロールします。

4 **現在地 スイッチを押して現在地画面に戻します。**

案内中のルートを変更する

目的地案内中に別のルートに変更したい場合は、以下のように操作してルートを再探索することができます。

別のルートを選択する

5つのルート候補をもう一度探索し、他のルートに切りかえます。

アドバイス

● 経由地がセットされている場合は、5ルートの再探索はできません。

1 目的地案内画面で ルート にタッチします。

2 5ルート にタッチします。
5つのルートが表示されます。各ルートについては、65ページ「ルートの探索結果画面」を参照してください。

3 お好みのルートにタッチします。

4 案内開始 にタッチします。
目的地案内が再開されます。

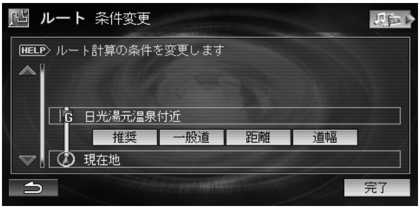
利用道路を変更する(条件変更)

利用する道路を指定してルートを変更できます。経由地を設定した場合は、経由地までの区間ごとに探索条件を変更することができます。

1 目的地案内画面で ルート にタッチします。
ルートメニューが表示されます。

2 条件変更 にタッチします。
区間ごとに使用する道路が表示されます。

3 変更したい区間の 推奨 一般道 距離 道幅 のいずれかにタッチします。



• すでに通過した区間は表示されません。

4 完了 にタッチします。
ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

アドバイス

● 走行中は安全のため、条件変更画面をスクロールできません。

経由地を変更する

経由地を追加・変更・消去または順番を入れかえることができます。

経由地を追加する

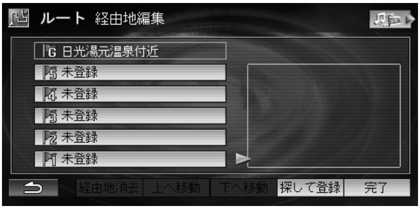
経由地は最大5カ所まで設定できます。5カ所未満の場合は、経由地を追加することができます。

1 目的地案内画面で ルート にタッチします。
ルートメニューが表示されます。

2 経由地編集 にタッチします。

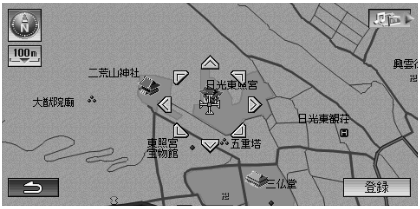
経由地編集画面が表示されます。

3 追加したい経由地番号の 未登録 にタッチし、探して登録 にタッチします。



4 経由地を検索します。
• 検索方法については、49ページ「行き先を探す」を参照してください。

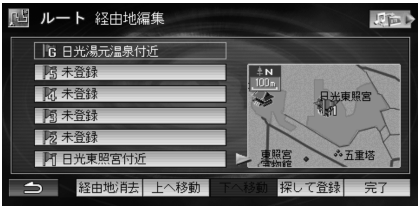
5 登録 にタッチします。



経由地が設定されます。

- 続けて経由地を追加する場合は、手順3〜5を繰り返します。

6 完了 にタッチします。



ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

アドバイス

- 走行中は安全のため、経由地を追加することはできません。

経由地を変更する

設定した経由地を変更することができます。

1 目的地案内画面で ルート にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

2 経由地編集 にタッチします。

経由地編集画面が表示されます。

3 変更したい経由地にタッチし、探して登録 にタッチします。

4 経由地を検索します。

- 検索方法については、49ページ「行き先を探す」を参照してください。

5 登録 にタッチします。

経由地を変更するメッセージが表示されます。

6 はい にタッチします。

経由地が変更されます。

- 続けて経由地を変更する場合は、手順3〜6を繰り返します。

7 完了 にタッチします。

ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

アドバイス

- 走行中は安全のため、経由地を変更することはできません。

経由地の順番を入れかえる

1 目的地案内画面で ルート にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

2 経由地編集 にタッチします。

3 入れかえる経由地にタッチします。

- 通過済みの経由地には、「通過」と表示されます。

4 上へ移動 または 下へ移動 にタッチします。

タッチするたびに経由地の順番が入れかわります。

- 続けて経由地の順番を入れかえるには、手順3〜4を繰り返します。

5 完了 にタッチします。

ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

アドバイス

- 走行中に経由地の順番を入れかえると、自動的にルートの再探索が行われます。

経由地を消去する

1 目的地案内画面で ルート にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

2 経由地編集 にタッチします。

3 消去したい経由地にタッチし、経由地消去 にタッチします。

経由地が消去されます。

- 続けて経由地を消去するには、手順3を繰り返します。

4 完了 にタッチします。

ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

アドバイス

- 走行中に経由地を消去すると、自動的にルートの再探索が行われます。

迂回する

自車位置から一定の距離を迂回するルートを探索します。前方の道路が工事などで通行できないときなどに利用します。

アドバイス

- 迂回地点をあらかじめ登録しておくこともできます（90ページ「迂回地点を登録する」参照）。
- 迂回する距離を設定できます。（140ページ「迂回距離」参照）
- 案内中のルートから外れている場合は、迂回ルートは探索できません。
- 141ページ「アクティブルートサーチ」設定を「する」に設定しているときに、「周辺迂回」を選択するとアクティブルートサーチ設定を「しない」に設定するかどうかを確認するメッセージが表示されます。はい にタッチすると、アクティブルートサーチ設定を「しない」に変更し、迂回ルートを探索します。再度アクティブルートサーチを有効にする場合は、アクティブルートサーチ設定を「する」に変更してください。
  また、いいえ にタッチするとアクティブルートサーチが有効のまま迂回ルートを探索しますが、ルート走行中にアクティブルートサーチが働くと推奨ルートに変更されます。
- 周辺の道路によっては、迂回できない場合があります。

1 目的地案内画面で ルート にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

2 周辺迂回 にタッチします。

ルートが再探索され、目的地案内が再開されます。

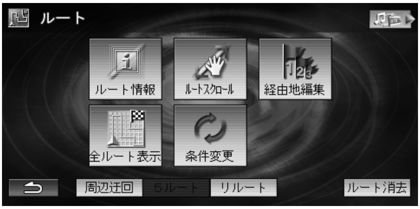
ルートを消去する

現在のルート、目的地、経由地を消去します。

1 目的地案内画面で ルート にタッチします。

ルートメニューが表示されます。

2 ルート消去 にタッチします。



ルートの消去を確認するメッセージが表示されます。

3 はい にタッチします。

ルート、目的地、経由地が消去され現在地画面に戻ります。

アドバイス

- 目的地に近づくと「到着した」と判断して、ルート案内を終了します。
  近づき加減が不足しているときなどは「到着した」と判断できず、いつまでも目的地への案内を繰り返します。そのようなときは、ルートを消去してください。

目的地案内表示

目的地までのルート走行中に、さまざまな表示や音声によって案内をします。

交差点・高速分岐案内

目的地案内中に案内ポイントが表示されている交差点が近づくと、交差点案内が行われます。

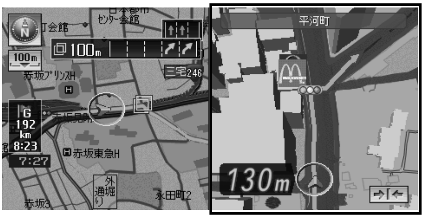
1. **距離メーター**
   交差点までの距離が表示されます。(交差点に近づくとともに距離メーターが下がります。)
2. **レーン(車線)表示**
   通過・分岐する交差点の車線が表示されます。
3. **交差点名称表示**
   通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

アドバイス

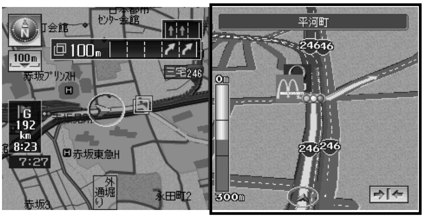
- 交差点・高速分岐案内を行うかどうかを設定できます。(139ページ「詳細案内図表示」参照)。
  以下の項目が設定できます。
  - 3Dイラスト拡大図
  - 3Dリアル交差点拡大図
  - 高速入口案内図
  - 高速分岐案内
  - ETCレーン表示
- スコープガイド拡大図を表示するかどうかを設定できます(143ページ「スコープガイド表示」参照)。
- 地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示はされません。
- 交差点名称表示・車線表示が実際の交差点と異なることがあります。
- 目的地案内開始直後は、交差点案内が行われないことがあります。
- 交差点案内は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図案内画面が表示されます。
- 交差点拡大図案内画面が表示されているとき、交差点名称表示・車線表示は分岐する交差点のものが表示されます。
- 交差点拡大図画面を解除するには、 →|← にタッチします。解除した交差点拡大図画面を表示するには 音声 にタッチします。

スコープガイド拡大図

143ページ「スコープガイド表示」設定を「する」にしている場合に交差点が近づくと、交差点周辺の市街地図が拡大表示されます。交差点までの距離が約100mになると、さらに拡大表示されます。



「スコープガイド表示」設定を「しない」にしている場合は、以下の交差点拡大図が表示されます。

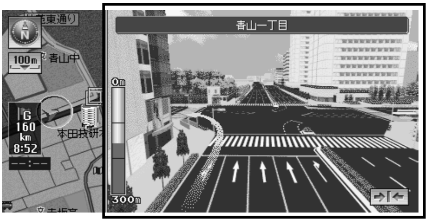


3Dイラスト拡大図(詳細案内図)

3Dイラスト情報のある交差点が近づくと、デフォルメしたイラストで拡大図が表示されます。

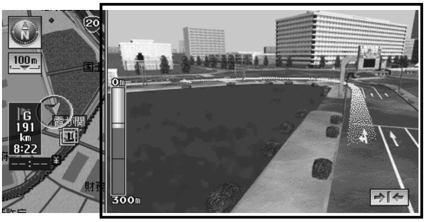
3Dリアル交差点拡大図(詳細案内図)

3Dリアル交差点情報のある交差点が近づくと、よりリアルな拡大図が表示されます。



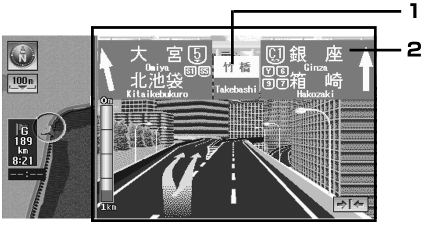
高速入口案内図(詳細案内図)

情報のある都市高速のインターチェンジ(IC)入口が近づくと、入口の案内図が表示されます。



高速分岐案内(詳細案内図)

有料道路や高速道路を走行しているとき、情報がある分岐点(JCT)が近づく(約1000m以内)と、高速分岐案内画面が表示されます。



1.分岐点名称

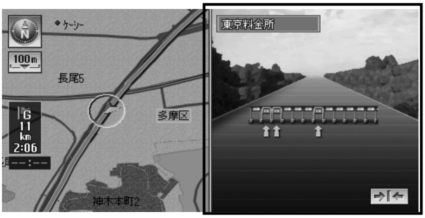
ジャンクション(JCT)の名称が表示されます。

2.方面名称

レーンごとの方面名称が表示されます。

ETCレーン表示(詳細案内図)

ETCレーン情報のある料金所が近づくと、ETCレーン案内図が表示されます。

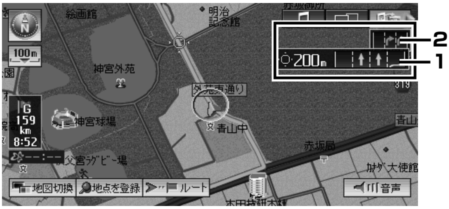


アドバイス

- ETC車載器(別売)を装着してありETCカードが挿入されている場合は、ETCレーンに矢印が表示されます。
- ETCレーンは、実際のレーンと異なる場合があります。

レーン(車線)情報表示

レーン情報のある分岐交差点の手前(約10km以内)では、走行する交差点までの距離、およびレーン図が2つまで表示されます。



1.1つめ(手前)のレーン情報

直進の交差点では「·Ọ·」が、右左折する交差点では「□」が表示されます。

2.2つめのレーン情報

アドバイス

- レーン情報のない交差点では、交差点での進行方向(直進を除く)が矢印で表示されます。
- マルチ画面では、レーン情報は表示されません。
- レーン情報を表示するかどうかを設定できます(142ページ「レーン情報表示」参照)。

方面看板の表示

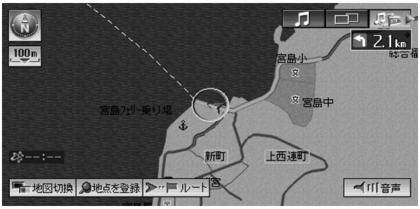
方面看板情報のある交差点の手前(約500m手前)では、方面看板が表示されます。

アドバイス

- 方面看板表示には、自車マークは表示されません。
- マルチ画面、行程ガイド画面では、方面看板は表示されません。
- 方面名称を表示するかどうかを設定できます(142ページ「方面看板表示」参照)。

フェリー航路の案内

フェリーの航路は－ － －(破線)で表示され、フェリーターミナルまで音声案内が行われます。フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。



アドバイス

- ルート探索でフェリーを使用するかどうかを設定できます(142ページ「フェリー使用」参照)。

到着情報の表示

目的地案内中は通過点(目的地、経由地、フェリー乗り場)の到着予想時刻と残距離が表示されます。

■ 全画面

1
2
3

1. 案内地点マーク
2. 残距離
3. 到着予想時刻表示

到着情報

- 到着情報にタッチするたびに、次の案内地点までの情報に切りかわります。

■ マルチ画面

1
2

1. 現在走行路線
2. 現在地住所

現在地情報

約10秒経過または
到着情報にタッチ

1
2
3

1. 案内地点マーク
2. 残距離
3. 到着予想時刻表示

到着情報

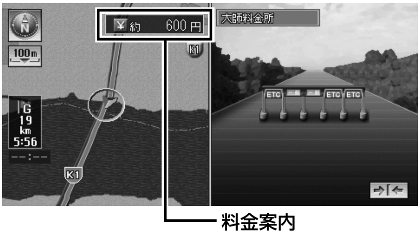
- マルチ画面では、全画面で表示していた案内地点(目的地、経由地、フェリー乗り場)の情報が表示されます。

アドバイス

- 到着予想時刻は設定した平均車速(139ページ「到着予想表示」参照)やVICS旅行時間を考慮して計算していますが、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ルートから外れると、全画面では到着情報が消えます。マルチ画面では地点名称・路線番号表示のみが表示されます。
- 到着予想時刻を表示するかどうかを設定できます(139ページ「到着予想表示」参照)
- 到着予想時刻表示は12時間表記です。

料金案内

目的地案内中は、有料道路や高速道路の料金所の手前で、地図右上に料金が表示され、音声で案内されます。



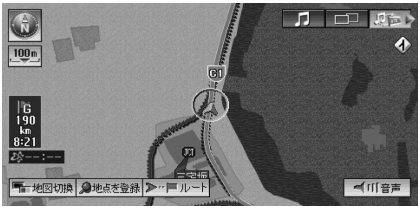
アドバイス

- 料金は設定した車両情報から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります(141ページ「車種設定」参照)。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは料金案内は行いません。
- 地図データに情報のない料金所では、料金案内は表示されません。
- 料金が前納の出口料金所またはETC車載器(別売)を装着している場合、料金案内は表示されません。
- ETC車載器を接続している場合の料金案内表示については、160ページ「ETCの料金表示について」を参照してください。

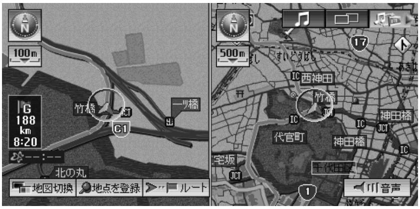
都市高速マップ

都市高速道路を走行すると、自動的に都市高速マップを表示させることができます。

■ 1画面表示



■ 2画面表示



アドバイス

- 50m〜2kmスケール図の地図で表示させることができます。
- 都市高速マップが表示されるのは、都市高速のみです。(地図データに情報がある道路のみ。)
- サービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)に入るなど、都市高速道路の本線から外れたときは、都市高速マップが解除される場合があります。
- 都市高速マップを表示するかどうかを設定できます(137ページ「都市高速強調表示」参照)
- 地図をスクロールすると都市高速マップは解除されます。再び現在地画面に戻ると都市高速マップ表示に戻ります。

音声案内

目的地案内中は、交差点、分岐点、通過点、インターチェンジ(IC)の入口/出口、ジャンクション、到着案内などが自動的に音声案内されます。音声案内はPCM音声(肉声)で案内します。

アドバイス

- 「音声案内例」は一般的なものであり、道路の接続状況などにより異なった音声案内が行われることがあります。音声案内はあくまでも参考としてください。
- 案内音声の音量を調整することができます(45ページ「案内音量を調整する」参照)。
- 自車位置と案内地点までの距離が近いときは、音声案内が行われなかったり、遅れたり、誤った音声案内が行われることがあります。

音声案内の確認

音声案内を聞きのがしてしまったときなどに、任意のタイミングで直近の情報を音声で確認することができます。

1 音声 にタッチします。

アドバイス

● 案内音量をOFFにしているときは、音声 はトーンダウンされ操作することができません。
● たとえば「およそ700m先左方向です。」の音声案内のあと、しばらく走行してから 音声 にタッチすると、「およそ600m先左方向です。」というように案内内容が状況に合わせて変化します。目的地案内中の音声案内の例

■ 一般道音声機能

交差点などで交差点名や残りの距離、方向を案内します。また、登録地点が近づいたことも音声案内します。

音声案内例
- およそ700m先、○○を右折です。
- まもなく、○○です。
- まもなく、右折です。

アドバイス

● 登録地点に接近音を設定する方法については、88ページ「接近音を変更する」を参照してください。。

■ 踏み切り、合流の音声案内

ルート案内中、踏み切り地点を事前に音声とアイコンで案内します。
また、高速道路をルート走行中に合流点がある場合、音声とアイコンにて合流を知らせます。

音声案内例
- この先、踏み切りがあります。
- この先、右からの合流があります。

アドバイス

● それぞれの地点で案内するかどうかを設定できます（140ページ「踏み切り案内」、140ページ「合流案内」参照）。

■事故多発地点音声案内

一般道または高速道路をルート走行中、事故多発地点を事前に音声とアイコンで案内します。

音声案内例
- この先、事故多発交差点です。ご注意ください。（一般道）
- この先、事故多発地点です。ご注意ください。（高速道路）
- この先、事故多発区間です。ご注意ください。（一般道、高速道路）

アドバイス

● 事故多発地点案内をするかどうかを設定できます（140ページ「事故多発地点案内」参照）。
●「事故多発地点」と「踏み切り、合流地点」が同じ場合は、踏み切り、合流地点音声案内が優先されます。

■ 高速分岐音声案内

高速道路をルート走行中は、分岐点で拡大表示を行い、音声で進行方向を案内します。

音声案内例
- およそ○○km先、○○方向、○○方面です。

■ 高速料金音声案内

ルート走行中に高速道路料金所手前で高速道路の料金を案内します。

音声案内例
- この先料金所です。料金はおよそ○○です。

目的地、経由地、フェリー乗り場に到着したときの音声案内の例

音声案内例
- 目的地周辺です。
- 経由地周辺です。
- フェリー乗り場周辺です。

地点の登録

ナビゲーション編

特別地点(自宅／よく行く地点)を登録する 82
地点を登録する 84
特別地点／登録地点情報を確認・変更する 85
特別地点リスト画面を表示する 85
登録地点リスト画面を表示する 85
地点情報を確認する 86
地点情報を変更する 87
特別地点／登録地点の位置を変更する 89
特別地点／登録地点を消去する 89
迂回地点を登録する 90
迂回地点／カメラ表示地点情報を確認・変更する 91
地点リスト画面を表示する 91
地点情報を確認する 91
地点情報を変更する 91
地点の位置を変更する 92
地点を消去する 92

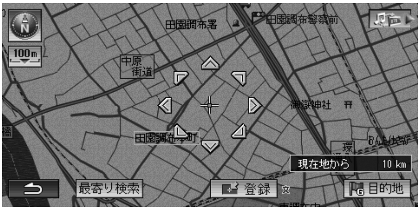
特別地点(自宅/よく行く地点)を登録する

自宅を1カ所、よく行く地点を3カ所まで特別地点に登録することができます。
自宅またはよく行く地点を登録しておくと、目的地設定時に1回の操作でルート探索を開始させることができます(64ページ「自宅へ帰る」「よく行く地点を設定する」参照)。

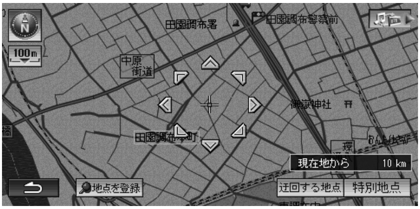
1 登録したい地点に十字カーソルを合わせます。

- 地図のスクロールについては、36ページ「地図をスクロールする」を参照してください。
- 住所や電話番号などから地図を検索する方法については、49ページ「行き先を探す」を参照してください。

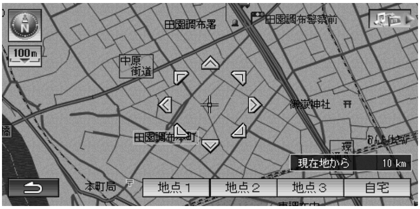
2 登録 にタッチします。



3 特別地点 にタッチします。



4 自宅 地点1 地点2 地点3 のいずれかにタッチします。



- 自宅を登録するときは 自宅 にタッチします。
- よく行く地点を登録するときは 地点1 地点2 地点3 のいずれかにタッチします。

地点情報画面が表示されます。

- 登録した地点の情報が自動的に表示されます。

5 表示された情報を確認し、必要に応じて変更します。

- 地点情報を変更する場合は、87ページ「地点情報を変更する」を参照してください。

6 現在地 スイッチを押して現在地画面に戻します。

登録したマークが地図に表示されます。

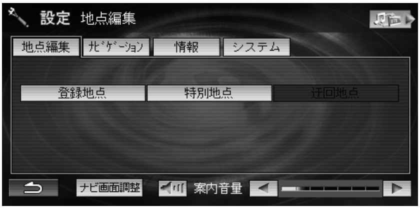
アドバイス

- すでに自宅または地点1～3に登録されている場合、同じタッチスイッチに登録しようとすると、上書きを確認する画面が表示されます。
- 自宅を登録する場合は、車を自宅または自宅周辺の安全な場所に停車させ、現在地画面で自車位置マーク周辺にタッチすると、簡単に自宅地点に十字カーソルを合わせることができます。
- 自宅または地点1～3に同じ地点を登録すると、それぞれに登録します。

メニューから自宅／よく行く地点を登録する

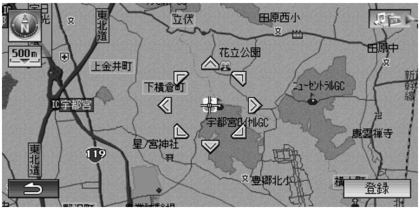
1 (⏻/MENU)スイッチを押したあと、 設定を変える にタッチします。

2 地点編集 にタッチし、 特別地点 にタッチします。



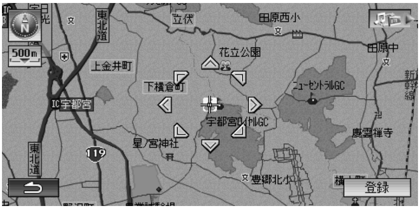
3 自宅 地点1 地点2 地点3 のいずれかにタッチし、 探して登録 にタッチします。

4 登録する地点を検索します。



- 検索する方法については、49ページ「行き先を探す」を参照してください。

5 登録 にタッチします。



6 (現在地)スイッチを押して現在地画面に戻します。

登録したマークが地図に表示されます。

アドバイス

● すでに自宅または地点1～3に登録されている場合、同じタッチスイッチに登録しようとすると、上書きを確認する画面が表示されます。

地点を登録する

よく利用する地点などを最大で200カ所登録することができます。
地点を登録しておくと、以下の利点があります。

- 地図にマークが表示されます。
- 近づいたときに音声案内を流すことができます。
- 目的地や経由地を設定するときに、登録されている地点のリストから探し出すことができます(62ページ「登録地点から探す」参照)。

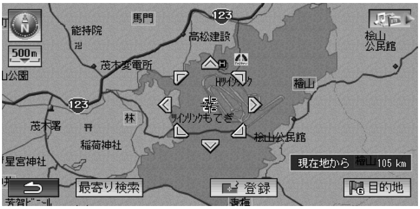
アドバイス

- 200カ所を超えて登録するときは、先に不要な地点を消去してください。
- 地点を登録すると、地点の名称のほか、地図にデータが存在する場合は電話番号や住所も自動的に登録されます。
- 「読み」に記号が混在して表示される場合がありますが、これはマーク読み出し時にアクセントをつけるための記号です。
- 同じ地点を登録すると、上書きされずに新しく登録されます。

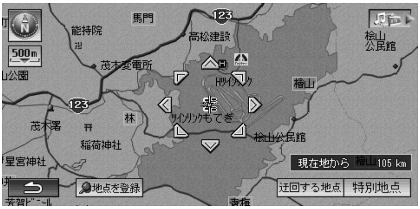
1 登録したい地点に十字カーソルを合わせます。

- 地図のスクロールについては、36ページ「地図をスクロールする」を参照してください。
- 施設や住所などから地図を検索する方法については、49ページ「行き先を探す」を参照してください。

2 登録 にタッチします。



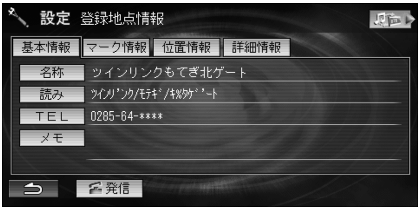
3 地点を登録 にタッチします。



地点情報画面が表示されます。

- 登録した地点の情報が自動的に表示されます。

4 表示された情報を確認し、必要に応じて変更します。



- 地点情報を変更する場合は、87ページ「地点情報を変更する」を参照してください。

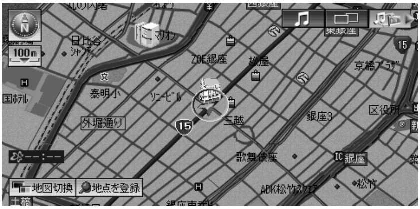
5 現在地 スイッチを押して現在地画面に戻します。

登録したマークが地図に表示されます。

走行中に地点を登録する

走行中に気になった施設や場所があった場合などに、現在地周辺の地点を登録することができます。

1 現在地画面で 地点を登録 にタッチします。



地点を登録したメッセージを表示します。

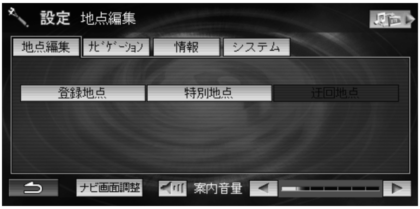
特別地点／登録地点情報を確認・変更する

特別地点(自宅、よく行く地点)や登録地点の情報を確認したり、変更・消去することができます。

特別地点リスト画面を表示する

1 ⏻/MENU スイッチを押したあと、設定を変える にタッチします。

2 地点編集 にタッチし、特別地点 にタッチします。



特別地点リスト画面が表示されます。

- リスト画面から、特別地点の登録(83ページ)、地点情報の確認(86ページ)、特別地点の消去(89ページ)の操作が行えます。

登録地点リスト画面を表示する

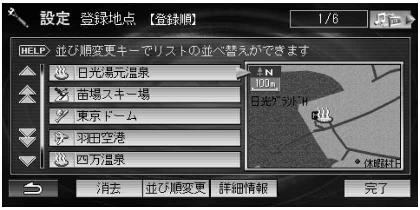
アドバイス

● 登録地点が設定されていない場合は、リストを表示することができません。

1 ⏻/MENU スイッチを押したあと、設定を変える にタッチします。

2 地点編集 にタッチし、登録地点 にタッチします。

登録地点リスト画面が表示されます。



- 並び順変更 にタッチするたびに登録地点リストを並べかえられます。現在選択している並び順は、画面上部のタイトル部分に表示されます。
  登録順 → マーク順 → 距離順 → 登録順 …
  登録順　:新しく登録した順。
  マーク順　:マークの種類ごと。
  距離順　:現在位置より近い順。
- いずれかの地点にタッチすると画面右側に地図が表示されます。さらに、完了 または地図画面にタッチすると、周辺地図画面が表示されます。
- リスト画面から、地点情報の確認(86ページ)、登録地点の消去(89ページ参照)の操作が行えます。

地点情報を確認する

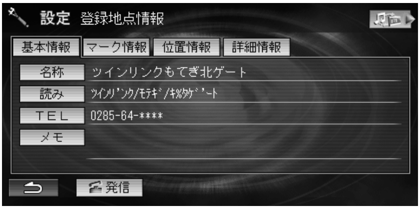
名称や電話番号など、地点に関する詳しい情報を表示します。

1 **特別地点リスト画面または登録地点リスト画面で詳細を確認したい地点にタッチし、詳細情報にタッチします。**

2 **基本情報 マーク情報 位置情報 詳細情報 のいずれかにタッチします。**

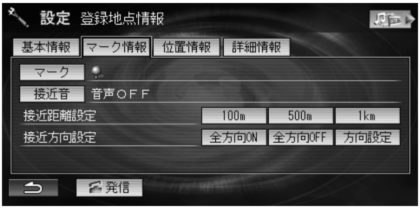
登録内容が表示されます。
各地点情報画面に登録される内容は以下のとおりです。

■ 基本情報



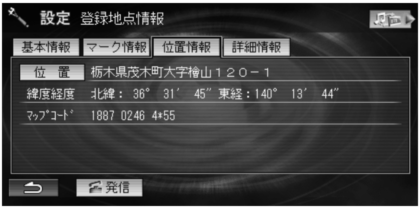
- **名称**
  名称が表示されます。
- **読み**
  読み情報がある場合は、名称の読みが表示されます。
- **TEL**
  電話番号情報がある場合は、電話番号が表示されます。
- **メモ**
  メモが登録されている場合は、コメントなどが表示されます。

■ マーク情報



- **マーク**
  地図に表示させるマークが表示されます。
- **接近音**
  接近したときに鳴らす音が表示されます。
- **接近距離設定**
  接近音を鳴らすときの接近距離を設定できます。
- **接近方向設定**
  接近音を鳴らすときの接近する方向を設定できます。

■ 位置情報



- **位置**
  住所情報がある場合は、地点の住所が表示されます。
- **緯度経度**
  緯度と経度が表示されます。
- **マップコード**
  マップコードが表示されます。

■ 詳細情報

現在地からの距離や画像、URLなどが登録されている場合は、その情報が表示されます。画像 にタッチすると画像が表示されます。

アドバイス

● 携帯電話を接続している場合は、発信 にタッチすると、登録されている電話番号に電話をかけることができます。

地点情報を変更する

登録されている地点情報を変更します。

地点名称を変更する

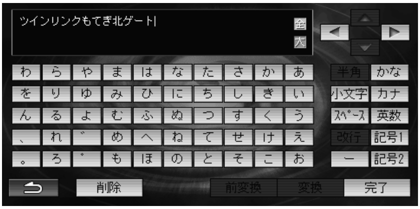
画面に表示される地点の名称を変更します。

アドバイス

● 詳細情報は変更できません。

1 地点情報画面で 基本情報 にタッチし、名称 にタッチします。

2 名称を入力します。



- 入力できる名称は、最大で全角／半角25文字です。

3 完了 にタッチします。

地点の読みを変更する

名称の読みを変更します。

1 地点情報画面で 基本情報 にタッチし、読み にタッチします。

2 読みを入力します。

- 入力できる読みは、最大で半角カタカナ25文字です。

3 完了 にタッチします。

電話番号を変更する

電話番号を変更します。

1 地点情報画面で 基本情報 にタッチし、TEL にタッチします。

2 電話番号を入力します。

- 市外局番から入力します。
- 携帯電話番号（11桁）にも対応しています。
- 個人宅の電話番号にも対応しています。

3 完了 にタッチします。

メモを入力する

コメントなどを入力します。

1 地点情報画面で 基本情報 にタッチし、メモ にタッチします。

2 メモの内容を入力します。

- 入力できるメモは、最大で全角／半角50文字です。

3 完了 にタッチします。

マークを変更する

地図に表示させるマークの種類を変更します。あらかじめ用意されているマークの中から好きなマークを選択できます。

1 地点情報画面で マーク情報 にタッチし、マーク にタッチします。

2 登録したいマークにタッチします。

マークが変更され、地点情報画面に戻ります。

アドバイス

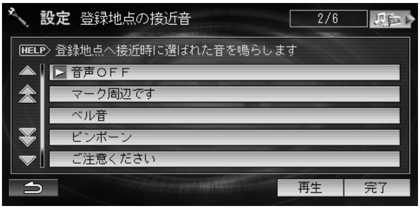
● 自宅、よく行く地点、登録地点では、表示されるマークは異なります。

接近音を変更する

地点が近づいたときに流す音や音声を変更します。あらかじめ用意されているものの中から選択できます（初期設定値は「音声OFF」）。

1 地点情報画面で マーク情報 にタッチし、接近音 にタッチします。

2 登録したい音や音声にタッチします。



- タッチすると、音や音声が再生されます。
- 再生 にタッチすると選択した音や音声が再生されます。

3 完了 にタッチします。

アドバイス

● 案内音量が最小（OFF）の場合は、接近音は鳴りません。

接近音を鳴らす範囲を設定する

地点に近づいたときに接近音を鳴らす距離と方向を設定できます（初期設定値は「500m」）。

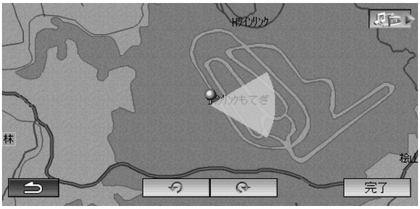
1 地点情報画面で マーク情報 にタッチします。

2 「接近距離設定」の 100m 500m 1km のいずれかにタッチします。

3 「接近方向設定」の 全方向ON 全方向OFF 方向設定 のいずれかにタッチします。

- 方向設定 にタッチした場合は、ノースアップの地図画面に方向を示す範囲が表示されます。
- 全方向ON にタッチするとすべての方向に設定され、全方向OFF にタッチするとすべての方向で接近音は鳴りません。
- 全方向ON または 全方向OFF にタッチした場合は、以降の操作は必要ありません。

4 方向を指定します。

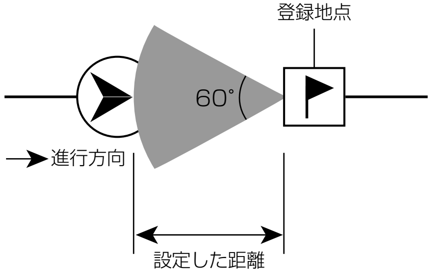


- （左回転）にタッチすると5°左に回転し、（右回転）にタッチすると5°右に回転します。

5 完了 にタッチします。

アドバイス

- 方向を指定したときは、指定した方向に向かって60°の範囲が対象となります。



例えば、指定した方向に60°の範囲から登録地点に接近したときは接近音が鳴りますが、それ以外の方向から接近したときは接近音が鳴りません。

- 接近音が鳴った登録地点から約1km以上離れないと、再度接近しても接近音は鳴りません。

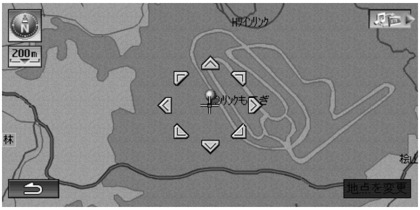
特別地点／登録地点の位置を変更する

登録地点の位置を変更することができます。

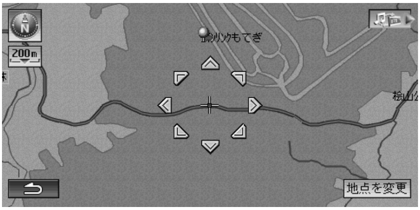
1 **地点情報画面で 位置情報 にタッチし、位置 にタッチします。**

登録地点周辺の地図が表示されます。

2 **変更したい地点に十字カーソルを合わせます。**



3 **地点を変更 にタッチします。**

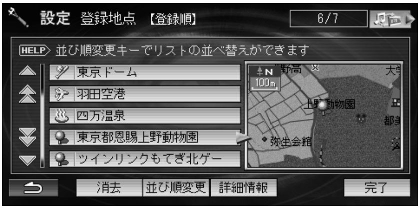


住所などの内容が変更されます。

特別地点／登録地点を消去する

登録地点を1件またはすべて消去します。

1 **特別地点リストまたは登録地点リスト画面で消去したい地点にタッチし、消去 にタッチします。**



- すべての地点を消去するには、消去 にタッチし続けます。

消去を確認するメッセージが表示されます。

2 **はい にタッチします。**

地点が消去されます。

迂回地点を登録する

迂回地点は、地図に最大5カ所まで登録することができます。迂回地点を登録しておくと、ルートを探索するときに、登録したエリアを迂回させることができます。工事や事故による通行止め･渋滞地点があらかじめわかっているときなどに便利です。

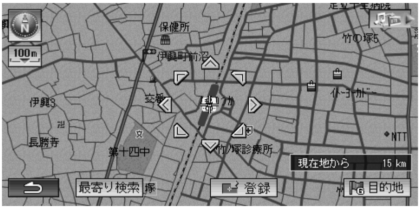
アドバイス

- 5カ所を超えて登録するときは、先に不要な迂回地点を消去してください。
- 登録した迂回地点には、付近の名称や住所などが自動的に登録されます。
- 同じ地点を登録すると、上書きされずに新しく登録されます。

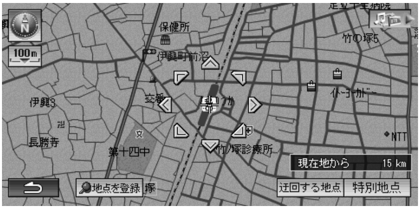
1 **登録したい迂回地点に十字カーソルを合わせます。**

- 地図のスクロールについては、36ページ「地図をスクロールする」を参照してください。
- 施設や住所などから地図を検索する方法については、49ページ「行き先を探す」を参照してください。

2 **登録 にタッチします。**



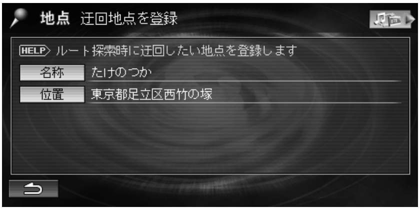
3 **迂回する地点 にタッチします。**



迂回地点情報画面が表示されます。

- 登録した迂回地点の情報が自動的に表示されます。

4 **表示された情報を確認し、必要に応じて変更します。**

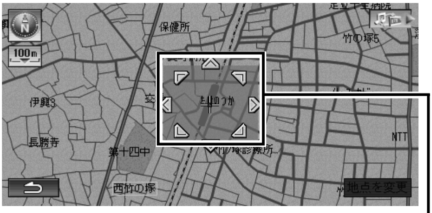


- 迂回地点情報を変更する場合は、91ページ「地点情報を変更する」を参照してください。

5 **現在地 スイッチを押して現在地画面に戻します。**

アドバイス

- 迂回地点を登録すると、迂回地点を中心とした300m四方のエリアが設定されます。このエリアを迂回することができます。



迂回エリア

- 目的地を遠くに設定しているときは、対象にならない場合があります。

迂回地点／カメラ表示地点情報を確認・変更する

登録されている迂回地点またはフロント(コーナー)カメラ表示地点情報を確認したり、変更・消去することができます。

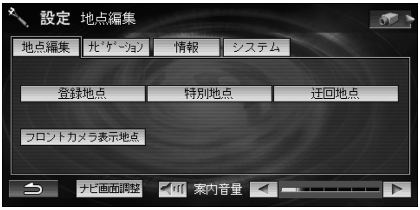
地点リスト画面を表示する

アドバイス

- 地点が登録されていない場合は、リストを表示することができません。
- カメラ表示地点を登録するには、169ページ「フロント(コーナー)カメラ表示地点を登録する」を参照してください。
- フロント(コーナー)カメラ表示地点 スイッチは、別売のフロントカメラまたはコーナーカメラを接続していない場合は表示されません。

1 **⏻/MENU スイッチを押したあと、設定を変える にタッチします。**

2 **地点編集 にタッチし、迂回地点 または フロント(コーナー)カメラ表示地点 にタッチします。**



地点リスト画面が表示されます。

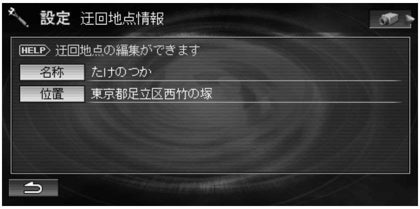
- いずれかの地点にタッチすると画面右側に地図が表示されます。
- リスト画面から、地点情報の確認(91ページ参照)、地点の消去(92ページ参照)などの操作が行えます。

地点情報を確認する

地点の名称や位置情報を表示します。

1 **地点リスト画面で詳細を確認したい地点にタッチし、詳細情報 にタッチします。**

地点情報画面が表示されます。



- **名称**
  名称が表示されます。
- **位置**
  住所情報がある場合は、地点の住所が表示されます。

地点情報を変更する

登録されている地点情報を変更します。

地点名称を変更する

画面に表示される地点の名称を変更します。

1 **地点情報画面で 名称 にタッチします。**

2 **名称を入力します。**

- 入力できる名称は、最大で全角／半角25文字です。

3 **完了 にタッチします。**

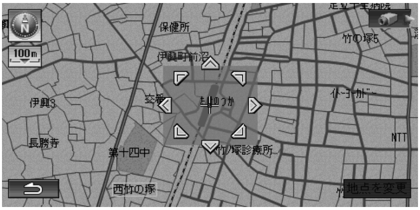
地点の位置を変更する

地点の位置を変更することができます。

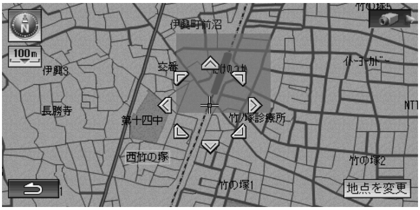
1 地点情報画面で 位置 にタッチします。

地点周辺の地図が表示されます。

2 変更したい地点に十字カーソルを合わせます。



3 地点を変更 にタッチします。



住所の内容が変更されます。

アドバイス

● カメラ表示地点の場合は、地図画面に迂回エリアは表示されません。

地点を消去する

地点を1件またはすべて消去します。

1 地点リスト画面で消去したい地点にタッチし、消去 にタッチします。

- すべての地点を消去するには、消去 にタッチし続けます。

消去を確認するメッセージが表示されます。

2 はい にタッチします。

地点が消去されます。

VICS情報を見る

ナビゲーション編

VICSってこんなこと **94**
- 提供される情報 95
- 情報を提供する媒体 95

利用できる情報 **96**
- VICS情報の画面 96
- FM多重／ビーコン情報について 96

VICS情報画面の呼び出しかた **100**

VICS情報画面の操作 **101**

FM多重放送を見る **102**
- 自動で選局する 102
- マニュアルで選局する 102

VICS情報を見る **103**

割込み情報を見る **104**
- 割込み情報を呼び出す 104

駐車場情報を見る **105**
- 駐車場リスト画面の表示 105
- 駐車場の詳しい情報を見る 105
- 駐車場の地図を見る 106
- SA（サービスエリア）・PA（パーキングエリア）情報を見る 106

VICSに関する補足事項 **107**

VICSってこんなこと

■「VICS(ビークル インフォメーション アンド コミュニケーションシステム)」とは

「楽しいドライブなのに突然渋滞。なんでこんなに混んでいるの？ 空から見下ろしてみたい！」
この要求に答えたのが「VICS」です。「VICS」は、渋滞情報や駐車場の空き情報などのさまざまな交通情報をリアルタイムに提供します。
この情報を利用すれば渋滞を減らすことができ、交通の流れが分散されます。
さらにイライラによる精神的なストレス／経済的なロス／排気ガスの削減なども期待できるのです。

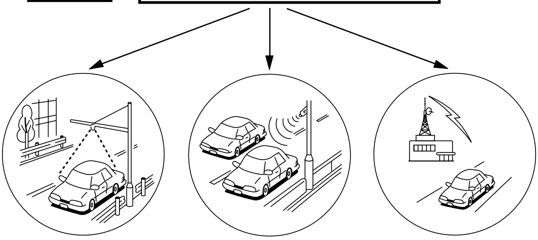
●VICS交通情報システム●

渋滞・事故情報・高速道路情報

情報収集　公安委員会・道路管理者

情報処理　日本道路交通情報センター

情報提供　VICSセンター



光ビーコン（狭域情報）　電波ビーコン（高速道路情報）　FM多重放送（広域情報）

「VICS」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

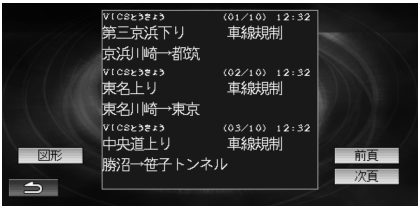
- VICSによる渋滞・混雑などの情報を地図上に表示するためあらかじめ「地図」に情報提供用の道路単位（VICSリンク）を設定しています。道路形状や交通情報収集施設の変化にともない、より正確な情報提供表示を行うために毎年情報提供単位が追加・変更されます。
  このためにVICSによる地図情報表示は「本製品」発売後概ね3年程度で一部のエリアでVICSの地図情報が表示されなくなる場合があります。より正確な情報を表示するためには最新の「地図」をご使用ください。（本製品の道路単位は2004年11月版です）
- VICSに関する最新情報はインターネット（http://www.vics.or.jp）でも確認できます。

提供される情報

レベル1～レベル3の3段階が用意されています。

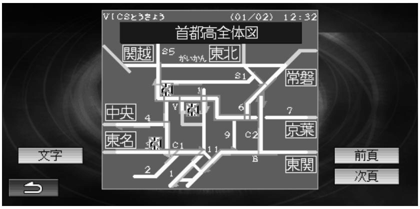
■ レベル1（文字表示型）FM文字多重放送

モニターに3ページ分の文字を表示
走行中は1ページ（2行30文字程度）の文字を表示します。



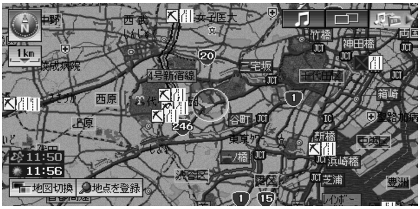
■ レベル2（簡易図形表示型）VICS図形情報

モニターに簡単な道路図形を表示



■ レベル3（地図表示型）

モニター上の地図画面に交通情報を重ね書き表示
レベル3（地図表示型）は、常に最新の情報を地図上に表示します。最新の情報を受信すると、渋滞情報などの表示が更新されます。



情報を提供する媒体

次の3種類があります。

■ FM多重放送（広域ゾーン型）

見えるラジオのようにFM波のすき間にVICS情報を盛り込みます。FM局を受信していれば利用できるので広い範囲の情報をリアルタイムに提供します。

■ ビーコン（間欠極小ゾーン型）

ビーコンには、主に次の2種類があります。ともにビーコンが設置された周辺の情報を提供します。

・電波ビーコン
高速道路に設置されています。

・光ビーコン
一般道路に設置されています。

アドバイス

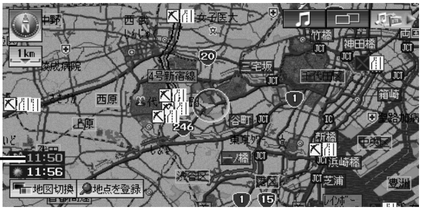
- 本機には、レベル1～レベル3のVICS情報が利用できるプログラムが入っています。
- ビーコン情報を見るには、別売のビーコンユニットが必要です。
- VICSリンクデータの著作権は（財）デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会にあります。

VICS®マークはVICSの登録商標です。

利用できる情報

VICS情報の画面

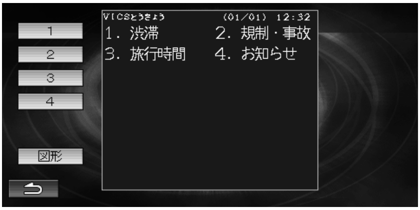
■ 現在地画面表示例



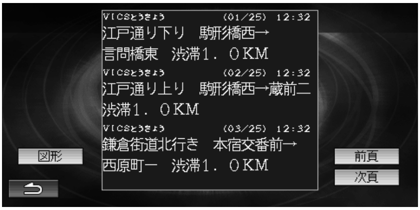
1

1. VICSタイムスタンプ

■ 目次画面表示例



■ 情報画面表示例



アドバイス

- タイムスタンプは、VICS情報が提供された時刻であり、現在時刻やVICSが受信された時刻ではありません。
- タイムスタンプの時刻は、VICS情報が継続して受信されないと、約30分または約60分後に自動的に消去されます（147ページ「情報保持時間」参照）。

FM多重／ビーコン情報について

- VICS情報を見るためには、交通情報を放送しているFM多重放送局を受信する必要があります。
- 番組のメニュー数や内容は放送局により異なります。
- データのダウンロード中は、情報を表示することができません。また、正確に情報を表示しない場合があります。

■ **規制情報受信時の案内**

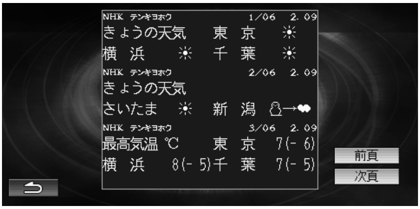
推奨ルート上に何らかの規制や渋滞が発生すると、画面上の表示でこれを知らせます。運転に集中しながら、新しい情報をより確実にキャッチできます。

■ 緊急・注意警戒表示

FM多重放送／ビーコンに関わらず地震や災害時の停車、避難の場所など、行動指示の情報を強制的に表示します。
（レベル1）

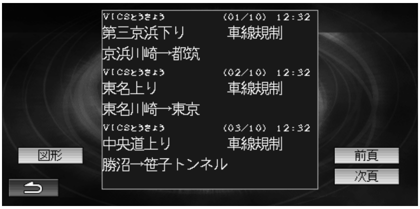
■ FM文字多重放送（102ページ参照）

FM放送局の文字放送（見えるラジオ）の番組を選んで、交通情報や気象情報などを見ることができます。
（レベル1）

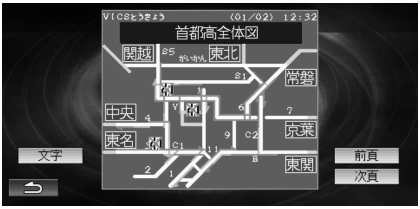


■ VICS情報（103ページ参照）

VICSから受信した交通に関する簡易図形情報などを表示します。
（レベル1）



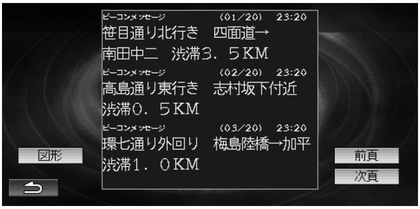
（レベル2）



■ ビーコン図形／文字情報（104ページ参照）

走行予定交差点の混雑状況などを簡易図形として表示します。ビーコン情報は、割込み表示が「する」に設定されている場合は、ビーコン受信時に自動的に表示されます。
（レベル2）

（レベル1）



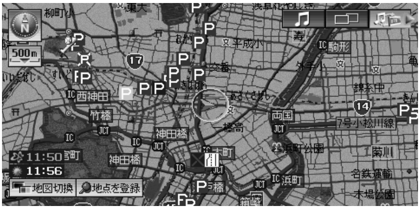
- ビーコン図形情報を割り込み表示するかどうかを設定できます（146ページ「規制割込み」参照）。
- ビーコン文字情報は割り込みしません。

■ 渋滞／順調表示

渋滞地点や渋滞区間などを地図上に表示します。混雑具合や混雑方向は以下のように表示されます。

渋滞情報渋滞度	表示	内容
渋滞	赤色	交通の流れが非常に悪い状態
混雑	橙色	交通の流れがやや悪い状態
渋滞なし	水色	交通の流れが良い状態

（レベル3）



- 渋滞／順調表示は、地図スケールが1km以下の詳細な地図で表示されます。
- 渋滞／順調表示をするかどうかを設定できます（145ページ「渋滞表示」、145ページ「順調表示」参照）。

■ 駐車場情報の表示

VICSに提供された駐車場等のマークを地図上に表示します。さらにマークにタッチすると詳しい情報が表示されます。また、見たいときに周辺のVICS提携駐車場を探すこともできます（105ページ「駐車場情報を見る」参照）。

駐車場情報例

状況	表示(マーク)	内容
空車	（青）P	利用が可能な状態
満車	（赤）P	ほぼ満車の状態
混雑	（橙）P	利用率が高い状態
不明	（黒）P	駐車場情報がない状態

（レベル3）

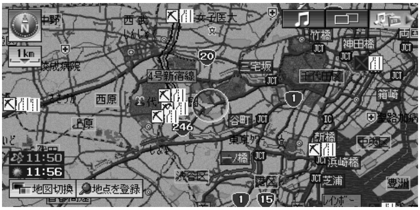
- 駐車場マークは、地図スケールが1km以下の詳細な地図で表示されます。
- 駐車場マークを表示するかどうかを設定できます（146ページ「駐車場マーク表示」参照）。

■ 規制マーク表示

速度、車線、チェーンなど、さまざまな規制情報を規制マークとして進行方向の左側に表示します。
対象区間は黒色で地図上(道路上)に表示します。さらにマークにタッチすると詳しい情報が表示されます。

マーク	表示(マーク)
	進入禁止
	入口閉鎖
	事故
	工事

(レベル3)



- 規制マークを表示するかどうかを設定できます(146ページ「規制マーク表示」参照)。

注　意

● VICS、FM多重放送の受信について
FM多重放送で提供される一般文字情報およびVICS情報の受信はラジオアンテナを利用しております。したがって受信するときは、ポール式のラジオアンテナの場合、必ずアンテナを伸ばした状態にしてください。

アドバイス

●145ページ「VICS地図」設定を「強調」に設定した場合、VICS情報を地図に表示すると道路の色がかわります。

VICS対象道路	道路色
高速道路	青(橙)
国道	緑(橙)
県道	緑(橙)
一般道	灰

- (　)の色は、地図色がアーバンのときです。地図色をかえるには、134ページ「地図色切換」を参照してください。
  また、地図にVICS情報を表示するかどうかを道路ごとに設定できます(145ページ「VICS提供道路」参照)。

● VICS対象道路は将来の計画も含めた情報提供の可能性のある道路です。したがって、現時点では情報提供されていない道路もあります。
● 行程ガイドを表示しているときは、行程ガイドにもVICS情報が表示されます。行程ガイドについては、40ページ「行程ガイド画面について」を参照してください。
● 上記以外のVICS情報マークについては、184ページ「VICS道路交通情報マーク一覧」を参照してください。

VICS情報画面の呼び出しかた

VICS機能を使用するときは、以下のように操作します。

1 ⏻/MENU スイッチにタッチしたあと、情報を見る にタッチします。

情報メニュー画面が表示されます。

2 見たい項目にタッチします。

以降の操作は、各ページを参照してください。

- FM多重
  FM多重放送を見る（102ページ参照）
- VICS情報
  VICS情報を見る（103ページ参照）
- VICS割込み情報
  割込み情報を見る（104ページ参照）
- VICS駐車場情報
  駐車場情報を見る（105ページ参照）

アドバイス

● データを受信していない、またはビーコンユニット（別売）を接続していない場合、タッチスイッチはグレーになり、タッチすることができません。

VICS情報画面の操作

FM多重放送やVICS情報を受信すると、情報番組の目次が表示され、番組を選ぶと情報画面が表示されます。
FM多重放送やVICS情報には、文字情報と図形情報があり、停車中と走行中では表示される情報番組が以下のように異なります。

- 停車中は、文字情報と図形情報のうち先に受信したほうが表示されます。
- 停車中は、目次の1画面に3ページ分表示され、走行中は1ページずつ表示されます。

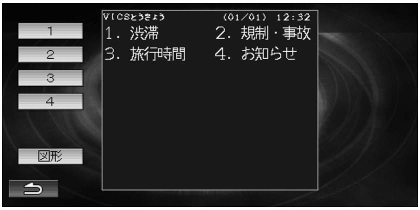
アドバイス

- 走行中に表示が許可されている番組は以下のとおりです。
  総目次/最初の画面、緊急情報、交通情報、番組番号1、気象情報

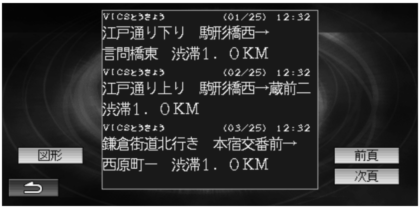
ここでは、VICS情報を例にして説明します。

1 見たい番組の番号にタッチします。

■ 交通FM文字情報

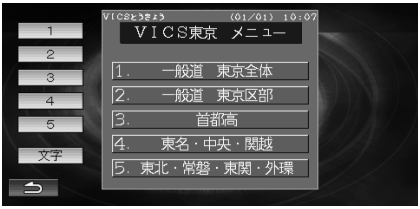


1 にタッチ

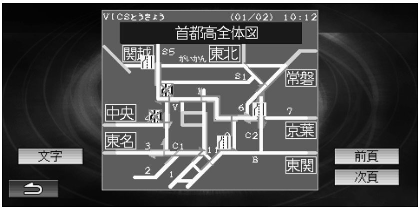


- 複数ページある場合は、前頁 次頁 にタッチすると前後のページが表示されます。
- 図形 にタッチすると、図形情報に切りかわります。

■ 交通FM図形情報



3 にタッチ



- 複数ページある場合は、前頁 次頁 にタッチすると前後のページが表示されます。
- 文字 にタッチすると、文字情報に切りかわります。

2 番組を終了するには、⮌ にタッチします。

FM多重放送を見る

FM放送局の文字放送（見えるラジオなど）を見ることができます。選択できる番組は受信する放送局によって異なります。現在地で受信可能な放送局を自動で検索したり、周波数を指定して選択することができます。また、ラジオのFM放送に周波数を合わせたり、放送局の地域を指定して受信することもできます。

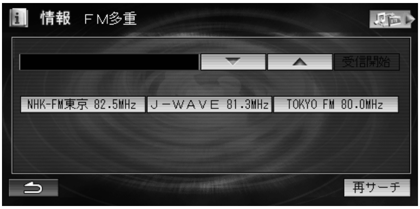
自動で選局する

現在地の都道府県にある放送局が受信されます。

1 ⏻/MENU スイッチを押したあと、情報を見る にタッチします。

2 FM多重 にタッチします。
受信可能な放送局が表示されます。

3 受信したい放送局にタッチします。



受信が開始され、情報画面が表示されます。
- 情報画面については、101ページ「VICS情報画面の操作」を参照してください。

アドバイス

- 再サーチ にタッチすると、放送局をサーチします。

マニュアルで選局する

選んだ周波数の放送局が受信されます。

1 ⏻/MENU スイッチにタッチを押したあと、情報を見る にタッチします。

2 FM多重 にタッチします。
受信可能な放送局が表示されます。

3 ▲ または ▼ にタッチします。

▲ ▼ にタッチするたびに、画面右上の周波数が0.1MHzずつ増減します。

4 合わせたい周波数が表示されたら、受信開始 にタッチします。
受信が開始され、情報画面が表示されます。
- 情報画面については、101ページ「VICS情報画面の操作」を参照してください。

アドバイス

- 再サーチ にタッチすると、放送局をサーチします。

VICS情報を見る

VICS情報は、地域の道路状況などが文字または簡易図形として表示されるので、地域道路の混雑状況を一目で確認できます。

1 （⏻/MENU）スイッチを押したあと、
情報を見る にタッチします。

2 VICS情報 にタッチします。
受信が開始され、受信中の情報画面が表示されます。

- VICS情報を受信していないときは、VICS情報 はトーンダウンされ操作することはできません。
- 情報画面については、101ページ「VICS情報画面の操作」を参照してください。

VICS情報を見る

割込み情報を見る

割込み情報とは、ビーコンユニット(別売)によって受信した直後に、他の画面に割り込んで提供される情報のことです。
ビーコンから受信できる情報には、以下のような種類があります。

- **緊急情報**
  地震や災害時の停車、避難の場所など、行動指示の情報を表示します。
- **注意警戒情報**
  通行止めや規制などの注意情報を表示します。
- **ビーコン図形情報**
  走行予定交差点の道路状況などを簡易図形として表示するので、次の交差点の混雑状況が一目で確認できます。
- **ビーコン文字情報**
  ビーコン通過時に受信したさまざまな文字情報を画面に表示します。
- **ことわり情報**
  VICS情報センターからのメッセージなどを表示します。

アドバイス

- 割込み情報を自動で表示するかどうかを設定できます(146ページ「規制割込み」参照)。
- 緊急情報および注意警戒情報は、「規制割込み」の設定に関係なく割り込み表示されます。
- ビーコン図形情報、ことわり情報は、146ページ「規制割込み」で設定した時間を経過するか 確認 または ⮌ にタッチすると表示を終了します。緊急情報、注意警戒情報は 確認 にタッチするまで終了しません。
- ビーコン文字情報は割り込みしません。
- ことわり情報とほかの割込み情報を同時に受信した場合は、ことわり情報は表示されません。

■ 緊急情報／注意警戒情報表示画面の操作

- 確認 にタッチすると、表示が消えます。
- ◀前頁 ▶次頁 にタッチすると、前後のページに切りかわります。

割込み情報を呼び出す

146ページ「規制割込み」を「しない」に設定しているときに、受信された割込み情報を表示させることができます。
また、一度表示された割込み情報を再度表示させることができます。

1 **⏻/MENU スイッチを押したあと、情報を見る にタッチします。**

2 **VICS割込み情報 にタッチします。**

- 割込み情報を受信していないときは、VICS割込み情報 スイッチはトーンダウンされ操作することはできません。

ビーコンから受信した図形情報が表示されます。

- 情報画面については、101ページ「VICS情報画面の操作」を参照してください。

駐車場情報を見る

VICSと提携している駐車場をリスト表示し、現在の混み具合のほか、地図や詳細情報を確認することができます。

駐車場リスト画面の表示

駐車場の情報を確認することができます。

1 **(⏻/MENU)スイッチを押したあと、情報を見る にタッチします。**

2 **VICS駐車場情報 にタッチします。**

- 駐車場情報を受信していないときは、VICS駐車場情報 スイッチはトーンダウンされ操作することはできません。

駐車場リスト画面に、付近の駐車場名と混み具合が表示されます。

3 **いずれかの駐車場にタッチし、必要に応じて以下の操作を行います。**

- 詳細情報
  駐車場の詳しい情報を見る（105ページ参照）
- 完了
  駐車場の地図を見る（106ページ参照）
- 並び順変更
  SA（サービスエリア）・PA（パーキングエリア）情報を見る（106ページ参照）

アドバイス

● 走行中は安全のため、リストの上から2行のみ表示されます。

駐車場の詳しい情報を見る

アドバイス

● 走行中は安全のため、詳細情報は表示されません。

1 **駐車場リスト画面で 詳細情報 にタッチします。**

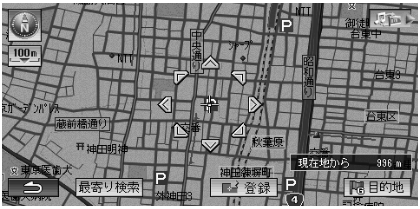
駐車場の詳細情報が表示されます。

- 完了 にタッチすると、駐車場周辺の地図が表示されます。

駐車場の地図を見る

1 **駐車場リスト画面または詳細情報画面で 完了 にタッチします。**

駐車場の地図が表示されます。



- 駐車場リスト画面では、地図画面にタッチしても駐車場の地図が表示されます。
- 地図の操作については、42ページ「スクロールや検索して表示させた地図の操作」を参照してください。

アドバイス

● 地図上の駐車場マークにタッチして情報を表示させることもできます。

- 情報 にタッチすると、駐車場の詳細情報が表示されます。
- 次へ にタッチすると、近くの駐車場を選択します。

SA(サービスエリア)・PA(パーキングエリア)情報を見る

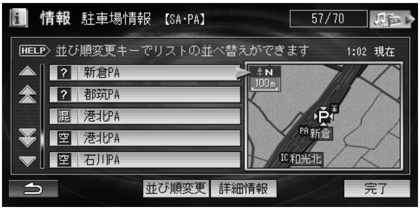
アドバイス

● 走行中は安全のため、リストの上から2行のみ表示されます。

1 **駐車場リスト画面で 並び順変更 にタッチします。**

サービスエリア(SA)とパーキングエリア(PA)のリストが表示されます。

2 **いずれかのSA・PAにタッチし、必要に応じて以下の操作を行います。**



- 詳細情報
  SA・PAの詳細情報を見る(105ページ「駐車場の詳しい情報を見る」参照)
- 完了
  SA・PAの地図を見る(106ページ「駐車場の地図を見る」参照)
- SA・PAリスト画面で 並び順変更 にタッチすると、駐車場リスト画面が表示されます。

VICSに関する補足事項

■ VICS情報が受信できる代表的な周波数

VICS代表局一覧

	サービスエリア	局名	周波数
NHK-FM	北海道(旭川地区)	VICS旭川	85.8MHz
	北海道(札幌地区)	VICS札幌	85.2MHz
	北海道(函館地区)	VICS函館	87.0MHz
	北海道(釧路地区)	VICS釧路	88.5MHz
	北海道(北見地区)	VICS北見	86.0MHz
	青森県	VICS青森	86.0MHz
	宮城県	VICS宮城	82.5MHz
	岩手県	VICS岩手	83.1MHz
	秋田県	VICS秋田	86.7MHz
	山形県	VICS山形	82.1MHz
	福島県	VICS福島	85.3MHz
	茨城県	VICS茨城	83.2MHz
	栃木県	VICS栃木	80.3MHz
	群馬県	VICS群馬	81.6MHz
	埼玉県	VICS埼玉	85.1MHz
	千葉県	VICS千葉	80.7MHz
	東京都	VICS東京	82.5MHz
	神奈川県	VICS神奈川	81.9MHz
	新潟県	VICS新潟	82.3MHz
	富山県	VICS富山	81.5MHz
	石川県	VICS石川	82.2MHz
	福井県	VICS福井	83.4MHz
	山梨県	VICS山梨	85.6MHz
	長野県	VICS長野	84.0MHz
	岐阜県	VICS岐阜	83.6MHz
	静岡県	VICS静岡	88.8MHz
	愛知県	VICS愛知	82.5MHz
	三重県	VICS三重	81.8MHz
	滋賀県	VICS滋賀	84.0MHz
	京都府	VICS京都	82.8MHz
	大阪府	VICS大阪	88.1MHz
	兵庫県	VICS兵庫	86.5MHz
	奈良県	VICS奈良	87.4MHz
	和歌山県	VICS和歌山	84.7MHz
	鳥取県	VICS鳥取	85.8MHz
	島根県	VICS島根	84.5MHz
	岡山県	VICS岡山	88.7MHz
	広島県	VICS広島	88.3MHz
	山口県	VICS山口	85.3MHz
	徳島県	VICS徳島	83.4MHz
	香川県	VICS香川	86.0MHz
	愛媛県	VICS愛媛	87.7MHz
	高知県	VICS高知	87.5MHz
	福岡県	VICS福岡	84.8MHz
	佐賀県	VICS佐賀	81.6MHz
	長崎県	VICS長崎	84.5MHz
	熊本県	VICS熊本	85.4MHz
	大分県	VICS大分	88.9MHz
	宮崎県	VICS宮崎	86.2MHz
	鹿児島県	VICS鹿児島	85.6MHz
	沖縄県	VICS沖縄	88.1MHz

● 情報提供地域の違いによって情報内容が異なります。VICSのホームページをご覧ください。

■ ビーコン送受信機をご利用のお客様へ

ビーコンからの情報はFM多重情報と違い、ビーコン近傍の限られた場所でしか受信できません。そのため次のような動作をする場合がありますので、ご注意ください。

1) 他のVICS情報を受信してしまう

- 近くにビーコンのある道路を走行していませんか。
- 対向車線にビーコンはありませんか。

2) 受信しないときがある

- ビーコンが大型車両の陰になっていませんか。
- VICS運用が休止していませんか。
- 道幅の広い道路ではありませんか。
- ビーコンアンテナの前に電波や光をさえぎるものがありませんか。
- トンネルの中ではありませんか。
  (ビーコンが設置されていても受信できない場合があります)
- ビーコンアンテナの前面が汚れていませんか。
  (前面のフィルタを傷つけないよう、柔らかい布で拭き取ってください)
- フロントガラスがひどく汚れていませんか。

■ VICSの運用時間

- FM多重
  24時間(第1、第3月曜AM1:00～AM5:00は休止する場合があります)
- ビーコン
  24時間

■ VICSに関するお問い合わせ

● VICSの概念･計画、表示された情報内容
表示内容(レベル1) 表示内容(レベル2)
(財)VICSセンター(東京センター)
TEL (0570)00-8831
携帯･PHS専用(03)3592-2033(東京)
携帯･PHS専用(06)6209-2033(大阪)
電話受付時間 9:30～17:45
(土日、祝祭日は除く)
FAX (03)3592-5494(24時間受付)

● 地図表示型(レベル3)
サービスエリア 受信可否 車載機の調子、機能、使い方
お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ハンズフリー電話を使う

ナビゲーション編

ハンズフリー電話について 110
携帯電話を接続する 111
携帯電話を外す 111
電話を受ける 112
着信時の表示 113
通話中の表示 113
電話を切る 115
電話をかける 116
番号を入力して電話をかける 116
電話帳や履歴から電話をかける 116
その他の画面から電話をかける 118
携帯電話の電話帳（メモリー）を利用する 119
電話帳を読み込む 119
電話番号を並べかえる 119
電話帳を消去する 120
ワンタッチダイヤルへ登録する 120
画像を登録する 121
発信履歴機能を利用する 123
発信履歴の表示 123
発信履歴を消去する 124
着信履歴機能を利用する 125
着信履歴の表示 125
着信履歴を消去する 126
通話音量を調整する 127

ハンズフリー電話について

本機に携帯電話を接続すると、ハンズフリー電話として利用することができます。本機の画面から操作することができます。

注　意

- 交通量の多い市街地や狭い道でのご利用は避けてください。
- 携帯電話を直接操作しないでください。事故の原因となります。

アドバイス

- 携帯電話と接続するには、専用のケーブル※が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
  ※VXH-071MCVは別売です。
- 通話中は、大きめの声ではっきりとお話ください。
- 通話中は、窓を閉めてお話ください。
- 話し方によっては相手に声が伝わりにくい場合や、相手の声が聞こえにくい場合があります。
- ハンズフリー電話同士の通話、騒音の大きい場所での通話など、使用状況によっては話しにくい場合があります。
- 相手の電話の種類や電話回線の組み合わせにより、不自然な音声になる場合があります。
- 携帯電話の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。また、サービス契約が必要な場合もあります。
- NTTドコモ「FOMA」の一部の機種は対応しておりません（「FOMA」はNTTドコモの登録商標です）。
- ボーダフォンの「VGS」には対応しておりません（「VGS」は「Vodafone Global Standard」の略で、ボーダフォン株式会社の商標です）。
- 最新の対応機種については、Gathersのホームページ（http://www.honda.co.jp/ACCESS/gathers/）をご覧いただくか、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本機はキャッチホンおよび三者通話サービスには対応しておりません（「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です）。
- 携帯電話をUSBモードに設定している場合は、使用できない場合があります。設定を通信モードに変更してください。

携帯電話を接続する

本機をハンズフリー電話として利用するには、携帯電話を接続ケーブルに接続する必要があります。

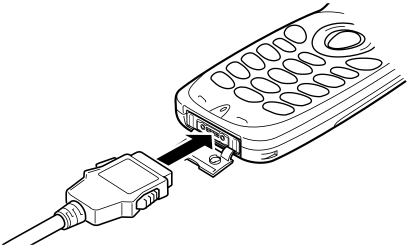
注　意

- 携帯電話の接続ケーブルを頻繁に抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 電話を使用しているときは、接続ケーブルを抜き差ししないでください。
- イグニッションキーがACCまたはONのとき、接続ケーブルの抜き差しはしないでください。

アドバイス

- 携帯電話と接続するには、専用のケーブル※が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
  ※VXH-071MCVは別売です。
- 接続ケーブルの位置は車種によって異なります。車両本体の取扱説明書を参照してください。
- 携帯電話の種類によって、外部端子の向きや端子キャップの形状などが異なります。
- 接続ケーブルから携帯電話に電源を供給することはできません。

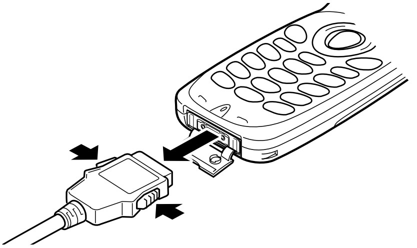
1 **携帯電話の外部接続端子の端子キャップを開けて、接続ケーブルを差し込みます。**



- “カチッ”と音がするまで差し込んでください。

携帯電話を外す

1 **接続ケーブルの左右のロックボタンを押しながら、接続ケーブルを携帯電話から外します。**



ハンズフリー電話を使う

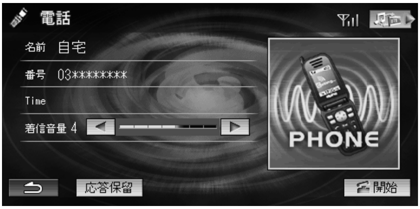
電話を受ける

本機をハンズフリー電話として利用することができます。

アドバイス

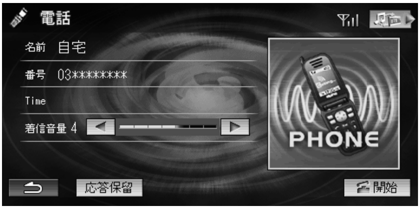
- 本機をハンズフリー電話として利用する場合は、必ず携帯電話を接続してください。
- 携帯電話によっては、条件や設定により電話を受けられない場合があります。携帯電話に付属の説明書も必ずご覧ください。

1 **電話がかかってくると着信音が鳴り、着信画面が表示されます。**

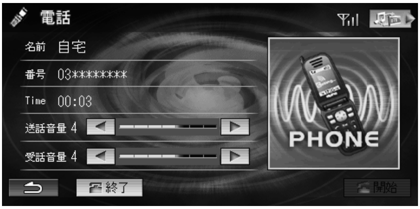


- 相手の電話番号が通知されてきたときに、相手の名前と電話番号が電話帳に登録されている場合は、相手の名前と電話番号が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、相手の電話番号が表示されます。

2 **開始 にタッチします。**



通話が開始されます。



- 「自動着信」設定を「する」に設定していると、開始 にタッチしなくても着信してから設定した着信時間経過後に通話状態になります（147ページ「自動着信」参照）。

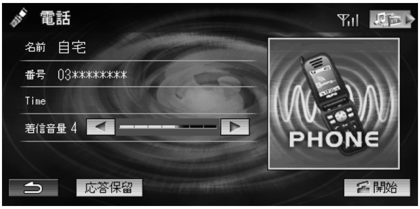
アドバイス

- 通話中は、オーディオ・テレビの音が一時的に消えます。
- 通話音量の調整については、127ページ「通話音量を調整する」を参照してください。
- 自動着信するかどうかを設定できます。また、電話を受けるまでの時間も設定できます（147ページ「自動着信」参照）。
- フロントカメラ（別売）、コーナーカメラ（別売）またはリアカメラ（別売）の映像が表示されている場合に着信があると、カメラ映像の上に着信サブ画面が表示されます。開始 にタッチして電話を受けます。
- 携帯電話の応答時間を設定している場合は、147ページ「自動着信」設定を「する」に設定していても、設定した時間経過前に通話状態になる場合があります。

着信音量を調整する

電話がかかってきたときに、着信音量を調整することができます（初期設定値は「レベル4」）。

1 **着信中に「着信音量」の ◀ または ▶ にタッチして、音量を調整します。**



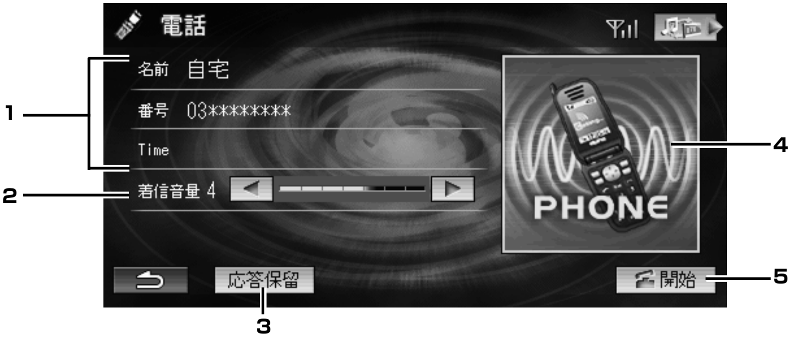
- 音量は7段階で調整できます。
  ◀ にタッチするたびに、音量が小さくなります。
  ▶ にタッチするたびに、音量が大きくなります。

アドバイス

- 着信音量は電話設定メニューから設定することもできます（147ページ「着信音量」参照）。

着信時の表示

電話がかかってくると、以下の画面が表示されます。



1 状況表示
相手の名前や電話番号が表示されます。

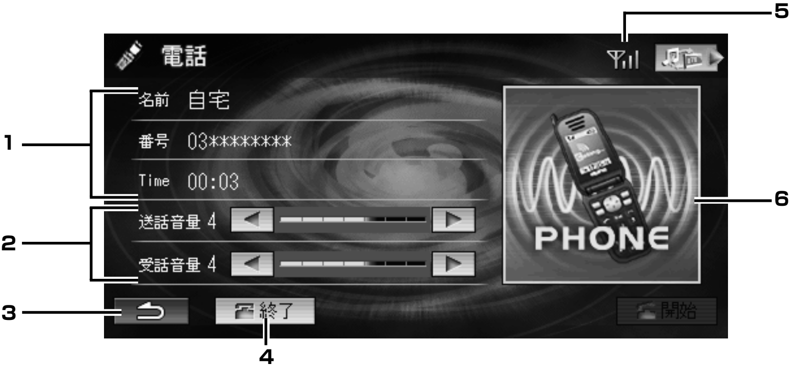
2 着信音量
着信音量を調整するときに使用します(112ページ「着信音量を調整する」参照)。

3 応答保留
相手の電話を一時的に保留にするときに使用します(114ページ「すぐに電話に出られないとき」参照)。

4 イメージ表示
着信時や通話中に電話モード画像が表示されます。電話帳に画像を登録すれば、お好みの画像を表示することができます(121ページ「画像を登録する」参照)。

5 開始
かかってきた電話を受けるときに使用します。

通話中の表示



1 状況表示
相手の名前や電話番号、通話時間が表示されます。

2 送話音量/受話音量
送話音量や受話音量を調整するときに使用します(127ページ「通話音量を調整する」参照)。

3 (戻るボタン)
元の画面に戻ります。

4 終了
通話を終了するときに使用します。

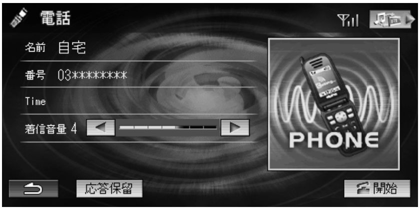
5 電波レベル
電波の受信レベルの目安を表示します。携帯電話のサービスエリア外や電波の届かない場所にいるときは「Y---」が表示されます。携帯電話の電波レベルと異なる場合があります。

6 イメージ表示
着信時や通話中に電話モード画像が表示されます。電話帳に画像を登録すれば、お好みの画像を表示することができます(121ページ「画像を登録する」参照)。

すぐに電話に出られないとき

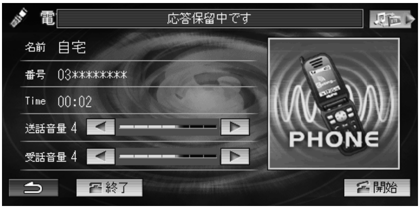
かかってきた電話にすぐに出られないときは、一時的に保留にすることができます。

1 電話の着信中に 応答保留 にタッチします。



かかってきた電話を保留にします。

2 電話に出られる状態になったら 開始 にタッチします。



保留が解除され、通話が開始されます。

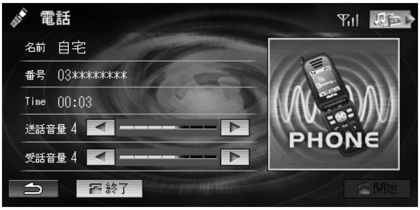
アドバイス

- 応答保留中に 終了 にタッチすると、電話が切れます。
- 応答保留中に相手が電話を切ると、電話が切れます。
- 携帯電話の種類によって、応答保留中に現在電話に出られない旨のガイダンスが流れます。
- 応答保留中でも、電話をかけてきた相手には通話料金がかかります。

電話を切る

通話中の電話を終了します。

1 **通話が終わったら、終了 にタッチします。**



メッセージが表示され通話が終了します。

アドバイス

- ナビ画面、オーディオ画面またはカメラ映像（画面OFFを除く）などを表示している場合は、 にタッチして電話全画面または電話サブ画面に切りかえてから 終了 にタッチします。
- スイッチは、ほかの画面に重ねて表示されるため、画面の情報やタッチスイッチを隠してしまう場合があります。

電話をかける

🔊 アドバイス

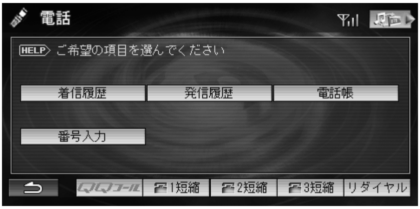
- 携帯電話によっては、条件や設定により電話がかけられない場合があります。携帯電話に付属の説明書も必ずご覧ください。
- 走行中は安全のため、ワンタッチダイヤル、リダイヤルからのみ電話をかけることができます。

番号を入力して電話をかける

1 ⏻/MENU スイッチを押したあと、📞 にタッチします。

電話画面が表示されます。

2 番号入力 にタッチします。



3 相手の市外局番から入力します。

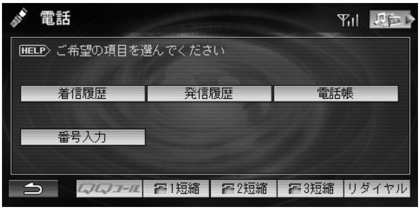
4 ☎発信 にタッチします。

電話帳や履歴から電話をかける

直前にかけた電話番号に電話をかける

直前にかけた電話番号に電話をかけ直します。

1 電話画面で リダイヤル にタッチします。



電話番号が発信されます。

- 一度も発信していない場合は、リダイヤル にタッチすることはできません。

電話帳から電話をかける

携帯電話から本機に読み込んだ電話帳のリストから相手を選択して電話をかけます。

アドバイス

● 電話番号を電話帳に登録する方法については、119ページ「電話帳を読み込む」を参照してください。

1 **電話画面で 電話帳 にタッチします。**

電話帳に登録されている電話番号が一覧で表示されます。

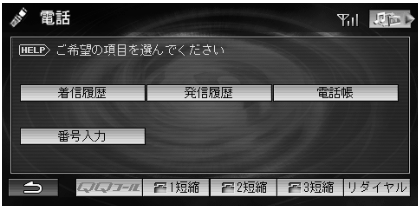
2 **電話をかけたい相手にタッチします。**

3 **発信 にタッチします。**

ワンタッチダイヤルから電話をかける

ワンタッチダイヤルに登録されている電話番号に、スイッチ一つで手早く電話をかけることができます。

1 **電話画面で 1短縮 2短縮 3短縮 のいずれかにタッチします。**



アドバイス

● 電話画面に表示されるワンタッチダイヤルを登録／変更することができます。登録／変更する方法については、120ページ「ワンタッチダイヤルへ登録する」を参照してください。

発信履歴／着信履歴から電話をかける

以前かけた電話やかかってきた電話は、発信履歴／着信履歴として記憶されます。これらの履歴の一覧から相手を選択して電話をかけます。

1 **電話画面で 発信履歴 または 着信履歴 にタッチします。**

履歴に記憶されている電話番号が、新しいものから順に一覧で表示されます。

- かけた電話やかかってきた電話が1件もない場合は、発信履歴 または 着信履歴 にタッチすることはできません。

2 **電話をかけたい相手にタッチします。**

3 **発信 にタッチします。**

アドバイス

● リストには、最大30件の履歴が表示されます。30件を超えた場合は、古いものから順に削除されます。
● リストを編集するには、123ページ「発信履歴機能を利用する」、125ページ「着信履歴機能を利用する」を参照してください。

その他の画面から電話をかける

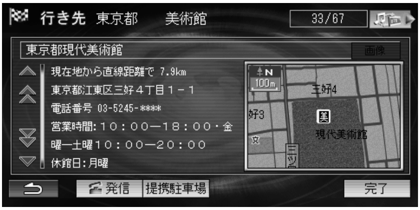
施設情報画面から電話をかける

施設情報に電話番号の情報がある場合は、ナビ画面からその施設に電話をかけることができます。

1 施設情報画面を表示させます。

- 画面の表示方法については、51ページ「施設を探す」を参照してください。

2 発信 にタッチします。



アドバイス

- 施設情報画面以外に現在地周辺施設情報画面やルート周辺施設情報画面などで電話番号の情報がある場合は、それぞれの画面からも電話をかけることができます。

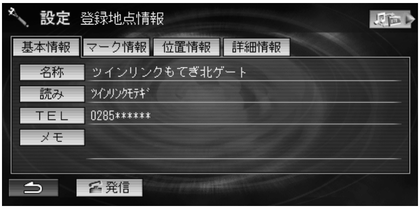
特別地点／登録地点情報画面から電話をかける

登録地点に電話番号を登録してある場合は、ナビ画面からその施設に電話をかけることができます。

1 登録地点情報画面を表示させます。

- 画面の表示方法については、62ページ「登録地点から探す」、86ページ「地点情報を確認する」を参照してください。

2 発信 にタッチします。



携帯電話の電話帳(メモリー)を利用する

携帯電話に登録されている電話帳を本機に読み込んで利用することができます。

電話帳を読み込む

1 電話画面で 電話帳 にタッチします。

2 電話帳読込 にタッチします。

携帯電話の暗証番号を入力する画面が表示されます。

3 携帯電話の暗証番号を入力します。

- 携帯電話の暗証番号については、携帯電話に付属の説明書を参照してください。
- 「FOMA」では認証パスワードを入力します。
- 「FOMA」では 説明 にタッチすると、電話帳を読み込む際の説明が表示されます。

4 完了 にタッチします。

- 「FOMA」では携帯電話に暗証番号と認証パスワードを入力するメッセージが表示されます。携帯電話に正しい暗証番号と認証パスワードを入力します。

電話帳の読み込みが開始されます。電話帳の読み込みが終了すると、電話帳の一覧(50音順)が表示され、メモリー番号の小さいものから順に3件の電話番号が、ワンタッチダイヤルに自動的に登録されます。

アドバイス

- 電話帳の読み込み中は、携帯電話を外したり、電源をOFFにしないでください。
- 本機の電話帳に登録できる件数は、最大1000件です。
- 電話帳を書きかえるときは、再度読込み操作を行ってください。古い電話帳(ワンタッチダイヤル、画像を含む)が消去され新しい電話帳が書き込まれます。
- 電話帳の読み込み中は、電話を受けたり、かけたりすることができません。
- 携帯電話でシークレット登録した電話番号は、リストには表示されません。表示するには、携帯電話のシークレット登録を解除し、再度電話帳を読み込んでください。
- ワンタッチダイヤルを変更することができます。(120ページ「ワンタッチダイヤルへ登録する」参照)
- 携帯電話によっては、同じ名称で数人分の登録をする場合があります。
- 携帯電話に電話番号が登録されていない場合は、登録されません。
- 携帯電話が待ち受け画面以外のときは、電話帳の読み込みが開始されない場合があります。

電話番号を並べかえる

本機に登録されている電話帳を50音順、メモリー番号順またはグループ順に並べかえます。

1 電話画面で 電話帳 にタッチします。

電話帳のリストが表示されます。

2 並び順変更 にタッチします。

次ページに続く→

- 並び順変更 にタッチするたびに電話帳を並べかえられます。現在選択している並び順は、画面上部のタイトル部分に表示されます。
  50音順 → メモリー番号順 → グループ順 → 50音順 …
  50音順　　　　：携帯電話の名前(読み)の50音順。
  メモリー番号順：携帯電話のメモリー番号順。
  グループ順　　：携帯電話のグループ番号順。

アドバイス

- 50音順では、読みの先頭が英数字、記号、空白の場合は、他 タブのグループに含まれます。
- グループ順で表示できるグループは、最大100件です。また、グループ内の並び順は50音順です。
- 電話帳のリスト画面は、前回表示していた並び順で表示されます。

電話帳を消去する

本機の電話帳を1件、または全件消去します。

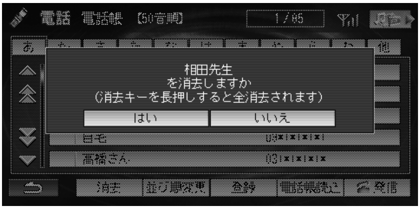
電話帳を1件消去する

1 電話画面で 電話帳 にタッチします。

2 消去したい電話番号にタッチします。

3 消去 にタッチします。
消去を確認するメッセージが表示されます。

4 はい にタッチします。



選択した電話番号が消去されます。

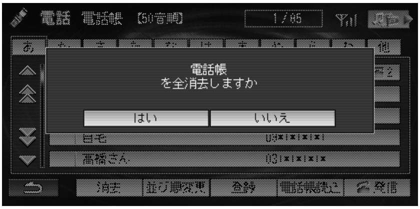
すべての電話帳を消去する

1 電話画面で 電話帳 にタッチします。

2 消去 にタッチし続けます。

消去を確認するメッセージが表示されます。

3 はい にタッチします。



すべての電話帳が消去されます。

ワンタッチダイヤルへ登録する

よくかける電話番号をワンタッチダイヤルに登録することができます。ワンタッチダイヤルに登録すると、スイッチ一つで電話をかけることができます。

アドバイス

- 電話帳を読み込むと、メモリー番号の小さい順から3件が自動的にワンタッチダイヤルに登録されます。
- ワンタッチダイヤルを使って電話をかける方法については、117ページ「ワンタッチダイヤルから電話をかける」を参照してください。
- ワンタッチダイヤルに登録した電話番号は、電話帳に ☎1 ／ ☎2 ／ ☎3 と表示されます。

1 電話画面で 電話帳 にタッチします。

2 登録 にタッチします。

3 ワンタッチダイヤルに登録したい電話番号にタッチします。

- すでにワンタッチダイヤルに登録されている電話番号には、☎1 ～ ☎3 のアイコンが表示されます。

4 ☎1登録 ～ ☎3登録 のいずれかにタッチします。

選択した電話番号が、指定したワンタッチダイヤルに登録されます。

5 ⮌ にタッチして電話帳画面に戻します。

アドバイス

- 登録済みのワンタッチダイヤルに別の番号を登録すると、元の電話番号は登録が解除されます。例えば、「ワンタッチ3」に登録されている電話番号を「ワンタッチ1」に変更した場合、「ワンタッチ3」は登録が解除され、未登録状態になります。

画像を登録する

着信や通話中などに表示する画像を電話帳に登録します。画像を登録した相手との通話中画面などに画像が表示されます。

アドバイス

- あらかじめ画像データが登録されていることが必要です。画像を登録する方法については、153ページ「画像を登録する」を参照してください。
- 電話帳に登録されている相手から電話がかかってきた場合は、相手の電話番号が通知されているときにのみ登録した画像を表示することができます。
- 携帯電話に登録されている画像は、電話帳に登録できないため表示できません。

1 電話画面で 電話帳 にタッチします。

2 登録 にタッチします。

登録画面が表示されます。

3 画像を登録したい電話番号にタッチします。

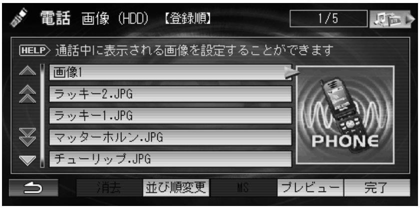
4 画像 にタッチします。

画像のリストが表示されます。

ハンズフリー電話を使う

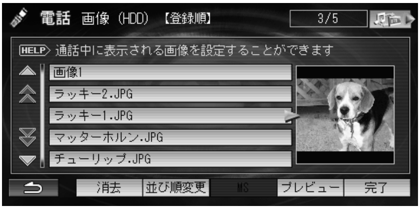
次ページに続く→

5 登録したい画像にタッチします。



- プレビュー にタッチすると、選択している画像を拡大表示できます。

6 完了 にタッチします。



7 ⮌ にタッチして電話帳画面に戻します。

アドバイス

- 画像を登録した電話帳には「▣」アイコンが表示されます。

発信履歴機能を利用する

発信履歴の表示

以前かけた電話番号は、発信履歴として記憶され、発信時刻の新しいものから順にリスト（最大30件）で表示されます。

1. 名前／電話番号

電話をかけた相手の名前と電話番号が電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。それ以外は、電話番号が表示されます。

相手が電話を受けた場合は「通話」が、受けられなかった場合は「不在」が表示されます。

電話をかけた日付と時刻が表示されます。ただし、GPSから時刻を取得できない状態で発信した場合は、表示されません。

2. 電波レベル

電波の受信レベルの目安を表示します。

携帯電話のサービスエリア外や電波の届かない場所にいるときは「Y---」が表示されます。

3. ⮌

元の画面に戻ります。

4. 消去

発信履歴を1件または全件消去するときに使用します（124ページ「発信履歴を消去する」参照）。

5. 発信

電話をかけるときに使用します（117ページ「発信履歴／着信履歴から電話をかける」参照）。

アドバイス

- 発信履歴に記憶されている相手（電話番号）にかけた場合は、前回の履歴を消去して新しいものだけを記憶します。

発信履歴を消去する

発信履歴を1件、または全件消去します。

発信履歴を1件消去する

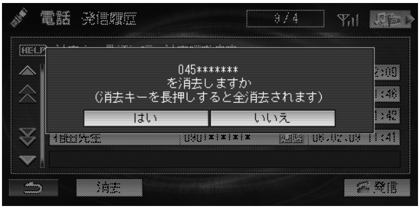
1 電話画面で 発信履歴 にタッチします。

2 消去したい発信履歴にタッチします。

3 消去 にタッチします。

消去を確認するメッセージが表示されます。

4 はい にタッチします。



選択した発信履歴が消去されます。

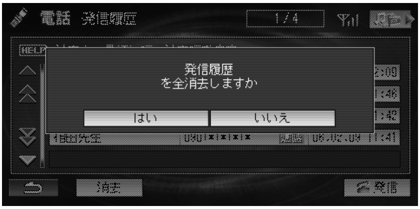
すべての発信履歴を消去する

1 電話画面で 発信履歴 にタッチします。

2 消去 にタッチし続けます。

消去を確認するメッセージが表示されます。

3 はい にタッチします。



すべての発信履歴が消去されます。

着信履歴機能を利用する

着信履歴の表示

以前かかってきた電話は、着信履歴として記憶され、着信時刻の新しいものから順にリスト(最大30件)で表示されます。

1. 名前／電話番号

電話がかかってきた相手の名前と電話番号が電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。それ以外は、電話番号が表示されます。
電話を受けた場合は「通話」、受けられなかった場合は「不在」が表示されます。
電話がかかってきた日付と時刻が表示されます。ただし、GPSから時刻を取得できない状態で着信した場合は、表示されません。

2. 電波レベル

電波の受信レベルの目安を表示します。
携帯電話のサービスエリア外や電波の届かない場所にいるときは「Y---」が表示されます。

3. ⮌

設定画面に戻ります。

4. 消去

着信履歴を1件または全件消去するときに使用します(126ページ「着信履歴を消去する」参照)。

5. 発信

電話をかけるときに使用します(117ページ「発信履歴／着信履歴から電話をかける」参照)。

アドバイス

● 着信履歴に記憶されている相手から着信があった場合は、前回の履歴を消去して新しいものだけを記憶します。

着信履歴を消去する

着信履歴を1件、または全件消去します。

着信履歴を1件消去する

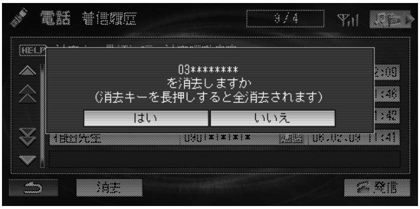
1 電話画面で 着信履歴 にタッチします。

2 消去したい着信履歴にタッチします。

3 消去 にタッチします。

消去を確認するメッセージが表示されます。

4 はい にタッチします。



選択した着信履歴が消去されます。

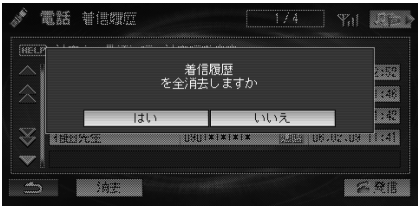
すべての着信履歴を消去する

1 電話画面で 着信履歴 にタッチします。

2 消去 にタッチし続けます。

消去を確認するメッセージが表示されます。

3 はい にタッチします。

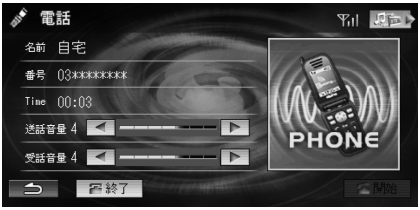


すべての着信履歴が消去されます。

通話音量を調整する

送話音量や受話音量を調整することができます。

1 **通話中に「送話音量」／「受話音量」の ◀ または ▶ にタッチして、音量を調整します。**



- 音量は7段階で調整できます。
  ◀ にタッチするたびに、音量が小さくなります。
  ▶ にタッチするたびに、音量が大きくなります。

アドバイス

- 通話音量は電話設定メニューから設定することもできます（148ページ「受話音量／送話音量」参照）。
- 呼出中から音量調整することができます。

設定

ナビゲーション編

設定画面の共通操作 **130**
ナビゲーション設定 **134**
表示に関する設定 134
案内に関する設定 139
地図のバージョンを見る 144
自車位置を修正する 144
情報設定 **145**
VICS設定 145
電話設定 147
Memory Stick設定 148
通信設定 149
システム設定 **153**
画面消設定 153
画像設定 153
操作音設定 155
オプションキー設定 155

設定画面の共通操作

設定メニュー画面から行う操作は、以下の共通した手順で行います。各項目の詳しい操作方法については、該当ページを参照してください。

1 (⏻/MENU)スイッチを押したあと、設定を変える にタッチします。

設定メニュー画面が表示されます。

2 地点編集 ナビゲーション 情報 システム のいずれかにタッチします。

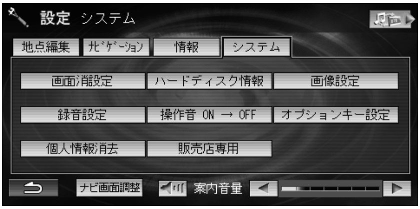
項目ごとのメニュー画面が表示されます。

- 地点編集メニュー

- ナビゲーションメニュー

- 情報メニュー

- システムメニュー



3 各項目にタッチし、設定を行います。

- 設定できる項目については、131ページ「設定項目一覧」を参照してください。

4 (現在地)スイッチを押して現在地画面に戻します。

- ⮌にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

アドバイス

● いったん設定を変更すると、電源を切っても設定は保存され、次に設定を変更するまで有効です。

設定項目一覧

タブ	機能	詳細	初期設定値	参照先
地点編集	登録地点			85ページ
	特別地点			85ページ
	迂回地点			91ページ
	フロント(コーナー) カメラ表示地点			91ページ
ナビゲーション	表示設定	地図色切換	昼:キャメル 夜:ミスト	134ページ
		ランドマーク表示	しない	134ページ
		3D角度調整	ー	135ページ
		3Dアイコン表示	する	135ページ
		ビル立体表示	する	135ページ
		イルミ連動	する	136ページ
		軌跡表示	しない	136ページ
		路線番号表示	する	136ページ
		都市高速強調表示	する	137ページ
		自車マーク変更	自車マーク1	137ページ
		道路ふち取り	する	137ページ
		地図上の文字	小	137ページ
		行政界色分け表示	する	138ページ
		スクロール方面表示	する	138ページ
		2画面シンクロマップ	しない	138ページ
		照明色	青	138ページ
	案内設定	到着予想表示	する 高速道:70km/h 一般道:25km/h 有料道:50km/h	139ページ
		直線誘導線表示	しない	139ページ
		詳細案内図表示	する	139ページ
		踏み切り案内	する	140ページ
		SA/PAの合流案内	する	140ページ
		ICの合流案内	する	140ページ
		JCTの合流案内	する	140ページ
		事故多発地点案内	しない	140ページ
		迂回距離	一般道:5km 有料・高速道: 20km	140ページ

次ページに続く→

ナビゲーション	案内設定	アクティブルートサーチ	する 時短設定:5分以上	141ページ
		時間曜日規制考慮	する	141ページ
		車種設定	普通	141ページ
		方面看板表示	する	142ページ
		レーン情報表示	する	142ページ
		回避エリア考慮	する	142ページ
		フェリー使用	する	142ページ
		冬期閉鎖区間考慮	する	142ページ
		スコープガイド表示	する	143ページ
		GAE	する	143ページ
		GAE エフェクトレベル	標準	143ページ
	地図バージョン		–	144ページ
	自車位置修正		–	144ページ
情報	VICS設定	VICS地図	ノーマル	145ページ
		VICS提供道路	全道路	145ページ
		渋滞表示	する	145ページ
		順調表示	しない	145ページ
		駐車場マーク表示	しない	146ページ
		規制マーク表示	する	146ページ
		規制割込み	する オーディオモードの 規制割り込み:する 規制割り込み 表示時間:10秒	146ページ
		情報保持時間	30分	147ページ
	電話設定	自動着信	する 時間設定:10秒	147ページ
		着信音量	レベル4	147ページ
		受話音量	レベル4	148ページ
		送話音量	レベル4	148ページ
	Memory Stick設定	初期化	–	148ページ
		地点保存	–	148ページ
		地点追加	–	149ページ
	通信設定		ドコモ mova	149ページ

システム	画面消設定		画像1	153ページ
	ハードディスク情報	オーディオ・テレビ編を参照してください。		307ページ
	画像設定		－	153ページ
	録音設定	オーディオ・テレビ編を参照してください。		307ページ
	操作音		ON	155ページ
	オプションキー設定		Audio Source切換	155ページ
	フロント(コーナー)カメラ設定	フロント(コーナー)カメラ自動表示	しない	168ページ
		フロント(コーナー)カメラ表示地点検知	する	168ページ
	個人情報消去	オーディオ・テレビ編を参照してください。		308ページ

アドバイス

- システム設定の 販売店専用 は、販売店専用の設定メニューですので、ご使用にならないでください。設定を変更した場合、動作の保証は致しません。
- 「GAE」、「GAEエフェクトレベル」は、ハンズフリー電話の接続ケーブル※を接続しないと表示されません。
  ※VXH-071MCVは別売です。
- 「フロント(コーナー)カメラ表示地点」、「フロント(コーナー)カメラ設定」は、別売のフロントカメラまたはコーナーカメラを装着しないと表示されません。お買い上げの販売店にご相談ください。
- フロント/コーナーカメラ(別売)が装着されている場合は、「オプションキー設定」は表示されません。この場合、オプションキーは「フロント(コーナー)カメラ設定」になります。

ナビゲーション設定

ナビゲーション設定には、画面表示に関する設定、ナビゲーション案内に関する設定、警告に関する設定があります。

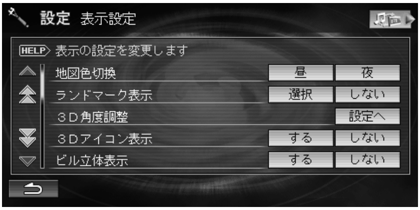
表示に関する設定

地図色切換

本機は、画面を見やすくするため、スモールランプの点灯・消灯により昼画面と夜画面が切りかわります。昼、夜それぞれの地図表示色を4種類から選択できます（初期設定値は、昼「キャメル」、夜「ミスト」）。

1 ナビゲーション設定画面で 表示設定 にタッチします。

2 「地図色切換」の 昼 または 夜 にタッチします。

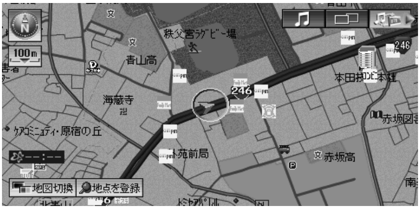


昼 にタッチすると昼色設定画面が表示され、夜 にタッチすると夜色設定画面が表示されます。

3 キャメル クリア アーバン ミスト のいずれかの色にタッチします。

ランドマーク表示

ランドマークを地図に表示するかどうかを設定できます。さらにランドマークごとに、表示するブランド名を選択できます（初期設定値は「しない」）。

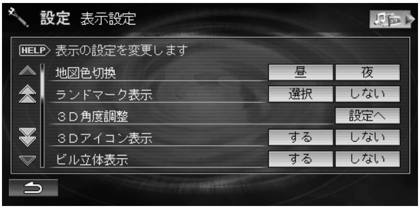


🔊 アドバイス

● ランドマークは、地図スケールが200m以下の詳細な地図で表示されます。

1 ナビゲーション設定画面で 表示設定 にタッチします。

2 「ランドマーク表示」の 選択 にタッチします。



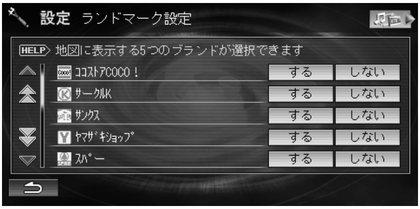
- ランドマーク表示を解除するときは、しない にタッチします。

3 各ランドマークの 選択 にタッチします。

- すべてのブランドを表示するには 全てする にタッチします。

ブランド選択画面が表示されます。

4 各ブランド名の する または しない にタッチします。



🔊 アドバイス

● ひとつのランドマークに設定できるブランド名は最大5つです。6つ以上設定するときは、「全てする」に設定してください。

3D角度調整

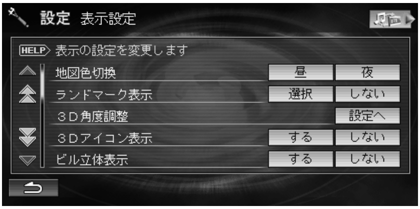
立体的な地図(3Dマップ)を表示しているときの角度を設定することができます。

アドバイス

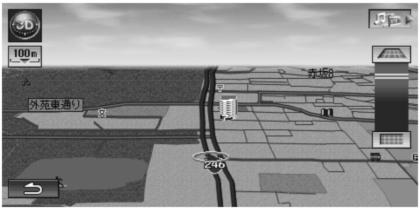
●地図切換画面の 3D角度調整 と同じ機能です(41ページ「3Dの角度を変更する」参照)。

1 ナビゲーション設定画面で 表示設定 にタッチします。

2 「3D角度調整」の 設定へ にタッチします。



3 [立体] または [平面] にタッチして表示角度を調整します。

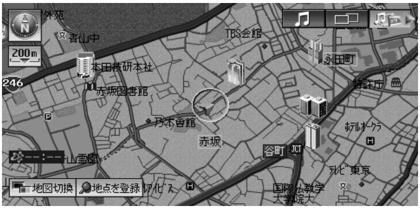


- [立体] にタッチするたびに立体的になり、[平面] にタッチするたびに平面に近づきます。
- 13段階で調整できます。

4 [戻る] にタッチします。

3Dアイコン表示

地図を表示しているときに、著名な施設やビルを3Dアイコンで表示するかどうかを設定できます(初期設定値は「する」)。

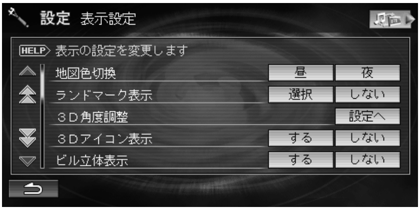


アドバイス

●3Dアイコンは、地図スケールが200m以下の詳細な地図で表示されます。

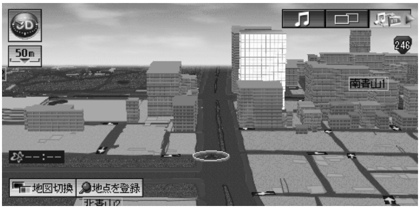
1 ナビゲーション設定画面で 表示設定 にタッチします。

2 「3Dアイコン表示」の する または しない にタッチします。



ビル立体表示

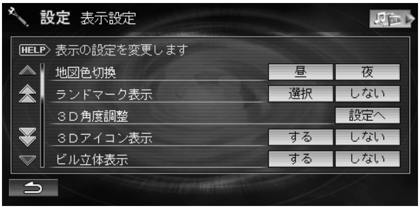
3Dマップで市街地図を表示しているときに、ビルを立体的に表示するかどうかを設定できます(初期設定値は「する」)。



次ページに続く→

1 ナビゲーション設定画面で 表示設定 にタッチします。

2 「ビル立体表示」の する または しない にタッチします。

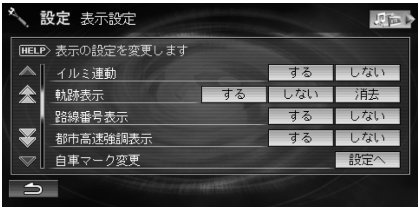


イルミ連動

メーター類のイルミネーションと同様にスモールランプに連動して画面の明るさを調整するかどうかを設定できます(初期設定は「する」)。

1 ナビゲーション設定画面で 表示設定 にタッチします。

2 「イルミ連動」の する または しない にタッチします。



アドバイス

- イルミ連動設定は、メインメニュー画面で 画面 消 を長くタッチし続けても変更することができます。画面 消 スイッチで変更した場合、表示設定のイルミ連動設定も自動的に変更されます。

軌跡表示

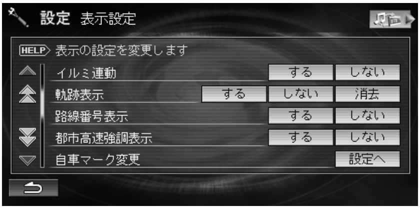
どの道を走行したかわかるように、過去100km分の軌跡に「点(橙色)」を表示するかどうかを設定できます(初期設定値は「しない」)。また、走行軌跡を消去することもできます。

アドバイス

- 走行軌跡は、地図スケールが50km以下の詳細な地図(市街地図含む)で表示されます。
- 走行軌跡を示す点は、表示可能な距離を越えると古いものから順に消えていきます。

1 ナビゲーション設定画面で 表示設定 にタッチします。

2 「軌跡表示」の する または しない にタッチします。



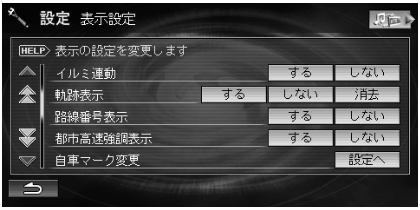
- 走行軌跡を消去するには、消去 にタッチします。

路線番号表示

走行中の道路の路線番号マークを表示するかどうかを設定できます(初期設定値は「する」)。

1 ナビゲーション設定画面で 表示設定 にタッチします。

2 「路線番号表示」の する または しない にタッチします。

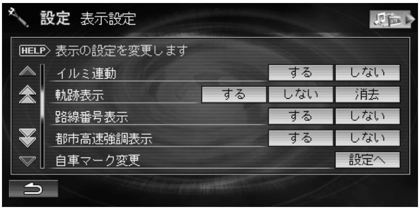


都市高速強調表示

都市高速道路を走行しているときに、都市高速マップを表示するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

1 ナビゲーション設定画面で 表示設定 にタッチします。

2 「都市高速強調表示」の する または しない にタッチします。

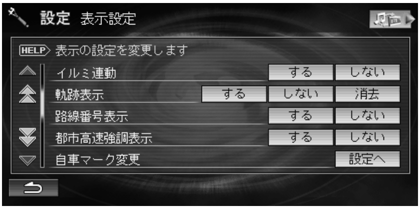


自車マーク変更

地図で自車の位置を示すマークを3種類から選択できます（初期設定値は「自車マーク1」）。

1 ナビゲーション設定画面で 表示設定 にタッチします。

2 「自車マーク変更」の 設定へ にタッチします。



3 自車マーク1 自車マーク2 自車マーク3 のいずれかにタッチします。

地図上の自車マークが選択したマークにかわります。

道路ふち取り

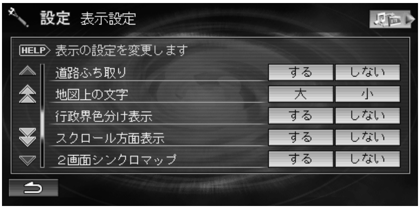
地図で道路にふち取り表示をするかどうかを設定できます（初期設定は「する」）。

アドバイス

● ふち取りは、50m～200mスケール図の地図で表示されます。

1 ナビゲーション設定画面で 表示設定 にタッチします。

2 「道路ふち取り」の する または しない にタッチします。



地図上の文字

地図に表示する文字の大きさを設定できます（初期設定値は「小」）。

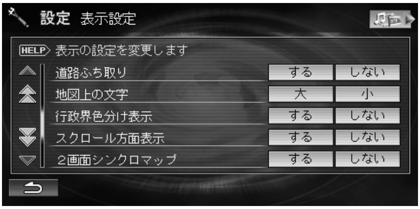
■ 小文字

■ 大文字

次ページに続く→

1 ナビゲーション設定画面で 表示設定 にタッチします。

2 「地図上の文字」の 大 または 小 にタッチします。

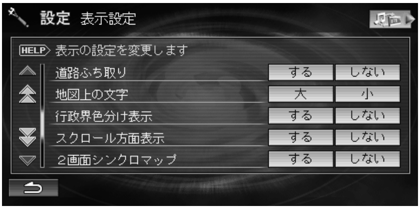


行政界色分け表示

市街地図で行政界の色を分けて表示するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

1 ナビゲーション設定画面で 表示設定 にタッチします。

2 「行政界色分け表示」の する または しない にタッチします。

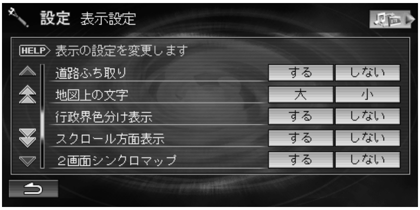


スクロール方面表示

連続スクロール中に画面（上下左右）にスクロール方面名称を表示するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

1 ナビゲーション設定画面で 表示設定 にタッチします。

2 「スクロール方面表示」の する または しない にタッチします。

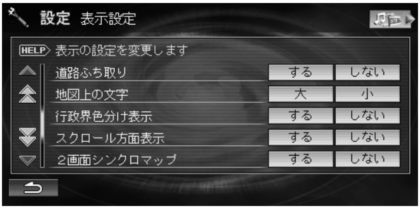


2画面シンクロマップ

2画面表示中に右画面をスクロールするかどうかを設定します（初期設定値は「しない」）。

1 ナビゲーション設定画面で 表示設定 にタッチします。

2 「2画面シンクロマップ」の する または しない にタッチします。



照明色

パネルスイッチの照光部の色（青または赤）を設定できます（初期設定値は「青」）。

1 ナビゲーション設定画面で 表示設定 にタッチします。

2 「照明色」の 青 または 赤 にタッチします。

案内に関する設定

到着予想表示

到着予想時刻を表示するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。また、到着時刻を計算するための平均時速を高速道路、一般道路、有料道路ごとに設定できます（初期設定値は、高速道路「70km/h」、一般道「25km/h」、有料道路「50km/h」）。

1 ナビゲーション設定画面で 案内設定 にタッチします。

2 「到着予想表示」の する または しない にタッチします。

3 「高速道」「一般道」「有料道」の ◀ または ▶ にタッチして時速を指定します。

- ◀ ▶ にタッチするたびに、時速が1kmずつ増減します。
- ◀ ▶ にタッチし続けると、2kmずつ増減させることができます。
- 時速は以下の範囲で指定できます。
  - 高速道：5～120km/h
  - 一般道：5～80km/h
  - 有料道：5～100km/h

直線誘導線表示

目的地案内で、目的地の方向を直線の誘導線で表示するかどうかを設定できます（初期設定値は「しない」）。

1 ナビゲーション設定画面で 案内設定 にタッチします。

2 「直線誘導線表示」の する または しない にタッチします。

詳細案内図表示

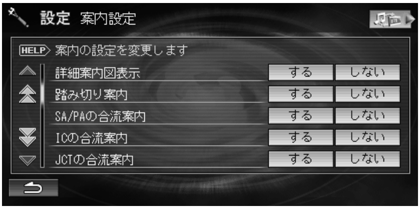
情報のある交差点や案内地点で詳細な案内図を表示するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

アドバイス

- 各案内図については、75ページ「交差点・高速分岐案内」を参照してください。

1 ナビゲーション設定画面で 案内設定 にタッチします。

2 「詳細案内図表示」の する または しない にタッチします。

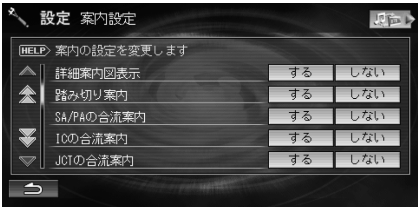


踏み切り案内

踏み切りが近づいたときに音声とアイコン表示で警告するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

1 ナビゲーション設定画面で **案内設定** にタッチします。

2 「踏み切り案内」の **する** または **しない** にタッチします。



合流案内

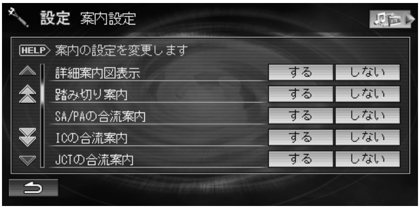
高速道路のインターチェンジ（IC）、ジャンクション（JCT）、SA/PA出口など、合流地点が近づいたときに音声とアイコン表示で警告するかどうかを設定できます（初期設定値はすべて「する」）。

設定できる案内は以下のとおりです。

- SA/PAの合流案内
- ICの合流案内
- JCTの合流案内

1 ナビゲーション設定画面で **案内設定** にタッチします。

2 各「合流案内」の **する** または **しない** にタッチします。



事故多発地点案内

事故多発地点の手前で案内をするかどうかを設定できます（初期設定値は「しない」）。

1 ナビゲーション設定画面で **案内設定** にタッチします。

2 「事故多発地点案内」の **する** または **しない** にタッチします。

迂回距離

迂回する場合に自車位置から何km先まで迂回するかを、一般道路、有料・高速道路ごとに設定できます（初期設定値は一般道「5km」、有料・高速道「20km」）。

アドバイス

● 迂回する方法については、74ページ「迂回する」を参照してください。

1 ナビゲーション設定画面で **案内設定** にタッチします。

2 「迂回距離」の「一般道」「有料・高速道」でそれぞれの距離にタッチします。

- 「一般道」は **2Km** **5Km** **10Km** から選択します。
- 「有料・高速道」は **10Km** **20Km** **30Km** から選択します。

アクティブルートサーチ

アクティブルートサーチとは、ルートを走行中に、刻々と変化する交通情報／到着予想時間などに対応し、案内誘導中のルートよりも目的地への到着予想時刻が結果的に最適となるルートを提供する機能です。ここでは、この機能を利用するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。
また、到着予想時刻が何分以上短縮された場合に変更するのかを設定できます（初期設定値「5分以上」）。

アドバイス

- アクティブルートサーチについては、68ページ「より最適なルートが見つかった場合（アクティブルートサーチ）」を参照してください。
- アクティブルートサーチ設定を「する」に設定しているときに、「別ルート」を選択するとアクティブルートサーチ設定を「しない」に設定するかどうかを確認するメッセージが表示されます。はい にタッチすると、アクティブルートサーチ設定を「しない」に変更し、別ルートを探索します。再度アクティブルートサーチを有効にする場合は、アクティブルートサーチ設定を「する」に変更してください。
  また、いいえ にタッチするとアクティブルートサーチが有効のまま別ルートを探索しますが、ルート走行中にアクティブルートサーチが働くと推奨ルートに変更されます。

1 **ナビゲーション設定画面で 案内設定 にタッチします。**

2 **「アクティブルートサーチ」の する または しない にタッチします。**

3 **「時短設定」の ◀ ▶ にタッチして時間（5分以上〜30分以上）を設定します。**

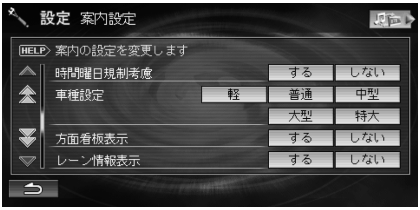
- ◀ ▶ にタッチするたびに時間が5分ずつ増減します。

時間曜日規制考慮

時間や曜日によって規制される区間を避けてルート計算するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

1 **ナビゲーション設定画面で 案内設定 にタッチします。**

2 **「時間曜日規制考慮」の する または しない にタッチします。**

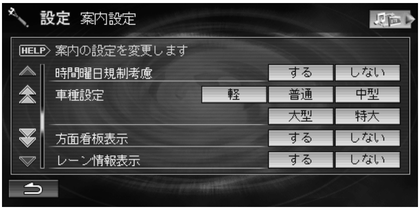


車種設定

車種を設定します（初期設定値は「普通」）。ここで設定された車種に基づいて料金表示案内が行われます。

1 **ナビゲーション設定画面で 案内設定 にタッチします。**

2 **「車種設定」の 軽 普通 中型 大型 特大 のいずれかにタッチします。**

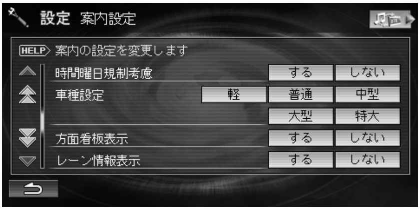


方面看板表示

交差点の手前で方面看板を表示するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

1 ナビゲーション設定画面で 案内設定 にタッチします。

2 「方面看板表示」の する または しない にタッチします。

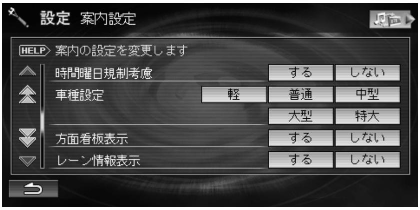


レーン情報表示

交差点の手前で右折専用などのレーン情報を表示するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

1 ナビゲーション設定画面で 案内設定 にタッチします。

2 「レーン情報表示」の する または しない にタッチします。

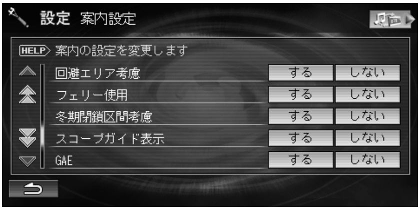


回避エリア考慮

ルート探索時に登録した迂回地点を考慮するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

1 ナビゲーション設定画面で 案内設定 にタッチします。

2 「回避エリア考慮」の する または しない にタッチします。

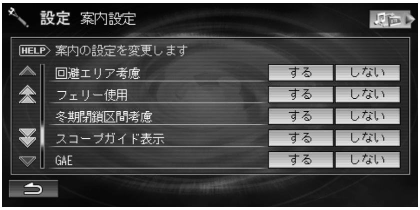


フェリー使用

フェリー航路を利用したルートを探索するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

1 ナビゲーション設定画面で 案内設定 にタッチします。

2 「フェリー使用」の する または しない にタッチします。



冬期閉鎖区間考慮

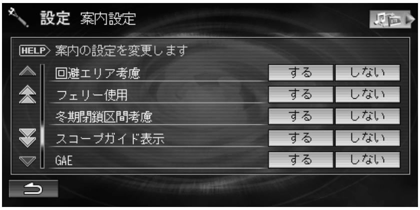
冬に通行止めとなる区間を避けてルート計算するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

アドバイス

- 「する」にした場合は、冬期（11月～3月）の期間に考慮されます。4月～10月は通常ルートとなります。道路によっては4月～10月の期間内でも冬期閉鎖になっている場合があります。
- 「しない」に設定すると、冬期閉鎖区間が発見された時点でメッセージが表示され、避けるかどうかを選択できます（66ページ「冬期閉鎖区間を回避する」参照）。

1 ナビゲーション設定画面で 案内設定 にタッチします。

2 「冬期閉鎖区間考慮」の する または しない にタッチします。



スコープガイド表示

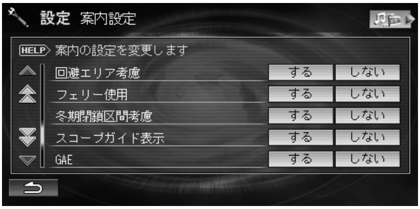
交差点案内時にスコープガイド表示をするかどうかを設定できます(初期設定値は「する」)。

アドバイス

- スコープガイドについては75ページ「交差点・高速分岐案内」を参照してください。

1 ナビゲーション設定画面で 案内設定 にタッチします。

2 「スコープガイド表示」の する または しない にタッチします。

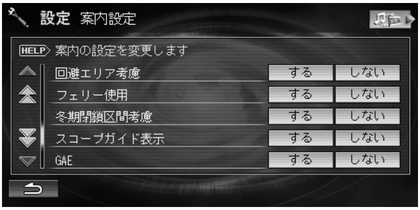


GAE(Guide Adapted Enhanced)

車内のノイズを考慮し、音声案内の音量を最適な音量にします。(初期設定値は「する」)。

1 ナビゲーション設定画面で 案内設定 にタッチします。

2 「GAE」の する または しない にタッチします。



アドバイス

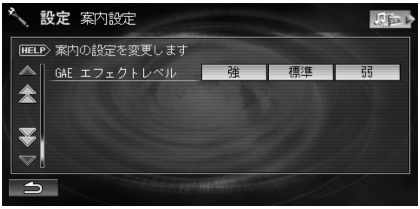
- 「GAE」設定およびGAEは、ハンズフリー電話の接続ケーブル※が必要です。
  ※VXH-071MCVは別売です。
- GAEが働くと通常の音声案内より、案内容量が少し大きく聴こえます。

GAEエフェクトレベル

「GAE」設定を「する」に設定した場合に、GAEの効果のレベルを3段階で設定することができます(初期設定値は「標準」)。

1 ナビゲーション設定画面で 案内設定 にタッチします。

2 「GAEエフェクトレベル」の 強 標準 弱 のいずれかににタッチします。



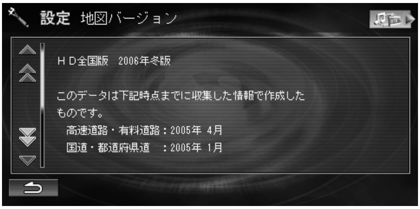
- 強 : GAEが働いたときの案内音声が聴こえずらい場合に「強」にします。
- 弱 : GAEが働いたときの案内音声が大きいと感じられる場合に「弱」にします。

地図のバージョンを見る

使用している地図のバージョンを確認できます。

1 **ナビゲーション設定画面で 地図バージョン にタッチします。**

地図のバージョン情報が表示されます。



自車位置を修正する

GPS受信状況の変化により実際の車の向きと画面上の自車マークの位置･方位が異なったときに修正することができます。ただし、修正しなくても走行を続ければ、情報が補正され正しい位置･方位になります。

1 **ナビゲーション設定画面で 自車位置修正 にタッチします。**

地図に現在の自車位置が表示されます。

2 **地図をスクロールして自車位置を修正します。**

- スクロールの方法については、36ページ「地図をスクロールする」を参照してください。

3 **⟲ ⟳ にタッチして自車マークの向きを修正します。**

- ⟲ にタッチすると左回りに、⟳ にタッチすると右回りに自車マークが回転します。

4 **登録 にタッチします。**

自車位置がセットされます。

情報設定

情報設定では、VICS設定、電話設定、“メモリースティック”設定、通信設定が行えます。

VICS設定

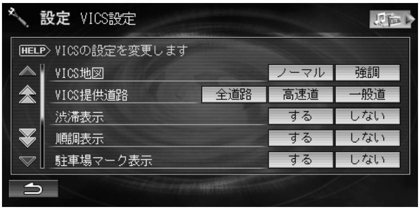
VICS機能に関する設定が行えます。VICS機能については、93ページ「VICS情報を見る」を参照してください。

VICS地図

地図上で渋滞や規制区間などのVICS情報を目立たせて表示するかどうかを設定します（初期設定値は「ノーマル」）。「強調」を設定すると、VICS情報が強調されます。

1 情報設定画面で **VICS設定** にタッチします。

2 「VICS地図」の **ノーマル** または **強調** にタッチします。

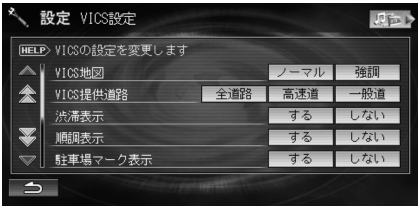


VICS提供道路

VICS情報を提供する道路を全道路、高速道、一般道から選択できます（初期設定値は「全道路」）。

1 情報設定画面で **VICS設定** にタッチします。

2 「VICS提供道路」の **全道路** **高速道** **一般道** にタッチします。



渋滞表示

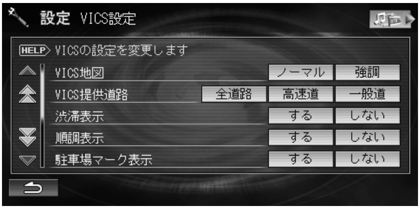
渋滞している箇所がわかるように、渋滞線を表示するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

アドバイス

- 表示される色については、98ページ「渋滞／順調表示」を参照してください。

1 情報設定画面で **VICS設定** にタッチします。

2 「渋滞表示」の **する** または **しない** にタッチします。

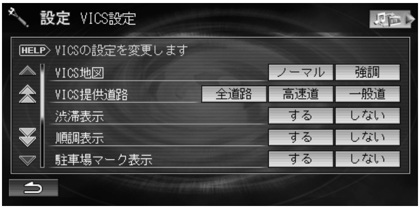


順調表示

渋滞が発生していない道路に青い線を表示するかどうかを設定できます（初期設定値は「しない」）。

1 情報設定画面で **VICS設定** にタッチします。

2 「順調表示」の **する** または **しない** にタッチします。



駐車場マーク表示

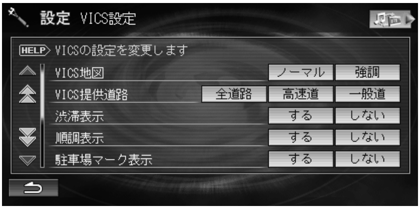
VICS提携駐車場のマークを案内画面に表示するかどうかを設定できます（初期設定値は「しない」）。

アドバイス

● 駐車場マークは、地図スケールが1km以下の詳細な地図で表示されます。

1 情報設定画面で VICS設定 にタッチします。

2 「駐車場マーク表示」の する または しない にタッチします。



規制マーク表示

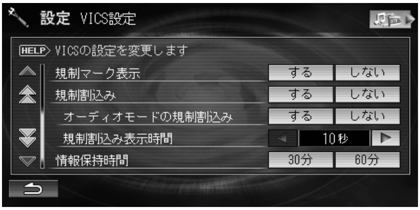
規制区間のマークを案内画面に表示するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。

アドバイス

● 規制マークは、地図スケールが1km（通行止めは50km、ランプ規制は20km）以下の詳細な地図で表示されます。

1 情報設定画面で VICS設定 にタッチします。

2 「規制マーク表示」の する または しない にタッチします。



規制割込み

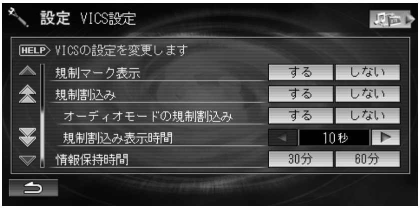
ビーコンによる図形情報を他の画面に割り込ませて表示するかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。オーディオ・テレビ画面表示中に規制割り込みするかどうかを設定できます（初期設定値は「する」）。また、規制割り込み画面の表示時間を設定できます（初期設定値は「10秒」）。

アドバイス

● 緊急情報や注意警戒情報は、ここでの設定に関係なく割り込み表示されます。

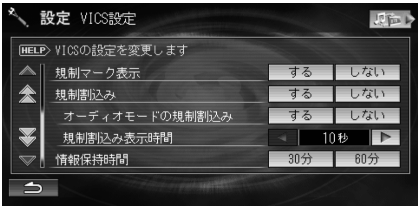
1 情報設定画面で VICS設定 にタッチします。

2 「規制割込み」の する または しない にタッチします。



3 「オーディオモードの規制割込み」の する または しない にタッチします。

4 「規制割込み表示時間」の ◀ または ▶ にタッチして表示時間を指定します。



- ◀ ▶ にタッチするたびに、時間が1秒ずつ増減します。
- 表示時間は10〜20秒の間で指定できます。

アドバイス

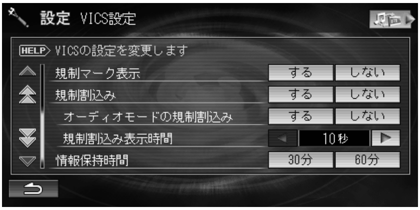
● 「規制割込み」を「しない」に設定した場合は、「オーディオモードの規制割込み」を「する」に設定してもオーディオ・テレビ画面表示中に規制割り込みされません。

情報保持時間

受信したVICS情報の保存時間を設定できます（初期設定値は「30分」）。ここで設定した時間が経過すると、情報が自動的に消去されます。

1 情報設定画面で VICS設定 にタッチします。

2 「規制保持時間」の 30分 または 60分 にタッチします。



アドバイス

- イグニッションキーをOFFにすると、保持情報は消去されます。

電話設定

携帯電話を接続して本機をハンズフリー電話として利用する場合の、着信音量や通話音量、自動着信について設定します。

アドバイス

- 携帯電話を接続していないと、電話設定を行うことができません。
- 電話の機能については、109ページ「ハンズフリー電話を使う」を参照してください。
- 各音量は携帯電話には依存しません。

自動着信

電話がかかってきたときに、自動的に電話を受けるかどうかを設定します（初期設定値は「する」）。また、電話を受けるまでの時間を設定できます（初期設定値は「10秒」）。

1 情報設定画面で 電話設定 にタッチします。

2 「自動着信」の する または しない にタッチします。

3 「時間設定」の ◀ または ▶ にタッチして着信時間を指定します。

- ◀ ▶ にタッチするたびに、時間が5秒ずつ増減します。
- 着信時間は5秒、10秒、15秒、20秒から指定できます。

着信音量

着信音量を7段階で設定できます（初期設定値は「レベル4」）。

1 情報設定画面で 電話設定 にタッチします。

2 「着信音量」の ◀ または ▶ にタッチして、音量を指定します。

- ◀ にタッチするたびに音量が1レベル下がり、▶ にタッチするたびに音量が1レベル上がります。

受話音量／送話音量

通話音量を7段階で設定できます（初期設定値は「レベル4」）。

1 情報設定画面で **電話設定** にタッチします。

2 「受話音量」／「送話音量」の **◀** または **▶** にタッチして、音量を指定します。

- **◀** にタッチするたびに音量が1レベル下がり、**▶** にタッチするたびに音量が1レベル上がります。

Memory Stick設定

"メモリースティック"のデータを消去したり、登録地点の情報を取り込むことができます。

アドバイス

- 初めに"メモリースティック"を挿入してください。23ページ「"メモリースティック"を入れる」を参照してください。

初期化

"メモリースティック"に保存されているデータをすべて消去し、購入時の状態に戻します。

注　意

- 初期化中は"メモリースティック"を取り出したり、電源をOFFにしないでください。

1 情報設定画面で **Memory Stick設定** にタッチします。

2 **初期化** にタッチします。

初期化を確認するメッセージが表示されます。

3 **はい** にタッチします。

- 初期化を中止する場合は **いいえ** にタッチします。

登録地点を保存する

ハードディスク（HDD）のすべての登録地点を"メモリースティック"に保存します。バックアップをするときなどにご使用ください。

注　意

- すでに"メモリースティック"に登録されている地点情報は新たに登録されます。
- データの保存中は、"メモリースティック"を取り出したり、電源をOFFにしないでください。

1 情報設定画面で **Memory Stick設定** にタッチします。

2 **地点保存** にタッチします。

保存を確認するメッセージが表示されます。

3 **はい** にタッチします。

- 保存を中止する場合は **いいえ** にタッチします。

登録地点へ追加する

“メモリースティック”のすべての登録地点をハードディスク(HDD)の登録地点に追加登録します。

注　意

● データの保存中は、“メモリースティック”を取り出したり、電源をOFFにしないでください。

1 情報設定画面で Memory Stick設定 にタッチします。

2 地点追加 にタッチします。

追加を確認するメッセージが表示されます。

3 はい にタッチします。

- 追加を中止する場合は いいえ にタッチします。

アドバイス

● ハードディスク内の登録地点が200件を超えると、メッセージが表示され追加ができなくなります。

通信設定

Music RackでCDDBのダウンロードを使用する前に、通信設定を行う必要があります。
通信設定には、あらかじめ用意されている接続先を選ぶだけで簡単に設定できる「接続先を選んで通信設定をする」と新たな接続先を追加したり、設定内容が変更できる「接続先を追加／変更して通信設定をする」があります。

接続先を選んで通信設定をする

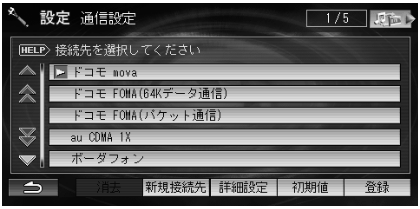
使用する携帯電話を選択するだけで、接続先の設定などが自動的に行われます(初期設定値は「ドコモ mova」)。
あらかじめ用意されている接続先は、以下の5種類です。

- ドコモ mova
- ドコモ FOMA(64Kデータ通信)
- ドコモ FOMA(パケット通信)
- au CDMA 1X
- ボーダフォン

1 (⏻/MENU)スイッチを押したあと、設定を変える にタッチします。

2 情報 にタッチし、通信設定 にタッチします。

3 接続する携帯電話にタッチします。



4 登録 にタッチします。

情報メニュー画面に戻ります。

接続先を追加／変更して通信設定をする

あらかじめ登録されている5種類以外の接続先を利用している場合に、新しく設定します。通信設定の内容は名前を付けて最大で5種類保存できます。

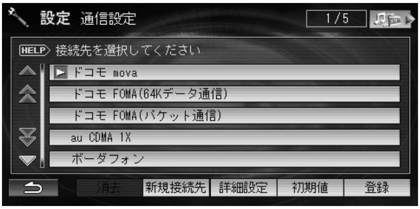
アドバイス

- au(CDMA 1X WIN)の場合は、ここで設定を行ってください。

1 (⏻/MENU)スイッチを押したあと、設定を変えるにタッチします。

2 情報にタッチし、通信設定にタッチします。

3 詳細設定または新規接続先にタッチします。



- 新規に設定する場合は、新規接続先にタッチします。通信設定の内容を変更したり、別の通信設定に変更する場合は、接続先を選択したあとに詳細設定にタッチします。

詳細設定画面が表示されます。

4 各項目にタッチし、設定を行います。

- 接続先名称
  接続先の名称を入力する(151ページ参照)
- 電話番号
  電話番号を入力する(151ページ参照)
- ユーザーID
  ユーザーIDを入力する(151ページ参照)
- パスワード
  パスワードを入力する(151ページ参照)
- 通信方式
  通信方式を指定する(152ページ参照)
- FOMA
  「FOMA」を使用する(152ページ)
- DNS設定
  DNSサーバーを指定する(152ページ参照)

5 完了にタッチします。

6 登録にタッチします。

情報メニュー画面に戻ります。

アドバイス

- 接続先設定内容を初期設定に戻す場合は、初期値にタッチしてはいにタッチします。
- 「接続先名称」、「電話番号」を入力しないと完了にタッチできません。

接続先の名称を入力する

接続先の名称を入力します。ここで設定した名称が、通信設定リストに表示されます。

アドバイス

- あらかじめ登録されている接続先を選んだあとで、詳細設定にタッチした場合は、変更することができません。

1 詳細設定画面で 接続先名称 にタッチします。

2 名称を入力します。

- 入力できる名称は、最大で全角／半角32文字です。

3 完了 にタッチします。

電話番号を入力する

接続先の電話番号を入力します。

1 詳細設定画面で 電話番号 にタッチします。

2 電話番号を入力します。

- 入力できる電話番号は最大で15桁です。

3 完了 にタッチします。

ユーザーIDを入力する

接続先との契約で登録されたユーザーIDを入力します。

1 詳細設定画面で ユーザーID にタッチします。

2 ユーザーIDを入力します。

- 入力できるユーザーIDは、最大で半角32文字です。

3 完了 にタッチします。

パスワードを入力する

接続先との契約で登録されたパスワードを入力します。

1 詳細設定画面で パスワード にタッチします。

2 パスワードを入力します。

- 入力できるパスワードは、最大で半角32文字です。
- 入力したパスワードは＊で表示されます。

3 完了 にタッチします。

通信方式を指定する

通信方式を回線交換またはPacketから選択します。

1 **詳細設定画面で通信方式の 回線交換 または Packet にタッチします。**

アドバイス

- 「回線交換」に設定しても、パケットのみ対応のエリアにいるときは、回線接続できない場合があります。

「FOMA」を使用する

NTTドコモの「FOMA」を使用する新規接続先を設定する場合に、「FOMA」を「使用する」に設定します。

1 **詳細設定画面でFOMAの 使用する または 使用しない にタッチします。**

アドバイス

- あらかじめ登録されている接続先を選んだあとで、 詳細設定 にタッチした場合は、表示されません。
- NTTドコモの「FOMA」を接続しない場合は、必ず 使用しない に設定してください。
- 「FOMA」はNTTドコモの登録商標です。

DNSサーバーを指定する

DNSサーバーのIPアドレスを自動または手動で設定します。
なお、DNSサーバーについては、利用する接続先にご確認ください。

1 **詳細設定画面で「DNS設定」の 自動 または 手動 にタッチします。**

- 自動 にタッチした場合は、以降の操作は必要ありません。

2 **DNS1 にタッチします。**

3 **IPアドレスを入力します。**

- 0～255の範囲で入力します。

4 **完了 にタッチします。**

5 **DNS2 にタッチし、同様にIPアドレスを入力します。**

6 **完了 にタッチします。**

画面消設定

画面表示をOFFしたときに表示する壁紙(画像)の種類を変更できます(初期設定値は「画像1」)。

アドバイス

- 画面を消す方法については、25ページ「画面を消す」を参照してください。
- お好みの画像を表示することもできます。画像の登録については、153ページ「画像を登録する」を参照してください。

1 システム設定画面で 画面消設定 にタッチします。

画像リストが表示されます。

2 設定したい画像にタッチします。

- 初期設定時は、画像1 ～ 画像5 の5つのみを選択することができます。
- プレビュー にタッチすると、選択している画像を拡大表示できます。
- 並び順変更 にタッチするたびに画像リストを並べかえられます。
  登録順 → 名前順 → 種類順 → 登録順 …
  登録順:新しく登録した順。
  名前順:ファイル名の50音順。
  種類順:ファイル形式の種類(BMP形式、JPEG形式、PNG形式、GIF形式)順。同じ形式内の並び順は名前順。

アドバイス

- 壁紙に使用中の画像を消去した場合は、初期設定値の「画像1」が設定されます。

画像設定

デジタルカメラなどで撮影して"メモリースティック"に保存した画像を、ハードディスク(HDD)に登録することができます。登録した画像は、画面を消したときの壁紙、Music Rack再生中のイメージ画像、ハンズフリー電話のイメージ画像に表示することができます。

注 意

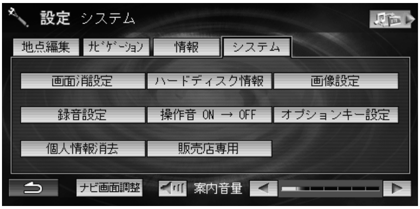
- データの保存中は"メモリースティック"を取り出したり、電源をOFFにしないでください。

画像を登録する

1 "メモリースティック"を本機に挿入します。

- 23ページ「"メモリースティック"を入れる」を参照してください。

2 システム設定画面で 画像設定 にタッチします。



ハードディスク(HDD)の画像リストが表示されます(初期設定値は「登録順」)。

3 MS にタッチします。

"メモリースティック"の画像リストが表示されます。

- プレビュー にタッチすると、選択している画像を拡大表示できます。
- すでに登録した画像がある場合は、並び順変更 にタッチするたびに画像リストを並べかえられます。現在選択している並び順は、画面上部のタイトル部分に表示されます。
  登録順 → 名前順 → 種類順 → 登録順 …
  登録順:新しく登録した順。
  名前順:ファイル名の50音順。
  種類順:ファイル形式の種類(BMP形式、JPEG形式、PNG形式、GIF形式)順。同じ形式内の並び順は名前順。
- 登録した画像がない場合は、並べかえできません。

次ページに続く→

• 画面を消したときの壁紙、Music Rack再生中のイメージ画像、ハンズフリー電話のイメージ画像などに使用されている画像には、画像名称の後ろにそれぞれのアイコンが表示されます。
「OFF」：画面を消したときの壁紙に設定
「MR」：Music Rack再生中のイメージ画像に設定
「TEL」：ハンズフリー電話のイメージ画像に設定

4 **登録したい画像にタッチし、 画像追加 にタッチします。**

登録を確認するメッセージが表示されます。
• プレビュー にタッチすると、選択している画像を拡大表示できます。
• 全画像追加 にタッチすると、"メモリースティック"の全画像を登録できます。

5 **はい にタッチします。**
画像が登録されます。

アドバイス

● 登録できる画像は、最大200件（190MB）です。
● 登録できる画像のファイル形式とサイズは以下のとおりです。
•ファイル形式：BMP形式(.BMP)※1、JPEG形式(.JPG/JPEG)※2、PNG形式(.PNG)、GIF形式(.GIF)
•サイズ：横1024×縦768ドット以下、または最大2MB
•フォルダ階層：最大8階層
•ファイル名：最大全角／半角63文字(拡張子含む)
※1 登録できるBMP形式は以下のとおりです。
• 1ビット(2値) Palette Color
• 4ビット(16色) Palette Color
• 8ビット(256色) Palette Color
• 16ビット 1555形式 RGB Color
• 24ビット RGB Color
※2 プログレッシブ方式のJPEGファイルには対応していません。
● ハードディスクに同一名称の画像ファイルがある場合は、ファイル名の末尾に番号をつけて登録されます。

● 画像を登録中にディスプレイを開いた場合は、登録中までの画像のみを登録します。残りの画像は登録されません。
● "メモリースティック"画像一覧表示中にディスプレイを開いた場合は、ハードディスク画像リスト表示に戻ります。
● 登録画像件数が200件を超えている、または空き容量が足りない場合は、先に不要な画像を消去してください。
● 全画像登録中に登録画像件数が200件を超えた、または空き容量が足りなくなった場合は、すべてを登録できなかった旨のメッセージが表示されます。
● 対応していない画像の場合、画面右側に画像は表示されませんが、 プレビュー にタッチすると画像を確認できます。

登録した画像を消去する

登録した画像を1件またはすべて消去します。

1 **システム設定画面で 画像設定 にタッチします。**
ハードディスク(HDD)の画像リストが表示されます。

2 **消去したい画像にタッチし、 消去 にタッチします。**

• すべての画像を消去するには、 消去 にタッチし続けます。
消去を確認するメッセージが表示されます。

3 **はい にタッチします。**
画像が消去されます。

アドバイス

● 画面を消したときの壁紙、Music Rack再生中のイメージ画像、ハンズフリー電話のイメージ画像などに使用されている画像を消去したときは、以下の画像が設定されます。
• 画面を消したときの壁紙：
初期設定値の「画像1」
• Music Rack再生中のイメージ画像：
ジャンルのイメージ画像
• ハンズフリー電話のイメージ画像：
初期設定値の「画像1」

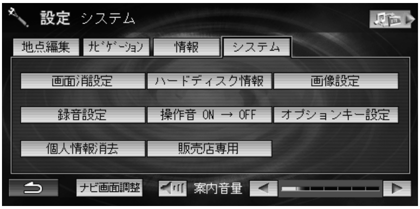
操作音設定

パネルスイッチを押したときの操作音、タッチスイッチにタッチしたときの操作音またはVICS情報割り込み時のビープ音をONまたはOFFに設定できます（初期設定値は「ON」）。

アドバイス

- 操作音がONに設定されている場合は 操作音ON→OFF 、OFFに設定されている場合は 操作音OFF→ON とシステム設定画面に表示されます。
- 操作音の音量を調整することはできません。

1 システム設定画面で 操作音ON→OFF または 操作音OFF→ON にタッチします。



- タッチするたびにONまたはOFFに切りかわります。

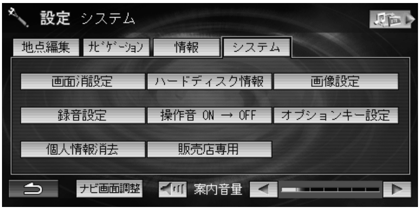
オプションキー設定

OPTION スイッチを押したときの動作を設定できます（初期設定値は「Audio Source切換」）。設定した機能のアイコンが画面右上に表示されます。

アドバイス

- 別売のフロントまたはコーナーカメラが装着されている場合は、オプションキー設定はできません。この場合、オプションキー設定はフロント（コーナー）カメラ設定になります。

1 システム設定画面で オプションキー設定 にタッチします。



2 Audio Source切換 、 自宅へ帰る 、 録音 開始/停止 のいずれかにタッチします。

- Audio Source切換
  オーディオ・テレビモードを切りかえます。
- 自宅へ帰る
  自宅までのルートが探索されます。
- 録音 開始/停止
  Music Rackへの録音を停止または再開します。

3 完了 にタッチします。

画面右上のOPTIONスイッチ機能表示がかわります。

オプション機能

ナビゲーション編

QQコール(有料オプションサービス)を利用する .. 158

QQコールとは 158

QQコールに電話をかける（ハンズフリー電話の場合） 158

QQコールに電話をかける（ハンズフリー電話でない場合） 159

ETCについて 160

ETCの料金表示について 160

ETC料金履歴を見る 160

ETCユーザー情報を見る 161

リアカメラの操作 162

リアカメラの映像 162

画質やガイド線を設定する 165

フロント／コーナーカメラの操作 166

フロント／コーナーカメラの映像 167

画質やガイドを設定する 168

フロント／コーナーカメラを設定する 168

フロント(コーナー)カメラ表示地点を登録する 169

リアモニターについて 171

リモコンについて 172

QQコール（有料オプションサービス）を利用する

■ QQコール（有料オプションサービス）を開始するまでの流れ

注　意

● QQコールを利用するには、販売店での入会登録手続きが必要です。

QQ コール入会申し込み
専用の登録申込書に必要事項を記入

↓

販売店

登録申込書に記入したお客様の情報を
インターナビ情報センターに登録

↓

QQ コール設定を
ナビゲーションユニットにセットアップ

↓

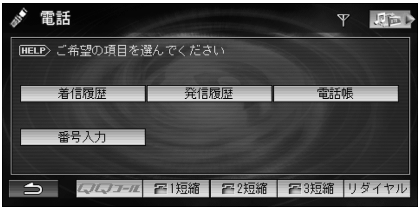
QQ コールをご利用いただけます

QQコールとは

「QQコール」とは、Hondaユーザーに提供される有料オプションサービスの1つで、全国のHondaディーラーやサービス工場など、Hondaのネットワークでお客様をサポートするシステムです。
お車の応急処置はもちろん、レンタカーや飛行機などの代替交通手段、宿泊先までを専門のスタッフがコーディネート、手配します。
「QQコール」は、Honda販売店での入会登録手続きが必要です。詳しくは、ＱＱコールの紹介ページ「http://premium-club.jp/QQcall/」をご覧ください。

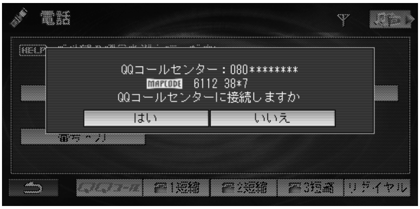
QQコールに電話をかける（ハンズフリー電話の場合）

1 電話画面で QQコール にタッチします。



接続を確認するメッセージが表示されます。

2 はい にタッチします。



QQコールセンターへ接続しているメッセージが表示され、電話がかかります。オペレーターとお話しください。

- キャンセル にタッチすると接続を中止します。

- マップコードの にタッチすると、マップコードを読み上げます。
- 送話音量の◀または▶にタッチすると、送話音量を7段階で調整できます。
- 受話音量の◀または▶にタッチすると、受話音量を7段階で調整できます。

3 終了 にタッチします。

アドバイス

- 携帯電話と接続するには、専用のケーブル※が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
  ※VXH-071MCVは別売です。
- 「販売店での登録が必要です」のメッセージが表示された場合は、QQコールを利用することができません。お買い上げの販売店でQQコールの登録を行ってください。
- 走行中はマップコードは表示されません。
- 通話中にQQコールへ電話をかけると、いったん回線を切断したあとで、QQコールセンターへ接続を開始します。
- 通話音量は情報設定メニューから設定することもできます（148ページ「受話音量／送話音量」参照）。
- QQコールへの発信は、発信履歴には登録されません。

QQコールに電話をかける（ハンズフリー電話でない場合）

QQコールに入会しているが、携帯電話接続ケーブル※を本機に接続していない場合にQQコールへ電話する方法を説明いたします。
※VXH-071MCVは別売です。

注　意

- QQコールセンターへ電話をかける際は、安全な場所に車を止めてから電話をかけてください。

1 ⏻/MENU スイッチを押したあと、QQコール にタッチします。

QQコールお知らせ画面が表示されます。

2 QQコールお知らせ画面のQQコールセンターへお手持ちの携帯電話などから電話をかけてください。

- オペレーターに画面に表示されている現在地のマップコードをご連絡ください。

3 電話終了後、確認 にタッチします。
メインメニュー画面に戻ります。

ETCについて

ETC(Electronic Toll Collection System:有料道路自動料金収受システム)とは、自動車に装備した車載器と料金所に設置したアンテナとの間で無線通信により料金支払いに必要な情報がやりとりされ、ノンストップで自動的に通行料金をお支払いいただけるシステムです。
本機では別売のETC車載器を装着することにより、料金所の手前でETC専用レーンの案内を表示するなど、ナビゲーション機能に連動してETC情報を提供します。
また、ETCを利用したインターチェンジと料金の履歴を確認したり（160ページ参照）、ETC契約のユーザー情報を表示させる（161ページ参照）こともできます。
ETCを使用するには、ETC車載器（別売）とETCカードが必要です。
ETCカードのご購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ETCの料金表示について

ETC車載器（別売）にETCカードを挿入している場合は、料金所のETCレーンを通るときに、利用料金が表示されます。

■ ETCレーン表示

ETCレーンがある料金所に近づくと、ETCレーンに矢印が表示されます。

■ ETC料金表示

料金所のETCアンテナから情報を受信すると、利用料金が表示されます。

ETC料金履歴を見る

ETCを利用した日時や料金をリスト表示したり、利用したインターチェンジ（IC）名などの詳細情報を確認することができます。

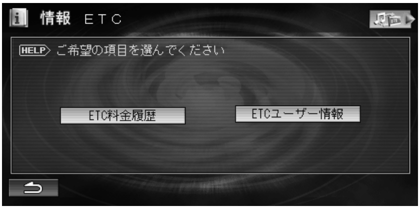
アドバイス

- ETCカードを挿入していないときは利用できません。
- ETCカードより取得できる料金履歴は、最大で100件です。それを超えると古い順に消去されます。
- 走行中は安全のため操作できません。安全な場所に停車してから操作してください。

1 ⏻/MENU スイッチを押したあと、情報を見る にタッチします。

2 ETC にタッチします。

3 ETC 料金履歴 にタッチします。



ETC料金履歴リストが表示され、新しい順に上から履歴が表示されます。

4 詳細を確認したい場合は、料金履歴にタッチし、詳細情報 にタッチします。

5 詳細料金情報を確認します。

6 （現在地）スイッチを押して現在地画面に戻します。

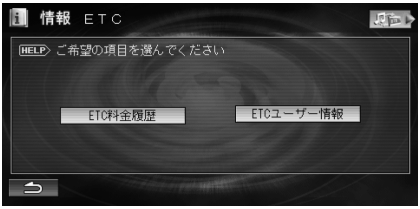
ETCユーザー情報を見る

ETCに登録されているユーザー情報を確認します。

1 （⏻/MENU）スイッチを押したあと、情報を見る にタッチします。

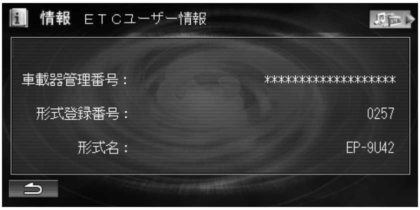
2 ETC にタッチします。

3 ETCユーザー情報 にタッチします。



車載器管理番号や型式登録番号、型式名などのユーザー登録情報が表示されます。

4 ユーザー情報を確認します。



5 （現在地）スイッチを押して現在地画面に戻します。

リアカメラの操作

別売のリアカメラを装着した場合、バッグギアにシフトすると、本機の画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド（車両の車幅や距離感覚を補う補助マーク）を映すことができます。（ご使用の車に合わせたガイドの表示設定は販売店にて行います。）

- タイヤおよびサスペンションを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤおよびサスペンションを交換すると、画面に表示される距離目安マークやガイドの示す位置に誤差が生じることがあります。

注　意

- 本機（リアカメラ）は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
- リアカメラで映し出す範囲は限られていますので、画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用しながら目視で確認し、後方および周囲の安全を十分確保してください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 乗車人数・積載量により、車両が傾き画面のガイドの示す位置と実際の路面上の距離・障害物との距離は変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 以下のような状況では使用しないでください。
  - ・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - ・バックドアが完全に閉まっていないとき
  - ・タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
  - ・坂道など平坦でない道
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にしないでください。防滴性能の劣化をまねき故障等の原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- 寒いときにお湯をかけるなど、カメラに急激な温度変化をあたえると、リアカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてリアカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷付き、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりリアカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- バックギアにシフトした瞬間は、一旦白画面になりますが、その後次第に安定します。
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。

アドバイス

- リアカメラは、受像素子に固体撮像素子（CCD素子）を使用しているためカメラに強い光が入ると、光源を中心に縦に白い光の線が出ますが、故障ではありません。
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
- 50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
- 湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。
- 本機の映像は鏡像となっています。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。これに対し直接目で見るのと同じ画像を正像と呼びます。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- 写真は一例です。モニター画面に映る範囲は車種によって異なります。リアカメラの映像は、車体の一部が映し出されるように調整してください。
- カメラの映像は、広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。

リアカメラの映像

後方の映像を映す

1 **シフトレバーをバックギア（R）に入れます。**

後方の映像が自動で画面に映し出されます。

- 画面上部にコーション（注意文）が表示されます。
- 画面 にタッチすると、リアカメラ映像の設定画面が表示されます。詳しくは、165ページ「画質やガイド線を設定する」を参照してください。

2 **シフトレバーをバックギア(R)以外に入れます。**

通常画面に戻ります。

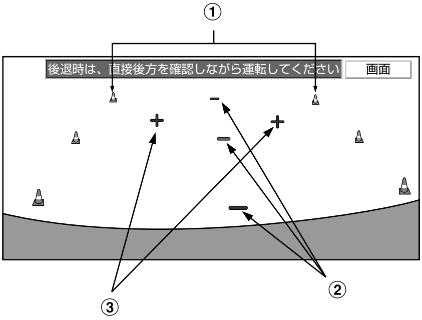
アドバイス

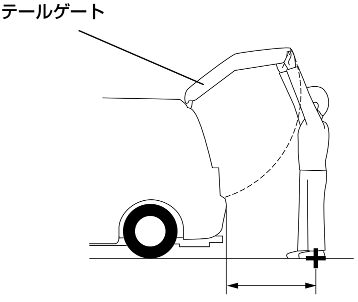
- 電源をONにした直後(オープニング画面表示中)にシフトレバーをバックギア(R)に入れた場合は、リアカメラの映像にガイド線は表示されません。
- ガイドOFF時は、ガイドは表示されません。初期設定は「ガイドOFF」です。
- リアカメラの映像を表示しているときに、フロント(コーナー)カメラの映像を表示させた場合、シフトレバーをバックギア(R)のままフロント(コーナー)カメラの映像を解除しても、リアカメラの映像は表示されません。

画面の見方について

■ 表示マークの見方

バックギアにシフトすると、モニター画面がリアカメラの映像に切りかわり、車幅や距離感覚を補うガイドが表示されます。





① 車幅延長マーク(手前より赤色、黄色、緑色)

車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

車の後方(バンパー後端から)の距離を示します。

- ハンドル操作と連動しません。
- それぞれの中心位置で、約0.25m先(赤色)・約1m先(黄色)・約2m先(緑色)を示します。

② 距離目安マーク

車の後方(バンパー後端から)の距離を示します。

- ハンドル操作と連動しません。
- それぞれの中心位置で、約0.25m先(赤色)・約1m先(黄色)・約2m先(緑色)を示します。

③ テールゲート距離目安マーク

テールゲートなどの開閉に必要な距離を示します。

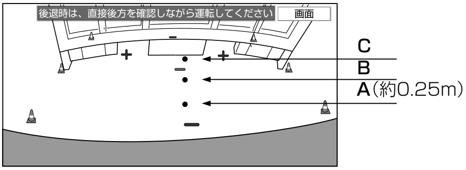
アドバイス

- 画面に表示されるガイドは、車両により異なります。お買い上げの販売店にご確認ください。
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 車両によりガイドが左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

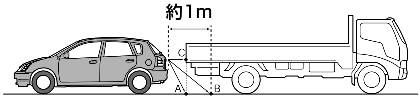
■ 距離目安マーク

距離目安マークは路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

<画面>



<A,B,Cの位置>



画面では、距離目安マークにより約1m 先(B の位置)にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。

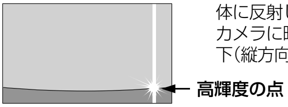
画面ではA、B、C の順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、B はA、Cより遠い距離にあります。

次ページに続く→

アドバイス

- 車幅延長マークは路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映しだされた場合は実際の距離感とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - ・暗いところ。(夜間など)
  - ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
  - ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。(雨天時など)
  - ・カメラ付近に異物(泥など)がついたとき。
  - ・太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
  - ・高輝度の点(車体に反射した太陽など)がカメラに映ると、CCDカメラ特有のスミヤ現象※が発生することがあります。

<画面の状況>



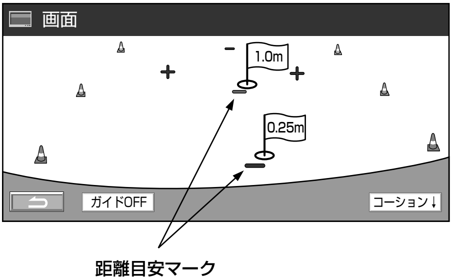
※ **スミヤ現象**:高輝度の点(車体に反射した太陽など)がカメラに映るとその点の上下(縦方向)に尾を引く現象。

画面と実際の路面との誤差

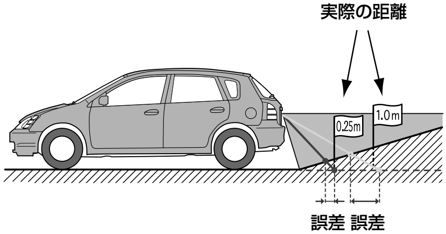
以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。(イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します)

■ 急な上り坂が後方にあるとき(例)

<画面>



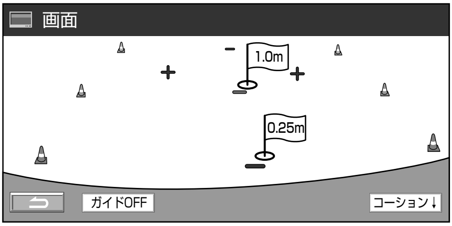
<車の状況>



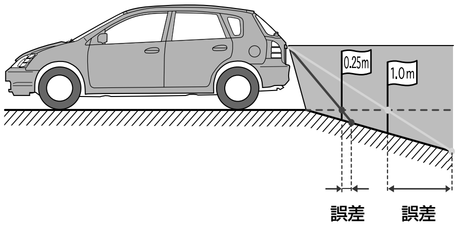
距離目安マークは、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安マークが表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。
同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■ 急な下り坂が後方にあるとき(例)

<画面>



<車の状況>



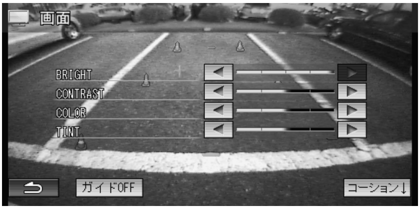
下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安マークが表示されます。
下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。
同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

画質やガイド線を設定する

画面のコントラストや明るさなどを調整したり、距離の目安となるガイド線の表示/非表示やコーションを調整できます。

1 **リアカメラの映像画面で 画面 にタッチします。**
リアカメラ映像の設定画面が表示されます。

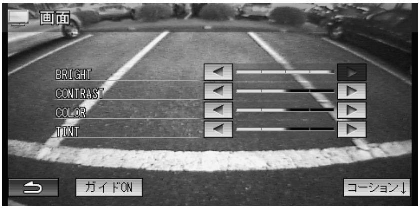
2 **「BRIGHT」、「CONTRAST」、「COLOR」、「TINT」の ◀ または ▶ にタッチして画質を調整します。**



BRIGHT
画面の明度を調整します。暗くするときは ◀ 、明るくするときは ▶ にタッチします。
CONTRAST
全体のめりはりの強弱を調整します。弱くするときは ◀ 、強くするときは ▶ にタッチします。
COLOR
色の濃淡を調整します。淡くするときは ◀ 、濃くするときは ▶ にタッチします。
TINT
緑色と赤色の強さを調整します。赤色を強くするときは ◀ 、緑色を強くするときは ▶ にタッチします。

- 15段階で調整できます。
- ⮌ にタッチすると、リアカメラ設定画面が閉じます。

3 **ガイド線を消したい場合は、ガイドOFF にタッチします。**
ガイド線が消えます。



- ガイド線を消すと、タッチスイッチが ガイドON にかわります。ガイド線を表示するには、ガイドON にタッチします。

4 **コーション(注意文)を下げたい場合は、コーション↓ にタッチします。**
画面上部のコーション(注意文)が画面下部に表示されます。

- コーションを下げると、タッチスイッチが コーション↑ にかわります。コーションを上げるには、コーション↑ にタッチします。

5 **⮌ にタッチします。**

アドバイス

- 取付車種により、メッセージを画面下部に表示するとカメラ映像を妨害する場合があります。メッセージを画面上部に表示するなど、配慮してください。
- 画面調整は、136ページ「イルミ連動」設定を「する」に設定している場合は、車のスモールランプを点灯したときと消灯したときで、別々に調整することができます。

オプション機能

フロント／コーナーカメラの操作

別売のフロントまたはコーナーカメラを装着した場合、低速で走行するとフロントまたは左前コーナーのカメラ映像およびガイド（車両の距離感覚を補う補助マーク）を映すことができます。（ご使用の車に合わせたガイドの表示設定は販売店にて行います。）

- タイヤおよびサスペンションを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤおよびサスペンションを交換すると、画面に表示されるガイドの示す位置に誤差が生じることがあります。
- 別売のフロントカメラおよびコーナーカメラは、どちらか一方しか接続できません。

注　意

- 本機（フロント／コーナーカメラ）は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
- フロント／コーナーカメラで映し出す範囲は限られていますので、画面だけを見ながら走行することは絶対にしないでください。必ず目視で確認し、前方および周囲の安全を十分確保してください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 乗車人数・積載量により、車両が傾き画面のガイドの示す位置と実際の路面上の距離・障害物との距離は変化します。必ず、前方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 以下のような状況では使用しないでください。
  - 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - ドアが完全に閉まっていないとき
  - タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にしないでください。防滴性能の劣化をまねき故障等の原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- 寒いときにお湯をかけるなど、カメラに急激な温度変化をあたえると、フロント／コーナーカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてフロント／コーナーカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷付き、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりフロント／コーナーカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。

アドバイス

- フロント／コーナーカメラは、受像素子に固体撮像素子（CCD素子）を使用しているためカメラに強い光が入ると、光源を中心に縦に白い光の線が出ますが、故障ではありません。
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
- 50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
- 湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。
- 夜間または暗所ではカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- 写真は一例です。モニター画面に映る範囲は車種によって異なります。
- カメラの映像は、広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。

フロント／コーナーカメラの映像

フロント／コーナーカメラ映像を映す

168ページ「フロント（コーナー）カメラ自動表示」を「する」に設定している場合は、速度が低速になると自動的にフロント／コーナーカメラの映像を表示します。また、169ページ「フロント（コーナー）カメラ表示地点検知」を「する」に設定して、事前に登録したカメラ表示地点に低速で近づいた場合も自動的にフロント／コーナーカメラの映像を表示します。

1 低速で走行します。

前方または左前コーナーの映像が画面に映し出されます。

例）コーナーカメラ映像

- 画面にコーション（注意文）が表示されます。
- 画面 にタッチすると、カメラ映像の設定画面が表示されます。詳しくは、168ページ「画質やガイドを設定する」を参照してください。

2 高速で走行します。

通常画面に戻ります。

アドバイス

- カメラ映像を表示できる速度は、フロントカメラとコーナーカメラで異なります。
- 電源をONにした直後（オープニング画面表示中）は、フロント／コーナーカメラの映像は表示されません。
- 低速走行または停車時、OPTION スイッチを押してもフロント／コーナーカメラ映像を表示したり消したりすることができます。
- カメラ映像表示中に 現在地 スイッチまたは ⏻/MENU スイッチを押してもフロント／コーナーカメラ映像を消すことができます。
- 168ページ「フロント（コーナー）カメラ自動表示」を「しない」に設定している場合は、低速走行または停車中に OPTION スイッチを押すと、1回だけカメラ映像を表示します。
- フロント／コーナーカメラ映像が表示できない状態（高速走行時など）の場合は、OPTION スイッチを押しても、メッセージが表示されフロント／コーナーカメラ映像を表示できません。その状態のまま低速走行すると、1回だけカメラ映像を表示します。

OPTIONスイッチ機能アイコンの色について

フロント／コーナーカメラの映像を自動表示できるかどうかをOPTIONスイッチ機能アイコンの色で区別することができます。

- 緑色　：低速走行または停車時に自動でフロント／コーナーカメラの映像を表示できます。
- グレー：低速走行または停車時に自動でフロント／コーナーカメラの映像を表示できません。

コーナーカメラ画面の見方について

① コーナーガイド
車の前側バンパー左コーナーと路肩の距離の目安を示します。
- ハンドル操作と連動しません。

アドバイス

- 画面に表示されるガイドは、車両により異なります。お買い上げの販売店にご確認ください。
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があります。必ず目視で確認してください。

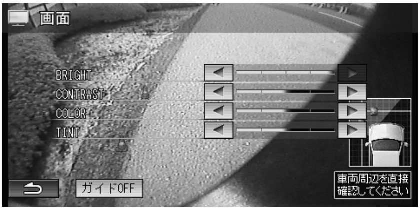
画質やガイドを設定する

画面のコントラストや明るさなどを調整したり、距離の目安となるガイドの表示/非表示（コーナーカメラのみ）を調整できます。

1 **フロント／コーナーカメラの映像画面で 画面 にタッチします。**

カメラ映像の設定画面が表示されます。

2 **「BRIGHT」、「CONTRAST」、「COLOR」、「TINT」の ◀ または ▶ にタッチして画質を調整します。**



BRIGHT
画面の明度を調整します。暗くするときは ◀ 、明るくするときは ▶ にタッチします。

CONTRAST
全体のめりはりの強弱を調整します。弱くするときは ◀ 、強くするときは ▶ にタッチします。

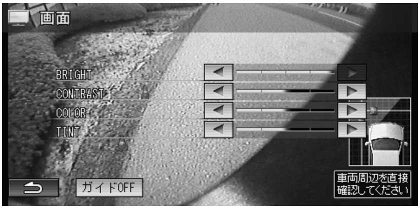
COLOR
色の濃淡を調整します。淡くするときは ◀ 、濃くするときは ▶ にタッチします。

TINT
緑色と赤色の強さを調整します。赤色を強くするときは ◀ 、緑色を強くするときは ▶ にタッチします。

- 15段階で調整できます。
- ↩ にタッチすると、カメラ設定画面が閉じます。

3 **コーナーカメラのガイドを消したい場合は、ガイドOFF にタッチします。**

ガイドが消えます。



- ガイドを消すと、タッチスイッチが ガイドON にかわります。ガイドを表示するには、ガイドON にタッチします。

4 **↩ にタッチします。**

アドバイス

- フロントカメラではガイド表示はしません。
- 画面調整は、136ページ「イルミ連動」設定を「する」に設定している場合は、車のスモールランプを点灯したときと消灯したときで、別々に調整することができます。

フロント／コーナーカメラを設定する

アドバイス

- いったん設定を変更すると、電源を切っても設定は保存され、次に設定を変更するまで有効です。

フロント（コーナー）カメラ自動表示

フロント／コーナーカメラ映像が、車速に連動して自動的にカメラ映像を表示するかどうかを設定できます（初期設定値は「しない」）。

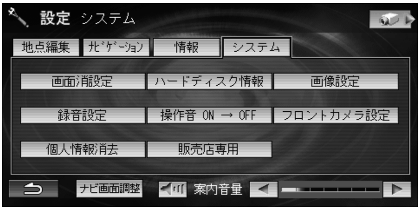
1 **⏻/MENU スイッチを押したあと、設定を変える にタッチします。**

設定メニュー画面が表示されます。

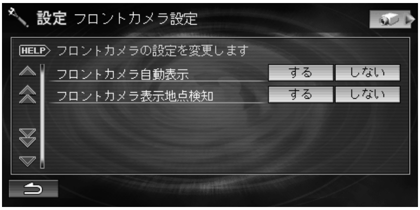
2 **システム にタッチします。**

システムメニュー画面が表示されます。

3 **フロント(コーナー)カメラ設定** にタッチします。



4 **「フロント(コーナー)カメラ自動表示」の する または しない にタッチします。**



フロント(コーナー)カメラ表示地点検知

登録したフロント(コーナー)カメラ表示地点に低速で近づいたたときに、自動的にフロント／コーナーカメラ映像を表示するかどうかを設定できます(初期設定値は「する」)。

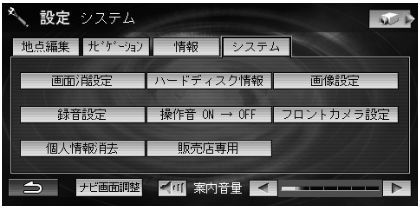
1 **(⏻/MENU)スイッチを押したあと、設定を変える にタッチします。**

設定メニュー画面が表示されます。

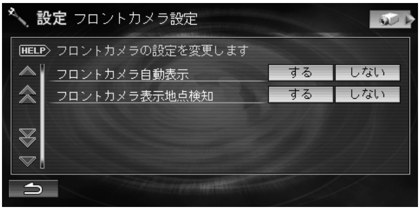
2 **システム にタッチします。**

システムメニュー画面が表示されます。

3 **フロント(コーナー)カメラ設定 にタッチします。**



4 **「フロント(コーナー)カメラ表示地点検知」の する または しない にタッチします。**



アドバイス

- フロント(コーナー)カメラ表示地点に登録するには、169ページ「フロント(コーナー)カメラ表示地点を登録する」を参照してください。

フロント(コーナー)カメラ表示地点を登録する

よく利用する地点などを最大で10カ所登録することができます。

地点を登録しておくと、以下の利点があります。

- 地図にマークが表示されます。
- 低速で近づいたときにフロント／コーナーカメラ映像を表示できます。

アドバイス

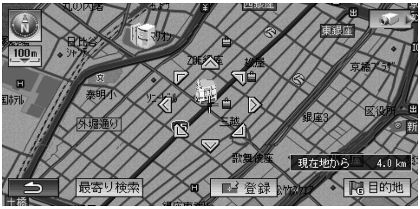
- 10カ所を超えて登録するときは、先に不要な地点を消去してください。
- 登録したフロント(コーナー)カメラ表示地点には、付近の名称や住所などが自動的に登録されます。
- 同じ地点を登録すると、上書きされずに新しく登録されます。

1 **登録したいフロント(コーナー)カメラ表示地点に十字カーソルを合わせます。**

- 地図のスクロールについては、36ページ「地図をスクロールする」を参照してください。
- 施設や住所などから地図を検索する方法については、49ページ「行き先を探す」を参照してください。

次ページに続く→

2 **登録** にタッチします。

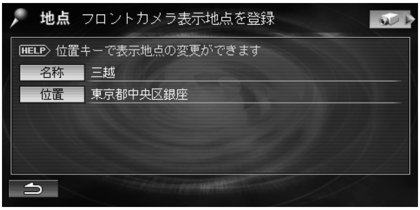


3 **カメラ表示地点** にタッチします。

フロント(コーナー)カメラ表示地点情報画面が表示されます。

- 登録したフロント(コーナー)カメラ表示地点の情報が自動的に表示されます。

4 **表示された情報を確認し、必要に応じて変更します。**



- フロント(コーナー)カメラ表示地点情報を変更する場合は、91ページ「地点情報を変更する」を参照してください。

5 **(現在地)スイッチを押して現在地画面に戻ります。**

アドバイス

- フロント(コーナー)カメラ表示地点では、どの方向から近づいた場合でも、フロント／コーナーカメラ映像を表示できます。
- フロント(コーナー)カメラ表示地点のマークは変更できません。
- フロント(コーナー)カメラ表示地点付近で、本機の電源をONした場合、オープニング画面終了後にフロント／コーナーカメラ映像を表示する場合があります。
- フロント(コーナー)カメラ表示地点情報を確認･変更する場合は、91ページ「迂回地点／カメラ表示地点情報を確認･変更する」を参照してください。

リアモニターについて

リアモニター（別売）を装着すると、運転席でナビゲーション画面などを表示しながら、同時に後部座席でDVDやTVなどの映像を楽しむことができます。
リモコン（別売）でチャンネル切りかえやDVD再生操作なども行えます。

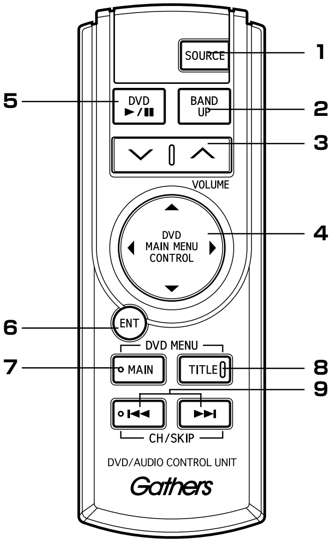
アドバイス

● 本機側でDVD、TV、VTRモードのいずれかがONになっている場合にのみ、リアモニターに映像が映し出されます。

モード	本機での表示	リアモニター映像
TV DVD VTR	ナビゲーション画面	動画
	マルチ画面	
	オーディオ画面	
ラジオ CD/MD CDチェンジャー “メモリースティック” Music Rack	ナビゲーション画面	黒画
	マルチ画面	
	オーディオ画面	

リモコンについて

リモコン(別売)は主に、リアモニターでオーディオ・テレビ機能を使うときに利用します。



1.SOURCEキー
ラジオ、CD、DVD、MD、Music Rackなどのモードを切りかえます。

2.BAND UPキー
ラジオ:
バンド(FM1/FM2/AM)を切りかえます。
テレビ:
バンド(TV1/TV2)を切りかえます。
MD:
次のグループに切りかえます。
"メモリースティック":
次のフォルダに切りかえます。
Music Rack:
次のアルバムに切りかえます。
CDチェンジャー(別売):
次のディスクに切りかえます。

3.VOLUMEキー
音量を調整します。

4.カーソル移動キー
DVD操作時にカーソルを上下左右に移動します。

5.プレイ/ポーズキー
DVD操作時に再生と一時停止を切りかえます。

6.決定キー
DVD操作時に決定します。

7.DVDメニューキー
DVD操作時にメニュー画面を表示します。

8.DVDタイトルメニューキー
DVD操作時にタイトルメニュー画面を表示します。

9.I◄◄、►►Iキー
ラジオ:
周波数を切りかえます。長く押すと自動選局します。
テレビ:
チャンネルを切りかえます。長く押すと自動選局します。
DVD:
チャプターを切りかえます。長く押すと早送り/早戻しします。
CD、MD、Music Rack他:
曲(ファイル)を切りかえます。長く押すと早送り/早戻しします。

各種データ一覧

ナビゲーション編

地図マーク一覧 174
ジャンル一覧／周辺施設一覧 175
市街地図収録都市リスト 178
VICS道路交通情報マーク一覧 184

地図マーク一覧

表示	内容	表示	内容	表示	内容
	病院		交差点		公園
	学校		冬期閉鎖区間		動物園
	郵便局		デパートなど		植物園
	消防署	H	ホテル・旅館など		水族館
	警察		銀行		遊園地・テーマパーク
	都道府県庁		工場		博物館
	市役所/区役所		教会		展望タワー
	町村役場		神社		図書館
	官公署		仏閣		美術館
IC	IC/ランプ出入口		霊園/墓地		ガソリンスタンド
SA	SA		温泉		カー用品店
PA	PA		海水浴場		自衛隊など
JCT	ジャンクション		スキー場		JRA
出	ランプ(出口専用)		ゴルフ場		ホンダディーラー
¥	料金所		運動施設		オートテラス(黄緑)
P	駐車場		城/城跡		交通教育センター
	空港		キャンプ場		事故多発地点
	港/フェリー発着場		山	P	路上パーキングメーター
	マリーナ・ヨットハーバー		名所/観光地		その他

アドバイス

● 情報検索精度について
電話番号検索および50音検索などは、電話番号登録時の登録内容によっては、周辺地域による検出になる場合があります。
本機に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により、現場の状況と異なる場合があります。使用に際しては、実際の道路状況、および交通規制に従ってください。
本機は、天変地異による規制には対応しておりません。該当する地域周辺を走行される場合は、警察・交通情報センター等にご確認ください。

● 地図データベースについて
地図データベース上、最終更新されたものを使用していますが、地域によっては最終更新日が古い場所も存在し、現在の状況と異なる場合があります。

● 交差点拡大図に表示される地図マークは、形状が異なる場合があります。

ジャンル一覧／周辺施設一覧

ジャンル検索または周辺施設検索のときに使用できる施設ジャンルの一覧表です。実際に表示されるメニューの順序とは異なります。

ジャンル名	カテゴリ名
食事	ファーストフード
	ファミリーレストラン
	和食： 日本料理
	和食： 割烹・懐石
	和食： すし
	和食： うどん・そば
	和食： お好み焼き
	和食： うなぎ
	和食： ふぐ料理
	和食： 魚料理
	和食： てんぷら
	和食： とんかつ・串かつ
	和食： ろばた焼き
	和食： その他
	洋食： フランス料理
	洋食： イタリア料理
	洋食： スパゲティ専門店
	洋食： ステーキハウス
	洋食： ピザハウス
	洋食： カレーハウス
	洋食： その他
	中華全て
	ラーメン
	焼肉・韓国料理
	レストラン・食堂
	弁当
	喫茶店
	居酒屋・バー・スナック
買い物	デパート
	ショッピングセンター・モール
	地下街
	スーパーマーケット
	ディスカウントストア
	ホームセンター
	コンビニ
	100円ショップ
	日用雑貨
	ＣＤ・ビデオレンタル
	ＣＤ・ビデオ
	家電
	家具・インテリア
	衣料品
	ベビー・マタニティー用品
	おもちゃ
	スポーツ用品
	書店
	文房具
	ドラッグストア

ジャンル名	カテゴリ名
買い物	薬局・薬店
	化粧品
	めがね
	くつ
	かばん
	時計
	宝石・貴金属
	特産物*1
	伝統工芸品*1
	民芸品
	みやげ品
	贈答品店
	食料品： 米店
	食料品： 酒店
	食料品： パン
	食料品： ケーキ・菓子
	食料品： 肉店
	食料品： 青果店
	食料品： 魚店
	食料品： その他
	園芸店
	生花店
	手芸品
	リサイクルショップ
	パソコンショップ
	釣り具・釣り餌
	自転車
	オートバイ
	楽器店
	レンタルショップ
	市場
	その他買い物
車	ガソリンスタンド
	水素ステーション
	駐車場
	トヨタ
	トヨペット
	ネッツトヨタ
	トヨタカローラ
	ニッサン
	ホンダプリモ
	ホンダベルノ
	ホンダクリオ
	ホンダオートテラス
	ミツビシ
	マツダ
	オートザム
	アンフィニ

＊1：ジャンル検索時にのみ表示されます。
＊2：ルート周辺検索時は表示されません。

次ページに続く→

ジャンル名	カテゴリ名
車	スバル
	ダイハツ
	スズキ
	ヤナセ
	BMW
	VOLVO
	フォード
	クライスラー
	ジャガー
	ローバー
	DUO
	オペル
	フォルクスワーゲン
	アウディ
	その他ディーラー
	交通教育センター
	カー用品店
	JAF*1
	ロードサービス
	交通情報センター*1
	運転免許センター
	運転代行サービス
	洗車業
	その他車
交通施設	JR駅
	私鉄駅
	地下鉄駅
	空港
	港
	フェリーターミナル
	道の駅
	ＩＣ*2
	ＳＡ･ＰＡ*2
観光･宿泊	祭事*1
	ホテル
	ビジネスホテル
	旅館
	民宿
	ペンション
	公共の宿
	その他宿泊施設
	温泉
	動物園
	サファリパーク
	植物園
	水族館
	遊園地
	名所･旧跡
	城･城跡
	生物観察スポット

ジャンル名	カテゴリ名
観光･宿泊	花の名所
	音の名所
	星空観察スポット
	ビューポイント
	観光スポット
	観光船
	遊覧飛行機
	リフト･ロープウエイ
	海洋･海浜公園
	レジャー公園
	公園･緑地
	果実狩り
	牧場･農場･農園
趣味･娯楽	キャンプ場
	サーキット場
	オフロード場
	ＭＴＢ
	サイクリングコース
	フィールドアーチェリー
	クロカン･スノシュー
	スノーモービル
	マリンスポーツ
	マリーナ･ヨットハーバー
	釣り場:　磯釣り
	釣り場:　海釣り公園
	釣り場:　堤防釣り
	釣り場:　船釣り･渡釣り
	釣り場:　渓流釣り
	釣り場:　簗場
	釣り場:　釣り堀･管理釣り場
	釣り場:　湖沼釣り･穴釣り
	ボウリング場
	映画館
	シネマコンプレックス
	ゲームセンター
	カラオケ
	競馬場･ＷＩＮＳ
	競艇･競輪･オートレース場
	サウナ･健康センター
	その他のレジャースポット
	ペットショップ
	動物病院
	ペットホテル
	ペット美容室
	その他ペット関連
	旅行
	プレイガイド
	カルチャーセンター
	音楽･ピアノ教室
	ダンス教室

＊1：ジャンル検索時にのみ表示されます。
＊2：ルート周辺検索時は表示されません。

ジャンル名	カテゴリ名
趣味･娯楽	着付教室
	書道教室
	華道教室
	その他趣味･娯楽
文化施設	美術館
	博物館
	資料館
	図書館
	ホール･劇場
	天文台
	プラネタリウム
	神社
	寺
	教会
	その他文化施設
スポーツ施設	運動公園
	陸上競技場
	野球場
	体育館
	武道館･道場
	テニスコート
	ゴルフ場
	ゴルフ練習場
	スキー場
	スケート場
	プール
	スポーツクラブ
	スポーツ教室
	その他スポーツ
公共施設	役所
	裁判所
	法務局
	税務署
	保健所
	社会保険事務所
	大使館･領事館
	警察署
	病院一般
	病院(総合病院)
	病院(内科)
	病院(外科)
	病院(胃腸科･消化器科)
	病院(眼科)
	病院(皮膚科)
	病院(小児科)
	病院(耳鼻咽喉科)
	病院(歯科)
	病院(産婦人科)
	その他病院･医療機関
	トイレ

＊1：ジャンル検索時にのみ表示されます。
＊2：ルート周辺検索時は表示されません。

ジャンル名	カテゴリ名
公共施設	マスコミ
	都市銀行
	地方銀行
	信用金庫
	証券会社
	郵便局
	その他金融機関
	大学･短大
	高校･高専
	中学校
	小学校
	幼稚園･保育園
	予備校
	塾･進学教室
	そろばん教室
	幼児教室
	英会話･外国語スクール
	コンピューター学校
	ワープロ教室
	自動車学校
	その他学校･教育施設
	その他公共施設
その他施設	美容院
	理容店
	クリーニング
	写真･カメラ
	冠婚葬祭
	霊園･墓地
	住宅展示場
	エステティック
	不動産
	名水百選＊1
	名木百選＊1
	都市公園百選＊1
	渚百選＊1
	白砂青松百選＊1
	名滝百選＊1
	桜の名所百選＊1
	かおり風景百選＊1

市街地図収録都市リスト

都道府県	市区町村名
北海道	札幌市
	函館市
	小樽市
	旭川市
	室蘭市
	釧路市
	帯広市
	北見市
	夕張市
	岩見沢市
	網走市
	留萌市
	苫小牧市
	稚内市
	美唄市
	芦別市
	江別市
	赤平市
	紋別市
	士別市
	名寄市
	三笠市
	根室市
	千歳市
	滝川市
	砂川市
	歌志内市
	深川市
	富良野市
	登別市
	恵庭市
	伊達市
	北広島市
	石狩市
	当別町
	江差町
	斜里町
	白老町
	音更町
	釧路町
	阿寒町
青森県	青森市
	弘前市
	八戸市
	黒石市
	五所川原市
	十和田市
	三沢市
	むつ市
	つがる市
	岩木町
	藤崎町
	大鰐町
	東北町
岩手県	盛岡市
	宮古市
	大船渡市
	水沢市
	花巻市

都道府県	市区町村名
岩手県	北上市
	久慈市
	遠野市
	一関市
	陸前高田市
	釜石市
	江刺市
	二戸市
	雫石町
	岩手町
	西根町
	滝沢村
	玉山村
	紫波町
	矢巾町
	大槌町
	山田町
	岩泉町
宮城県	仙台市
	石巻市
	塩竃市
	古川市
	気仙沼市
	白石市
	名取市
	角田市
	多賀城市
	岩沼市
	登米市
	栗原市
	東松島市
	大河原町
	山元町
	松島町
	七ヶ浜町
	利府町
	富谷町
	色麻町
	加美町
	鳴子町
	小牛田町
	南郷町
秋田県	秋田市
	能代市
	横手市
	大館市
	男鹿市
	湯沢市
	鹿角市
	由利本荘市
	潟上市
	大仙市
	北秋田市
	五城目町
	井川町
	仁賀保町
	象潟町
	角館町
	田沢湖町

都道府県	市区町村名
秋田県	西木村
山形県	山形市
	米沢市
	鶴岡市
	酒田市
	新庄市
	寒河江市
	上山市
	村山市
	長井市
	天童市
	東根市
	尾花沢市
	南陽市
福島県	福島市
	会津若松市
	郡山市
	いわき市
	白河市
	原町市
	須賀川市
	喜多方市
	相馬市
	二本松市
	田村市
	桑折町
	国見町
	梁川町
	保原町
	安達町
	本宮町
	鏡石町
	西郷村
	矢吹町
	小野町
茨城県	水戸市
	日立市
	土浦市
	古河市
	石岡市
	結城市
	龍ヶ崎市
	下妻市
	水海道市
	常陸太田市
	高萩市
	北茨城市
	笠間市
	取手市
	牛久市
	つくば市
	ひたちなか市
	鹿嶋市
	潮来市
	守谷市
	常陸大宮市
	那珂市
	筑西市
	坂東市

都道府県	市区町村名
茨城県	稲敷市
	かすみがうら市
	茨城町
	美野里町
	大洗町
	友部町
	岩間町
	東海村
	旭村
	鉾田町
	神栖町
	波崎町
	阿見町
	八郷町
	伊奈町
	谷和原村
	石下町
	総和町
	五霞町
	境町
	利根町
栃木県	宇都宮市
	足利市
	栃木市
	佐野市
	鹿沼市
	日光市
	今市市
	小山市
	真岡市
	大田原市
	矢板市
	那須塩原市
	さくら市
	上三川町
	南河内町
	河内町
	二宮町
	益子町
	市貝町
	芳賀町
	壬生町
	石橋町
	国分寺町
	野木町
	大平町
	都賀町
	栗山村
	藤原町
	南那須町
	那須町
群馬県	前橋市
	高崎市
	桐生市
	伊勢崎市
	太田市
	沼田市
	館林市
	渋川市

都道府県	市区町村名
群馬県	藤岡市
	富岡市
	安中市
	赤城村
	富士見村
	新里村
	榛名町
	箕郷町
	群馬町
	子持村
	伊香保町
	榛東村
	吉岡町
	新町
	吉井町
	甘楽町
	松井田町
	中之条町
	吾妻町
	嬬恋村
	草津町
	月夜野町
	水上町
	玉村町
	笠懸町
	大間々町
	板倉町
	明和町
	千代田町
	大泉町
	邑楽町
埼玉県	さいたま市
	川越市
	熊谷市
	川口市
	行田市
	秩父市
	所沢市
	飯能市
	加須市
	本庄市
	東松山市
	春日部市
	狭山市
	羽生市
	鴻巣市
	深谷市
	上尾市
	草加市
	越谷市
	蕨市
	戸田市
	入間市
	鳩ヶ谷市
	朝霞市
	志木市
	和光市
	新座市
	桶川市

都道府県	市区町村名
埼玉県	久喜市
	北本市
	八潮市
	富士見市
	上福岡市
	三郷市
	蓮田市
	坂戸市
	幸手市
	鶴ヶ島市
	日高市
	吉川市
	伊奈町
	吹上町
	大井町
	三芳町
	毛呂山町
	越生町
	滑川町
	嵐山町
	小川町
	都幾川村
	玉川村
	川島町
	吉見町
	鳩山町
	横瀬町
	皆野町
	長瀞町
	小鹿野町
	両神村
	東秩父村
	美里町
	児玉町
	神川町
	神泉村
	上里町
	大里町
	江南町
	妻沼町
	岡部町
	川本町
	花園町
	寄居町
	騎西町
	南河原村
	川里町
	北川辺町
	大利根町
	宮代町
	白岡町
	菖蒲町
	栗橋町
	鷲宮町
	杉戸町
	松伏町
	庄和町
千葉県	千葉市
	銚子市

都道府県	市区町村名
千葉県	市川市
	船橋市
	館山市
	木更津市
	松戸市
	野田市
	佐原市
	茂原市
	成田市
	佐倉市
	東金市
	八日市場市
	旭市
	習志野市
	柏市
	勝浦市
	市原市
	流山市
	八千代市
	我孫子市
	鴨川市
	鎌ヶ谷市
	君津市
	富津市
	浦安市
	四街道市
	袖ヶ浦市
	八街市
	印西市
	白井市
	富里市
	酒々井町
	印旛村
	本埜村
	栄町
	下総町
	神崎町
	大栄町
	小見川町
	山田町
	栗源町
	多古町
	干潟町
	東庄町
	海上町
	飯岡町
	光町
	野栄町
	大網白里町
	九十九里町
	成東町
	山武町
	松尾町
	横芝町
	芝山町
	一宮町
	睦沢町
	長生村
	白子町

都道府県	市区町村名
千葉県	長柄町
	長南町
	大多喜町
	夷隅町
	御宿町
	大原町
	岬町
	富浦町
	富山町
	鋸南町
	三芳村
	白浜町
	千倉町
	丸山町
	和田町
東京都	千代田区
	中央区
	港区
	新宿区
	文京区
	台東区
	墨田区
	江東区
	品川区
	目黒区
	大田区
	世田谷区
	渋谷区
	中野区
	杉並区
	豊島区
	北区
	荒川区
	板橋区
	練馬区
	足立区
	葛飾区
	江戸川区
	八王子市
	立川市
	武蔵野市
	三鷹市
	青梅市
	府中市
	昭島市
	調布市
	町田市
	小金井市
	小平市
	日野市
	東村山市
	国分寺市
	国立市
	福生市
	狛江市
	東大和市
	清瀬市
	東久留米市
	武蔵村山市

次ページに続く→

都道府県	市区町村名
東京都	多摩市
	稲城市
	羽村市
	あきる野市
	西東京市
	瑞穂町
	日の出町
	檜原村
	奥多摩町
神奈川県	横浜市
	川崎市
	横須賀市
	平塚市
	鎌倉市
	藤沢市
	小田原市
	茅ヶ崎市
	逗子市
	相模原市
	三浦市
	秦野市
	厚木市
	大和市
	伊勢原市
	海老名市
	座間市
	南足柄市
	綾瀬市
	葉山町
	寒川町
	大磯町
	二宮町
	中井町
	大井町
	松田町
	山北町
	開成町
	箱根町
	真鶴町
	湯河原町
	愛川町
	清川村
	城山町
	津久井町
	相模湖町
	藤野町
新潟県	新潟市
	長岡市
	三条市
	柏崎市
	新発田市
	小千谷市
	加茂市
	十日町市
	見附市
	村上市
	燕市
	栃尾市
	糸魚川市

都道府県	市区町村名
新潟県	妙高市
	五泉市
	上越市
	阿賀野市
	佐渡市
	魚沼市
	南魚沼市
	聖籠町
	中条町
	村松町
	分水町
	吉田町
	巻町
	田上町
	栄町
	寺泊町
	湯沢町
	塩沢町
富山県	富山市
	高岡市
	新湊市
	魚津市
	氷見市
	滑川市
	黒部市
	砺波市
	小矢部市
	南砺市
	宇奈月町
	小杉町
	大門町
	大島町
石川県	金沢市
	七尾市
	小松市
	輪島市
	珠洲市
	加賀市
	羽咋市
	かほく市
	白山市
	能美市
	山中町
	野々市町
	津幡町
	内灘町
	富来町
福井県	福井市
	敦賀市
	武生市
	小浜市
	大野市
	勝山市
	鯖江市
	あわら市
	三国町
	丸岡町
	春江町
	坂井町

都道府県	市区町村名
福井県	美浜町
	高浜町
山梨県	甲府市
	富士吉田市
	塩山市
	都留市
	山梨市
	大月市
	韮崎市
	南アルプス市
	北杜市
	甲斐市
	笛吹市
	上野原市
	中道町
	三珠町
	市川大門町
	六郷町
	増穂町
	玉穂町
	昭和町
	田富町
	小淵沢町
	富士河口湖町
長野県	長野市
	松本市
	上田市
	岡谷市
	飯田市
	諏訪市
	須坂市
	小諸市
	伊那市
	駒ヶ根市
	中野市
	大町市
	飯山市
	茅野市
	塩尻市
	佐久市
	千曲市
	東御市
	軽井沢町
	御代田町
	丸子町
	下諏訪町
	富士見町
	辰野町
	箕輪町
	南箕輪村
	松川町
	高森町
	阿智村
	豊科町
	穂高町
	白馬村
	坂城町
	小布施町
	山ノ内町

都道府県	市区町村名
岐阜県	岐阜市
	大垣市
	高山市
	多治見市
	関市
	中津川市
	美濃市
	瑞浪市
	羽島市
	恵那市
	美濃加茂市
	土岐市
	各務原市
	可児市
	山県市
	瑞穂市
	飛騨市
	本巣市
	郡上市
	下呂市
	海津市
	岐南町
	笠松町
	柳津町
	関ヶ原町
	神戸町
	墨俣町
	北方町
	坂祝町
	富加町
	笠原町
静岡県	静岡市
	浜松市
	沼津市
	熱海市
	三島市
	富士宮市
	伊東市
	島田市
	富士市
	磐田市
	焼津市
	掛川市
	藤枝市
	御殿場市
	袋井市
	天竜市
	浜北市
	下田市
	裾野市
	湖西市
	伊豆市
	御前崎市
	菊川市
	伊豆の国市
	東伊豆町
	河津町
	松崎町
	西伊豆町

都道府県	市区町村名
静岡県	函南町
	清水町
	長泉町
	小山町
	芝川町
	富士川町
	蒲原町
	岡部町
	大井川町
	相良町
	榛原町
	吉田町
	金谷町
	森町
	舞阪町
	新居町
	雄踏町
	細江町
	引佐町
	三ヶ日町
愛知県	名古屋市
	豊橋市
	岡崎市
	一宮市
	瀬戸市
	半田市
	春日井市
	豊川市
	津島市
	碧南市
	刈谷市
	豊田市
	安城市
	西尾市
	蒲郡市
	犬山市
	常滑市
	江南市
	小牧市
	稲沢市
	新城市
	東海市
	大府市
	知多市
	知立市
	尾張旭市
	高浜市
	岩倉市
	豊明市
	日進市
	田原市
	愛西市
	東郷町
	長久手町
	西枇杷島町
	豊山町
	師勝町
	西春町
	春日町

都道府県	市区町村名
愛知県	清洲町
	新川町
	大口町
	扶桑町
	七宝町
	美和町
	甚目寺町
	大治町
	蟹江町
	十四山村
	飛島村
	弥富町
	阿久比町
	東浦町
	南知多町
	美浜町
	武豊町
	一色町
	吉良町
	幡豆町
	幸田町
	額田町
	三好町
	音羽町
	一宮町
	小坂井町
	御津町
	渥美町
三重県	津市
	四日市市
	伊勢市
	松阪市
	桑名市
	鈴鹿市
	名張市
	尾鷲市
	亀山市
	鳥羽市
	熊野市
	久居市
	いなべ市
	志摩市
	伊賀市
	東員町
	菰野町
	河芸町
	芸濃町
	美里村
	安濃町
	香良洲町
	一志町
	白山町
	美杉村
	玉城町
	二見町
	小俣町
	御薗村
	度会町
滋賀県	大津市

都道府県	市区町村名
滋賀県	彦根市
	長浜市
	近江八幡市
	草津市
	守山市
	栗東市
	甲賀市
	野洲市
	湖南市
	高島市
	東近江市
	米原市
	志賀町
	安土町
	蒲生町
	日野町
	竜王町
	能登川町
京都府	京都市
	福知山市
	舞鶴市
	綾部市
	宇治市
	宮津市
	亀岡市
	城陽市
	向日市
	長岡京市
	八幡市
	京田辺市
	京丹後市
	大山崎町
	久御山町
	井手町
	宇治田原町
	山城町
	木津町
	加茂町
	笠置町
	和束町
	精華町
	南山城村
	園部町
	八木町
大阪府	大阪市
	堺市
	岸和田市
	豊中市
	池田市
	吹田市
	泉大津市
	高槻市
	貝塚市
	守口市
	枚方市
	茨木市
	八尾市
	泉佐野市
	富田林市

都道府県	市区町村名
大阪府	寝屋川市
	河内長野市
	松原市
	大東市
	和泉市
	箕面市
	柏原市
	羽曳野市
	門真市
	摂津市
	高石市
	藤井寺市
	東大阪市
	泉南市
	四條畷市
	交野市
	大阪狭山市
	阪南市
	島本町
	豊能町
	能勢町
	忠岡町
	熊取町
	田尻町
	岬町
	太子町
	河南町
	千早赤阪村
兵庫県	神戸市
	姫路市
	尼崎市
	明石市
	西宮市
	洲本市
	芦屋市
	伊丹市
	相生市
	豊岡市
	加古川市
	龍野市
	赤穂市
	西脇市
	宝塚市
	三木市
	高砂市
	川西市
	小野市
	三田市
	加西市
	篠山市
	養父市
	丹波市
	南あわじ市
	朝来市
	淡路市
	宍粟市
	猪名川町
	社町
	東条町

次ページに続く→

都道府県	市区町村名
兵庫県	中町
	八千代町
	稲美町
	播磨町
	福崎町
	香寺町
	新宮町
	揖保川町
	御津町
	太子町
	上郡町
	温泉町
	香美町
奈良県	奈良市
	大和高田市
	大和郡山市
	天理市
	橿原市
	桜井市
	五條市
	御所市
	生駒市
	香芝市
	葛城市
	平群町
	三郷町
	斑鳩町
	田原本町
	明日香村
	上牧町
	王寺町
	広陵町
	河合町
	西吉野村
	大塔村
和歌山県	和歌山市
	海南市
	橋本市
	有田市
	御坊市
	田辺市
	新宮市
	貴志川町
	岩出町
	かつらぎ町
	湯浅町
	吉備町
	白浜町
	那智勝浦町
鳥取県	鳥取市
	米子市
	倉吉市
	境港市
	岩美町
	三朝町
島根県	松江市
	浜田市
	出雲市
	益田市

都道府県	市区町村名
島根県	大田市
	安来市
	江津市
	雲南市
	斐川町
岡山県	岡山市
	倉敷市
	津山市
	玉野市
	笠岡市
	井原市
	総社市
	高梁市
	新見市
	備前市
	瀬戸内市
	赤磐市
	真庭市
	美作市
	建部町
	瀬戸町
	佐伯町
	和気町
	早島町
	船穂町
	金光町
	鴨方町
	寄島町
	里庄町
	矢掛町
	真備町
	鏡野町
	勝央町
	奈義町
	西粟倉村
	久米南町
	美咲町
	吉備中央町
広島県	広島市
	呉市
	竹原市
	三原市
	尾道市
	因島市
	福山市
	府中市
	三次市
	庄原市
	大竹市
	東広島市
	廿日市市
	安芸高田市
	江田島市
	府中町
	海田町
	熊野町
	坂町
	大野町
	神辺町

都道府県	市区町村名
山口県	下関市
	宇部市
	山口市
	萩市
	防府市
	下松市
	岩国市
	光市
	長門市
	柳井市
	美祢市
	周南市
	山陽小野田市
	和木町
	平生町
	秋穂町
	小郡町
	阿知須町
徳島県	徳島市
	鳴門市
	小松島市
	阿南市
	吉野川市
	阿波市
	美馬市
	石井町
	松茂町
	北島町
	藍住町
	板野町
	上板町
香川県	高松市
	丸亀市
	坂出市
	善通寺市
	観音寺市
	さぬき市
	東かがわ市
	内海町
	土庄町
	牟礼町
	綾南町
	国分寺町
	宇多津町
	満濃町
	琴平町
	多度津町
	高瀬町
	詫間町
愛媛県	松山市
	今治市
	宇和島市
	八幡浜市
	新居浜市
	西条市
	大洲市
	伊予市
	四国中央市
	西予市

都道府県	市区町村名
愛媛県	東温市
	久万高原町
	松前町
	砥部町
	伊方町
	吉田町
	三間町
	津島町
高知県	高知市
	室戸市
	安芸市
	南国市
	土佐市
	須崎市
	宿毛市
	土佐清水市
	四万十市
	春野町
	佐川町
	窪川町
	檮原町
	佐賀町
	大方町
福岡県	北九州市
	福岡市
	大牟田市
	久留米市
	直方市
	飯塚市
	田川市
	柳川市
	山田市
	甘木市
	八女市
	筑後市
	大川市
	行橋市
	豊前市
	中間市
	小郡市
	筑紫野市
	春日市
	大野城市
	宗像市
	太宰府市
	前原市
	古賀市
	福津市
	うきは市
	那珂川町
	宇美町
	篠栗町
	志免町
	須恵町
	新宮町
	久山町
	粕屋町
	芦屋町
	水巻町

都道府県	市区町村名
福岡県	岡垣町
	遠賀町
	穂波町
	二丈町
	志摩町
	大刀洗町
	苅田町
	椎田町
	吉富町
佐賀県	佐賀市
	唐津市
	鳥栖市
	多久市
	伊万里市
	武雄市
	鹿島市
	小城市
	諸富町
	大和町
	白石町
	嬉野町
長崎県	長崎市
	佐世保市
	島原市
	諫早市
	大村市
	平戸市
	松浦市
	対馬市
	壱岐市
	五島市
	西海市
	長与町
	時津町
	琴海町
	波佐見町
	有明町
	小浜町
熊本県	熊本市
	八代市
	人吉市
	荒尾市
	水俣市
	玉名市
	本渡市
	山鹿市
	牛深市
	菊池市
	宇土市
	上天草市
	宇城市
	阿蘇市
	植木町
	大津町
	菊陽町
	合志町
	西合志町
	南小国町
	小国町

都道府県	市区町村名
熊本県	高森町
	益城町
大分県	大分市
	別府市
	中津市
	日田市
	佐伯市
	臼杵市
	津久見市
	竹田市
	豊後高田市
	杵築市
	宇佐市
	豊後大野市
	湯布院町
	九重町
	玖珠町
宮崎県	宮崎市
	都城市
	延岡市
	日南市
	小林市
	日向市
	串間市
	西都市
	えびの市
	清武町
	田野町
	佐土原町
鹿児島県	鹿児島市
	鹿屋市
	枕崎市
	串木野市
	阿久根市
	名瀬市
	出水市
	大口市
	指宿市
	加世田市
	国分市
	西之表市
	垂水市
	薩摩川内市
沖縄県	那覇市
	宜野湾市
	平良市
	石垣市
	浦添市
	名護市
	糸満市
	沖縄市
	豊見城市
	うるま市
	本部町
	読谷村
	嘉手納町
	北谷町
	北中城村
	中城村

都道府県	市区町村名
沖縄県	西原町
	東風平町
	玉城村
	知念村
	佐敷町
	与那原町
	大里村
	南風原町

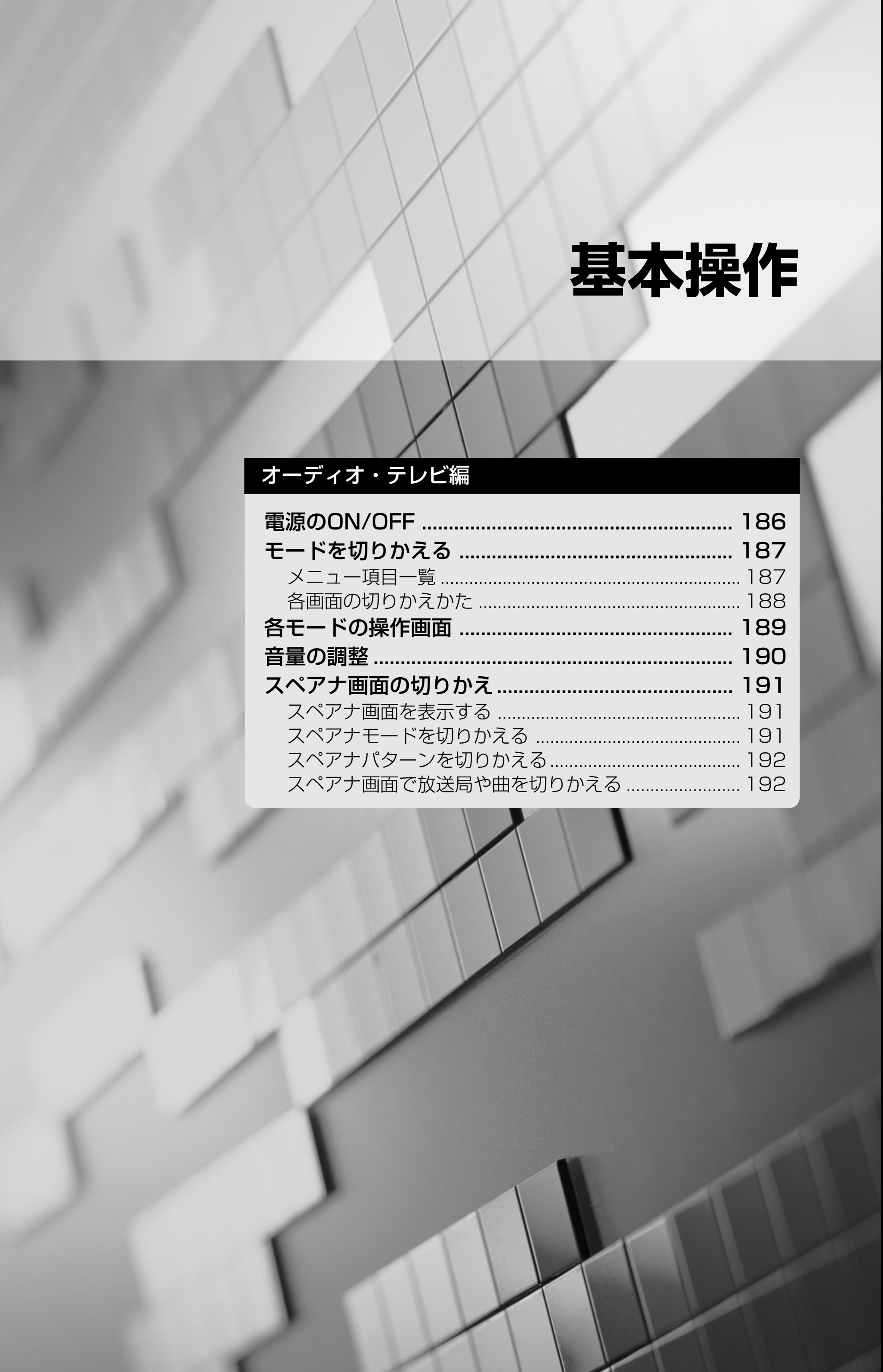
アドバイス

- 家形までリアルに表現できる「市街地図（詳細市街地図）」を1,306エリア収録（2005年4月）。その他のエリアでも道路幅を分かりやすく表現できる「簡易市街地図」を収録し、日本全国でリアルな市街地図が表示できます。
- 一部の都市に関しては、「市街地図（詳細市街地図）」は中心部および一部のエリアのみの収録となります。

VICS道路交通情報マーク一覧

- 地図画面に表示されるVICS交通情報マークの意味を以下に示します。
- 実際の交通規制表示とは異なります。
- 複数の情報を代表して1つのマークのみ表示することがあります。

表示	内容	表示	内容	表示	内容
	事故		入り口閉鎖		駐車場 不明(黒)
	故障車		大型通行止め		駐車場 閉
	路上障害		入口制限		速度規制 10km/h
	工事		オンランプ 規制		速度規制 20km/h
	凍結		片側交互通行		速度規制 30km/h
	作業		チェーン規制		速度規制 40km/h
	通行止め 閉鎖		進入禁止		速度規制 50km/h
	対面通行		駐車場 空(青)		速度規制 60km/h
	車線規制		駐車場 満(赤)		速度規制 70km/h
	徐行		駐車場 混雑(橙)		速度規制 80km/h



基本操作

オーディオ・テレビ編

電源のON/OFF **186**
モードを切りかえる **187**
　メニュー項目一覧 187
　各画面の切りかえかた 188
各モードの操作画面 **189**
音量の調整 **190**
スペアナ画面の切りかえ **191**
　スペアナ画面を表示する 191
　スペアナモードを切りかえる 191
　スペアナパターンを切りかえる 192
　スペアナ画面で放送局や曲を切りかえる 192

電源のON/OFF

オーディオ・テレビの電源を入れるには、本機（ナビゲーション）の電源がONのときに以下のいずれかの操作を行います。

① CD/DVD/MDなどのメディアを挿入します。

② （⏻/MENU）スイッチを押し、メインメニューから以下のタッチスイッチにタッチします。

CD／DVD （ディスク挿入済みの場合）

MD （MD挿入済みの場合）

Radio

TV

Music Rack （録音済みの場合）

MEMORY STICK （"メモリースティック"挿入済みの場合）

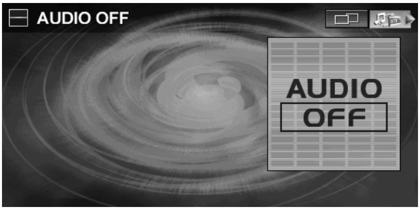
交通情報

CD-CHG （CDチェンジャー（別売）接続時）

VTR （VTR（別売）接続時）

③ （⏻/MENU） スイッチを長く押します。

オーディオ・テレビの電源を切るには、（⏻/MENU）スイッチを長く押します。



アドバイス

- 本機の電源の入れ方については、21ページ「電源のON/OFF」を参照してください。

モードを切りかえる

メインメニュー画面では、いずれかのモードスイッチにタッチするとCD、ラジオなどのオーディオモードや設定画面に切りかえることができます。

アドバイス

- 本機にメディアが挿入されていない場合や機器接続されていない場合は、そのメディアのタッチスイッチにタッチすることはできません。また、Music Rackに曲が録音されていない場合は、Music Rackにタッチすることはできません。
- OPTIONスイッチに「Audio Source切換」機能を設定している場合は、OPTIONスイッチを押してもオーディオ・テレビモードを切りかえることができます。

1 **⏻/MENUスイッチを押します。**

メインメニュー画面が表示されます。

2 **いずれかのモードスイッチにタッチします。**

3 **表示される画面にしたがって操作します。**

メニュー項目一覧

オーディオ・テレビ機能に関するメニュー項目は以下のとおりです。その他の機能のメニュー項目については、29ページ「メニュー項目一覧」を参照してください。

メニュー	タブ	機能	参照先
CD/DVD		CD/DVD操作	201ページ、271ページ
MD		MD操作	201 ページ
Radio		ラジオ操作	193 ページ
TV		TV操作	261 ページ
Music Rack		Music Rack操作	225 ページ
MEMORY STICK		"メモリースティック"操作	215 ページ
交通情報		交通情報	199 ページ
CD-CHG		CDチェンジャー操作	201 ページ
VTR		VTR操作	296 ページ
音質調整		Media Xpander	302 ページ
		BAL./FAD.	303 ページ
		Time Correction	303 ページ
		Customized Sound Database	305 ページ
		Maker's EQ	305 ページ
		Parametric EQ	306 ページ

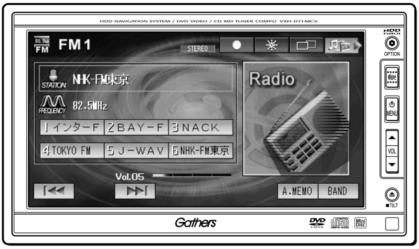
各画面の切りかえかた

ナビゲーション画面とオーディオ・テレビ画面

ナビゲーション画面で ♫ にタッチするとオーディオ・テレビ画面に切りかわり、オーディオ・テレビ画面で（現在地）スイッチを押すとナビゲーション画面に切りかわります。

♫ にタッチ

（現在地）スイッチを押す



アドバイス

- ナビゲーション画面とオーディオ・テレビ画面を同時に表示させることもできます（24ページ「全画面とマルチ画面」参照）

操作画面の切りかえ

オーディオメイン画面で 1/2 2/2 にタッチすると、操作画面を切りかえることができます。

1/2 にタッチ

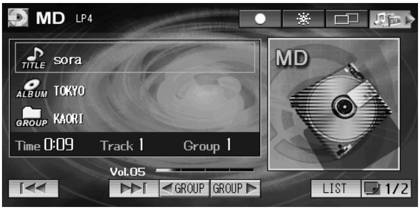
2/2 にタッチ

各モードの操作画面

各モードの操作画面は、次のように表示されます。

■ ラジオ画面

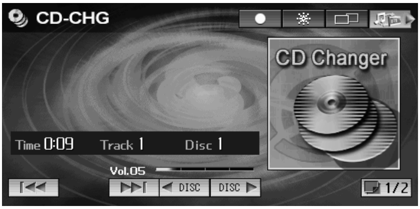
■ MD画面



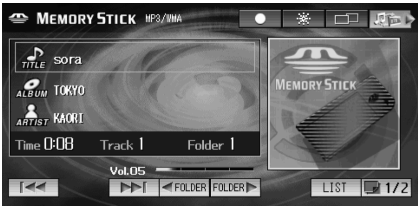
■ CD画面

■ CD MP3/WMA画面

■ CDチェンジャー画面



■ "メモリースティック"画面



■ Music Rack画面

■ TV操作画面

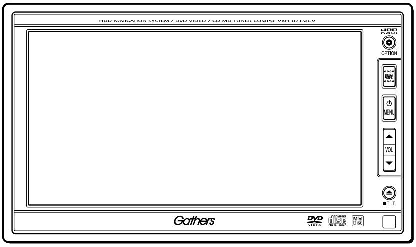
■ DVD操作画面

アドバイス

- TV、DVD、VTRモードでは、走行中は映像が表示されずコーション（注意文）が表示されます。

音量の調整

1 (VOL▲)スイッチまたは(VOL▼)スイッチを押します。



- 調整レベルは0～40です。

  (VOL▲)

  音量が大きくなります。

  (VOL▼)

  音量が小さくなります。

アドバイス

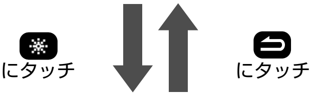
- ナビゲーションの案内音量はかわりません(45ページ「案内音量を調整する」参照)。
- オーディオ画面(TV、DVD、VTRを除く)を表示しているときは、音量調整画面は表示されません。

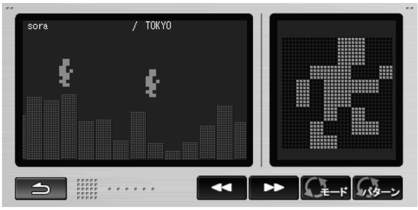
スペアナ画面の切りかえ

オーディオ・テレビ操作画面では、音の表現を多彩なデジタル表示で楽しむことができるスペアナ(スペクトラムアナライザー)画面を表示させることができます。

スペアナ画面を表示する

1 オーディオ・テレビ操作画面で にタッチします。





- にタッチするとスペアナ画面を終了します。
- スペアナには、3つのモードと各モードにはそれぞれいくつかのパターンがあります。
  モード1：4パターン
  モード2：4パターン
  モード3：23パターン※
  ※ モード3には、動作スピードで分類した3つのモチーフがあり、全部で23パターンあります。

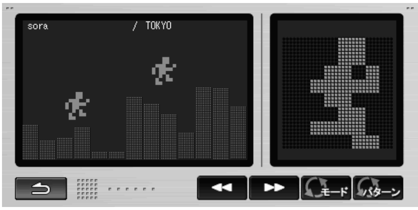
モチーフ	パターン
High	10パターン
Middle	8パターン
Slow	5パターン

アドバイス

- スペアナ画面では、再生中の曲名／アルバム名(フォルダ名)などが表示されます。情報がない場合はNO TITLEと表示されます。
- 再度スペアナを表示させた場合は、前回最後に表示していたモード(パターン)を表示します。

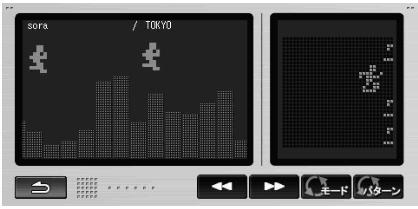
スペアナモードを切りかえる

1 モード にタッチします。

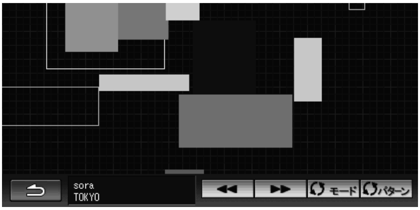


- モード にタッチするたびにスペアナモードがかわります。
  モード1 → モード2 → モード3 → モード1…

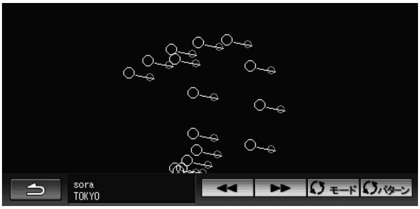
■ モード1



■ モード2

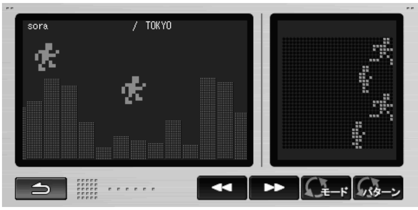


■ モード3



スペアナパターンを切りかえる

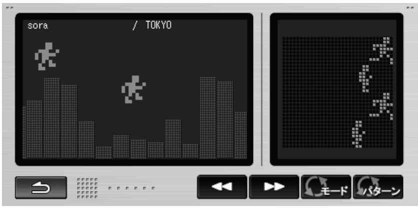
1 パターン にタッチします。



- パターン にタッチするたびに各モードのパターン表示がかわります。
- モード3では画面にタッチしてもパターン表示が切りかわります。
- モード3では次のようにパターン表示が切りかわります。
  High1→Middle1→Slow1→High2→Middle2→Slow2･･･→High6→Middle6→Slow1→High7･･･
  グループ内のパターンが最後まで表示されたら最初に戻り繰り返します。また、画面にタッチしない場合は、表示しているグループ内のパターンが再生している曲調の変化に合わせて自動的に切りかわります。パターンが切りかわる時間は、一定ではありません。

スペアナ画面で放送局や曲を切りかえる

1 ◀◀ または ▶▶ にタッチし、聴きたい放送局や曲を選びます。



ラジオ：
周波数を切りかえます。タッチし続けると自動選局します。

テレビ：
チャンネルを切りかえます。タッチし続けると自動選局します。

DVD：
チャプターを切りかえます。タッチし続けると早送り／早戻しします。

CD、MD、Music Rack、“メモリースティック”、CD-CHG：
曲（ファイル）を切りかえます。タッチし続けると早送り／早戻しします。

交通情報：
周波数を切りかえます。

ラジオ操作

オーディオ・テレビ編

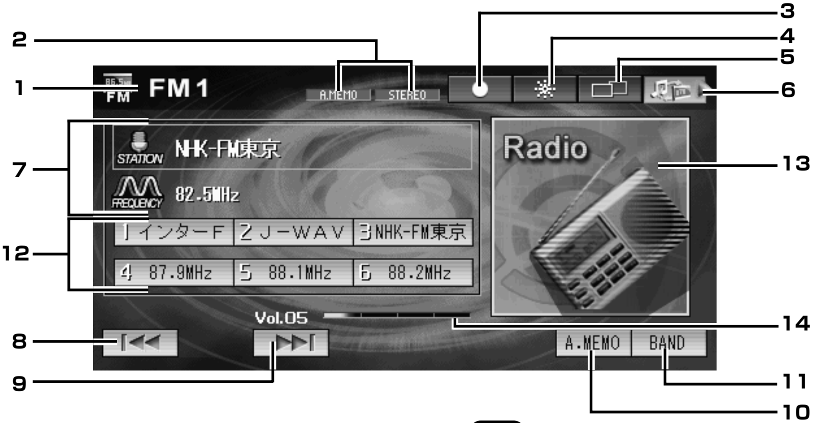
画面の見かた 194
ラジオを聴く 195
聴きたい放送局を選ぶ 196
- 手動で選ぶ 196
- 自動で選ぶ 196
- プリセットスイッチから選ぶ 196

放送局を記憶する 197
- 手動で記憶する 197
- 自動で記憶する 197
- A.MEMOで記憶させた放送局を変更する 198

交通情報を受信する 199

画面の見かた

ラジオの受信画面は、以下のように表示されます。



1.BAND表示
受信しているBANDが表示されます。

2.状態表示
A.MEMOのときは「A.MEMO」と表示します。また、ステレオ放送で受信している場合は、「STEREO」が表示されます。

3. ●
放送している曲や音声をMusic Rackへ録音します（230ページ「CD以外のオーディオモードから録音する（アナログ録音）」参照）。

4. ※
スペアナ画面に切りかえます（191ページ「スペアナ画面の切りかえ」参照）。

5. ⧉
マルチ画面に切りかえます（24ページ「全画面とマルチ画面」参照）。

6.OPTIONスイッチ機能表示
OPTIONスイッチに設定した機能の内容が表示されます（155ページ「オプションキー設定」参照）。

7.放送局表示
上段に受信している放送局名が表示されます。下段にその周波数が表示されます。放送局名がない場合は、NO TITLEと表示されます。

8. |◀◀
低い周波数に変更します。タッチし続けると、表示されている周波数から一番近い（低い）放送局を自動で受信します（196ページ「聴きたい放送局を選ぶ」参照）。

9. ▶▶|
高い周波数に変更します。タッチし続けると、表示されている周波数から一番近い（高い）放送局を自動で受信します（196ページ「聴きたい放送局を選ぶ」参照）。

10. A.MEMO
放送局を自動でプリセットスイッチに記憶します（197ページ「自動で記憶する」参照）。

11. BAND
ラジオのBAND（FM1/FM2/AM）を切りかえます。

12.プリセットスイッチ
記憶されている放送局名を表示します。タッチすると放送局を呼び出します。タッチし続けると、受信している放送局をそのスイッチに記憶します。放送局名がない場合は、周波数が表示されます（196ページ「プリセットスイッチから選ぶ」、197ページ「手動で記憶する」参照）。

13.イメージ表示
ラジオモード画像が表示されます。

14.音量レベルバー
音量のレベルを数値とレベルバーで表示します（190ページ「音量の調整」参照）。

ラジオを聴く

1 (⏻/MENU)スイッチを押したあと、
Radio にタッチします。

最後に聞いていた放送局を受信します。

2 BAND にタッチし、バンドを選びます。

タッチするたびに「FM1→FM2→AM→FM1･･･」と
バンドが切りかわります。

ラジオ操作

聴きたい放送局を選ぶ

手動で選ぶ

手動でAM/FMラジオの周波数を変更します。

1 **ラジオ画面で ▶▶I または I◀◀ にタッチし、聴きたい放送局(周波数)を探します。**

タッチするたびに1ステップずつUP/DOWNします。

- ▶▶I にタッチすると、周波数が高くなります。
- I◀◀ にタッチすると、周波数が低くなります。

自動で選ぶ

現在受信している放送局の周波数から一番近い放送局を自動で受信します。

1 **ラジオ画面で ▶▶I または I◀◀ を操作音が2回するまでタッチし続けます。**

現在画面に表示されている周波数に一番近い放送局を自動的に選局して、受信したところで止まります。

- 途中で解除したいときは、もう一度 ▶▶I または I◀◀ にタッチします。

アドバイス

● 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

プリセットスイッチから選ぶ

あらかじめ記憶(プリセット)されている放送局を受信します。

1 **ラジオ画面で記憶されている放送局のプリセットスイッチにタッチします。**

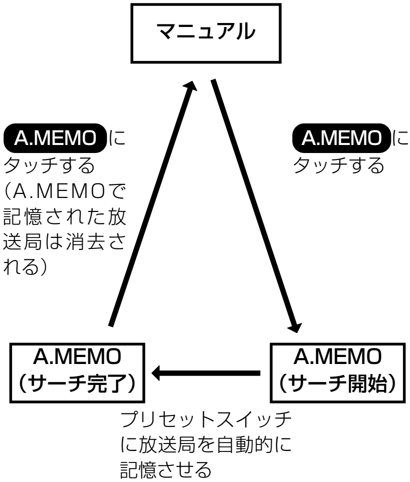
- 放送局をプリセットスイッチに記憶させる操作については、197ページ「放送局を記憶する」を参照してください。

放送局を記憶する

放送局をプリセットスイッチに記憶させるには、マニュアル(手動)とA.MEMO(自動)2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

A.MEMOについて

A.MEMOは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、A.MEMOを使用しても手動で記憶させた放送局は記憶されています。ふだんお聴きになる放送局を手動で記憶しておけば、旅先などでA.MEMOを使用しても帰宅後に手動で記憶した放送局を呼び出すことができます。
A.MEMO動作中、または動作後に A.MEMO にタッチすると、プリセットメモリーはA.MEMO動作前の状態に戻ります(このときA.MEMOで記憶した放送局は消去されます)。A.MEMOから手動への切りかえは以下のようになります。



手動で記憶する

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局に周波数を合わせます。

2 記憶させたいプリセットスイッチに操作音が2回するまでタッチし続けます。

タッチしたプリセットスイッチに放送局が記憶されます。

アドバイス

● すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

自動で記憶する

1 ラジオ画面で A.MEMO にタッチします。

「A.MEMO」が表示され、自動的に選局を始めます。
自動選局が終了すると、プリセットスイッチに記憶されます。

- A.MEMOの起動中にもう一度 A.MEMO にタッチするとA.MEMOは解除され、プリセットスイッチは元の状態に戻ります。

次ページに続く→

アドバイス

- 受信電波の弱い地域では、A.MEMOでの自動受信ができないことがあります。受信できなかった場合は、0.0MHzまたは0kHzと表示されます。
- 同じ放送局からの受信でも、手動で記憶した周波数とA.MEMOで記憶した周波数は一致しないことがあります。
- A.MEMOを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信感度のよい放送局を周波数の低い順にAMは6局、FMは12局(FM1:6局、FM2:6局)まで自動的に記憶されます。
- 受信できた放送局が6局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

A.MEMOで記憶させた放送局を変更する

1 **A.MEMO起動中に手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局に周波数を合わせます。**

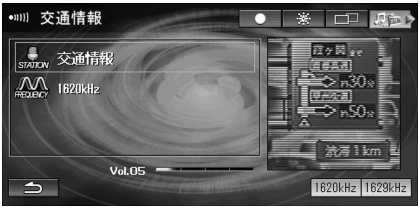
2 **記憶させたいプリセットスイッチに操作音が2回するまでタッチし続けます。**

タッチしたプリセットスイッチに放送局が記憶されます。

交通情報を受信する

1 ⏻/MENUスイッチを押したあと、交通情報にタッチします。

あらかじめセットされているAM 放送の1620kHzの交通情報を受信します。



- 1629kHzで交通情報を行っている地域では、1629kHzにタッチして周波数を変更してください。

2 解除するには、⮌にタッチします。

メインメニュー画面が表示され、交通情報を受信する前のモードに戻ります。

ラジオ操作

CD/MD操作

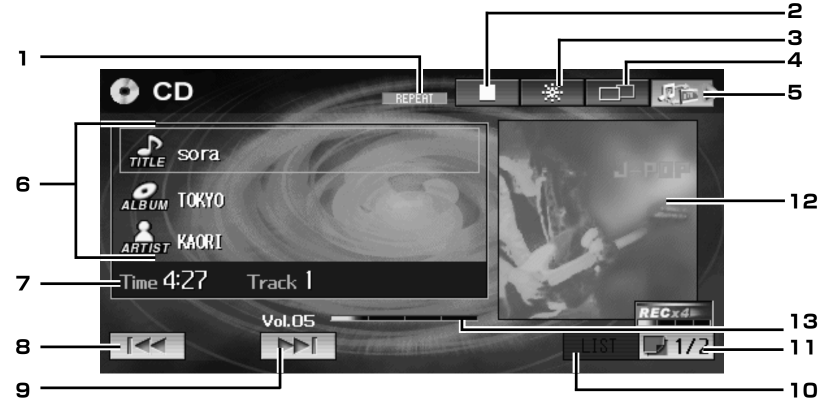
オーディオ・テレビ編

画面の見かた **202**
CD/MDを聴く **205**
CDチェンジャー(別売)の曲を聴く 205
聴きたい曲(ファイル)を選ぶ **206**
リストから選ぶ 206
グループを選ぶ(MDの場合) 206
ディスクを選ぶ(CDチェンジャー(別売)の場合) 207
フォルダを選ぶ(MP3/WMAの場合) 207
早送り・早戻しする **208**
曲のイントロだけを聴く　SCAN(スキャン) **209**
CDチェンジャー(別売)の場合 209
曲順を変えて聴く　M.I.X.(ミックス) **210**
CDチェンジャー(別売)の場合 210
繰り返し聴く　REPEAT(リピート) **211**
MP3/WMAの場合 211
CDチェンジャー(別売)の場合 212
MP3/WMAについて **213**

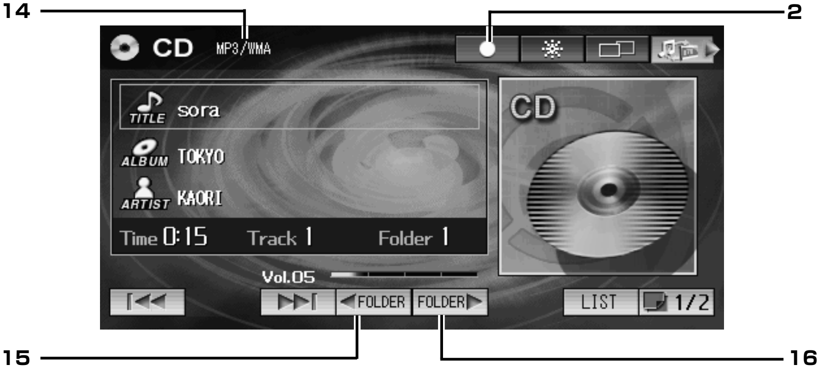
画面の見かた

CD/MDの再生画面は、以下のように表示されます。

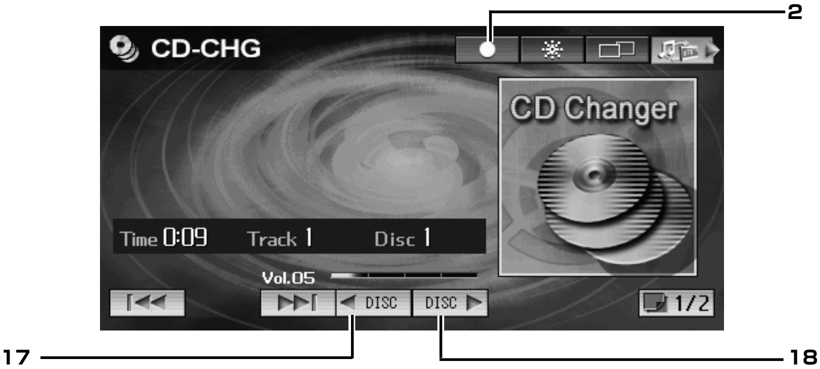
■ CD操作画面1／2



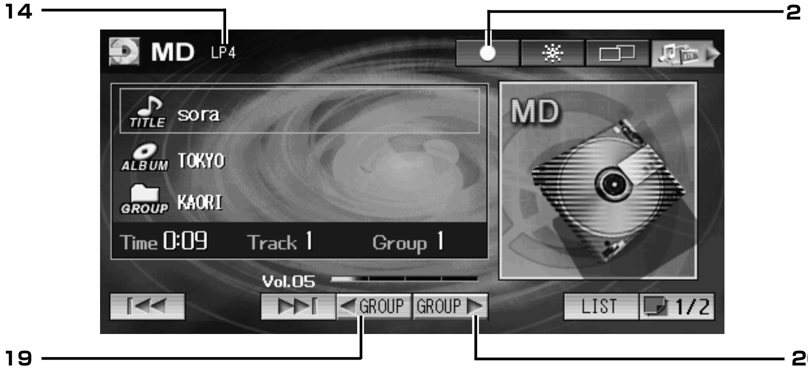
■ CD MP3/WMA操作画面1／2



■ CDチェンジャー(別売)操作画面1／2



■ MD操作画面1／2



1.状態表示
再生モード(SCAN(スキャン再生)、M.I.X.(ミックス再生)、REPEAT(リピート再生))の状態が表示されます。

2. ■
Music Rackへの録音を停止します(229ページ「Music Rackへ録音する」参照)。
●
再生している曲(ファイル)をMusic Rackへ録音します(229ページ「Music Rackへ録音する」参照)。

3. ※
スペアナ画面に切りかえます(191ページ「スペアナ画面の切りかえ」参照)。

4.
マルチ画面に切りかえます(24ページ「全画面とマルチ画面」参照)。

5.OPTIONスイッチ機能表示
OPTIONスイッチに設定した機能の内容が表示されます(155ページ「オプションキー設定」参照)。

6.タイトル表示
再生している曲名が上段に表示されます。再生している曲のアルバム名が中段に表示されます。再生している曲のアーティスト名が下段に表示されます(MDではアーティスト名は表示されません)。タイトル情報がない場合は、NO TITLEと表示されます。また、CDの場合、ハードディスクに収録されているGracenote CDDBデータベースにタイトル情報が複数あるときは、MULTI HITと表示されます。表示しきれない場合は、1回だけスクロールします。
CDチェンジャーの場合は、何も表示されません。

7.時間表示
再生時間とトラックNo.、フォルダNo.(MP3/WMA)、ディスクNo.(CDチェンジャー)、グループNo.(MD)が表示されます。

8. |◀◀
再生している曲の頭に戻ります。続けてタッチすると前の曲の頭出しをします(206ページ「聴きたい曲(ファイル)を選ぶ」参照)。タッチし続けると、再生している曲を早戻しします(208ページ「早送り･早戻しする」参照)。

9. ▶▶|
次の曲に進みます(206ページ「聴きたい曲(ファイル)を選ぶ」参照)。タッチし続けると、再生している曲を早送りします(208ページ「早送り･早戻しする」参照)。

10. LIST
収録されている曲のリストを表示します(206ページ「リストから選ぶ」参照)。
ACC ONまたはディスク挿入後しばらくは、タッチできない場合があります。

11. 1/2
操作画面を切りかえます(188ページ「操作画面の切りかえ」参照)。

12.イメージ表示
再生しているCDのジャンルのイメージ画像が表示されます。ジャンル情報がない場合や、MP3/WMA、MD、CDチェンジャーを再生している場合は、各モード画像が表示されます。

13.音量レベルバー
音量のレベルを数値とレベルバーで表示します(190ページ「音量の調整」参照)。

14.MP3/WMA表示/MDLP表示
MP3/WMAデータを再生している場合に、「MP3/WMA」と表示されます。
Long Playモードで録音されたMDを挿入した場合に、そのLPモード(「LP2」、「LP4」、「MONO」)が表示されます。

次ページに続く→

15. ◀ FOLDER
前のフォルダに戻ります(207ページ「フォルダを選ぶ(MP3/WMAの場合)」参照)。

16. FOLDER ▶
次のフォルダに進みます(207ページ「フォルダを選ぶ(MP3/WMAの場合)」参照)。

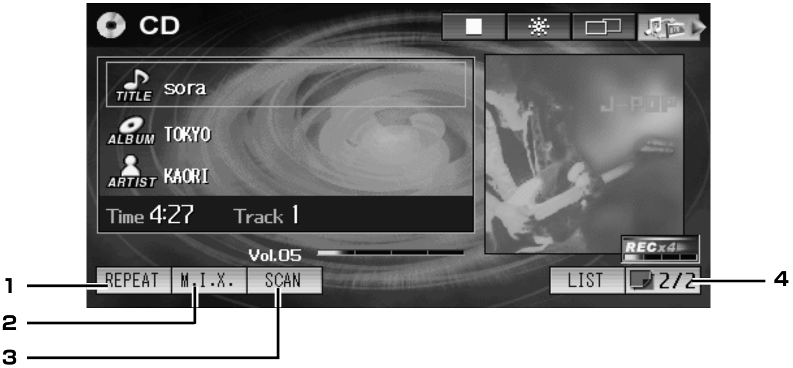
17. ◀ DISC
前のディスクに戻ります(207ページ「ディスクを選ぶ(CDチェンジャー(別売)の場合)」参照)。

18. DISC ▶
次のディスクを再生します(207ページ「ディスクを選ぶ(CDチェンジャー(別売)の場合)」参照)。

19. ◀ GROUP
前のグループに戻ります(206ページ「グループを選ぶ(MDの場合)」参照)。
ACC ONまたはディスク挿入後しばらくは、タッチできない場合があります。

20. GROUP ▶
次のグループに進みます(206ページ「グループを選ぶ(MDの場合)」参照)。
ACC ONまたはディスク挿入後しばらくは、タッチできない場合があります。

■ 操作画面2／2



1. REPEAT
繰り返し(リピート)再生します(211ページ「繰り返し聴く　REPEAT(リピート)」参照)。

2. M.I.X.
M.I.X.(ミックス)再生します(210ページ「曲順を変えて聴く　M.I.X.(ミックス)」参照)。

3. SCAN
スキャン再生します。曲を10秒間ずつ再生します(209ページ「曲のイントロだけを聴く　SCAN(スキャン)」参照)。

4. 2/2
操作画面を切りかえます(188ページ「操作画面の切りかえ」参照)。

MDLPとは

従来のミニディスク(MD)を2倍モード(LP2モード)、4倍モード(LP4モード)で長時間の録音再生が楽しめます。
MDLPデッキなどで録音されたディスクを挿入すると複数のLPモードが混在する場合でも、自動的にLPモードを読み取り再生することができます。LPモードで録音された曲は、モード表示の横に「LP2」、「LP4」、「MONO」と表示されます。

CD/MDを聴く

CDやMD、MP3/WMAデータが記録されたディスクを内蔵プレーヤーに挿入して、音楽を聴きます。

1 **⏏/TILT スイッチを押します。**

ディスプレイが開きます。

2 **CDまたはMDを挿入します。**

自動的にディスプレイが閉まり、再生が始まります。

- すでにディスクが入っているときは ⏻/MENU スイッチを押したあと、 CD/DVD または MD にタッチすると再生が始まります。
- MDでLong Playモードで録音された曲を再生すると、「LP2」、「LP4」、「MONO」と表示されます。
- MP3/WMAファイルを再生すると、「MP3/WMA」と表示されます。

3 **ディスクを取り出すときは ⏏/TILT スイッチを押してディスプレイを開き、各ボタンを押します。**

- CDを取り出すときは DISC スイッチを押します。
- MDを取り出すときは MD スイッチを押します。

4 **⏏/TILT スイッチを押してディスプレイを閉じます。**

注　意

- ディスプレイの開閉時や各ディスクを出し入れするときは、変速レバーなどにぶつからないように注意してください。
- ディスプレイを開いたままにしないでください。故障や事故の原因になります。
- CD、またはMDの挿入口を間違えないでください。
- レーベル面を上にして挿入してください。
- CDやMDを挿入するとき、ディスプレイなどに干渉しないように注意してください。

アドバイス

- 内蔵のCDプレーヤーでCDアルバムを再生した場合、ハードディスクに収録されているGracenote CDDBデータベースから検索したアルバム名やアーティスト名、曲名、ジャンル名などのタイトル情報を表示することができます。
- 録音設定の「自動録音」を「する」に設定している場合（初期設定値は「する」）は、CDを挿入すると同時にMusic Rackへの録音が開始されます（録音できないCDもあります。229ページ「Music Rackへ録音する」参照）。自動録音をしたくない場合は、設定を「しない」に変更してください。詳しくは、307ページ「自動録音」を参照してください。
- 音楽データ（CD-DA）とMP3/WMAデータを再生することができます。
- 同じディスクに音楽データ（CD-DA）とMP3/WMAデータが混在する場合は、音楽データ（CD-DA）のファーストセッションのみが再生されます。
- 本機で再生できるMP3/WMAは、ISO9660 level1またはlevel2 フォーマットで記録されたディスクのみです。詳しくは、213ページ「MP3/WMAについて」を参照してください。
- ディスクにタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。全角／半角64文字まで表示できます。
- MP3/WMAのディスクは、再生が始まるまで時間がかかる場合があります。
- CD、DVDが取り出せないとき（噛み込みなど）は、イジェクトボタンを5 秒以上押してください。ディスクが押し出されます。
- DRM（著作権管理Digital Rights Management）システムのファイルは再生できません。
- シングルCD（8cmCD ）はそのまま使用できますので、アダプター無しで挿入してください。
- 一部のMD デッキで録音したMD が本機で再生できない場合があります。

CDチェンジャー（別売）の曲を聴く

別売のCDチェンジャーを接続していると、本機から操作することができます。

1 **⏻/MENU スイッチを押したあと、 CD-CHG にタッチします。**

再生が始まります。

- あらかじめCDチェンジャーにCDをセットしておいてください。CDチェンジャーに付属の取扱説明書を参照してください。
- CDチェンジャーにCDがセットされていない場合は、「Discを確認してください」と表示されます。

聴きたい曲(ファイル)を選ぶ

聴きたい曲(ファイル)の頭出しをします。

1 **CD/MD/CDチェンジャーの再生画面で ▶▶I または I◀◀ にタッチし、聴きたい曲(ファイル)を選びます。**

- ▶▶I にタッチすると、次の曲(ファイル)に進みます。
- I◀◀ にタッチすると、再生している曲(ファイル)の頭に戻ります。続けてタッチすると前の曲(ファイル)の頭出しをします。

リストから選ぶ

曲名のリストを表示させて、曲を選びます。

1 **CD/MDの再生画面で LIST にタッチします。**

2 **リストの中から聴きたい曲名(ファイル名)にタッチします。**

選択した曲が再生されます。

- 曲名(ファイル名)がない場合は、NO TITLEと表示されます。
- CDの場合、ハードディスクに収録されているGracenote CDDBデータベースにタイトル情報が複数あるときは、MULTI HITと表示されます。

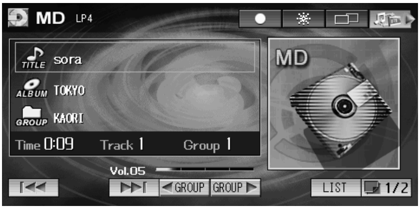
アドバイス

- リストに表示されるアイコンは次のとおりです。
  - 未　：Music Rackに録音されていない曲(CDのみ)
  - 済(黄色)：Music Rackに録音されている曲(CDのみ)
  - ●　：Music Rackに録音中の曲(CDのみ)
  - ▶　：再生中の曲
  - 済(青色)：録音に失敗した曲(CDのみ)
- CDチェンジャー再生画面では、リストから選ぶ操作はできません。LIST スイッチは表示されません。
- ACC　ONまたはディスク挿入後しばらくは、LIST にタッチできない場合があります。
- 走行中は安全のため、リスト操作はできません。

グループを選ぶ(MDの場合)

グループを作成し録音されたMDは、グループ機能を使ってグループを選ぶことができます。グループ名がディスクに記録されているときは、グループ名も表示されます。

1 **MDの再生画面で GROUP ▶ または ◀ GROUP にタッチし、聴きたい曲が収録されているグループを選びます。**



選択したグループの1曲目が再生されます。

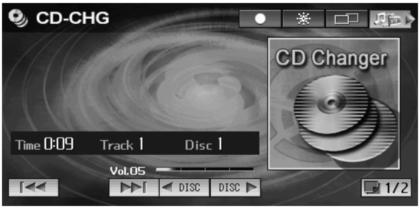
- GROUP ▶ にタッチすると、次のグループに進みます。
- ◀ GROUP にタッチすると、前のグループに戻ります。
- グループの設定がされていない1曲以上の曲は、1つのグループとして再生されます。

アドバイス

- グループを選択した後に ▶▶I または I◀◀ にタッチすると、同じグループ内の次の曲、または再生している曲の頭から再生することができます。
- LIST にタッチすると、選択したグループの曲名がリストで表示されます(206ページ「リストから選ぶ」参照)。また、再生中の曲には「▶」アイコンが表示されます。

ディスクを選ぶ（CDチェンジャー（別売）の場合）

1 **CDチェンジャーの再生画面で DISC ▶ または ◀ DISC にタッチし、聴きたい曲が収録されているCDを選びます。**



選択したCDの1曲目が再生されます。

- DISC ▶ にタッチすると、次のCDを再生します。
- ◀ DISC にタッチすると、前のCDを再生します。

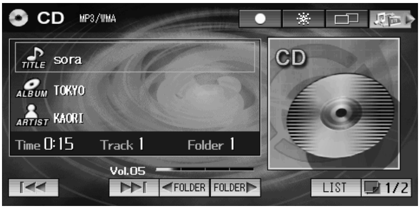
アドバイス

- ●ディスクを選択した後に ▶▶I または I◀◀ にタッチすると、同じディスク内の次の曲、または再生している曲の頭から再生することができます。

フォルダを選ぶ（MP3/WMAの場合）

MP3/WMAで記録されたディスクは、フォルダ単位で選ぶことができます。フォルダ名がディスクに記録されているときは、フォルダ名も表示されます。

1 **CD MP3/WMAの再生画面で FOLDER ▶ または ◀ FOLDER にタッチし、聴きたいファイルが収録されているフォルダを選びます。**



選択したフォルダの1つ目のファイルが再生されます。

- FOLDER ▶ にタッチすると、次のフォルダに進みます。
- ◀ FOLDER にタッチすると、前のフォルダに戻ります。
- フォルダの設定がされていない1つ以上のファイルは、1つのフォルダとして再生されます。
- ファイル／フォルダの再生順については、214ページ「MP3/WMAファイル、フォルダの演奏順について」を参照してください。

アドバイス

- ●フォルダを選択した後に ▶▶I または I◀◀ にタッチすると、同じフォルダ内の次のファイル、または再生しているファイルの頭から再生することができます。
- ● LIST にタッチすると、選択したフォルダのファイル名がリストで表示されます（206ページ「リストから選ぶ」参照）。また、再生中のファイルには「▶」アイコンが表示されます。

早送り・早戻しする

再生中の曲を早送り、または早戻しすることができます。

1 CD/MD/CDチェンジャーの再生画面で ▶▶I または I◀◀ にタッチし続けます。

スイッチから指を離すまで早送り（早戻し）します。

- ▶▶I にタッチし続けると、早送りします。
- I◀◀ にタッチし続けると、早戻しします。

アドバイス

● 1曲目の先頭まで早戻しすると、通常再生になります。

曲のイントロだけを聴く　SCAN(スキャン)

再生中のディスクの曲のイントロ部分だけを聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

1 CD/MDの再生画面で 1/2 にタッチします。

2 SCAN にタッチします。

全曲のイントロ部分が約10 秒間ずつ再生されます。

3 聴きたい曲が見つかったら、もう一度 SCAN にタッチします。

その曲の再生を続けます。

アドバイス

- CDの場合、すべての曲のスキャンが終了してもそのままスキャン再生を続けます。SCAN にタッチして解除してください。
- MDの場合、すべての曲のスキャンが終了するとスキャン再生は解除され、スキャンを始めた位置から再生されます。
- M.I.X.またはREPEAT演奏中にSCANモードにすると、M.I.X./REPEATモードは解除されます。

CDチェンジャー(別売)の場合

1 CDチェンジャーの再生画面で 1/2 にタッチします。

2 SCAN にタッチします。

- SCAN にタッチするたびに、SCANモードがかわります。
  SCAN→Disc-Scan→OFF→SCAN…
  SCAN　　　：再生中のディスクの全曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。
  Disc-Scan：すべてのディスクの1曲目のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。

3 聴きたい曲が見つかったら、SCANモードが解除されるまで SCAN にタッチします。

その曲の再生を続けます。

アドバイス

- すべての曲のスキャンが終了するとスキャン再生は解除され、スキャンを始めた位置から再生されます。
- CDチェンジャーによっては、すべてのディスクに対してのスキャン再生(Disc-Scan)ができない場合があります。
- M.I.X.またはREPEAT演奏中にSCANモードにすると、M.I.X./REPEATモードは解除されます。

曲順を変えて聴く　M.I.X.(ミックス)

再生中のディスクの曲を順不同に聴くことができます。

1 CD/MDの再生画面で 1/2 にタッチします。

2 M.I.X. にタッチします。

順不同に曲が再生されます。

- ディスク内のすべての曲の再生が終了しても、ミックス再生が解除されるまでミックス再生を継続します。

3 解除するには、もう一度 M.I.X. にタッチします。

アドバイス

● SCANまたはREPEAT演奏中にM.I.X.モードにすると、SCAN/REPEATモードは解除されます。

CDチェンジャー(別売)の場合

1 CDチェンジャーの再生画面で 1/2 にタッチします。

2 M.I.X. にタッチします。

- M.I.X. にタッチするたびに、M.I.X.モードがかわります。
  M.I.X.→Disc-M.I.X.→OFF→M.I.X.…
  M.I.X.　：再生中のディスク内の曲が順不同に再生されます。
  Disc-M.I.X.：すべてのディスクの全曲が順不同に再生されます。

3 解除するには、M.I.X.モードが解除するまで M.I.X. にタッチします。

アドバイス

● CDチェンジャーによっては、すべてのディスクに対してのミックス再生(Disc-Mix)ができない場合があります。
● SCANまたはREPEAT演奏中にM.I.X.モードにすると、SCAN/REPEATモードは解除されます。

繰り返し聴く　REPEAT(リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し聴くことができます。

1 CD/MDの再生画面で 1/2 にタッチします。

2 再生中に REPEAT にタッチします。

再生中の曲が繰り返し再生されます。

3 解除するには、もう一度 REPEAT にタッチします。

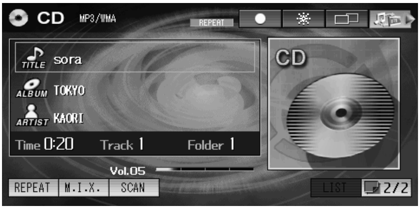
アドバイス

- リピート再生中に ▶▶I または I◀◀ にタッチすると、リピート再生が解除され、次の曲または再生している曲の頭から再生されます。
- SCANまたはM.I.X.演奏中にREPEATモードにすると、SCAN/M.I.X.モードは解除されます。

MP3/WMAの場合

1 MP3/WMAの再生画面で 1/2 にタッチします。

2 再生中に REPEAT にタッチします。



- REPEAT にタッチするたびに、REPEATモードがかわります。
  REPEAT→Folder-RPT→OFF→REPEAT...
  REPEAT　　：再生中のファイルが繰り返し再生されます。
  Folder-RPT：再生中のフォルダーが繰り返し再生されます。

3 解除するには、REPEATモードが解除するまで REPEAT にタッチします。

アドバイス

- リピート再生中に I◀◀ または ▶▶I にタッチすると、リピート再生が解除され、次のファイルまたは再生しているファイルの頭から再生されます。
- Folder-RPT再生中に ◀ FOLDER または FOLDER ▶ にタッチすると、Folder-RPT再生が解除され、次のフォルダまたは前のフォルダの1曲目から再生されます。
- SCANまたはM.I.X.演奏中にREPEATモードにすると、SCAN/M.I.X.モードは解除されます。

CDチェンジャー(別売)の場合

1 CDチェンジャーの再生画面で 1/2 にタッチします。

2 再生中に REPEAT にタッチします。

- REPEAT にタッチするたびに、REPEATモードがかわります。
  REPEAT→Disc-RPT→OFF→REPEAT…
  REPEAT ：再生中の曲が繰り返し再生されます。
  Disc-RPT ：再生中のディスクが繰り返し再生されます。

3 解除するには、REPEATモードが解除するまで REPEAT にタッチします。

アドバイス

- リピート再生中に ▶▶I または I◀◀ にタッチすると、リピート再生が解除され、次の曲または再生している曲の頭から再生されます。
- CDチェンジャーによっては、すべてのディスクに対してのリピート再生(Disc-RPT)ができない場合があります。
- SCANまたはM.I.X.演奏中にREPEATモードにすると、SCAN/M.I.X.モードは解除されます。

MP3/WMAについて

注　意

- 個人で楽しむ以外は、オーディオデータ（MP3データ含む）を著作権者に無断で複製し、有料無料を問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

MP3とは？

正式には「MPEG-1 Audio Layer3」といい、国際標準化団体のISOとIECの共同活動機関であるMPEGが定めた圧縮規格です。
MP3 は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。また、CDクオリティに近い音質を実現しても約1/10 の圧縮率を得ることができます。（サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsの場合）
このような高圧縮率を実現しているMP3フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。

WMAとは？

正式には「Windows Media™ Audio」と言い、音声データを圧縮する方式です。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率（約半分）で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにCD同等の音質を保ちます。

ファイルの規格について

- **対応規格**
  MP3：
  MPEG-1 Audio Layer Ⅲ
  MPEG-2 Audio Layer Ⅲ
  MPEG-2.5
  WMA：Ver7
- **対応サンプリング周波数**
  MP3：8kHz～48kHz
  WMA：8kHz～48kHz
- **対応ビットレート**
  MP3：8kbps～320kbps
  WMA：8kbps～192kbps
  ※VBRに対応しています。
  ※フリーフォーマットには対応していません。
  ※MPEG1、2、2.5でビットレートが異なります。
- **対応チャンネルモード**
  ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

ID3タグ/WMAタグについて

ID3タグは、ID3 Tag v1.0、v1.1、v2.2、v2.3、v2.4とRIFF、SIFに対応しています。ただし、v2.xとRIFF、SIFは共存できません。
MP3/WMAファイルにタグ情報が入っていれば、タイトル名（曲名）、アーティスト名、アルバム名のタグ情報を表示できます。

MP3/WMAを作成するには

MP3/WMAファイルを用意し、CD-Rライティングソフトを利用して、CD-R/CD-RWメディアに書き込みます。

- 本機で認識できるフォルダ数の上限
  254個
- 本機で認識できるフォルダ階層数の上限
  8階層
- 本機で再生可能なファイル数の上限
  255個※

※ルートフォルダ（312ページ「用語説明」参照）も1個のファイルとして数えます。

使用できるメディアについて

再生できるメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RWです。
なお、CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズをつけたときは、再生できない場合や音飛びする場合があります。

使用できるディスクのフォーマットについて

ISO9660レベル1、レベル2でフォーマットされたディスクに対応しています。
ISO9660規格では、フォルダのディレクトリ階層（最大8階層）やフォルダ／ファイル名の文字数、フォルダ／ファイル名で使用できる文字（A～Z、0～9、_（アンダスコア）、日本語（シフトJIS（ただし、シフトJISには非対応文字も存在します）））などの制限があります。
また、JolietなどのISO9660準拠であれば、再生は可能です。ただし、ファイル名／フォルダ名などは正しく表示されない場合があります。
日本語を含むフォルダ名／ファイル名を使用することもできますが、この場合はJoliet形式（Microsoft社が提唱しているCD-Rの論理フォーマット）で書き込まないと認識できない場合があります。
Windows©は米国マイクロソフト社の登録商標です。

ファイル名について

本機で再生可能なMP3ファイルの拡張子は“mp3”です。WMAファイルの拡張子は“wma”です。

マルチセッションについて

マルチセッションには対応しておりません。"Track at once"で書き込んだ場合、クローズセッションや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

MP3/WMAの再生について

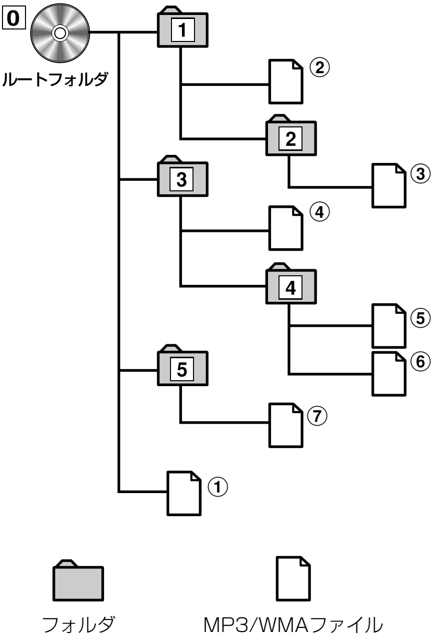
MP3/WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMAファイルを再生します。ファイルをチェックしている間は、音は出ません。

MP3/WMAの再生時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、再生時間が一致しないことがあります。
VBR のFAST UP/DOWN 動作をすると再生時間が一致しないことがあります。

MP3/WMAファイル、フォルダの演奏順について

演奏される順番
演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。
下図のようなフォルダ･ファイル階層のメディアでの演奏順は次の通りです。(実際に表示される番号ではありません)



“メモリースティック”操作

オーディオ・テレビ編

画面の見かた 216

“メモリースティック”の曲を聴く 218

聴きたい曲を選ぶ 219

　リストから選ぶ 219

　フォルダを選ぶ 219

早送り・早戻しする 220

曲のイントロだけを聴く　SCAN(スキャン) 221

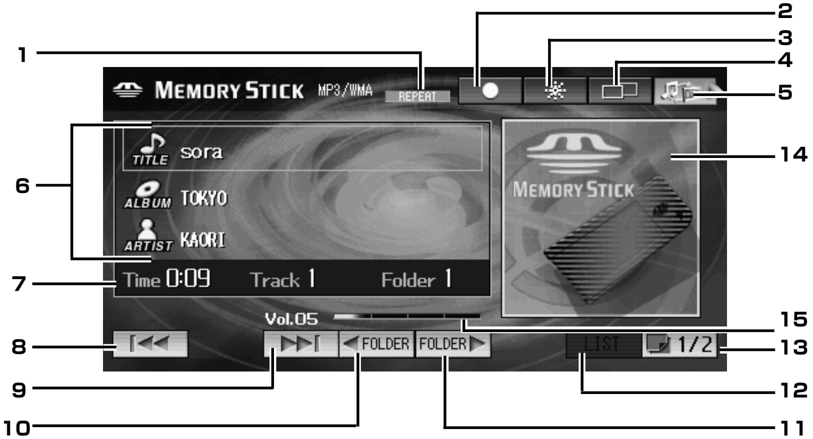
曲順を変えて聴く　M.I.X.(ミックス) 222

繰り返し聴く　REPEAT(リピート) 223

画面の見かた

“メモリースティック”の再生画面は、以下のように表示されます。

■ “メモリースティック”操作画面1／2



1.状態表示
再生モード(SCAN(スキャン再生)、M.I.X.(ミックス再生)、REPEAT(リピート再生))の状態が表示されます。

2. ●
再生している曲をMusic Rackへ録音します(230ページ「CD以外のオーディオモードから録音する(アナログ録音)」参照)。

3. ※
スペアナ画面に切りかえます(191ページ「スペアナ画面の切りかえ」参照)。

4. ▭
マルチ画面に切りかえます(24ページ「全画面とマルチ画面」参照)。

5.OPTIONスイッチ機能表示
OPTIONスイッチに設定した機能の内容が表示されます(155ページ「オプションキー設定」参照)。

6.タイトル表示
再生している曲名が上段に表示されます。再生している曲のアルバム名が中段に表示されます。再生している曲のアーティスト名が下段に表示されます。タイトル情報がない場合は、NO TITLEと表示されます。表示しきれない場合は、1回だけスクロールします。

7.時間表示
再生時間とトラックNo.が表示されます。フォルダNo.がある場合は、フォルダNo.も表示されます。

8. |◀◀
再生している曲の頭に戻ります。続けてタッチすると前の曲の頭出しをします(219ページ「聴きたい曲を選ぶ」参照)。タッチし続けると、再生している曲を早戻しします(220ページ「早送り・早戻しする」参照)。

9. ▶▶|
次の曲に進めます(219ページ「聴きたい曲を選ぶ」参照)。タッチし続けると、再生している曲を早送りします(220ページ「早送り・早戻しする」参照)。

10. ◀ FOLDER
前のフォルダに戻ります(219ページ「フォルダを選ぶ」参照)。

11. FOLDER ▶
次のフォルダに進みます(219ページ「フォルダを選ぶ」参照)。

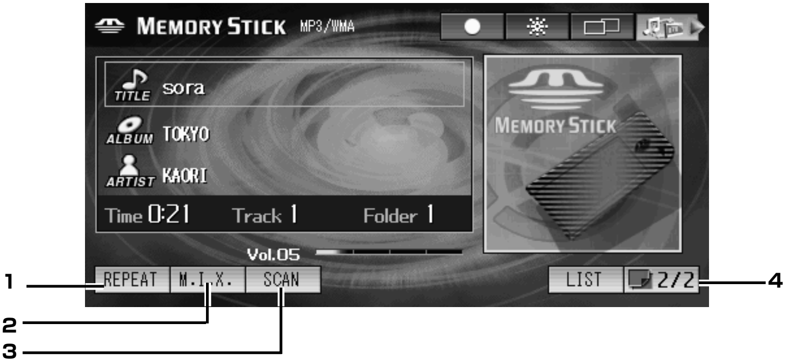
12. LIST
収録されている曲のリストを表示します(219ページ「リストから選ぶ」参照)。

13. 1/2
操作画面を切りかえます(188ページ「操作画面の切りかえ」参照)。

14.イメージ表示
“メモリースティック”モード画像が表示されます。

15.音量レベルバー
音量のレベルを数値とレベルバーで表示します(190ページ「音量の調整」参照)。

■ “メモリースティック”操作画面2／2



1. REPEAT
繰り返し(リピート)再生します(223ページ「繰り返し聴く　REPEAT(リピート)」参照)。

2. M.I.X.
M.I.X.(ミックス)再生します(222ページ「曲順を変えて聴く　M.I.X.(ミックス)」参照)。

3. SCAN
スキャン再生します。曲を10秒ずつ再生します(221ページ「曲のイントロだけを聴く　SCAN(スキャン)」参照)。

4. 2/2
操作画面を切りかえます(188ページ「操作画面の切りかえ」参照)。

“メモリースティック”の曲を聴く

“メモリースティック”へ記録された音楽データ(MP3/WMA)を再生することができます。ATRACK3のデータには対応していません。
MP3/WMAについては、213ページ「MP3/WMAについて」を参照してください。

1 **(⏏/TILT)スイッチを押します。**
ディスプレイが開きます。

2 **“メモリースティック”を挿入します。**
- “カチッ”と音がするまで差し込んでください。

3 **(⏏/TILT)スイッチを押します。**
ディスプレイが閉じます。

4 **(⏻/MENU)スイッチを押したあと、MEMORY STICK にタッチします。**

再生が始まります。

5 **“メモリースティック”を取り出すときは(⏏/TILT)スイッチを押してディスプレイを開き、挿入されている“メモリースティック”を押します。**
“メモリースティック”が押し出されたあと、取り出します。

6 **(⏏/TILT)スイッチを押して、ディスプレイを閉じます。**

注　意

- ディスプレイの開閉時は、変速レバーなどにぶつからないように開閉を行ってください。
- ディスプレイを開いたままにしないでください。故障や事故の原因になります。
- “メモリースティック”に印字された矢印にしたがって挿入してください。
- 差し込んだ“メモリースティック”を無理に引き抜かないでください。故障の原因になります。
- “メモリースティック”は高温・低温時には正常に動作しない場合があります。

アドバイス

- 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語(SJIS コード)の昇順に再生します。
- “メモリースティック”に記憶された音楽データを消去したり、編集することはできません。
- “メモリースティック”を再生中にディスプレイを開くと再生は停止されます。次にCD/DVD/MDなどを挿入した場合は、挿入したメディアが再生されます。何もディスクを挿入しないでディスプレイを閉じた場合は、停止した位置から再生が始まります。
- “メモリースティック”PRO(プロ)、“MGメモリースティック”には対応しておりません。

聴きたい曲を選ぶ

聴きたい曲の頭出しをします。

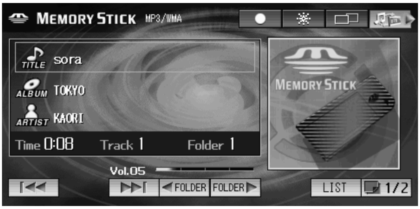
1 **“メモリースティック”の再生画面で ▶▶I または I◀◀ にタッチし、聴きたい曲を選びます。**

- ▶▶I にタッチすると、次の曲に進みます。
- I◀◀ にタッチすると、再生している曲の頭に戻ります。続けてタッチすると前の曲の頭出しをします。

リストから選ぶ

曲名のリストを表示させて、曲を選びます。

1 **“メモリースティック”の再生画面で LIST にタッチします。**



2 **リストの中から聴きたい曲名にタッチします。**

選択した曲が再生されます。

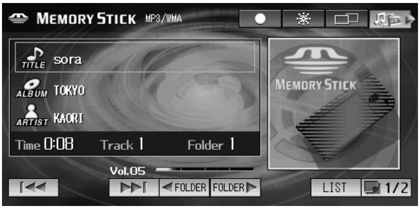
アドバイス

● 走行中は安全のため、リスト操作はできません。

フォルダを選ぶ

フォルダが記録されているときは、フォルダ単位で選ぶことができます。フォルダ名が記録されているときは、フォルダ名も表示されます。

1 **“メモリースティック”の再生画面で FOLDER ▶ または ◀ FOLDER にタッチし、聴きたい曲が収録されているフォルダを選びます。**



選択されたフォルダの最初の曲が再生されます。

- FOLDER ▶ にタッチすると、次のフォルダに進みます。
- ◀ FOLDER にタッチすると、前のフォルダに戻ります。
- フォルダの設定がされていない1曲以上の曲は、1つのフォルダとして再生されます。

アドバイス

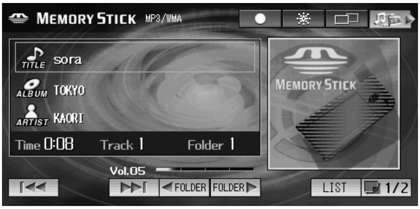
● フォルダを選択した後に ▶▶I または I◀◀ にタッチすると、同じフォルダ内の次の曲、または再生している曲の頭からを再生することができます。

● LIST にタッチすると、選択したフォルダの曲名がリストで表示されます（219ページ「リストから選ぶ」参照）。また再生中の曲には「▶」アイコンが表示されます。

早送り・早戻しする

再生中の曲を早送り、または早戻しすることができます。

1 "メモリースティック"の再生画面で ▶▶I または I◀◀ にタッチし続けます。



スイッチから指を離すまで早送り（早戻し）します。

- ▶▶I にタッチし続けると、早送りします。
- I◀◀ にタッチし続けると、早戻しします。

曲のイントロだけを聴く　SCAN(スキャン)

曲のイントロ部分だけを聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

1 **“メモリースティック”の再生画面で 1/2 にタッチします。**

2 **SCAN にタッチします。**

「SCAN」と表示され、全曲のイントロ部分が約10 秒間ずつ再生されます。

3 **聴きたい曲が見つかったら、もう一度 SCAN にタッチします。**

その曲の再生を続けます。

アドバイス

- すべての曲のスキャンが終了してもそのままスキャン再生を続けます。SCAN にタッチして解除してください。
- M.I.X.またはREPEAT演奏中にSCANモードにするとM.I.X./REPEATモードは解除されます。
- SCANモード中に、ディスプレイを開くとSCANモードは解除されます。

曲順を変えて聴く　M.I.X.(ミックス)

再生中の"メモリースティック"の曲を順不同に聴くことができます。

1 "メモリースティック"の再生画面で 1/2 にタッチします。

2 M.I.X. にタッチします。

順不同に曲が再生されます。

- "メモリースティック"内のすべての曲の再生が終了しても、ミックス再生が解除されるまでミックス再生を継続します。

3 解除するには、もう一度 M.I.X. にタッチします。

アドバイス

● SCANまたはREPEAT演奏中にM.I.X.モードにすると、SCAN/REPEATモードは解除されます。

繰り返し聴く　REPEAT（リピート）

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し聴くことができます。

1 **“メモリースティック”の再生画面で 1/2 にタッチします。**

2 **再生中に REPEAT にタッチします。**

- REPEAT にタッチするたびに、REPEATモードがかわります。
  REPEAT→Folder-RPT→OFF→REPEAT...
  REPEAT　　：再生中のファイルが繰り返し再生されます。
  Folder-RPT：再生中のフォルダーが繰り返し再生されます。

3 **解除するには、リピートモードが解除するまで REPEAT にタッチします。**

アドバイス

- リピート再生中に ▶▶I または I◀◀ にタッチすると、リピート再生が解除され、次の曲または再生している曲の頭から再生されます。
- Folder-RPT再生中に ◀ FOLDER または FOLDER ▶ にタッチすると、Folder-RPT再生が解除され、次のフォルダまたは前のフォルダの1曲目から再生されます。
- SCANまたはM.I.X.演奏中にREPEATモードにすると、SCAN/M.I.X.モードは解除されます。

Music Rack操作

オーディオ・テレビ編

Music Rackをご使用になる前に 226
Music Rackについて 226
データベースについて 226
Music Rackへの録音について 226
デジタル録音について 228
Music Rackへ録音する 229
CDを再生しながら自動で録音する(デジタル録音) 229
CD以外のオーディオモードから録音する(アナログ録音) 230
画面の見かた 232
Music Rackの曲を聴く 234
聴きたい曲を選ぶ 235
リストから選ぶ 235
アルバムを選ぶ 235
早送り・早戻しする 236
聴きたい曲を探す 237
ジャンルで探す 237
アーティストで探す 238
アルバムで探す 238
キーワードで探す 239
「お気に入り」の中から探す 241
最近再生したアルバムから探す 241
よく聴くアルバムから探す 242
アルバムアイコンから探す 242
アナログ録音した曲を探す 243
曲のイントロだけを聴く　SCAN(スキャン) 244
曲順を変えて聴く　M.I.X.(ミックス) 245
繰り返し聴く　REPEAT(リピート) 246
「お気に入り」の編集 247
フォルダを作成する 247
Music Rackの曲を「お気に入り」へ登録する 247
フォルダ名称を編集する 248
曲を並べかえる 248
フォルダを移動する 249
消去する 250
Music Rackの編集 252
アルバム情報を編集する 252
曲を並べかえる 257
消去する 257
タイトル情報を取得する 259
リストを表示して取得する 259
ダウンロードして取得する 259

Music Rackをご使用になる前に

Music Rackについて

CDで再生している音楽やラジオなどの音声をMusic Rack(ハードディスク)へ録音することができます。
※1曲あたり128kbps、4分の曲を録音すると約2,500曲録音できます。
　録音時間や録音モードによって、作成できるアルバム数、録音可能な曲数は異なります。
Music Rackへ録音された音楽は、聴きたい曲やアルバム、アーティストごとに選択して再生したり、お好みの曲を「お気に入り」に登録/編集することができます。

データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバムをMusic Rackに録音した場合は、ハードディスクに収録されているGracenote CDDBデータベース(約30万件)から、アルバム名やアーティスト名、ジャンル、タイトルを検索し、録音した音楽データに自動で付与します。
本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote CDDBのデータベース情報を使用しています。

Gracenote CDDBについて

グレースノート社からのCD情報及び音楽関連データー©2000-2005 Gracenote, Inc.
Gracenote CDDB® クライアントソフトウエア©2000-2005 Gracenote, Inc. この製品及びサービスは以下の米国特許技術の1つもしくは複数で実現されています。#5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593 及びその他の特許や申請中特許。米オープングローブ社からの米国特許#6,304,523 のライセンスにより、供与されるサービスまた製造されるデバイス製品。

Gracenote とCDDB は、グレースノート社の登録商標です。Gracenote ロゴおよびロゴ標記、Gracenote CDDB ロゴ及び"Powered by Gracenote" ロゴはグレースノート社の商標です。

音楽認識技術と関連情報はGracenote® 社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ、www.gracenote.com をご覧ください。

gracenote.

アドバイス

- 「Gracenote CDDB®音楽認識サービス」によって提供されたデータについては、内容を100%保証するものではありません。

Music Rackへの録音について

録音には、デジタル録音とアナログ録音があります。
音楽CDから録音すると、デジタル録音されます。デジタル録音された音楽は、「Gracenote CDDB®音楽認識サービス」により、アルバムやアーティスト、ジャンルを該当する名称でリストを自動的に作成することができます。
CD以外のオーディオモードで再生されている音楽や音声はアナログ録音されます。アナログ録音された音楽や音声は、ソース名/録音日/録音開始時間が表示されます。

録音できるオーディオモードと録音方式について

Music Rackは、オーディオモードにより録音方式が異なります。

オーディオモード	録音方式
CD	デジタル録音
CD MP3/WMA、MD、“メモリースティック”、FM、AM、テレビ(音声)、VTR(音声)、CDチェンジャー、DVD(音声)	アナログ録音

録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽/音声データについては保証できません。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをし、音楽/音声データが正しく録音されていることを確認してください。
- ACCの状態で録音しているときにイグニッションキーをONにすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- ノンストップCD(曲と曲の間に無音部分が無いCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音するディスクに依存しますのでご了承ください。
- SCMS(シリアルコピーマネジメントシステム)規格のCDは、メッセージが表示され、録音することができません。
- ハードディスクの容量がいっぱいの場合は、メッセージが表示され、録音することができません。
- 録音時間や録音モードによって、録音可能な曲の総数は異なります。
- Music Rackに録音可能なハードディスク(HDD)の容量は最大10GBです。
  デジタル録音:最大5,000タイトル(アルバム/曲の総数)
  アナログ録音:最大200タイトル

アナログ録音について

- アナログ録音は、録音設定の「録音時間」で設定した時間(最大90分)以上連続で録音することはできません。続けて録音する場合は、再度●にタッチして録音してください。
- アナログ録音中に以下の操作を行うと録音は停止します。
  - ■にタッチする
  - オーディオモードを切りかえる
  - (⏻/MENU)スイッチを長く押す(オーディオ・テレビ OFF)
  - イグニッションキーをOFFにする
  - メディアを取り出す
- 録音中にイグニッションキーをOFFにした場合は、OFFする約1分前までに録音したデータが保存されます。
- ハードディスクの容量が不足している場合は、メッセージが表示され、録音設定の「録音時間」で設定した時間分を録音することができません。
- 録音中はアナログ録音アイコンと録音進捗バーが表示されます。

録音進捗バー

録音モードの設定について

- CDを録音する場合に、CDを再生すると同時に録音を開始するかどうかを設定することができます(初期設定値は「する」)。詳しくは、307ページ「自動録音」を参照してください。
- 録音するときの音質を設定することができます(初期設定値は「128k」)。詳しくは、307ページ「録音BitRate」を参照してください。
- アナログ録音する場合の最大録音時間を設定することができます(初期設定値は「30分」)。詳しくは、307ページ「録音時間」を参照してください。

デジタル録音について

- デジタル録音中にCDモードからほかのオーディオモード(Music Rackを除く)に切りかえても録音は継続しています。
- デジタル録音中に以下の操作を行うと録音は停止します。
  - ■にタッチする
  - イグニッションキーをOFFにする
  - CDを取り出す
  - オーディオモードをMusic Rackに切りかえる
  - OPTIONスイッチを押す(155ページ「オプションキー設定」を「録音　開始/停止」に設定している場合)

  デジタル録音中にイグニッションキーをOFFにしたり、CDを取り出したりすると、録音中の曲は消去されますが、それまで録音した曲は保存されます。録音設定の「自動録音」を「する」に設定している場合は、未録音の曲があるCDを挿入またはイグニッションキーをONにすると、未録音の曲から録音を開始します。ただし、他のオーディオモードでCDを録音中に■にタッチして録音を停止させたまま、イグニッションキーをOFF／ONしても録音は開始されません。
- すでに録音されている曲を、再度録音することはできません。
- 録音設定の「自動録音」を「する」に設定しているときにハードディスクの容量が不足している場合は、メッセージが表示され、すべての曲を録音することができません。
- 録音中はデジタル録音アイコンと録音進捗バーが表示されます。

録音進捗バー

Music Rackへ録音する

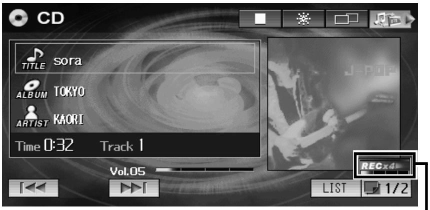
CDを再生しながら自動で録音する(デジタル録音)

CDを本機に挿入したときに、再生すると同時にCD内の全曲を自動でMusic Rackへデジタル録音します。

アドバイス

- あらかじめ録音設定の「自動録音」を「する」(初期設定値は「する」)に設定してください(307ページ「自動録音」参照)。

1 CDを挿入します。



デジタル録音アイコン

CDが再生され、自動でMusic Rackへの録音が開始されます。

- CDを挿入する操作については、205ページ「CD/MDを聴く」を参照してください。
- 途中で録音を停止する場合は、■にタッチして、はいにタッチします。

アドバイス

- CD-R、CD-RWなどは、Music Rackにデジタル録音できない場合があります。
- すでに録音されている曲を、再度録音することはできません。
- SCMS(シリアルコピーマネジメントシステム)規格のCDは、メッセージが表示され録音できません。
- 録音するときの音質を設定することができます(初期設定値は「128k」)。詳しくは、307ページ「録音BitRate」を参照してください。
- 録音時間は、再生時間よりも早い速度(約4倍)で録音されます。ただし、ミックス再生や未録音の曲を再生した場合などは、録音速度が若干低下します。

- LISTにタッチしてリストを表示すると、曲名にアイコンが表示されます。

未　　　:録音されていない曲
済(黄色):録音済みの曲
●　　　:録音中の曲
▶　　　:再生中の曲
済(青色):録音に失敗した曲

- 録音中にCDのミックス再生や他の曲を選曲しても、CDに収録されている順に録音します。
- OPTIONスイッチに「録音 開始/停止」機能を設定している場合は、OPTIONスイッチを押してMusic Rackへの録音停止または再開します。●または■スイッチは表示されません。
- 録音中にMusic Rackモードに切りかえると、確認メッセージが表示されます。はいにタッチすると録音を終了し、Music Rackモードに切りかえます。

CD以外のオーディオモードから録音する(アナログ録音)

MDに収録されている音楽データやラジオ、テレビ、DVDなどの音声データをアナログ録音することができます。

MD/CD(MP3/WMA)/“メモリースティック”の音楽データ、ラジオの音声や曲を録音する場合

1 **録音したいオーディオモードを再生／受信します。**

- 再生／受信の操作については、以下を参照してください。
  ラジオ
  195ページ「ラジオを聴く」
  CD/MD
  205ページ「CD/MDを聴く」
  “メモリースティック”
  218ページ「“メモリースティック”の曲を聴く」

2 **再生、または放送局を受信している画面で ● にタッチします。**

録音を確認するメッセージが表示されます。

3 **はい にタッチします。**

録音が開始されます。

4 **録音を停止するときは、■ にタッチします。**

アナログ録音アイコン

終了を確認するメッセージが表示されます。

5 **はい にタッチします。**

録音が停止します。

アドバイス

- 録音設定の「録音時間」で設定されている時間(初期設定値は「30分」)になると、自動的に録音が停止します。録音時間の設定については、307ページ「録音時間」を参照してください。
- ハードディスクの容量がなくなると、メッセージが表示され、録音を終了します。
- アナログ録音された曲や音声は、ソース名／録音日／録音開始時間が表示されます。
- デジタル録音中にアナログ録音はできません。
- アナログ録音中に他のモードに切りかえると、確認メッセージが表示されます。はい にタッチすると録音を終了します。終了までのデータが保存されます。
- OPTIONスイッチに「録音 開始/停止」機能を設定している場合は、OPTION スイッチを押してMusic Rackへの録音停止または再開します。● または ■ スイッチは表示されません。

テレビ／DVD／VTRの音声や曲を録音する場合

1 **録音したいオーディオモードを再生／受信します。**

- 再生／受信の操作については、以下を参照してください。
  テレビ
  264ページ「テレビを見る」
  DVD
  277ページ「DVDを再生する」
  VTR
  296ページ「VTR(別売)を見る」

2 **画面にタッチします。**

操作画面が表示されます。

3 再生、または放送局を受信している画面で ● にタッチします。

録音を確認するメッセージが表示されます。

4 はい にタッチします。

録音が開始されます。

5 録音を停止するときは、■ にタッチします。

アナログ録音アイコン

終了を確認するメッセージが表示されます。

6 はい にタッチします。

録音が停止します。

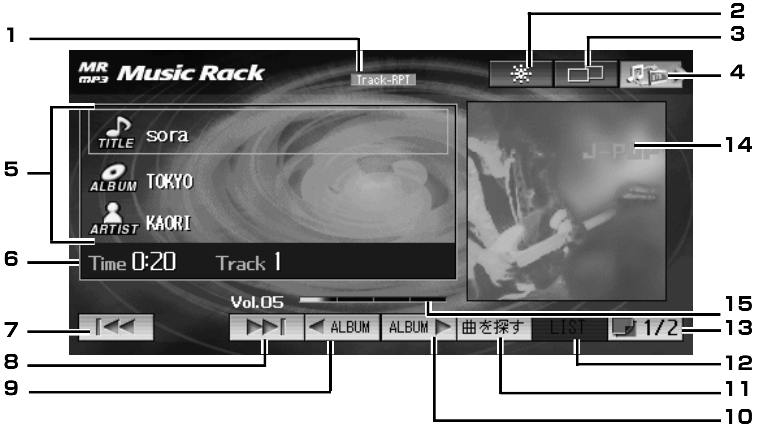
アドバイス

- 録音設定の「録音時間」で設定されている時間（初期設定値は「30分」）になると、自動的に録音が停止します。録音時間の設定については、307ページ「録音時間」を参照してください。
- ハードディスクの容量がなくなると、メッセージが表示され、録音を終了します。
- アナログ録音された曲や音声は、ソース名／録音日／録音開始時間が表示されます。
- デジタル録音中にアナログ録音はできません。
- アナログ録音中に他のモードに切りかえると、確認メッセージが表示されます。はい にタッチすると録音を終了します。終了までのデータが保存されます。
- OPTIONスイッチに「録音 開始/停止」機能を設定している場合は、(OPTION)スイッチを押してMusic Rackへの録音停止または再開します。● または ■ スイッチは表示されません。

画面の見かた

Music Rackの再生画面は、以下のように表示されます。

■ Music Rack操作画面1／2



1. 状態表示
再生モード（SCAN（スキャン再生）、M.I.X.（ミックス再生）、REPEAT（リピート再生））の状態が表示されます。

2. ⁂
スペアナ画面に切りかえます（191ページ「スペアナ画面の切りかえ」参照）。

3. ▭
マルチ画面に切りかえます（24ページ「全画面とマルチ画面」参照）。

4. OPTIONスイッチ機能表示
OPTIONスイッチに設定した機能の内容が表示されます（155ページ「オプションキー設定」参照）。

5. タイトル表示
再生している曲名が上段に表示されます。再生している曲のアルバム名が中段に表示されます。再生している曲のアーティスト名が下段に表示されます。タイトル情報がない場合は、NO TITLE※と表示されます。また、ハードディスクに収録されているGracenote CDDBデータベースにタイトル情報が複数ある場合は、MULTI HIT※と表示されます。表示しきれない場合は、1回だけスクロールします。
録音に失敗した曲は、「×」アイコンが表示されます。
※ TITLE（上段）にはNO TITLE（MULTI HIT）/トラックNo.が表示され、ALBUM（中段）にはNO TITLE（MULTI HIT）/録音日/録音開始時間が表示されます。

6. 時間表示
再生時間とトラックNo.が表示されます。

7. I◀◀
再生している曲の頭に戻ります。続けてタッチすると前の曲の頭出しをします（235ページ「聴きたい曲を選ぶ」参照）。タッチし続けると、再生している曲を早戻しします（236ページ「早送り・早戻しする」参照）。

8. ▶▶I
次の曲に進めます（235ページ「聴きたい曲を選ぶ」参照）。タッチし続けると、再生している曲を早送りします（236ページ「早送り・早戻しする」参照）。

9. ◀ ALBUM
前のアルバムに戻ります（235ページ「アルバムを選ぶ」参照）。

10. ALBUM ▶
次のアルバムに進みます（235ページ「アルバムを選ぶ」参照）。

11. 曲を探す
ジャンルやアーティストを指定して曲を探します（237ページ「聴きたい曲を探す」参照）。

12. LIST
収録されている曲のリストを表示します（235ページ「リストから選ぶ」参照）。

13. 1/2
操作画面を切りかえます（188ページ「操作画面の切りかえ」参照）。

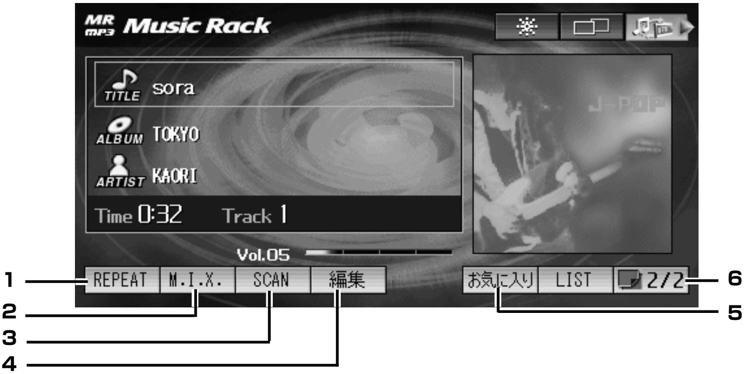
14.イメージ表示

再生しているアルバムのジャンルのイメージ画像が表示されます。アルバムに画像を登録すれば、お好みの画像を表示することができます（256ページ「イメージ画像を変更する」参照）。ジャンル情報がない場合や、アナログ録音した曲を再生している場合は、Music Rackモード画像が表示されます。

15.音量レベルバー

音量のレベルを数値とレベルバーで表示します（190ページ「音量の調整」参照）。

■ Music Rack操作画面2／2



1. REPEAT

繰り返し（リピート）再生します（246ページ「繰り返し聴く　REPEAT（リピート）」参照）。

2. M.I.X.

M.I.X.（ミックス）再生します（245ページ「曲順を変えて聴く　M.I.X.（ミックス）」参照）。

3. SCAN

スキャン再生します。曲を10秒ずつ再生します（244ページ「曲のイントロだけを聴く　SCAN（スキャン）」参照）

4. 編集

Music Rackの編集画面が表示されます。曲やアルバムの編集ができます（252ページ「Music Rackの編集」参照）。

5. お気に入り

Music Rackの曲を「お気に入り」に登録したり、「お気に入り」の曲やフォルダを編集することができます（247ページ「「お気に入り」の編集」参照）。

6. 2/2

操作画面を切りかえます（188ページ「操作画面の切りかえ」参照）。

Music Rackの曲を聴く

Music Rackに収録されている音楽を聴きます。

1 （⏻/MENU）スイッチを押したあと、Music Rack にタッチします。

一番古く録音された曲(アルバムの場合はアルバムの1曲目)の再生が始まります。2回目以降は、最後に聴いた曲が再生されます。

アドバイス

- 曲にタイトルなどが記録されているときは、タイトルを表示することができます。全角／半角64文字まで表示されます。
- タイトル情報が記録されていないときは、タイトル情報を取得して記録することができます。(259ページ「タイトル情報を取得する」参照)。

聴きたい曲を選ぶ

聴きたい曲の頭出しをします。

1 Music Rackの再生画面で ▶▶I または I◀◀ にタッチし、聴きたい曲を選びます。

- ▶▶I にタッチすると、次の曲に進みます。
- I◀◀ にタッチすると、再生している曲の頭に戻ります。続けてタッチすると前の曲の頭出しをします。

リストから選ぶ

曲名のリストを表示させて、曲を選びます。

1 Music Rackの再生画面で LIST にタッチします。

アルバム内の曲名リストが表示されます。

2 リストの中から聴きたい曲名にタッチします。

選択した曲が再生されます。

アドバイス

- 再生中の曲には「▶」アイコンが表示されます。
- 録音に失敗した曲には「×」アイコンが表示されます。
- 走行中は安全のため、リスト操作はできません。

アルバムを選ぶ

1 Music Rackの再生画面で ALBUM ▶ または ◀ ALBUM にタッチします。

選択したアルバムの1曲目が再生されます。

- ALBUM ▶ にタッチすると、次のアルバムに進みます。
- ◀ ALBUM にタッチすると、前のアルバムに戻ります。

アドバイス

- アルバムを選択した後に ▶▶I または I◀◀ にタッチすると、同じアルバム内の次の曲、または再生している曲の頭から再生することができます。
- アルバムのリストから選択することもできます。詳しくは、238ページ「アルバムで探す」、239ページ「キーワードで探す」、241ページ「最近再生したアルバムから探す」、242ページ「よく聴くアルバムから探す」を参照してください。

早送り・早戻しする

再生中の曲を早送り、または早戻しすることができます。

1 Music Rackの再生画面で ▶▶I または I◀◀ にタッチし続けます。

スイッチから指を離すまで早送り（早戻し）します。

- ▶▶I にタッチし続けると、早送りします。
- I◀◀ にタッチし続けると、早戻しします。

聴きたい曲を探す

アルバムやアーティストごとにリストを表示させて、リストの中からお好みのアルバムなどを選んで曲を聴くことができます。

アドバイス

- 走行中は安全のため「曲を探す」のうち「アルバム」「アナログ」以外は操作できません。安全な場所に停車してから操作してください。

ジャンルで探す

1 Music Rackの再生画面で **曲を探す** にタッチします。

2 **ジャンル** にタッチします。

ジャンルリストが表示されます。

3 リストの中から聴きたいジャンル名にタッチします。

選択したジャンルのアーティストリストが表示されます。

4 リストの中から聴きたいアーティスト名にタッチします。

選択したアーティストのアルバムリストが表示されます。

5 リストの中から聴きたいアルバム名にタッチします。

選択したアルバムの1曲目が再生されます。

アドバイス

- 選択したアルバムの再生が終わると、次に録音したアルバムの1曲目から再生されます。

アーティストで探す

1 Music Rackの再生画面で 曲を探す にタッチします。

2 アーティスト にタッチします。

アーティストリストが表示されます。

3 リストの中から聴きたいアーティスト名にタッチします。

選択したアーティストのアルバムリストが表示されます。

4 リストの中から聴きたいアルバム名にタッチします。

選択したアルバムの1曲目が再生されます。

アドバイス

- 選択したアルバムの再生が終わると、次に録音したアルバムの1曲目から再生されます。

アルバムで探す

1 Music Rackの再生画面で 曲を探す にタッチします。

2 アルバム にタッチします。

アルバムリストが表示されます。

3 リストの中から聴きたいアルバム名にタッチします。

選択したアルバムの1曲目が再生されます。

アドバイス

- 選択したアルバムの再生が終わると、次に録音したアルバムの1曲目から再生されます。
- 走行中は安全のためアルバム名を選ぶことができません。アルバムリストの最新のアルバムの1曲目から再生されます。

キーワードで探す

アルバム名、アーティスト名、曲名に含まれる文字を入力して聴きたい曲を探すことができます。

1 Music Rackの再生画面で 曲を探す にタッチします。

2 キーワード にタッチします。

文字入力画面が表示されます。

3 アルバム名、アーティスト名、曲名の一部を入力します。

- 検索履歴 にタッチすると、以前に入力したキーワード(文字列)が新しい順に最大20件までリスト表示されます。キーワードにタッチして手順4に進みます。
- 漢字、英数字、大文字、小文字、全角、半角の区別を行ないます。合致していない場合は検索されません。
- 読みでは検索できません。
- 名称の一部でも合致していれば検索されます(例えば、「LOVE」の場合「VE」でも検索されます)。
- 入力できる文字数は最大で全角/半角64文字です。

4 完了 にタッチします。

アルバム、トラック、アーティスト選択画面が表示されます。

- 完了 にタッチすると、入力したキーワードが検索履歴に記憶されます。

アルバムを探す

5 アルバム にタッチします

アルバムリストが表示されます。

- 該当するキーワードが見つからなかった場合は、メッセージが表示されます。もう一度、ほかのキーワードを入力してください。

6 リストの中から聴きたいアルバム名にタッチします。

選択したアルバムの1曲目が再生されます。

- アーティスト にタッチすると、アーティストリストが表示されます。

トラック(曲)を探す

5 トラック にタッチします

曲名リストが表示されます。

- 該当するキーワードが見つからなかった場合は、メッセージが表示されます。もう一度、ほかのキーワードを入力してください。

6 リストの中から聴きたい曲名にタッチします。

選択した曲が再生されます。

- アーティスト にタッチすると、アーティストリストが表示されます。

アーティストを探す

5 アーティスト にタッチします

アーティストリストが表示されます。

- 該当するキーワードが見つからなかった場合は、メッセージが表示されます。もう一度、ほかのキーワードを入力してください。

6 リストの中から聴きたいアーティスト名にタッチします。

選択したアーティストのアルバムリストが表示されます。

7 リストの中から聴きたいアルバム名にタッチします。

選択したアルバムの1曲目が再生されます。

アドバイス

- 検索履歴は最大20件までリスト表示されます。20件を超えた場合は、古いものから順に削除されます。
- 検索履歴からキーワードを選択して 完了 にタッチした場合、または検索履歴に記憶されているキーワードを入力した場合は、最新の内容としてリストの一番上に登録されます。古い履歴は消去されます。
- 選択したアルバムの再生が終わると、次に録音したアルバムの1曲目から再生されます。

「お気に入り」の中から探す

「お気に入り」を利用することで、簡単に聴きたい曲を探すことができます。

アドバイス

● 「お気に入り」に登録するには、247ページ「Music Rackの曲を「お気に入り」へ登録する」を参照してください。

1 Music Rackの再生画面で 曲を探す にタッチします。

2 お気に入り にタッチします。

お気に入りに登録されているフォルダのリストが表示されます。

3 リストの中から聴きたいフォルダ名にタッチします。

選択したフォルダの1曲目が再生されます。

アドバイス

● 選択したフォルダが繰り返し再生されます。

最近再生したアルバムから探す

1 Music Rackの再生画面で 曲を探す にタッチします。

2 最近10枚 にタッチします。

最近再生されたアルバムの10タイトルがリストで表示されます。

3 リストの中から聴きたいアルバム名にタッチします。

選択したアルバムの1曲目が再生されます。

アドバイス

● 選択したアルバムの再生が終わると、次に録音したアルバムの1曲目から再生されます。

よく聴くアルバムから探す

1 Music Rackの再生画面で 曲を探す にタッチします。

2 よく聴く10枚 にタッチします。

聴く回数の多いアルバムの10タイトルがリストで表示されます。

3 リストの中から聴きたいアルバム名にタッチします。

選択したアルバムの1曲目が再生されます。

アドバイス

● 選択したアルバムの再生が終わると、次に録音したアルバムの1曲目から再生されます。

アルバムアイコンから探す

アルバム名とイメージ画像の一覧から聴きたいアルバムを探すことができます。

1 Music Rackの再生画面で 曲を探す にタッチします。

2 アルバムアイコン にタッチします。

アルバムアイコン一覧が表示されます。

3 聴きたいアルバムのアイコンにタッチします。

- 1ページに表示できるアルバムアイコンは6枚です。
- アルバムアイコンのアルバム名は、最大で半角13文字、全角6文字です。

選択したアルバムの1曲目が再生されます。

アドバイス

● 選択したアルバムの再生が終わると、次に録音したアルバムの1曲目から再生されます。

アナログ録音した曲を探す

1 Music Rackの再生画面で 曲を探す にタッチします。

2 アナログ にタッチします。

アナログで録音した曲名リストが表示されます。

3 リストの中から聴きたい曲名にタッチします。

- リストには､ソース名／録音日／録音開始時間が表示されます。

選択した曲が再生されます。

アドバイス

● 走行中は安全のため曲名を選ぶことはできません。リストの最新の曲が再生されます。

曲のイントロだけを聴く　SCAN(スキャン)

曲のイントロ部分だけを聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

1 Music Rackの再生画面で 1/2 にタッチします。

2 SCAN にタッチします。

- SCAN にタッチするたびにSCANモードがかわります。
  Album-Scan→Artist-Scan→Genre-Scan→All-Scan→OFF→Album-Scan…
  Album-Scan：再生中のアルバム内全曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。
  Artist-Scan：再生中のアーティストの全曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。
  Genre-Scan：再生中のジャンルの全曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。
  All-Scan：Music Rackの全曲のイントロ部分が約10秒間ずつ再生されます。

3 聴きたい曲が見つかったら、SCANモードが解除するまで SCAN にタッチします。

その曲の再生を続けます。

アドバイス

- すべての曲のスキャンが終了してもそのままスキャン再生を続けます。SCAN にタッチして解除してください。
- M.I.X.またはREPEAT演奏中にSCANモードにすると、M.I.X./REPEATモードは解除されます。
- 「お気に入り」の曲を再生中にSCANモードにすると、再生中の「お気に入り」フォルダの曲のみを対象にスキャン再生します。
- アナログ録音した曲をスキャン再生した場合は、アナログ録音の曲のみを対象にスキャン再生します。スキャンモードの切りかえはできません。

曲順を変えて聴く　M.I.X.(ミックス)

曲を順不同に聴くことができます。

1 Music Rackの再生画面で 1/2 にタッチします。

2 M.I.X. にタッチします。

- M.I.X. にタッチするたびにM.I.X.モードがかわります。
  Album-M.I.X.→Artist-M.I.X.→Genre-M.I.X.→All-M.I.X.→OFF→Album-M.I.X.…
  Album-M.I.X.：再生中のアルバム内の曲が順不同に再生されます。
  Artist-M.I.X.：再生中のアーティストの全曲が順不同に再生されます。
  Genre-M.I.X.：再生中のジャンルの全曲が順不同に再生されます。
  All-M.I.X.　：Music Rackの全曲が順不同に再生されます。

3 解除するには、M.I.X.モードが解除するまで M.I.X. にタッチします。

アドバイス

- SCANまたはREPEAT演奏中にM.I.X.モードにすると、SCAN/REPEATモードは解除されます。
- 「お気に入り」の曲を再生中にM.I.X.モードにすると、再生中の「お気に入り」フォルダの曲のみを対象にM.I.X.演奏します。
- アナログ録音した曲をM.I.X.再生した場合は、アナログ録音の曲のみを対象にM.I.X.再生します。M.I.X.モードの切りかえはできません。

繰り返し聴く　REPEAT(リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し聴くことができます。

1 Music Rackの再生画面で 1/2 にタッチします。

2 再生中に REPEAT にタッチします。

- REPEAT にタッチするたびにREPEATモードがかわります。
  Track-RPT→Album-RPT→Artist-RPT→Genre-RPT→OFF→Track-RPT…
  Track-RPT ：再生中の曲が繰り返し再生されます。
  Album-RPT：再生中のアルバムの全曲が繰り返し再生されます。
  Artist-RPT ：再生中のアーティストの全曲が繰り返し再生されます。
  Genre-RPT ：再生中のジャンルの全曲が繰り返し再生されます。

3 解除するには、REPEATモードが解除するまで REPEAT にタッチします。

アドバイス

- Track-RPT再生中に ▶▶I または I◀◀ にタッチすると、Track-RPT再生が解除され、次の曲または再生している曲の頭から再生されます。
- リピート再生中に ◀ ALBUM または ALBUM ▶ にタッチすると、リピート再生が解除され、次のアルバムまたは前のアルバムの1曲目から再生されます。
- SCANまたはM.I.X.演奏中にREPEATモードにすると、SCAN/M.I.X.モードは解除されます。
- 「お気に入り」の曲を再生中にREPEATモードにすると、聴いている曲のみをリピート再生します。
- アナログ録音した曲は、再生している曲のみをリピート再生します。リピートモードの切りかえはできません。

「お気に入り」の編集

アドバイス

- 編集中は再生を一時停止します。編集終了後に再び再生を開始します。
- 「お気に入り」の曲を再生中は、「お気に入り」の編集はできません。

フォルダを作成する

お好みの曲やアルバムをMusic Rackの「お気に入り」に登録することができます。
「お気に入り」に登録する音楽データのフォルダを作成します。

1 Music Rackの再生画面で 1/2 にタッチします。

2 お気に入り にタッチします。

「お気に入り」のフォルダリストが表示されます。

- お買い上げ時は、「お気に入り1」〜「お気に入り5」のフォルダが設定されています。このフォルダ名は変更することができます(248ページ「フォルダ名称を編集する」参照)。

3 作成 にタッチします。

文字入力画面が表示されます。

4 フォルダ名を入力します。

- 入力できる文字数は最大で全角／半角64文字です。

5 完了 にタッチします。
入力したフォルダ名がリストに追加されます。

アドバイス

- 登録できるフォルダ数は最大20件です。

Music Rackの曲を「お気に入り」へ登録する

再生中の曲を「お気に入り」へ登録します。

1 登録したい曲を再生します。

- 237ページ「聴きたい曲を探す」を参照してください。

2 1/2 にタッチし、お気に入り にタッチします。

3 曲を登録したいフォルダ名にタッチします。

次ページに続く→

4 曲を追加 にタッチします。

メッセージが表示され、再生中の曲が選択したフォルダに登録されます。

アドバイス

- 「お気に入り」に登録できる曲数は最大100件です。
- 同じ曲を違うフォルダに登録することもできます。

フォルダ名称を編集する

「お気に入り」に登録されているフォルダ名を変更します。

1 「お気に入り」のフォルダリスト画面で名称を変更したいフォルダにタッチします。

2 編集 にタッチします。

3 名称変更 にタッチします。

文字入力画面が表示されます。

4 フォルダ名を入力します。

- 入力できる文字数は最大で全角／半角64文字です。

5 完了 にタッチします。

入力したフォルダ名が表示されます。

曲を並べかえる

「お気に入り」に登録されているフォルダの中の曲順を変更します。

1 「お気に入り」のフォルダリスト画面で曲順を変更したい曲が保存されているフォルダにタッチします。

2 編集 にタッチします。

3 曲順を変更したい曲名にタッチします。

4 変更したい位置まで 演奏順UP または 演奏順DN にタッチします。

1回タッチするたびに、選択した曲が上または下へ移動します。

- 演奏順UP にタッチすると、曲順を上へ移動します。
- 演奏順DN にタッチすると、曲順を下へ移動します。

フォルダを移動する

「お気に入り」に登録されている曲のフォルダを移動します。

1 「お気に入り」のフォルダリスト画面で移動したい曲が保存されているフォルダにタッチします。

2 編集 にタッチします。

3 フォルダを変更したい曲名にタッチします。

4 移動 にタッチします。

5 移動先のフォルダ名にタッチします。

メッセージが表示され、選択した曲のフォルダが移動します。

消去する

「お気に入り」に登録した曲やフォルダを消去します。

曲を消去する

選択した曲を消去します。

1 「お気に入り」のフォルダリスト画面で消去したい曲が保存されているフォルダにタッチします。

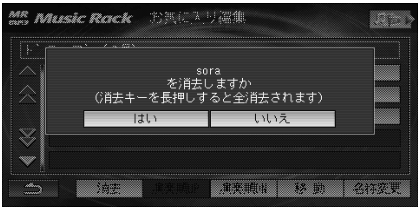
2 編集 にタッチします。

3 消去したい曲名にタッチします。

4 消去 にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

5 はい にタッチします。



選択した曲が消去されます。

アドバイス

● 「お気に入り」のリストから１曲消去を行っても、Music Rackの音楽データは消去されません。

フォルダ内のすべての曲を消去する

選択したフォルダ内のすべての曲を消去します。ただし、フォルダは消去されません。

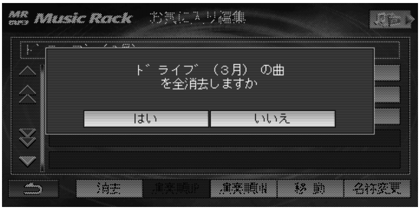
1 「お気に入り」のフォルダリスト画面で消去したいフォルダにタッチします。

2 編集 にタッチします。

3 消去 にタッチし続けます。

確認のメッセージが表示されます。

4 はい にタッチします。



選択したフォルダ内のすべての曲が消去されます。

アドバイス

● 選択したフォルダ内の全曲消去を行っても、Music Rackの音楽データは消去されません。

フォルダを消去する

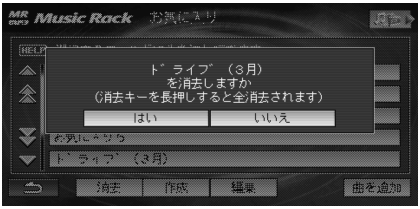
選択したフォルダとその中に保存されているすべての曲を消去します。

1 「お気に入り」のフォルダリスト画面で消去したいフォルダにタッチします。

2 消去 にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

3 はい にタッチします。



選択したフォルダが消去されます。

アドバイス

● 「お気に入り」のリストからフォルダ消去を行っても、Music Rackの音楽データは消去されません。

すべてのフォルダを消去する

「お気に入り」に登録されているすべてのフォルダと曲を消去します。

1 「お気に入り」のフォルダリスト画面で 消去 にタッチし続けます。

確認のメッセージが表示されます。

2 はい にタッチします。

すべてのフォルダと曲が消去されます。

アドバイス

● 「お気に入り」の全消去を行っても、Music Rackの音楽データは消去されません。

Music Rackの編集

アルバム情報を編集する

Music Rackに収録されている曲名やアーティスト名を変更します。

アドバイス

- SCAN／M.I.X.／REPEAT演奏中は編集操作ができません。
- 編集中はMusic Rackの再生を一時停止します。編集終了後に再び再生を開始します。ただし、曲の消去や並べかえを行った場合は、アルバムの先頭の曲が再生されます。アルバム消去を行ったときは、次のアルバムが再生されます。

曲タイトルを変更する

1 曲名を変更したい曲が収録されているアルバムを再生します。

- 237ページ「聴きたい曲を探す」を参照してください。

2 1/2 にタッチします。

3 編集 にタッチします。

再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。

4 曲名を変更したい曲にタッチします。

5 名称変更 にタッチします。

6 曲名 にタッチします。

文字入力画面が表示されます。

7 曲名を入力します。

- 入力できる文字数は最大で全角／半角64文字です。

8 完了 にタッチします。

入力した曲名がリストに表示されます。

9 ⮌ にタッチします。

アーティストを変更する

1 アーティストを変更したい曲が収録されているアルバムを再生します。

- 237ページ「聴きたい曲を探す」を参照してください。

2 1/2 にタッチします。

3 編集 にタッチします。

再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。

4 名称変更 にタッチし、アーティスト にタッチします。

Music Rackに録音されているアーティストリストが表示されます。

5 変更したいアーティスト名にタッチします。

- 入力 にタッチすると、新しくアーティストを登録することができます。文字を入力する方法については、31ページ「文字の入力方法」を参照してください。

6 ⮌ にタッチします。

アルバム名を変更する

1 Music Rackの再生画面でアルバム名を変更したいアルバムを再生します。

- 237ページ「聴きたい曲を探す」を参照してください。

2 1/2 にタッチします。

3 編集 にタッチします。

再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。

4 名称変更 にタッチし、アルバム にタッチします。

文字入力画面が表示されます。

5 アルバム名を入力します。

- 入力できる文字数は最大で全角／半角64文字です。

6 完了 にタッチします。

入力したアルバム名が表示されます。

7 ⮌ にタッチします。

ジャンルを変更する

1 Music Rackの再生画面でジャンルを変更したいアルバムを再生します。

- 237ページ「聴きたい曲を探す」を参照してください。

2 1/2 にタッチします。

3 編集 にタッチします。

再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。

4 名称変更 にタッチし、ジャンル にタッチします。

ジャンルリストが表示されます。

5 変更したいジャンルにタッチします。

- ジャンル数は11あります。同時にイメージ表示も切りかわります。
- イメージ画像を設定しているアルバムのジャンルを変更した場合は、イメージ画像を変更するメッセージが表示されます。

6 にタッチします。

パソコンで作成したアルバム情報に変更する

Music Rackのアルバム情報（アルバム名、アーティスト名、曲名、ジャンル）をパソコンで作成した情報に書きかえることができます。
テキスト情報を自動付与できなかったアルバム（「NO TITLE」表示のアルバム）の情報を、CDDBデータベースからダウンロードできない場合に有効です。

■ アルバム情報作成・編集までの流れ

"メモリースティック"にベースとなる「TEMPLATE.edt」ファイルを作成する。

↓

パソコンで「TEMPLATE.edt」ファイルにアルバム情報を編集して、"メモリースティック"に保存する。

↓

「TEMPLATE.edt」ファイルを本機に読み込む。

アドバイス

● "メモリースティック"には、「MUSICRACKDATA」フォルダと、その中に以下の4つのファイルが作成されます。

- 「TEMPLATE.edt」:
  アルバム情報を編集するファイル
- 「ALBUM.txt」:
  Music Rackに登録されているアルバム一覧
- 「ARTIST.txt」:
  Music Rackに登録されているアーティスト一覧
- 「GENRE.txt」:
  Music Rackに登録できるジャンル一覧

1 "メモリースティック"を本機に挿入します。

- 23ページ「"メモリースティック"を入れる」を参照してください。

2 Music Rack編集画面で 名称変更 にタッチし、テキスト作成 にタッチします。

"メモリースティック"に「TEMPLATE.edt」ファイルが作成されます。

- すでに「TEMPLATE.edt」ファイルがある場合は、上書きをするメッセージが表示されます。

3 “メモリースティック”を取り出します。

4 パソコンで“メモリースティック”に作成した「TEMPLATE.edt」ファイルを開きます。

- 「TEMPLATE.edt」ファイルのフォーマットは以下のとおりです。

```
【HEAD】
【ALBUM】  【ここにアルバム名称を入力して下さい】
【ARTIST】 【ここにアーティスト名を入力して下さい】
【GENRE】  【GENRE.txtよりコードを入力して下さい】
【TITLE01】【トラック1のタイトル名称を入力して下さい】
【TITLE02】【トラック2のタイトル名称を入力して下さい】
【TITLE03】【トラック3のタイトル名称を入力して下さい】
【TITLE04】【トラック4のタイトル名称を入力して下さい】
【TITLE05】【トラック5のタイトル名称を入力して下さい】
【TITLE06】【トラック6のタイトル名称を入力して下さい】
【TITLE07】【トラック7のタイトル名称を入力して下さい】
【TITLE08】【トラック8のタイトル名称を入力して下さい】
【TITLE09】【トラック9のタイトル名称を入力して下さい】
【TITLE10】【トラック10のタイトル名称を入力して下さい】
【TITLE11】【トラック11のタイトル名称を入力して下さい】
【TITLE12】【トラック12のタイトル名称を入力して下さい】
【TITLE13】【トラック13のタイトル名称を入力して下さい】
【TITLE14】【トラック14のタイトル名称を入力して下さい】
【TITLE15】【トラック15のタイトル名称を入力して下さい】
【TITLE16】【トラック16のタイトル名称を入力して下さい】
【TITLE17】【トラック17のタイトル名称を入力して下さい】
【TITLE18】【トラック18のタイトル名称を入力して下さい】
【TITLE19】【トラック19のタイトル名称を入力して下さい】
【TITLE20】【トラック数は必要に応じて追加削除してください】

【TITLE99】【トラックMAX99入力可能です】
【TERM】
```

＜図1＞

5 「TEMPLATE.edt」ファイルにアルバム情報を入力し、“メモリースティック”に上書き保存します。

- 図1の太字部分を書きかえてください。
- “[ ]”は消去しないでください。消去した場合、その名称は書きかえられません。
- 入力できる文字数は、最大で全角/半角64文字です。
- 入力できる曲数は、最大で99曲です。
- 曲名はMusic Rackのアルバムに収録されている曲数だけ作成してください。必要に応じて追加、削除してください。
- JISコード以外の文字は、スペースとして設定されます。
- ジャンルは下記のジャンル番号を半角で入力してください。このテキストは、“メモリースティック”に作成されている「GENRE.txt」ファイルを参照できます。

ジャンル番号	ジャンル
01	J-POP
02	POP
03	ROCK
04	BLUES/JAZZ
05	EASY LISTENING
06	HIPHOP/R&B
07	METAL
08	REGGAE
09	ELECTRICAL/DANCE
10	CLASSIC
11	OTHERS

- ジャンル番号が未入力またはジャンル番号以外を入力した場合は、「OTHERS」で設定されます。
- 「TEMPLATE.edt」のファイル名は変更できますが、ファイルの拡張子は、必ず「.edt」にしてください。

6 “メモリースティック”を本機に挿入します。

7 Music Rackの再生画面でアルバム情報を変更したいアルバムを再生します。

- 237ページ「聴きたい曲を探す」を参照してください。

8 1/2 にタッチし、編集 にタッチします。

9 Music Rack編集画面で 名称変更 にタッチし、MS にタッチします。

次ページに続く→

10 読み込みたいファイルにタッチします。

- 詳細情報 にタッチすると、ファイルの情報を確認することができます。

11 完了 にタッチします。

Music Rack編集画面に戻り、アルバム名、アーティスト名、曲名、ジャンルイメージ画像が表示されます。

- 「TEMPLATE.edt」ファイルに作成した曲名数とMusic Rackのアルバムに収録されている曲数が合致しない場合は、確認メッセージが表示されます。Music Rackの収録曲数が多い場合は、足りない曲名は書きかえられません。逆に「TEMPLATE.edt」ファイルの曲数が多い場合は、Music Rackの収録曲数分だけが書きかえられます。

12 ⮌ にタッチします。

アドバイス

● パソコンで「TEMPLATE.edt」ファイルを編集する場合は、"メモ帳"などのアプリケーションを使って編集できます。編集後上書き保存してください。

イメージ画像を変更する

画面に表示するイメージ画像を、お好みの画像に変更することができます。

アドバイス

● あらかじめ画像データが登録されていることが必要です。画像を登録する方法については、153ページ「画像を登録する」を参照してください。

1 Music Rackの再生画面でイメージ画像を変更したいアルバムを再生します。

- 237ページ「聴きたい曲を探す」を参照してください。

2 1/2 にタッチします。

3 編集 にタッチします。

再生中のアルバム曲名リストが表示されます。

4 画像 にタッチします。

画像のリストが表示されます。

5 設定したい画像にタッチします。

- 変更前の画像は、リストの1番目に表示されます。
- プレビュー にタッチすると、選択している画像を拡大表示できます。
- いずれかの画像にタッチすると画面右側に画像が表示されます。画像によって表示するまで時間がかかる場合があります。

6 完了 にタッチします。

7 ⮌ にタッチします。

選択した画像がイメージ画像に表示されます。

アドバイス

- 選択した画面が表示されるまで、時間がかかる場合があります。

曲を並べかえる

Music Rackに収録されているアルバムの中の曲順を変更します。

1 曲順を変更したいアルバムを再生します。

- 237ページ「聴きたい曲を探す」を参照してください。

2 1/2 にタッチします。

3 編集 にタッチします。

再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。

4 曲順を変更したい曲名にタッチします。

5 変更したい位置まで 演奏順UP または 演奏順DN にタッチします。

- 演奏順UP にタッチするたびに、曲順が上へ移動します。
- 演奏順DN にタッチするたびに、曲順が下へ移動します。

6 ⮌ にタッチします。

消去する

Music Rackに収録されている曲やアルバムを消去します。

アドバイス

- 「お気に入り」に登録されているMusic Rackの曲を消去すると、「お気に入り」のリストからも消去されます。

曲を消去する

選択した曲を消去します。

1 消去したい曲が収録されているアルバムを再生します。

- 237ページ「聴きたい曲を探す」を参照してください。

2 1/2 にタッチします。

3 編集 にタッチします。

再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。

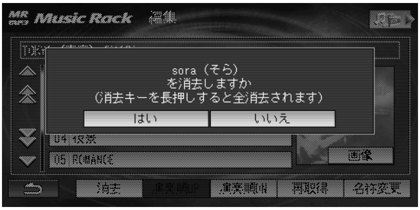
次ページに続く→

4 消去したい曲名にタッチします。

5 消去 にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

6 はい にタッチします。



- 消去する曲が「お気に入り」に登録されているときは、確認のメッセージが表示されます。はい にタッチします。

選択した曲が消去されます。

7 ⮌ にタッチします。

アルバムを消去する

選択したアルバムとアルバム内のすべての曲を消去します。

1 消去したいアルバムを再生します。

- 237ページ「聴きたい曲を探す」を参照してください。

2 1/2 にタッチします。

3 編集 にタッチします。

再生中のアルバムの曲名リストが表示されます。

4 消去 にタッチし続けます。

確認のメッセージが表示されます。

5 はい にタッチします。

- 消去する曲が「お気に入り」に登録されているときは、確認のメッセージが表示されます。はい にタッチします。

選択したアルバムとアルバム内のすべての曲が消去されます。

6 ⮌ にタッチします。

アドバイス

● アナログ録音したデータをすべて消去する場合、消去されるまで時間がかかる場合があります。

タイトル情報を取得する

デジタル録音終了時に自動的に付与されなかったアルバムのタイトルデータを手動で取得することができます。

リストを表示して取得する

ハードディスクに収録されているGracenoteCDDBデータベースから、タイトル情報を取得します。

1 **タイトルデータを取得したいアルバムを再生します。**

- 237ページ「聴きたい曲を探す」を参照してください。

2 **1/2 にタッチします。**

3 **編集 にタッチします。**

4 **再取得 にタッチします。**

アルバム／アーティスト一覧が表示されます。

- 該当するタイトルデータがなかった場合は、メッセージが表示されます。

5 **該当するアルバムにタッチします。**

Music Rack編集画面に戻り、アルバム名、アーティスト名、曲名が表示されます。

6 **にタッチします。**

ダウンロードして取得する

インターネットでGracenoteにアクセスして、CDDBデータベースから該当する音楽情報を検索し、タイトルデータをダウンロードすることができます。

アドバイス

- ダウンロードするには、ハンズフリー電話の接続ケーブル※が必要です。
  ※VXH-071MCVは別売です。
- ダウンロードするには、あらかじめ通信設定を行ってください（149ページ「通信設定」参照）。
  尚、以下の通信設定では、ダウンロードすることができません。
  - TU-KAセルラー東京／TU-KAセルラー東海
  - ツーカーホン関西
- au「CDMA 1X WIN」の一部の機種ではダウンロードできない場合があります。
- ダウンロードできなかった場合は、以下のメッセージを表示します。
  - 「情報がありませんでした」:
    CDDBデータベースにデータがない場合
  - 「情報を取得できませんでした」:
    通信エラーなどの場合
- 1アルバムずつ取得されます。

1 **タイトルデータを取得したいアルバムを再生します。**

- 237ページ「聴きたい曲を探す」を参照してください。

2 **1/2 にタッチします。**

3 **編集 にタッチします。**

4 **再取得 にタッチします。**

5 **通信 にタッチします。**

インターネットに接続され、データを検索したあとダウンロードを開始します。

ダウンロードが終了すると、回線を切断しアルバム／アーティスト一覧が表示されます。

- ダウンロードして取得されたアルバムには、Music Rackの編集画面の曲名リストに「」アイコンが表示されます。

6 **該当するアルバムにタッチします。**

Music Rack編集画面に戻り、アルバム名、アーティスト名、曲名が表示されます。

7 **にタッチします。**

TV操作

オーディオ・テレビ編

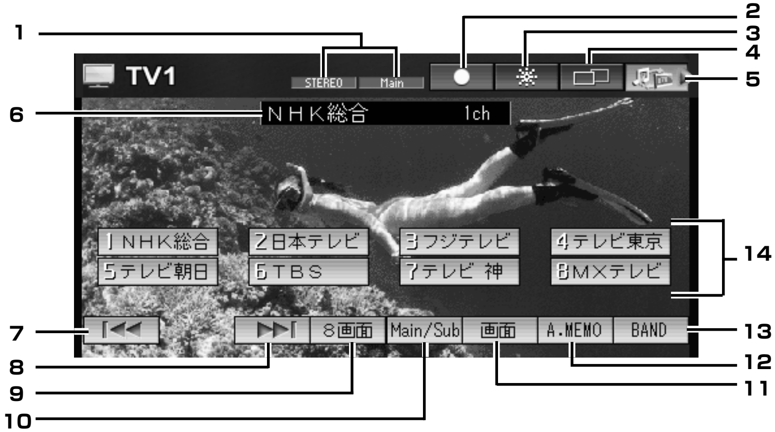
画面の見かた **262**
テレビ操作画面について 262
テレビを見る **264**
放送局を選ぶ **265**
手動で選ぶ 265
自動で選ぶ 265
プリセットスイッチから選ぶ 265
8画面から選ぶ 266
放送局を記憶する **267**
手動で記憶する 267
自動で記憶する 267
A.MEMOで記憶させた放送局を変更する 268
音声多重機能を使う（二重音声放送） **269**
テレビ画面の調整 **270**
画面の調整 270
画面モードを切りかえる 270

画面の見かた

テレビ操作画面について

テレビの受信画面からテレビ操作画面に切りかえると以下の画面が表示されます。

■ テレビ操作画面



1.状態表示
A.MEMOのときは「A.MEMO」と表示します。また、ステレオ放送で受信している場合は「STEREO」が表示され、二ヶ国語で受信している場合は「Main」「Sub」「Main/Sub」が表示されます。

2. ●
放送している曲や音声をMusic Rackへ録音します（230ページ「CD以外のオーディオモードから録音する（アナログ録音）」参照）。

3. ※
スペアナ画面に切りかえます（191ページ「スペアナ画面の切りかえ」参照）。

4. ▭
マルチ画面に切りかえます（24ページ「全画面とマルチ画面」参照）。

5.OPTIONスイッチ機能表示
OPTIONスイッチに設定した機能の内容が表示されます（155ページ「オプションキー設定」参照）。

6.放送局表示
受信している放送局の名称とチャンネルNo.が表示されます。放送局名がない場合は、NO TITLEと表示されます。

7. |◀◀
低い周波数に変更します。タッチし続けると、表示されている周波数から一番近い（低い）放送局を自動で受信します（265ページ「放送局を選ぶ」参照）。

8. ▶▶|
高い周波数に変更します。タッチし続けると、表示されている周波数から一番近い（高い）放送局を自動で受信します（265ページ「放送局を選ぶ」参照）。

9. 8画面
プリセットスイッチに記憶している放送局を一覧表示します（266ページ「8画面から選ぶ」参照）。

10. Main/Sub
音声を切りかえます（269ページ「音声多重機能を使う（二重音声放送）」参照）。

11. 画面
画面の色合いや明るさなどを調整したり、画面サイズを切りかえます（270ページ「テレビ画面の調整」参照）。

12. A.MEMO
放送局を自動でプリセットスイッチに記憶します（267ページ「自動で記憶する」参照）。

13. BAND
テレビのバンド（TV1/TV2）を切りかえます。

14.プリセットスイッチ
記憶されている放送局名を表示します。タッチすると放送局を呼び出します。タッチし続けると、受信している放送局をそのスイッチに記憶します。放送局名がない場合は、チャンネルNo.が表示されます（265ページ「プリセットスイッチから選ぶ」、267ページ「手動で記憶する」参照）。

テレビ操作画面への切りかえかた

1 テレビ画面で画面にタッチします。

テレビの操作画面が表示されます。

- しばらく（約6秒）操作をしない場合は、元の画面に戻ります。

テレビを見る

1 ⏻/MENU スイッチを押したあと、TV にタッチします。

最後に見ていた放送局のテレビ画面が表示されます。

テレビの受信について

安全上の配慮から、停車しているときにだけテレビをご覧になれます。走行中は、映像は映らずに音声だけが聴こえます。
また、テレビの受信は、車の走行にともない受信状態が変化したり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持できない場合があります。

- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くでは、画像が乱れたり雑音が入ることがあります。
- 建物や山などの障害物があると、受信状態が悪くなります。
- ラジオ放送やアマチュア無線用の送信アンテナ、鉄塔の近くでは、画像が乱れたり雑音が入ることがあります。
- 放送局から遠いところでは電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。

地上アナログテレビジョン放送から地上デジタルテレビジョン放送への移行について

地上デジタルテレビジョン放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログテレビジョン放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。

アナログテレビジョン放送のチャンネル変更について

アナログテレビジョン放送チャンネルの変更は順次行なわれるため、記憶されたチャンネルが受信できなくなる場合があります。この場合は、もう一度設定を行ってください。
放送局名は、本機に収録されている放送局名の情報をもとに表示するため、放送局名が正しく表示されなくなる場合があります。

本機は、地上デジタルテレビジョン放送には対応しておりません。

放送局を選ぶ

手動で選ぶ

手動でテレビのch(チャンネル)を変更します。

1 **テレビの操作画面で ▶▶| または |◀◀ にタッチし、見たい放送局を探します。**

タッチするたびに1ステップずつchがUP/DOWNします。

- ▶▶| にタッチすると、chが高くなります。
- |◀◀ にタッチすると、chが低くなります。

アドバイス

● 必要に応じて BAND にタッチし、バンド(TV1、TV2)を切りかえてください。

自動で選ぶ

現在受信している放送局から一番近い放送局を自動で受信します。

1 **テレビの操作画面で ▶▶| または |◀◀ を操作音が2回するまでタッチし続けます。**

現在受信している放送局に一番近い放送局を自動的に選局して、受信したところで止まります。

- 途中で解除したいときは、もう一度 ▶▶| または |◀◀ にタッチします。

アドバイス

● 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。
● 受信状態によっては、映りの悪い放送局を選択する場合があります。

プリセットスイッチから選ぶ

あらかじめ記憶(プリセット)されている放送局を受信します。

1 **テレビの操作画面で見たい放送局のプリセットスイッチにタッチします。**

アドバイス

● 放送局をプリセットスイッチに記憶させる操作については、267ページ「放送局を記憶する」を参照してください。

8画面から選ぶ

あらかじめ記憶（プリセット）されているすべての放送局（8局）を受信して、8画面を表示します。現在放送中の番組を確認してお好みの放送局を受信します。

1 テレビの操作画面で 8画面 にタッチします。

8画面が表示されます。

- 放送局を順に受信します。1順目は約1秒、2順目以降は約4秒ずつ動画と音声を出力します。残りの放送局は静止画を表示します。

2 受信したい放送局の画面をタッチします。

アドバイス

● 放送局をプリセットスイッチに記憶させる操作については、267ページ「放送局を記憶する」を参照してください。
● 8画面表示中は、リモコン（別売）の操作（チャンネル切りかえ、バンド切りかえ）はできません。
● A.MEMOで受信できなかったチャンネル（0ch）は、ブルー画面を表示します。
● ⮌ にタッチすると8画面を表示する前のテレビ画面に戻ります。

放送局を記憶する

放送局をプリセットスイッチに記憶させるには、マニュアル(手動)とA.MEMO(自動)2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

手動で記憶する

1 テレビ操作画面で手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局にchを合わせます。

2 記憶させたいプリセットスイッチに操作音が2回するまでタッチし続けます。

放送局がタッチしたプリセットスイッチに記憶されます。

アドバイス

- すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

自動で記憶する

1 テレビ操作画面で A.MEMO にタッチします。

「A.MEMO」が表示され、自動的に選局を始めます。自動選局が終了すると、プリセットスイッチに記憶されます。
放送局を記憶したあと、TV１バンドの中で最も電解強度の強い放送局を表示します。

- A.MEMOの起動中にもう一度 A.MEMO にタッチするとA.MEMOは解除され、プリセットスイッチは元の状態に戻ります。

アドバイス

- A.MEMOについては、197ページ「A.MEMOについて」を参照してください。
- 受信電波の弱い地域では、A.MEMOでの自動受信ができないことがあります。受信できなかった場合は、0chと表示されます。
- 同じ放送局からの受信でも、手動で記憶したchとA.MEMOで記憶したchは一致しないことがあります。
- A.MEMOを同じ場所で繰りかえし操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信感度のよい放送局をch数の小さい順に8局まで自動的に記憶されます。
- 受信できた放送局が8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。
- A.MEMO起動中は、バンド(TV1、TV2)の切りかえはできません。

A.MEMOで記憶させた放送局を変更する

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局にchを合わせます。

2 記憶させたいプリセットスイッチに操作音が2回するまでタッチし続けます。

タッチしたプリセットスイッチに放送局が記憶されます。

音声多重機能を使う(二重音声放送)

ニュースや映画などの2ヶ国語放送や、スポーツの実況中継など、異なった2種類の音声放送(二重音声放送)を楽しむことができます。

1 テレビ操作画面で Main/Sub にタッチします。

タッチするたびに「Main→Sub→Main/Sub→Main・・・」と音声が切りかわります。

Main　　：主音声のみ
Sub　　 ：副音声のみ
Main/Sub：左スピーカーからは主音声が右スピーカーからは副音声が聴こえます。

アドバイス

- 副音声に設定した状態で副音声を放送していない放送局を受信した場合は、主音声を放送します。

TV操作

テレビ画面の調整

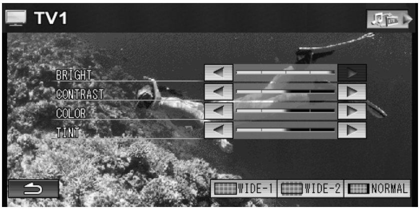
画面の調整

テレビ画面のコントラストや明るさをお好みに合わせて調整することができます。

1 **テレビ操作画面で 画面 にタッチします。**

画質の調整画面が表示されます。

2 **「BRIGHT」、「CONTRAST」、「COLOR」、「TINT」の ◀ または ▶ にタッチして画質を調整します。**



BRIGHT
　画面の明度を調整します。
　暗くするときは ◀ 、明るくするときは ▶ にタッチします。

CONTRAST
　全体のめりはりの強弱を調整します。
　弱くするときは ◀ 、強くするときは ▶ にタッチします。

COLOR
　色の濃淡を調整します。
　淡くするときは ◀ 、濃くするときは ▶ にタッチします。

TINT
　緑色と赤色の強さを調整します。
　赤色を強くするときは ◀ 、緑色を強くするときは ▶ にタッチします。

- それぞれ15段階で設定できます。

3 **⮌ にタッチします。**

テレビ画面に戻ります。

アドバイス

- DVD、VTRの画面には反映されません。
- 画面調整は、136ページ「イルミ連動」設定を「する」に設定している場合は、車のスモールランプを点灯したときと消灯したときで、別々に調整することができます。

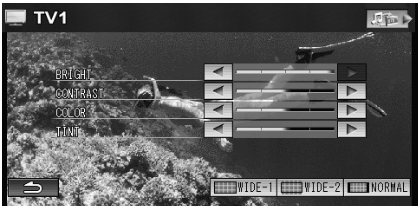
画面モードを切りかえる

テレビ画面の表示をワイドや標準に切りかえることができます。

1 **テレビ操作画面で 画面 にタッチします。**

画質の調整画面が表示されます。

2 **WIDE-1 、 WIDE-2 または NORMAL にタッチして表示画面を選択します。**



WIDE-1
　標準映像を水平方向に均等に広げ、画面いっぱいに表示します。

WIDE-2
　標準映像を上下左右方向に均等に拡大して表示します。画面の上下が少しカットされます。

NORMAL
　通常のテレビ放送の比率(4:3)で表示します。映像は中央に映ります。

- 初期設定値は、「WIDE-1」に設定されています。

3 **⮌ にタッチします。**

テレビ画面に戻ります。

アドバイス

- DVD、VTRの画面には反映されません。

DVD/VTR操作

オーディオ・テレビ編

DVDをご使用になる前に 272
DVDビデオの機能 272
ディスクについて 273
画面の見かた 274
DVD操作画面について 274
DVDを再生する 277
メニュー／タイトルメニューを表示する 278
メニュー画面を操作する 278
メニュー番号で見たい映像を探す 278
メニュー操作スイッチの表示位置を切りかえる 279
再生中止(PRE STOP)する 280
再生停止する 281
早送り・早戻しする 282
静止(一時停止)する 283
コマ送り再生する 284
スローモーション再生する 285
見たい映像を探す 286
チャプターの頭出しをする 286
チャプター番号から探す 286
タイトル番号から探す 287
繰り返し見る　REPEAT(リピート) 288
DVDビデオ機能の切りかえ 289
アングルの切りかえ 289
言語の切りかえ 289
DVD初期設定 290
優先する音声を切りかえる 290
字幕の言語を切りかえる 291
ソフトメニューの言語を切りかえる 291
視聴制限を設定する 292
映像出力を切りかえる 293
初期値に戻す 293
DVD画面の調整 294
画面の調整 294
画面モードを切りかえる 294
視聴制限したDVDを再生する 295
VTR(別売)を見る 296
VTR画面の調整 297
画面の調整 297
画面モードを切りかえる 298

DVDをご使用になる前に

本機は、DVDビデオの高画質な映像とデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切りかえて再生／表示したり、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、お好みのアングルに切りかえて再生することができます。

DVDビデオの機能

マルチ音声機能について

DVDソフトには複数の言語が記録されているものがあり、テレビの音声多重放送のように、再生する音声言語を切りかえることができます。

サブタイトル（字幕）表示機能について

DVDソフトには複数の言語が記録されているものがあり、再生する字幕言語を切りかえたり、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することができます。また、ソフトメニューの言語を切りかえることもできます。

マルチアングル機能について

DVDソフトには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があり、再生するアングルを切りかえることができます。

注　意

- 本機は、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンの許諾が必要であり、マクロビジョンが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

マルチストーリー機能について

DVDソフトには、メインストーリー以外にサブストーリーやバージョンの違う映像が記録されているもの（マルチストーリー）があり、お好みのストーリーを選択することができます。操作方法はディスクによって異なります。マルチストーリーには、次のようなものがあります。

■ メインストーリー／サブストーリー

ディスクの中には、番外編のストーリーが作成されることがあります。例えば、主人公が友人と別れる場面があった場合に、サブストーリーでは別れた友人のその後のストーリーを紹介するというように、違うストーリーを再生することができます。

■ マルチバージョン

劇場公開版、完全版、ディレクターズカットなど、一つの作品で複数のバージョンを再生することができます。

■ ハイライト・シーン・スキャン

特定の人物やアニメのキャラクターの登場する場面だけを再生したり、音楽の場面だけを再生したりというように、特定の場面を再生することができます。

■ ブランチング・ストーリー

ロール・プレイング・ゲームのように、例えば登場人物の行動をメニューから選択して物語を展開しながら再生することができます。再生中に撮影のメイキングシーンを見ることもできます。

視聴制限について

DVDソフトには、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない映像の視聴を制限できるものがあります。
視聴制限は、以下の8段階のレベルがあり3種類に分類されます。

- **レベル1**
  子供向けのDVDソフトのみを再生します（一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します）。
- **レベル2～7**
  子供向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します（成人向けのDVDソフトの再生を禁止します）。
- **レベル8**
  すべてのDVDソフトを再生します。
- **OFF**
  視聴制限しません。すべてのDVDソフトを再生します（初期設定）。

視聴制限は、DVD初期設定の「視聴制限」から設定します（初期設定値は「OFF」）。設定の方法については、292ページ「視聴制限を設定する」を参照してください。

ディスクについて

再生できるディスクの種類について

本機はNTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAN)用のディスクは再生することができません。

アドバイス

- DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。
- DVD-R/RWで記録されたディスクはご使用になれない場合があります。DVD+R/RWで記録されたディスクはご使用になれません。

再生可能なディスクの地域番号(リージョンコード)について

DVDソフトには<リージョンコード>(地域番号)が表示されているものがあり、このマーク(数字)はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または「ALL」が表示されていないディスクを再生することはできません。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できない場合があります。

ディスクに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには以下のようなものがあります。

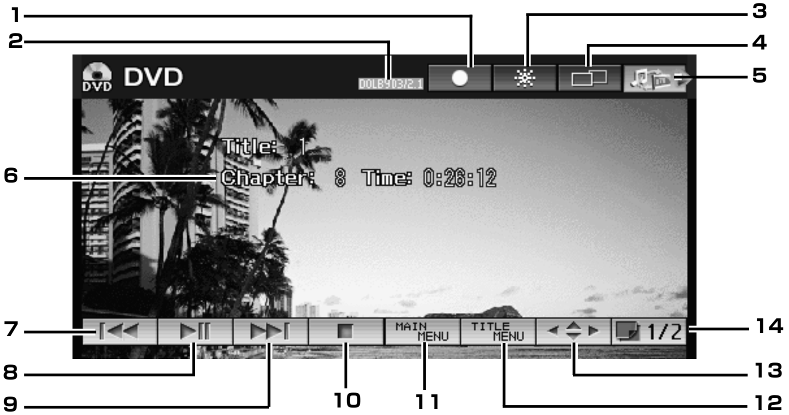
マーク		意味
②))		再生できる言語の数を表します。
2 (字幕マーク)		字幕に表示できる言語の数を表します。
3 (アングルマーク)		アングルの数を表します。
16 : 9 LB	4 : 3	選択可能な画像の縦横の比率を表します。 • 「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面を表します。
ALL	2	再生可能な地域番号を表します。 • 「ALL」は全世界向け、数字は地域番号を表します(「2」は日本向け)。

画面の見かた

DVD操作画面について

DVDの再生画面からDVD操作画面に切りかえると以下の画面が表示されます。

■ DVD操作画面1／2



1. ●
再生している曲や音声をMusic Rackへ録音します(230ページ「CD以外のオーディオモードから録音する(アナログ録音)」参照)。

2.状態表示
音声出力の種類、再生モード(REPEAT(リピート再生))が表示されます。

3. ☀
スペアナ画面に切りかえます(191ページ「スペアナ画面の切りかえ」参照)。

4. ▭
マルチ画面に切りかえます(24ページ「全画面とマルチ画面」参照)。

5.OPTIONスイッチ機能表示
OPTIONスイッチに設定した機能の内容が表示されます(155ページ「オプションキー設定」参照)。

6.タイトル表示
再生しているタイトル番号が上段に表示されます。再生しているチャプター番号とタイトルの経過時間が下段に表示されます。

7. |◀◀
現在のチャプターの先頭に戻ります。続けてタッチすると前のチャプターの頭出しをします(286ページ「チャプターの頭出しをする」参照)。タッチし続けると、再生しているチャプターを早戻しします(282ページ「早送り・早戻しする」参照)。

8. ▶II
DVDの再生／一時停止を切りかえます(283ページ「静止(一時停止)する」参照)。

9. ▶▶|
次のチャプターの頭出しをします(286ページ「チャプターの頭出しをする」参照)。タッチし続けると、再生しているチャプターを早送りします(282ページ「早送り・早戻しする」参照)。

10. ■
DVDの再生を停止します(280ページ「再生中止(PRE STOP)する」、281ページ「再生停止する」参照)。

11. MAIN MENU
メニューを表示します(278ページ「メニュー／タイトルメニューを表示する」参照)。

12. TITLE MENU
タイトルメニューを表示します(278ページ「メニュー／タイトルメニューを表示する」参照)。

13. ◀▲▼▶
メニュー画面でのカーソル移動や項目選択のほか、タッチスイッチの表示位置を変更します(278ページ「メニュー画面を操作する」参照)。

14. 1/2
操作画面を切りかえます(188ページ「操作画面の切りかえ」参照)。

アドバイス

● ディスクまたは再生状態によっては、その操作を受け付けない場合があります。画面には⊘マークが表示されます。

■ DVD操作画面2／2

1. REPEAT
再生中のチャプターやタイトルを繰り返し（リピート）再生します（288ページ「繰り返し見る REPEAT（リピート）」参照）。

2. 初期設定
言語設定や視聴制限設定などのDVD初期設定画面を表示します。（290ページ「DVD初期設定」参照）。

3. (音声)/(字幕)
音声または字幕の言語を切りかえます（289ページ「言語の切りかえ」参照）。

4. ANGLE
アングルを切りかえます（289ページ「アングルの切りかえ」参照）。

5. 10Key
タイトル番号やチャプター番号を直接入力して再生します（286ページ「見たい映像を探す」参照）。

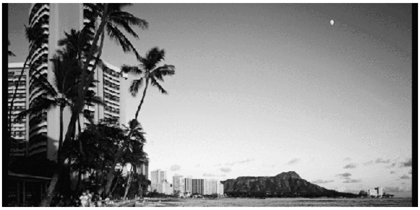
6. 画面
画面の色合いや明るさなどを調整したり、画面サイズを切りかえます（294ページ「DVD画面の調整」参照）。

7. MENU RETURN
ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。

8. 2/2
操作画面を切りかえます（188ページ「操作画面の切りかえ」参照）。

DVD操作画面への切りかえかた

1 DVD再生画面で画面にタッチします。



DVDの操作画面が表示されます。

- しばらく(約6秒)操作しない場合は、元の画面に戻ります。

DVDを再生する

1 (⏏/TILT)スイッチを押します。

ディスプレイが開きます。

2 DVDを挿入します。

自動的にディスプレイが閉まり、再生が始まります。

- すでにディスクが入っているときは (⏻/MENU)スイッチを押したあと、CD/DVD にタッチすると再生が始まります。

3 ディスクを取り出すときは(⏏/TILT)スイッチを押してディスプレイを開き、(DISC)スイッチを押します。

4 (⏏/TILT)スイッチを押してディスプレイを閉じます。

注　意

- 安全上の配慮から、停車しているときにだけDVDをご覧になれます。走行中は、映像は映らずに音声だけが聴こえます。
- ディスプレイの開閉時やディスクを出し入れするときは、変速レバーなどにぶつからないように注意してください。
- ディスプレイを開いたままにしないでください。故障や事故の原因になります。
- レーベル面を上にして挿入してください。
- DVDを挿入するとき、ディスプレイなどに干渉しないように注意してください。

アドバイス

- 再生中にオーディオ・テレビの電源を切る、イグニッションキーをOFFにする、オーディオモードを切りかえるなどの操作をしても、次に電源をONにすると、続きから再生します(プレイポジションメモリ)。ディスクを取り出した場合は、プレイポジションメモリは解除されます。
- DVDを再生するとメニュー画面が自動的に表示される場合があります。メニュー操作については278ページ「メニュー画面を操作する」を参照してください。
- ディスクによって本書で説明している操作とは異なる場合があります。ディスクの説明書もあわせてご覧ください。

メニュー／タイトルメニューを表示する

1 DVD操作画面で MAIN MENU または TITLE MENU にタッチします。

メニュー、またはタイトルメニューが表示されます。

アドバイス

- 表示されるメニューの内容は、ディスクによって異なります。画面の指示にしたがって操作してください。

メニュー画面を操作する

メニュー画面でカーソルを移動して、メニュー項目を選択します。

1 DVD操作画面で ◀▲▼▶ にタッチします。

2 必要に応じて ◀ ▲ ▼ ▶ 決定 にタッチします。

- ◀ ▶ にタッチすると、カーソルを左右に移動します。
- ▲ ▼ にタッチすると、カーソルを上下に移動したり、画面をスクロールします。
- 決定 にタッチすると、項目を選択します。

メニュー番号で見たい映像を探す

メニュー画面に表示されるメニュー番号を入力して、見たい映像を探すことができます。

1 DVD操作画面で ◀▲▼▶ にタッチします。

2 10Key にタッチします。

メニュー番号の入力画面が表示されます。

3 数字にタッチしてメニュー番号を入力します。

- 間違って入力した場合は 削除 にタッチし、入力し直します。

4 完了 にタッチします。

入力したメニュー番号の映像が再生されます。

5 ⮌ にタッチします。

DVD画面に戻ります。

アドバイス

- ディスクによってはメニュー番号が記録されていないものがあります。

メニュー操作スイッチの表示位置を切りかえる

画面に表示されるメニュー操作スイッチの表示位置を変更することができます。

1 DVD操作画面で ◀⇕▶ にタッチします。

2 表示位置↑ にタッチします。

タッチスイッチが上に移動します。

表示位置↓ にタッチすると、タッチスイッチが下に移動します。

3 ⮌ にタッチします。

DVD画面に戻ります。

再生中止(PRE STOP)する

再生中に停止スイッチをタッチすると再生が停止し、その位置を記憶(プレイポジションメモリ)します。

1 DVD操作画面で ■ にタッチします。

プレイポジションメモリが記録されます。

アドバイス

- PRE STOP中に ▶II にタッチすると、再生停止した位置から再生されます。

再生停止する

1 DVD操作画面で ■ に2回タッチします。

再生が停止します。

アドバイス

● 停止中に ▶II にタッチすると、初めから再生されます。

早送り・早戻しする

再生している映像を早送り、または早戻しすることができます。

1 **DVD操作画面で ▶▶I または I◀◀ にタッチし続けます。**

倍速表示

- ▶▶I にタッチし続けると、2倍速で早送りします。早送り中に ▶▶I にタッチすると、タッチするたびに4倍速→6倍速→8倍速→2倍速→4倍速…と速度が変化します。

  → 2倍速 → 4倍速 → 6倍速 → 8倍速 ─┐（8倍速から2倍速へ戻る）

- I◀◀ にタッチし続けると、2倍速で早戻しします。早戻し中に I◀◀ にタッチすると、タッチするたびに4倍速→6倍速→8倍速→2倍速→4倍速…と速度が変化します。

  → 2倍速 → 4倍速 → 6倍速 → 8倍速 ─┐（8倍速から2倍速へ戻る）

2 **解除するには、▶II にタッチします。**

アドバイス

- 早送り・早戻し中は字幕（2倍速を除く）と音声は再生されません。
- 早送り・早戻し中にメニュー画面に戻ることがあります。

静止(一時停止)する

再生中の映像を一時停止します。

1 DVD操作画面で ▶II にタッチします。

2 解除するには、▶II にタッチします。

アドバイス

- 一時停止画像の状態から再生を開始すると、画像や音声が一時止まる場合がありますが故障ではありません。

コマ送り再生する

1 DVD操作画面で ▶II にタッチし、▶▶I にタッチします。

- ▶▶I にタッチするたびに、1コマずつコマ送り再生されます。

2 解除するには、▶II にタッチします。

アドバイス

- コマ送り再生中は、音声は再生されません。

スローモーション再生する

1 DVD操作画面で ▶II にタッチし、▶▶I にタッチし続けます。

倍速表示

- ▶▶I にタッチし続けると、1/2倍速でスローモーション再生します。スローモーション再生中に ▶▶I にタッチすると、タッチするたびに1/8倍速→1/2倍速…と速度が変化します。
  1/2倍速（×2）←→1/8倍速（×8）

2 解除するには、▶II にタッチします。

アドバイス

- スローモーション再生中は、音声は再生されません。
- 1/2倍速、1/8倍速はおおよその速さです。ディスクによっても異なります。
- バックスローモーション再生はできません。

見たい映像を探す

DVDソフトはいくつかの情報で区切られて記録されています。その1つ1つにタイトルが設定され、1つのタイトルは、いくつかのチャプター（映像や曲の区切り）で区切られています。
再生している映像の前のチャプター、または次のチャプターの頭出しをしたり、見たい映像をチャプター番号やタイトル番号から探すことができます。

チャプターの頭出しをする

1 **DVDの操作画面で ▶▶I または I◀◀ にタッチし、見たいチャプターを探します。**

タッチするたびに1チャプターずつ切りかわります。

- ▶▶I にタッチすると、次のチャプターを再生します。
- I◀◀ にタッチすると、現在のチャプターの頭から再生します。続けてタッチすると前のチャプターを再生します。

アドバイス

● ディスクによっては、チャプターが記録されていないものがあります。

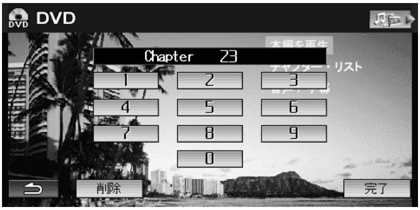
チャプター番号から探す

1 **DVDの操作画面で 1/2 にタッチします。**

2 **10Key にタッチします。**

チャプター番号の入力画面が表示されます。

3 **数字にタッチしてチャプター番号を入力します。**



- 間違って入力した場合は 削除 にタッチし、入力し直します。

4 **完了 にタッチします。**

入力したチャプター番号の映像が再生されます。

5 **「」にタッチします。**

DVD画面に戻ります。

アドバイス

● ディスクによってはチャプター番号が記録されていないものがあります。

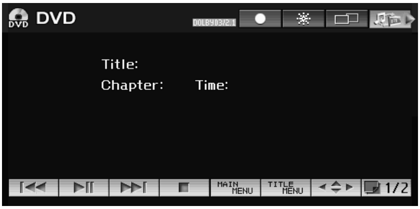
タイトル番号から探す

アドバイス

- タイトル番号から探す場合は、再生を停止させてから行ってください。

1 停止中にDVDの操作画面で 1/2 にタッチします。

2 10Key にタッチします。



タイトル番号の入力画面が表示されます。

3 数字にタッチしてタイトル番号を入力します。

- 間違って入力した場合は 削除 にタッチし、入力し直します。

4 完了 にタッチします。

入力したタイトル番号の映像が再生されます。

アドバイス

- ディスクによってはタイトル番号が記録されていないものがあります。

繰り返し見る　REPEAT(リピート)

気に入った場面を繰り返し再生させることができます。

1 DVDの操作画面で 1/2 にタッチします。

2 再生中に REPEAT にタッチします。

再生中のチャプターが繰り返し再生されます。

- REPEAT にタッチするたびにREPEATモードがかわります。
  Chapter-RPT→Title-RPT→OFF→Chapter-RPT…
  Chapter-RPT：再生中のチャプターが繰り返し再生されます。
  Title-RPT　：再生中のタイトルが繰り返し再生されます。

3 解除するには、REPEATモードが解除するまで REPEAT にタッチします。

アドバイス

● ディスクによってはリピートの種類が切りかえられない場合があります。

DVDビデオ機能の切りかえ

再生する映像の音声言語や字幕言語、表示アングルを切りかえることができます。

アングルの切りかえ

ディスクに複数のアングルが記録されている場合は、アングルを切りかえて表示することができます。

1 DVD操作画面で 1/2 にタッチします。

2 ANGLE にタッチします。

- タッチするたびに、収録されているアングルが順番に切りかわり、映像のアングルが切りかわります。右上にアングル番号が表示されます。
- しばらく（約6秒）操作しない場合は、DVD画面に戻ります。

言語の切りかえ

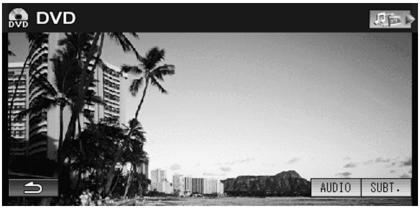
ディスクに複数の音声または字幕言語が記録されている場合は、音声または字幕を切りかえて表示することができます。

1 DVD操作画面で 1/2 にタッチします。

2 にタッチします。

言語設定画面が表示されます。

3 AUDIO または SUBT. にタッチします。



- AUDIO にタッチすると、音声言語切りかえることができます。タッチするたびに、収録されている音声言語が順番に切りかわります。右上に音声言語の番号が表示されます。
- SUBT. にタッチすると、字幕言語を切りかえることができます。タッチするたびに、収録されている字幕言語が順番に切りかわります。右上に字幕言語の番号が表示されます。

4 にタッチします。

アドバイス

- DVD初期設定の「音声」で、音声言語をあらかじめ設定しておくことができます（初期設定値は「ORIGINAL」）。設定方法については、290ページ「優先する音声を切りかえる」を参照してください。
- DVD初期設定の「字幕」で、表示される字幕言語をあらかじめ設定しておくことができます（初期設定値は「AUTO」）。設定方法については、291ページ「字幕の言語を切りかえる」を参照してください。
- ディスクによっては再生中の切りかえができない場合があります。そのときはメインメニューから言語を選択してください。

DVD初期設定

音声や字幕言語をあらかじめ設定することができます。また、視聴制限なども設定することができます。

アドバイス

- DVDを再生中にDVD初期設定を行う場合は、DVD初期設定画面で 停止 にタッチして再生を停止させてから設定をしてください。

優先する音声を切りかえる

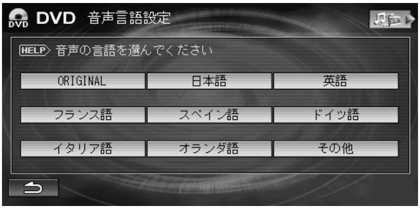
再生する映像の音声言語を設定します（初期設定値は「ORIGINAL」）。

1 DVDの操作画面で 1/2 にタッチします。

2 初期設定 にタッチします。

3 音声 にタッチします。

4 お好みの言語にタッチします。



- ORIGINAL に設定すると、DVDソフトに記録されている最優先の音声言語で再生されます。
- 選択したい言語が表示されていない場合は、手順5に進みます。言語が表示されている場合は、操作を終了します。

5 その他 にタッチします。

6 4桁の言語コードを入力します。

- 言語コードについては310ページ「言語コード一覧」を参照してください。

入力したコードの言語がDVD初期設定画面に表示されます。

アドバイス

- ディスクによっては、設定した言語よりディスクに記録されている最優先の言語が優先される場合があります。

字幕の言語を切りかえる

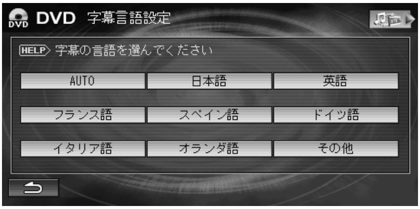
再生する映像の字幕言語を設定します（初期設定値は「AUTO」）。

1 DVDの操作画面で 1/2 にタッチします。

2 初期設定 にタッチします。

3 字幕 にタッチします。

4 お好みの言語にタッチします。



- AUTO に設定すると、DVDソフトに記録されている最優先の字幕言語で再生されます。
- 選択したい言語が表示されていない場合は、手順5に進みます。言語が表示されている場合は、操作を終了します。

5 その他 にタッチします。

6 4桁の言語コードを入力します。

- 言語コードについては310ページ「言語コード一覧」を参照してください。

入力したコードの言語がDVD初期設定画面に表示されます。

ソフトメニューの言語を切りかえる

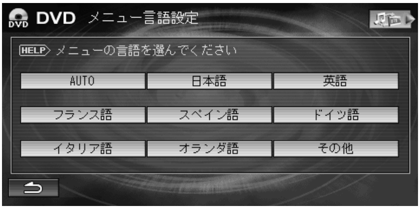
タイトルメニューやメインメニューで表示される言語を設定します（初期設定値は「AUTO」）。

1 DVDの操作画面で 1/2 にタッチします。

2 初期設定 にタッチします。

3 メニュー言語 にタッチします。

4 お好みの言語にタッチします。

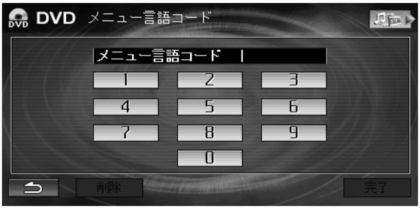


- AUTO に設定すると、DVDソフトに記録されている最優先の言語で再生されます。
- 選択したい言語が表示されていない場合は、手順5に進みます。言語が表示されている場合は、操作を終了します

5 その他 にタッチします。

次ページに続く→

6 4桁の言語コードを入力します。



- 言語コードについては310ページ「言語コード一覧」を参照してください。

入力したコードの言語がDVD初期設定画面に表示されます。

視聴制限を設定する

DVDソフトの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない映像の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は、8段階のレベルから設定します（初期設定値は「OFF」）。

1 DVDの操作画面で 1/2 にタッチします。

2 初期設定 にタッチします。

3 視聴制限 にタッチします。

暗証番号設定画面が表示されます。

4 4桁の暗証番号を入力し、完了 にタッチします。

- 初回は、暗証番号が設定されていません。お好きな4桁の数字を入力してください。2回目以降は同じ暗証番号を入力してください。
- 暗証番号は必ず入力してください。入力しないと視聴制限の設定を行うことができません。
- 入力した暗証番号は、＊で表示されます。

5 お好みの視聴制限レベル 1 〜 8 にタッチします。

入力した視聴制限レベルがDVD初期設定画面に表示されます。

アドバイス

- 視聴制限レベルが記録されていないDVDソフトではレベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 2回目以降、設定を変更するときに、最初に入力した暗証番号が必要になります。暗証番号を忘れないように注意してください。もし、暗証番号を忘れた場合は、未入力の状態で 削除 に10回タッチすると、リセット（暗証番号未設定の状態）することができます。
- 暗証番号を変更することもできます。暗証番号を変更するには、暗証番号を入力して視聴制限レベル設定画面を表示させます。暗証番号変更 にタッチして新しい暗証番号を入力し、完了 にタッチします。
- 視聴制限レベルは、以下の3種類に分類されます。
  - レベル1
    子供向けのDVDソフトのみを再生します（一般向けと成人向けのＤＶＤソフトの再生を禁止します）。
  - レベル2〜7
    子供向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します（成人向けのＤＶＤソフトの再生を禁止します）。
  - レベル8
    全てのDVDソフトを再生します。
  - OFF
    視聴制限をOFFにします。全てのDVDソフトを再生します（初期設定）。

映像出力を切りかえる

画面のサイズを設定します（初期設定値は「16:9」）。

1 DVDの操作画面で 1/2 にタッチします。

2 初期設定 にタッチします。

3 映像出力切換 にタッチします。

- タッチするたびに以下のように画面サイズが切りかわります。
  16:9 → 4:3（レターボックス） → 4:3（パンスキャン） →16:9...
  16:9
  通常のワイドサイズで表示されます。
  4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。
  4:3（レターボックス）
  上下両端が黒く表示された映像になります。
  4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズちょうど（4:3）で表示されます。
  4:3（パンスキャン）
  左右両端がカットされた映像になります。
  4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズちょうど（4:3）で表示されます。

注　意

● お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させせることを目的として画面の圧縮／引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

アドバイス

● DVDソフトによっては、画面サイズが変更されない場合があります、通常は１６：９（初期設定値）に設定してください。

初期値に戻す

DVD初期設定の内容を工場出荷時の状態に戻します。

1 DVDの操作画面で 1/2 にタッチします。

2 初期設定 にタッチします。

3 初期値 にタッチします。

4 メッセージが表示されますので、はい にタッチします。

設定内容が初期値に戻ります。

DVD画面の調整

画面の調整

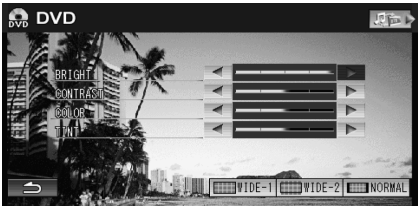
画面のコントラストや明るさをお好みに合わせて調整することができます。

1 DVD操作画面で 1/2 にタッチします。

2 画面 にタッチします。

画質の調整画面が表示されます。

3 「BRIGHT」、「CONTRAST」、「COLOR」、「TINT」の ◀ または ▶ にタッチして画質を調整します。



BRIGHT
画面の明度を調整します。
暗くするときは ◀、明るくするときは ▶ にタッチします。

CONTRAST
全体のめりはりの強弱を調整します。
弱くするときは ◀、強くするときは ▶ にタッチします。

COLOR
色の濃淡を調整します。
淡くするときは ◀、濃くするときは ▶ にタッチします。

TINT
緑色と赤色の強さを調整します。
赤色を強くするときは ◀、緑色を強くするときは ▶ にタッチします。

- それぞれ15段階で設定できます。

4 ⮌ にタッチします。
DVD画面に戻ります。

アドバイス

- TV、VTRの画面には反映されません。
- 画面調整は、136ページ「イルミ連動」設定を「する」に設定している場合は、車のスモールランプを点灯したときと消灯したときで、別々に調整することができます。

画面モードを切りかえる

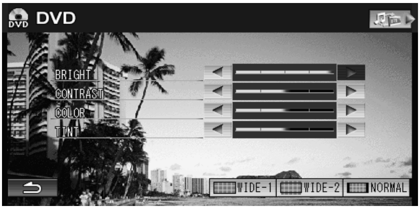
DVD画面の表示をワイドや標準に切りかえることができます。

1 DVD操作画面で 1/2 にタッチします。

2 画面 にタッチします。

画質の調整画面が表示されます。

3 WIDE-1、WIDE-2 または NORMAL にタッチして表示画面を選択します。



WIDE-1
標準映像を水平方向に均等に広げ、画面いっぱいに表示します。

WIDE-2
標準映像を上下左右方向に均等に拡大して表示します。画面の上下が少しカットされます。

NORMAL
通常のテレビ放送の比率(4:3)で表示します。映像は中央に映ります。

- 初期設定値は、「WIDE-1」に設定されています。

4 ⮌ にタッチします。
DVD画面に戻ります。

アドバイス

- TV、VTRの画面には反映されません。

視聴制限したDVDを再生する

視聴制限を設定している場合は、DVDビデオを再生中に設定した視聴制限レベルの映像があると暗証番号の入力画面が表示されます。正しい暗証番号を入力すると視聴制限した映像が再生されます。

アドバイス

- 視聴制限をするためには、あらかじめ設定を行ってください。（292ページ「視聴制限を設定する」参照）。

1 DVD再生中に暗証入力画面が表示されたら、視聴制限設定で入力した4桁の暗証番号を入力し、完了 にタッチします。

暗証番号が正しいと視聴制限した映像が再生されます。

VTR(別売)を見る

外部端子に別売の外部機器(VTR、地上デジタルテレビチューナーなど)を接続すると、VTRをご覧になれます。

アドバイス

● VTRをご覧になるには、VTRコード(別売)が必要です。

1 (⏻/MENU)スイッチを押したあと、VTR にタッチします。

VTR画面になります。

- あらかじめ外部機器(VTRなど)を接続しておいてください。

注　意

● 安全上の配慮から、停車しているときにだけVTRをご覧になれます。走行中は映像は映らずに音声だけが聴こえます。

VTR画面の調整

画面の調整

画面のコントラストや明るさをお好みに合わせて調整することができます。

1 VTR画面にタッチします。

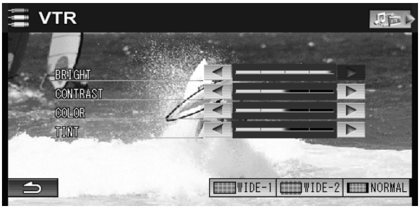
VTRの操作画面が表示されます。

2 画面 にタッチします。

画質の調整画面が表示されます。

- しばらく(約6秒)操作しない場合は、元の画面に戻ります。

3 「BRIGHT」、「CONTRAST」、「COLOR」、「TINT」の ◀ または ▶ にタッチして画質を調整します。



BRIGHT
　画面の明度を調整します。
　暗くするときは ◀ 、明るくするときは ▶ にタッチします。

CONTRAST
　全体のめりはりの強弱を調整します。
　弱くするときは ◀ 、強くするときは ▶ にタッチします。

COLOR
　色の濃淡を調整します。
　淡くするときは ◀ 、濃くするときは ▶ にタッチします。

TINT
　緑色と赤色の強さを調整します。
　赤色を強くするときは ◀ 、緑色を強くするときは ▶ にタッチします。

- それぞれ15段階で設定できます。

4 にタッチします。

VTR画面に戻ります。

アドバイス

- TV、DVDの画面には反映されません。
- 画面調整は、136ページ「イルミ連動」設定を「する」に設定している場合は、車のスモールランプを点灯したときと消灯したときで、別々に調整することができます。

画面モードを切りかえる

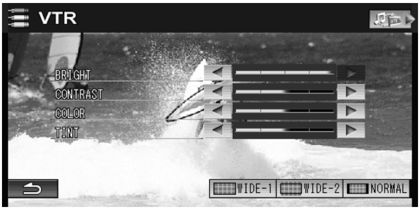
VTR画面の表示をワイドや標準に切りかえることができます。

1 VTR画面にタッチします。

2 画面 にタッチします。

画質の調整画面が表示されます。

3 WIDE-1 、WIDE-2 または NORMAL にタッチして表示画面を選択します。



WIDE-1
　標準映像を水平方向に均等に広げ、画面いっぱいに表示します。

WIDE-2
　標準映像を上下左右方向に均等に拡大して表示します。画面の上下が少しカットされます。

NORMAL
　通常のテレビ放送の比率(4:3)で表示します。映像は中央に映ります。

- 初期設定値は、「WIDE-1」に設定されています。

4 ⮌ にタッチします。
VTR画面に戻ります。

アドバイス

● TV、DVDの画面には反映されません。

設定

オーディオ・テレビ編

音質調整画面の操作 **300**
音質調整 **302**
メディア・エキスパンダーの設定 302
バランス／フェダーの設定　BAL./FAD. 303
タイムコレクションの設定 303
カスタマイズドサウンドデータベースの設定 305
イコライザー特性(メーカー設定)を選ぶ　Maker's EQ 305
イコライザーカーブの設定　Parametric EQ 306
システム設定 **307**
ハードディスク情報 307
録音設定 307
個人情報消去 308

音質調整画面の操作

音質調整画面、またはシステム初期設定画面から行う操作は、以下の共通した手順で行います。各項目の詳しい操作方法については、該当ページを参照してください。

アドバイス

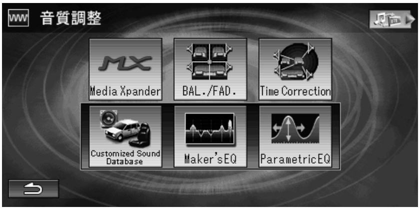
- いったん初期設定値を変更すると、電源を切っても設定は保存され、次に初期設定値を変更するまで有効です。
- 途中で設定を取り消すときは、⏻/MENU スイッチを押します。

音質調整画面

1 ⏻/MENU スイッチを押したあと、音質調整 にタッチします。

音質調整画面が表示されます。

2 各項目にタッチして、設定を行います。



- 設定できる項目については、301ページ「設定項目一覧」を参照してください。

3 ⏻/MENU スイッチを押してメインメニュー画面に戻します。

- ↩ にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

アドバイス

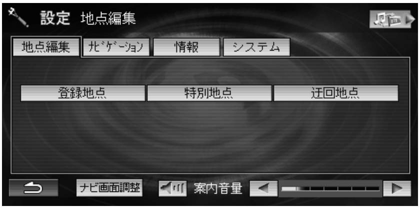
- Customized Sound Database、Maker's EQ、Parametric EQの3つの項目については、いずれか1つしか選択できません。

システム設定画面

1 ⏻/MENU スイッチを押したあと、設定を変える にタッチします。

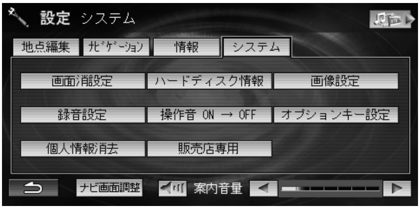
設定メニュー画面が表示されます。

2 システム にタッチします。



システムメニュー画面が表示されます。

3 各項目にタッチして、設定を行います。



- 設定できる項目については、301ページ「設定項目一覧」を参照してください。

4 ⏻/MENU スイッチを押してメインメニュー画面に戻します。

- ↩ にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

設定項目一覧

メニュー	タブ	機能	詳細	初期設定値	参照先
音質調整		Media Xpander		ALL SOURCE OFF	302ページ
		BAL./FAD.		FADER 0 BALANCE 0	303ページ
		Time Correction		0.0ms	303ページ
		Customized Sound Database	車種	OFF	305ページ
		Maker's EQ		FLAT	305ページ
		Parametric EQ		FLAT	306ページ
設定を変える	地点編集	ナビゲーション編を参照してください。			83ページ 85ページ 91ページ
	ナビゲーション	ナビゲーション編を参照してください。			134ページ
	情報	ナビゲーション編を参照してください。			145ページ
	システム	画面消設定	ナビゲーション編を参照してください。		153ページ
		ハードディスク情報			307ページ
		画像設定	ナビゲーション編を参照してください。		153ページ
		録音設定	自動録音	する	307ページ
			録音BitRate	128k	307ページ
			録音時間	30分	307ページ
		操作音	ナビゲーション編を参照してください。		155ページ
		オプションキー設定(フロント(コーナー)カメラ設定)	ナビゲーション編を参照してください。		155ページ (168ページ)
		個人情報消去			308ページ

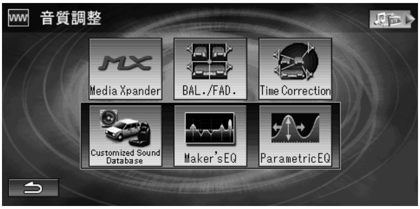
音質調整

音質調整では、Media Xpander設定、BAL./FAD.設定、Time Correction設定、Customized Sound Database設定、Maker's EQ設定、Parametric EQ設定が行えます。車室内では、再生するメディアやお聴きになる音楽の種類、車のボディタイプなどさまざまな要因で音本来の性質を大きく変えられてしまいます。本機は、それらを調整することで最適な音質を設定することができます。

メディア・エキスパンダーの設定

Media Xpander (メディア・エキスパンダー)は、FM／CD／MP3 などメディアごとにボーカルや各楽器の音を際立たせ、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます(初期設定値は、「ALL SOURCE OFF」)。ここではCDの設定画面を例にして説明します。

1 音質調整画面で Media Xpander にタッチします。



2 ALL SOURCE ON または ALL SOURCE OFF にタッチします。

「ON」に設定する場合は、手順3へ進みます。「OFF」に設定する場合は、操作を終了します。

3 レベルを変更する場合は、OFF ○○-1 ○○-2 ○○-3 のいずれかにタッチします。

- 現在再生しているモード(メディア)のレベルを設定できます。
- 設定できるレベルと初期設定値は、メディアごとに異なります。

メディア	LEVEL			
	OFF/ON	1	2	3
CD/CD チェンジャー	OFF	CD-1	CD-2	**CD-3**
MP3/WMA/ Music Rack	OFF	CMPM-1	CMPM-2	**CMPM-3**
FM	OFF	FM-1	FM-2	**FM-3**
AM	**OFF**	–	–	–
MD	OFF	MD-1	MD-2	**MD-3**
DVD	OFF	MOVIE-1	**MOVIE-2**	DVD MUSIC
TV	**OFF**	–	–	–
VTR	OFF	MP3	**MOVIE**	MUSIC

※太字で表示されている部分が初期設定値になります。

FM
　こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生します。

CD／DVD
　豊富な情報量を活かしたメリハリのある音を再生します。

MP3／MD
　圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生します。

アドバイス

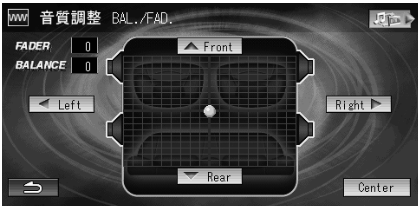
- 手順2の操作で OFF にタッチすると、すべてのメディアで「OFF」となります。
- 手順3の操作で OFF にタッチすると、再生しているモードのみを解除します。
- MXレベルは1→2→3の順で効果が大きくなります。
- AMラジオやテレビは、Media Xpanderを「ON」にしても効果は得られません。

バランス／フェダーの設定 BAL./FAD.

前後・左右のスピーカーの音量バランスを別々に調整することにより、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。（初期設定値は、FADER 0、BALANCE 0」）。

1 **音質調整画面で BAL./FAD. にタッチします。**

2 **バランスポイントエリア内のお好みのポイントにタッチします。**



- 微調整するときは、▲ Front ▼ Rear Right ▶ ◀ Left にタッチしてください。
- BALANCE、FADERそれぞれを19段階から設定できます。
- 初期設定値「FADER 0、BALANCE 0」に戻すには、Center にタッチします。

タイムコレクションの設定

音が各スピーカーから耳に届くまでの時間を補正し、距離の違いによって生じる到達時間差を調整することができます。

アドバイス

● タイムコレクション設定を行うまえに、304ページ「タイムコレクション（時間補正）について」を参照してください。

音の到達時間の補正

お好みのリスニングポジションの到達時間差を設定します（初期設定値「0.0ms」）。

1 **音質調整画面で Time Correction にタッチします。**

2 **リスニングポジション FRONT DRIVER PASSENGER CENTER REAR のいずれかにタッチします。**

- FRONT にタッチすると、運転席と助手席の間にリスニングポジションを設定し、自動で時間補正を調整します。
- DRIVER にタッチすると、運転席にリスニングポジションを設定し、自動で時間補正を調整します。
- PASSENGER にタッチすると、助手席にリスニングポジションを設定し、自動で時間補正を調整します。
- CENTER にタッチすると、前席と後席の間にリスニングポジションを設定し、自動で時間補正を調整します。
- REAR にタッチすると、後席の左右の間にリスニングポジションを設定し、自動で時間補正を調整します。
- 各リスニングポジションの初期設定値は以下のとおりです。

ポジション	スピーカー			
	FR	FL	RR	RL
FRONT	2.4ms	2.4ms	0.0ms	0.0ms
DRIVER	6.1ms	2.8ms	1.7ms	0.0ms
PASSENGER	2.8ms	6.1ms	0.0ms	1.7ms
CENTER	0.0ms	0.0ms	0.0ms	0.0ms
REAR	0.0ms	0.0ms	2.4ms	2.4ms

- リスニングポジションを選択した後で、各スピーカーの ◀ または ▶ にタッチすると、時間差を微調整できます。
- 初期設定値「0.0ms」に戻すには、Reset にタッチします。

タイムコレクション(時間補正)について

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。リスニングポジションでの時間差を取り除くときにこの機能を使います。ここでは、時間補正値の算出方法について説明します。

1 **リスニングポジション(運転席など)に座り、頭の位置と各スピーカーの距離(m)を測定します。**

2 **一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出します。**

L=(一番遠いスピーカーの距離)−(それぞれのスピーカーの距離)

3 **スピーカーごとに算出した距離を音速(343m/s気温20℃)で割り、1000をかけます。**

その値が各スピーカーの時間補正値となります。

●具体例

下記イラストのフロント右側スピーカーの時間補正値を算出する。

(条件):

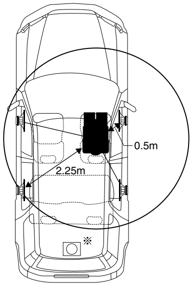
一番遠いスピーカー〜リスニングポジション:2.25m

フロント右側スピーカー〜リスニングポジション:0.5m

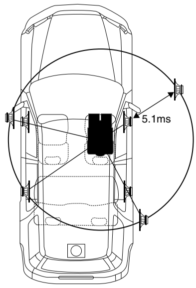
(算出):L=2.25m−0.5m=1.75m

補正時間=1.75÷343×1000=5.1(ms)

つまり、フロント右側スピーカーの時間補正値に5.1(ms)与えることで、見かけの距離を持たせて、一番遠いスピーカーと距離を一致させる。



リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になる。右前スピーカーと左後スピーカーでは1.75mの差がある。



時間補正により到達時間差が解消される。

右前スピーカーに5.1msの時間補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。

カスタマイズドサウンドデータベースの設定

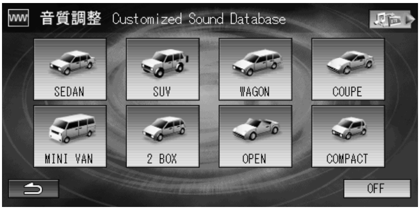
本機にはCustomized Sound Database（カスタマイズドサウンドデータベース）が搭載されています。使用車種を選び自分の車に最適な音響を再現することができます。さらに使用フロントスピーカーの口径やツィーターの有無、シート材質を設定することで車室内の細かな音響の調整ができ、お客様の使用環境に合わせた最適な音響空間を再現することができます（初期設定値は、「OFF」）。

アドバイス

- スピーカーのサイズ、シートタイプは必ず選択してください。
- フロントスピーカーのサイズ、ツィーターの有無、シートタイプについてご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

1 音質調整画面で Customized Sound Database にタッチします。

2 一覧からお客様の車種にタッチします。



3 お客様のフロントスピーカーのサイズにタッチします。

4 Tweeter または Tweeter Less にタッチします。

5 Cloth Leather Leather+Cloth のいずれかにタッチします。

- お車のシートに皮製の生地が使われている場合は Leather に、クロス地の場合は Cloth に、皮とクロスの両方を使用している場合は Leather+Cloth にタッチしてください。

6 設定内容を確認し、完了 にタッチします。

イコライザー特性（メーカー設定）を選ぶ　Maker's EQ

あらかじめ設定されているイコライザー特性を選択し、お好みの音質に設定できます（初期設定値は、「FLAT」）。

1 音質調整画面で Maker's EQ にタッチします。

設定したいジャンルにタッチします。

イコライザーカーブの設定 Parametric EQ

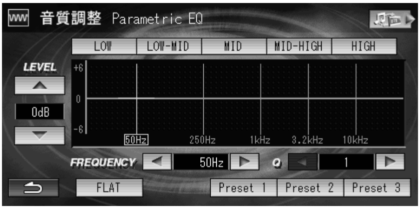
お好みのイコライザーカーブを設定します（初期設定値は、「FLAT」）。

1 **音質調整画面で Parametric EQ にタッチします。**

Parametric EQ設定画面が表示されます。

- カスタマイズドサウンドデータベース、Maker' s EQを設定しているときは、設定しているイコライザーカーブが表示されます。

2 **設定するバンド LOW LOW-MID MID MID-HIGH HIGH のいずれかにタッチします。**



3 **「FREQUENCY」の ◀ または ▶ にタッチして周波数を調整します。**

4 **「Q」の ◀ または ▶ にタッチしてバンド幅を調整します。**

5 **「LEVEL」の ▲ または ▼ にタッチしてレベルを調整します。**

6 **さらに別のバンドを設定するには、手順2〜5を繰り返し、すべてのバンドを設定します。**

7 **記憶させたい番号 Preset 1 Preset 2 Preset 3 のいずれかにタッチし続けます。**

- Preset-1〜3に3種類の設定を記憶させることができます。

アドバイス

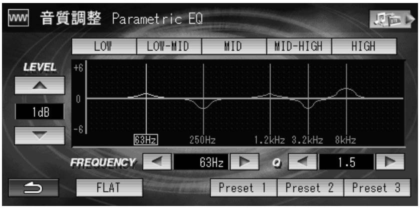
- 隣り合うバンドの周波数は4ステップ以内に調整することはできません。
- FLAT にタッチすると、設定した内容をフラットの状態にすることができます。

イコライザーカーブを呼び出す

記憶したイコライザーカーブを呼び出します。

1 **音質調整画面で Parametric EQ にタッチします。**

2 **Preset 1 Preset 2 Preset 3 のいずれかにタッチします。**



システム設定

Music Rackへの録音に関する設定を行います。

アドバイス

● ナビ設定については、153ページ「システム設定」を参照してください。
● 走行中は安全のため操作できません。安全な場所に停車してから操作してください。

ハードディスク情報

ハードディスクの使用容量と空き容量を確認できます。

1 **システム設定画面で ハードディスク情報 にタッチします。**
ハードディスク情報が表示されます。

録音設定

CDを挿入したときの自動録音の設定や録音BitRateなどを設定します。

自動録音

CDを挿入したときに、自動で録音するかどうかを設定します（初期設定値は「する」）。

1 **システム設定画面で 録音設定 にタッチします。**

2 **「自動録音」の する または しない にタッチします。**

録音BitRate

録音時の音質を設定します（初期設定値は「128k」）。

1 **システム設定画面で 録音設定 にタッチします。**

2 **「録音BitRate(bps)」の 96k 128k 192k のいずれかにタッチします。**

アドバイス

● 録音BitRateの数字が大きくなるほど音質は良くなりますが、データの容量も大きくなります。
● 多くの曲を録音したいときは「96k」を選択し、音質を重視したいときは「192k」を選択してください。

録音時間

アナログ録音するときの最大録音時間を設定します（初期設定値は「30分」）。

1 **システム設定画面で 録音設定 にタッチします。**

2 **「録音時間(分)」の 10分 30分 60分 90分 のいずれかにタッチします。**

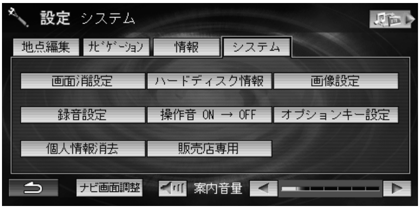
個人情報消去

ナビゲーションシステムを譲渡される場合など、お客様が登録した登録地点やMusic Rackに録音した曲などの情報を消去し、工場出荷時の状態に戻すことができます。

注　意

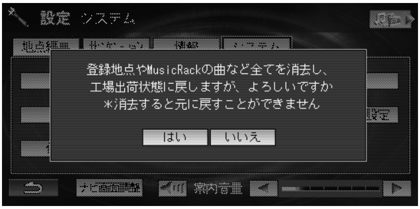
- 本機を譲渡される場合は、必ず個人情報消去を行なってください。
- データの消去にはしばらく時間がかかる場合があります。消去中は電源をOFFにしないでください。

1 システム設定画面で 個人情報消去 にタッチします。



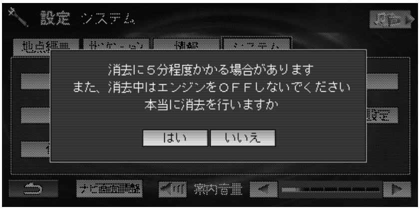
消去を確認するメッセージが表示されます。

2 はい にタッチします。



再度、消去を確認するメッセージが表示されます。

3 はい にタッチします。



- 消去中は、絶対に電源をOFFにしないでください。

その他

その他

言語コード一覧 310
用語説明 312
Q&A 313
故障かな？と思ったら 322
保証について／規格 327
Gracenote CDDBのご利用について 329
VICS情報有料放送サービス契約約款 330
地図データについて 335
マイクロソフトからの使用許諾契約書 336
目的別索引 337
　ナビゲーション関係 337
　オーディオ・テレビ関係 340
索引 344
　五十音順 344
　アルファベット／数字 346

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、以下のコード番号から数字を入力して選択することができます。

記号	コード	言語
AA	6565	アファル語
AB	6566	アブハジア語
AF	6570	アフリカーンス語
AM	6577	アムハラ語
AR	6582	アラビア語
AS	6583	アッサム語
AY	6589	アイマラ語
AZ	6590	アゼルバイジャン語
BA	6665	バシキール語
BE	6669	ベラルーシ語
BG	6671	ブルガリア語
BH	6672	ビハーリー語
BI	6673	ビスラマ語
BN	6678	ベンガル語、バングラ語
BO	6679	チベット語
BR	6682	ブルトン語
CA	6765	カタロニア語
CO	6779	コルシカ語
CS	6783	チェコ語
CY	6789	ウェールズ語
DA	6865	デンマーク語
DE	6869	ドイツ語
DZ	6890	ブータン語
EL	6976	ギリシャ語
EN	6978	英語
EO	6979	エスペラント語
ES	6983	スペイン語
ET	6984	エストニア語
EU	6985	バスク語
FA	7065	ペルシャ語
FI	7073	フィンランド語
FJ	7074	フィジー語
FO	7079	フェロー語
FR	7082	フランス語
FY	7089	フリジア語
GA	7165	アイルランド語
GD	7168	スコットランドゲール語
GL	7176	ガルシア語
GN	7178	グアラニ語
GU	7185	グジャラート語

記号	コード	言語
HA	7265	ハウサ語
HI	7273	ヒンディー語
HR	7282	クロアチア語
HU	7285	ハンガリー語
HY	7289	アルメニア語
IA	7365	国際語
IE	7369	国際語
IK	7375	Inupiak語
IN	7378	インドネシア語
IS	7383	アイスランド語
IT	7384	イタリア語
IW	7387	ヘブライ語
JA	7465	日本語
JI	7473	イディッシュ語
JW	7487	ジャワ語
KA	7565	グルジア語
KK	7575	カザフ語
KL	7576	グリーンランド語
KM	7577	カンボジア語
KN	7578	カンナダ語
KO	7579	韓国語
KS	7583	カシミール語
KU	7585	クルド語
KY	7589	キルギス語
LA	7665	ラテン語
LN	7678	リンガラ語
LO	7679	ラオス語
LT	7684	リトアニア語
LV	7686	ラトビア語、レット語
MG	7771	マダガスカル語
MI	7773	マオリ語
MK	7775	マケドニア語
ML	7776	マラヤーラム語
MN	7778	モンゴル語
MO	7779	モルダビア語
MR	7782	マラータ語
MS	7783	マレー語
MT	7784	マルタ語
MY	7789	ミャンマー語
NA	7865	ナウル語

記号	コード	言語
NE	7869	ネパール語
NL	7876	オランダ語
NO	7879	ノルウェー語
OC	7967	プロバンス語
OM	7977	(アファン)オロモ語
OR	7982	オリヤー語
PA	8065	パンジャブ語
PL	8076	ポーランド語
PS	8083	パシュトー語
PT	8084	ポルトガル語
QU	8185	ケチュア語
RM	8277	ラエティ=ロマン語
RN	8278	キルンディ語
RO	8279	ルーマニア語
RU	8285	ロシア語
RW	8287	キニヤルワンダ語
SA	8365	サンスクリット語
SD	8368	シンド語
SG	8371	サンゴ語
SH	8372	セルビアクロアチア語
SI	8373	シンハラ語
SK	8375	スロバキア語
SL	8376	スロベニア語
SM	8377	サモア語
SN	8378	ショナ語
SO	8379	ソマリ語
SQ	8381	アルバニア語
SR	8382	セルビア語
SS	8383	シスワティ語
ST	8384	セストゥ語
SU	8385	スンダ語
SV	8386	スウェーデン語
SW	8387	スワヒリ語
TA	8465	タミール語
TE	8469	テルグ語
TG	8471	タジク語
TH	8472	タイ語
TI	8473	ティグリニャ語
TK	8475	トゥルクメン語
TL	8476	タガログ語

記号	コード	言語
TN	8478	セツワナ語
TO	8479	トンガ語
TR	8482	トルコ語
TS	8483	ツォンガ語
TT	8484	タタール語
TW	8487	トウィ語
UK	8575	ウクライナ語
UR	8582	ウルドゥー語
UZ	8590	ウズベク語
VI	8673	ベトナム語
VO	8679	ボラピュク語
WO	8779	ウォロフ語
XH	8872	コーサ語
YO	8979	ヨルバ語
ZH	9072	中国語
ZU	9085	ズール語

用語説明

MP3
MP3は「MPEG Audio Layer」の略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聴きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1／10サイズにすることができます。

WMA
WMAは「Windows Media™ Audio」の略で、音声データを圧縮する方式です。WMAは音声データを約半分に圧縮することができます。

ビットレート
エンコードするときに指定する「音」の圧縮率です。ビットレートが高いほど高音質になりますが、ファイルサイズも大きくなります。

サンプリングレート
データを1秒間に何回サンプリング（記録）するかを示す値のことです。たとえば、音楽CDは44.1KHzで、1秒間にデータを4万4100回サンプリング（記録）していることになります。高ければ高いほど音質は向上しますが、それだけデータ量も増えます。

エンコード
音楽CDやWAVEファイルなどの音声ファイルを、特定の音声圧縮フォーマットに変換することです。

ルートフォルダ
ファイルシステムの最上階層のフォルダ。全てのフォルダ／ファイルはルートフォルダに含まれています。

“メモリースティック”
小型、軽量のICメディアです。パソコンやデジタルカメラなどの“メモリースティック”対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができます。

SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）
デジタル録音は、音質の劣化がとても少ないという特徴があります。著作権保護の観点から、デジタル信号でコピーした音源をさらにデジタル信号で録音（コピー）することはデジタル録音機器によって規制されています。これをSCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）といいます。

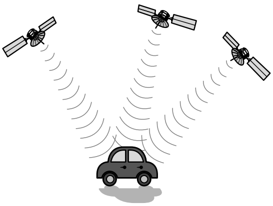
Gracenote CDDB
CDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteロゴおよびロゴタイプ、Gracenote CDDBロゴおよびロゴタイプ、ならびに"Powered by Gracenote CDDB"ロゴは、Gracenoteの商標です。音楽認識サービスとMRSはGracenoteサービスマークです。
音楽認識技術および関連データは、Gracenoteおよびthe Gracenote CDDB Music Serviceにより提供されています。Gracenoteは音楽認識技術および関連コンテンツ配信分野での業界標準です。
より詳しい情報は、www.gracenote.comを参照してください。

視聴規制（パレンタルロック）
国ごとに規制した視聴年齢制限をするためのDVDの機能です。DVDにより制限のしかたは異なり、まったく再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、差し替えたりして再生します。

ビーコン情報については、別売のビーコンユニットを接続した場合の説明になります。
Q 自車位置ってなに?
A 現在、自分の車がいる場所のことです。どの画面からでも自車位置(自車位置画面)を表示できます。

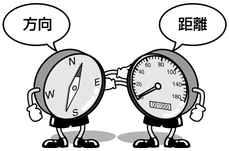
Q どうして自車位置(現在地)がわかるの?
A 自車位置は「GPS信号とジャイロ/車速センサー」を組み合せたシステムで割り出します。

● **GPS(グローバル・ポジショニング・システム)とは**
高度21000kmの宇宙空間に浮かぶ3個以上のGPS衛星の電波を受信して、自車位置を割り出すシステムです。4個以上の衛星を受信すると、3次元側位(高度/経度/緯度)となり、3個の場合は2次元(経度/緯度)となっております。この情報は、米国国防総省によって管理されており、意図的に精度をかえる場合があります。



● **高い精度で使い続けるために、次のような利用をお勧めします。**
①方位マークが青色になってから走行する
②良好な信号が受信できるようにアンテナをきれいにする
③アンテナ、車速信号の接続に異常が無いか定期的に確認する
④やさしくていねいに扱う

● **ジャイロ/車速センサーとは**
ジャイロセンサーとは、航空機や船舶などの移動体の方向変化を計測するためのもので、カーナビゲーション用に使用する場合は車速センサーと共に用います。ジャイロセンサーで方向を、車速センサーで走行距離を検出して自車位置を算出します。

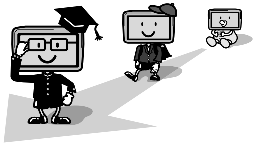


その他

次ページに続く→

● **使い始めの自車位置精度について**

ジャイロ／車速センサーは、その車の走行情報を蓄積しなければ本来の性能を発揮できません。今までの情報が無いシステムの取り付け直後、今までの情報が生かせないタイヤ交換直後などは、自車位置が正しく表示されないことがあります。そのまま走行を続けると、センサーの情報から算出した位置とGPSの位置の誤差量を学習して次第に精度が上がっていきます。

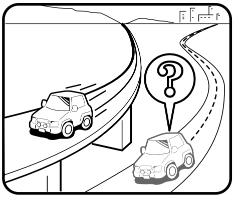


このシステムの場合、GPS信号を受信できない場合でも測位が続けられますし、ジャイロセンサーだけの走行で表われる「ずれの積み上げ」も発生しないメリットがあります。

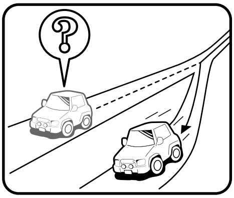
Q どうして自車位置がずれるの?

A 記憶されている車速信号情報は、車やタイヤの種類で違います。別の車に付けかえる／タイヤを履きかえる／タイヤローテーションを行うと、車速信号情報と実際の位置情報にずれが生じてしまうのです。このような場合は、自車位置修正を行ってください（144ページ「自車位置を修正する」参照）。

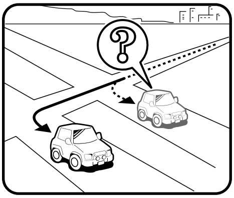
- GPS衛星はアメリカの国防総省により管理されており、衛星自体が故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは、自車位置マークがずれることがあります。多少の「ずれ」は、本機性能の限界も考えられます。
  また、GPSが受信できない場合や、次のようなときにも自車位置がずれることがあります。



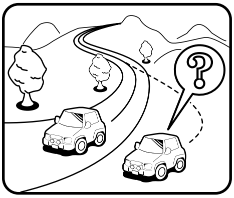
- 高速道路を走行している場合、その側道に自車位置マークがのるときがあります。またその逆もあります。



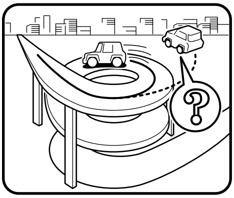
- 角度の小さなY字路や平行路を走行しているとき他方の道路に自車位置マークがのる場合があります。



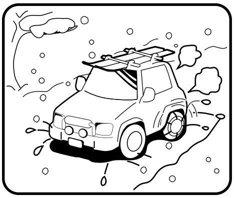
- 碁盤目状の道路を走行している場合、隣りの道路に自車位置マークがのるときがあります。



- 勾配の急な山岳等を走行している場合、自車位置マークがずれるときがあります。



- 螺旋状の道路やヘアピンの道路などを走行している場合、自車位置マークがずれるときがあります。



- 雪道や鋪装していない道路などの滑り易い道路を走行しているとき、自車位置マークがずれることがあります。また、タイヤチェーン等を装着して走行している場合でも、自車位置マークがずれることがあります。
- 直線または、緩やかなカーブを長い距離走行した直後。
- 立体駐車場などで切り返しや旋回をした場合。
- 混雑や渋滞で低速発進や停止を繰り返した場合。

これらは故障ではないので、そのまましばらく走行を続ければ自動的に修正します。
ただし、高速道路と一般道路が重なっているときなどでは、自動的に修正できない場合があります。このようなときは、自車位置を修正してください（144ページ「自車位置を修正する」参照）。

その他

次ページに続く→

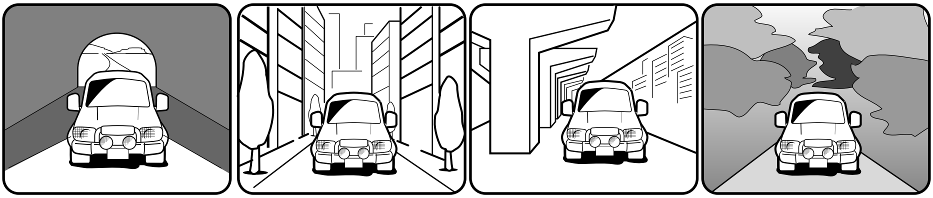
Q 止まっているのに、どうして自車位置が勝手に動き回るの？
A 車速の接続が正しいか確認してください。

Q 正しい案内がされなくなった
A • タイヤを交換していませんか？
「自車位置を修正する」を行ってください（144ページ参照）。
• スピードセンサーコード（車速信号線）は、外れていませんか？
お買い上げの販売店へご相談ください。
• GPSアンテナを確認する。
お買い上げの販売店へご相談ください。

Q 音声案内が遅れるのは？
A 自車位置と現在地に誤差が生じるためです。
本機は距離係数などを学習し、自動補正を行いますので走行するごとに自車位置精度が向上していきます。
どうしても案内が遅れる場合には自車位置を手動補正する方法があります（144ページ「自車位置を修正する」参照）。

Q VICSレベル3情報の一部がいつのまにか表示されなくなった
A 道路交通情報をナビゲーションなどに的確に表示できるよう、VICSリンク（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。このため、道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況に変化をきたす場合は、VICSリンクの追加や変更を行っています。この結果、新しいVICSリンクにより情報の提供が行われると、ごく一部の地域ですが、変更前のVICSリンクでは情報が提供されなくなります。
ただし情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSリンクにも変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。そのため、地図ソフトの発売時期から3年間程度経過すると、地図画面上で渋滞情報（赤·オレンジ·水色の矢印等）などを表示できない場所が、徐々に出てきます。この現象は地図表示型（レベル3）でのみ発生します。
VICSリンクは随時更新されますので、出来るだけ新しい地図のご利用をお薦めします（本製品の道路単位は2004年11月版です）。

Q どうしてGPSが受信できないの?
A GPSアンテナ近くで携帯電話などを使用したり、次のような場所では受信できないことがあります。



トンネルの中　　高層ビル等の間　　高架道路の下　　樹木の間

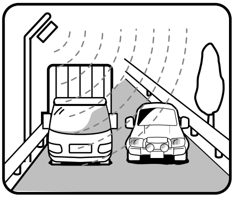
• ルーフキャリアなど使用時には、GPS衛星の電波がさえぎられて自車位置を測位できなくなることがあります。
このようなときは、アンテナとルーフキャリアを離して設置してください。
• ナビ本体のアースの接続は確実でしょうか？
お買い上げの販売店へご相談ください。

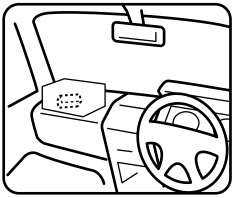
Q ナビゲーションを高い精度で使うには？
A 使いはじめなどは、受信感度の良い状態で100km以上走行することをお勧めします。

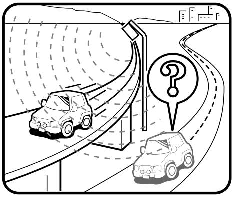
Q VICSサービスの提供区域なのに受信されない
A 本機でのVICS情報表示エリアは332ページの「別表1」に記載されている区域のみです。

Q どうしてFM多重放送、VICS放送が受信できないの?
A FM多重放送は、FM波のすきまに文字情報(見えるラジオ)やVICS情報(広域ゾーン型)を盛り込みます。利用する場合は、情報を提供している放送局に周波数を合わせなければなりません。また、情報を取り込んでから表示しますので、受信状態になって直ちに表示されるわけではありません。受信しにくいときは、受信エリアの確認をしてください。
さらにVICSには、間欠極小ゾーンを対象とした「光ビーコン、電波ビーコン」があります。
この情報は、次のようなとき受信できないことがあります。

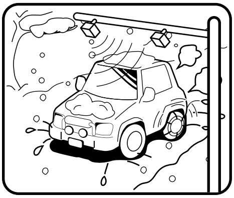
■ 電波/光ビーコンの受信について

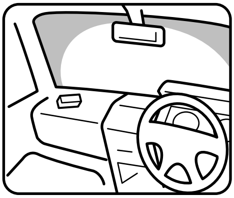

大型車と並走


アンテナの上に物を置く


高速高架道路の下

※ 高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路の電波ビーコンを受信してしまう場合があります。


雪などの悪天候


アンテナ受光部の汚れ
フロントガラスの汚れ

※ 電波/光ビーコンから信号が発信されていてもデータがない場合があり、このときはデータがない状態で上書きにするため前情報がなくなる場合があります。

Q VICSの渋滞情報ってなに?
A VICSの渋滞情報(レベル3)は、地図上に渋滞地点や渋滞区間を「矢印」で提供します。方向は矢印で、混み具合は色(渋滞は赤)で表します(98ページ「渋滞/順調表示」参照)。

Q 今まで表示されていたVICS情報が、ビーコンを受信したら消えてしまった
A 試験運用中等で、ビーコンによっては情報のない信号を出している場合があります。このような信号を受信すると、VICS情報がない状態になり表示が消えますが不具合ではありません。次に情報のあるビーコンを受信することで、正常に表示されます。

Q ルートを外れたらどうするの?
A ルートの外れには「測位誤差」によるもの「運転ミス」によるものの二つがあります。ルートを走行中に自車位置が近接する道路に移動してしまうのが「測位誤差」によるものです。
この場合、そのまま走行を続ければ自車位置は「本来の道路」に戻ってきます。
案内している交差点で曲がれなかったときなどの間違いによるルートの外れは、リルート機能によって「新たなルート」を自動的に探し出してくれます(68ページ「ルートから外れた場合」参照)。

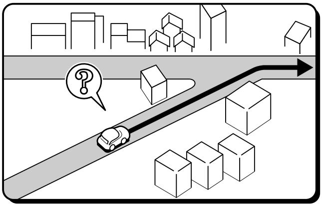
次ページに続く→

Q ルートを消すにはどうするの?
A ルートは目的地周辺で「音声案内を終了します」を最後に案内を終了しますが、目的地情報は残ります。また、目的地への接近が少ないといつまでも目的地への案内を続けます。
これらを消す場合は、ルートの消去を行ってください(74ページ「ルートを消去する」参照)。

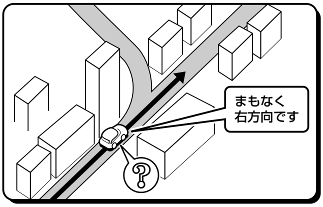
Q ルートは記憶できないの?
A ルートを記憶させることはできません。

Q こんなルートは故障なの?
A ルート探索やルート案内において、次のような場合がありますが故障ではありません。

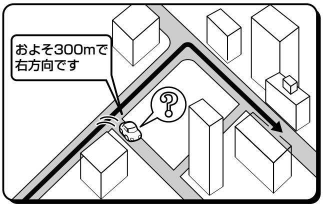
- 冬期の閉鎖･歩行者天国･時間規制などで通行できない場合があります。
- 新道の開通などにより通行できない場合があります。
- 実際に通行できない道を表示する場合があります。
- 再探索してもルートがかわらない場合があります。
- ルートが渋滞している場合があります。
- 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- 高速優先であっても、高架下の一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
- Uターンするルートを表示する場合があります。



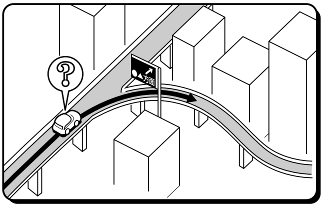
- 交差点で、案内されない場合があります。また、交差点名称が案内されない場合もあります。



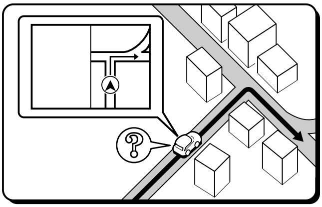
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をする場合があります。



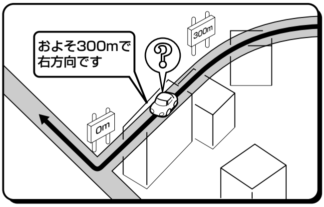
- 手前の交差点等で曲がったときなど音声案内される場合があります(案内ルートを外れた場合)。



- 高速／有料道路で方面案内が表示／案内されない場合があります。



- 交差点拡大図が実際の道路形状と異なる場合があります。



- 案内距離が実際の道路状況と異なる場合があります。

その他

次ページに続く→

Q ルート探索のコツってなに?
A いろいろ使い方がありますが、周遊コース設定のコツをお教えします。
2泊3日の旅行で出発地に戻ってくる場合は、以下の操作を行います。
1)出発地(自車位置)を目的地に設定します(当然、コースは表われません)。
2)立ち寄る地点を67ページ「経由地を設定する」ですべて設定します。
3)自車位置から2泊3日のコースを確認します。
各経由地を宿泊地にしておけば、それぞれの日毎の走行距離を知ることができます。

Q 時計(現在の時刻)が、ずれたら?
A 本機の時計表示はGPS情報から時間を算出しておりますので、時計表示がずれることはありません。ただし、長い期間GPSが受信されない状態が続いた場合は時計がずれることがあります。GPSが受信されると正常な時間表示に戻ります。GPSを受信しているにも関わらず、ずれている場合は、本機を点検に出して下さい。

Q バッテリーを外してもメモリーは消えないの?
A 地点情報は消えませんがプログラム、設定、学習などは消えてしまいます。
また、学習レベルがクリアされるため、次にバッテリーをつないで使用し始めると一時的に自車位置がずれる場合があります。

Q 画面上に表示された「十字カーソル」を消すには?
A 地図をスクロールしたときの「十字カーソル」を消すには、**現在地**スイッチを押して現在地画面に戻してください。

Q どうして夜画面がちらつくの?
A 電圧が低いとき、画面がちらつくことがあります。

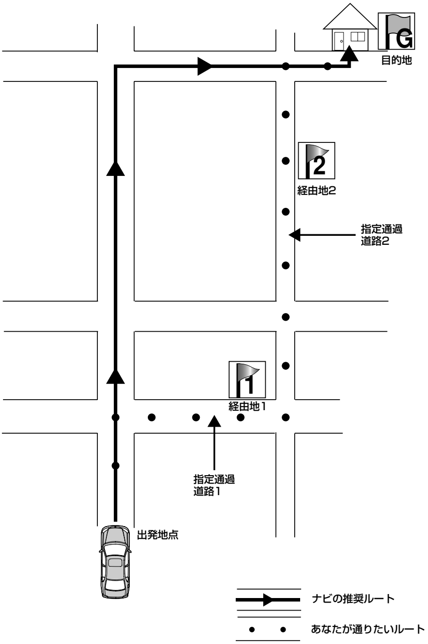
Q ルート探索対象道路は?
A ルート探索対象道路は道幅が5.5mより広い道路となります。

Q 駐車場マークを消すにはどうするの?
A 駐車場マークには、ランドマークとVICS情報マークがあります。地域によっては駐車場マークが画面いっぱいに表示され、地図が見づらくなる場合があります。この場合は、以下の操作で駐車場マークを消してください。

- ランドマークを消す
  134ページ「ランドマーク表示」を「しない」にするか、ジャンル選択で駐車場を「しない」に設定してください。
- VICS情報マークを消す
  146ページ「駐車場マーク表示」を「しない」に設定してください。

Q 思い通りのルートを引くには？
A ナビが自動で設定したルート以外の道を通って目的地まで行きたい場合は、利用するインターチェンジ（IC）を変更したり、通りたいルート上に経由地を追加すると、その地点を通るルートに変更することができます。経由地は最大で5ケ所まで指定できます（66ページ「インターチェンジ（IC）を指定する」、67ページ「経由地を設定する」参照）。
また、目的地案内中にも通過する道路を指定することもできます（72ページ「案内中のルートを変更する」参照）。

（手順）
目的地を設定してルートを引く
↓
5種類（5ルート）のルートを確認する（65ページ）
↓
思い通りのルートがない
↓
通りたい道路に経由地を追加する（67ページ）
または、インターチェンジを指定する（66ページ）
↓
ルートが変更される



故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？	⇨	下の表をご確認ください。	⇨	お買い上げの販売店または（株）ホンダアクセス「お客様相談室」までご相談ください。

操作中に停止したままになったり、画面が暗くなるなど正常に動作しなくなった場合は、一度イグニッションキーをOFF/ONしてください。
それでも正常動作しない場合は以下の表を参照して処置を行ってください。

■ ナビゲーション関係

症状	原因	対処	参照ページ
動作しない	ヒューズが切れている	所定容量のヒューズと交換する	
	周囲の温度が50度以上である	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を50度以下にする	
	結露している	しばらく(1時間程度)放置し、乾いてから使う	
走行しても地図が動かない	現在地画面以外になっている	現在地画面を表示させる	36ページ
正しく自車位置を測定できない	ACCが「OFF」になってから自車位置がかわった •フェリーボートによる移動 •駐車場のターンテーブルによる回転 •レッカー車による移動等	GPS信号受信状態(測位状態)でしばらく走行する	
自車位置マークが表示されない	現在地画面以外になっている	現在地画面を表示させる	36ページ
方位マークの色が「青」にかわらない	GPS情報を利用できない状態である	周囲に障害物がない所へ移動する	
	GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている	電話の使用をやめる	
自車位置の誤差が大きい	衛星の配置が悪い	GPS衛星の電波を受信しやすい場所へ移動する	
	2次元測位をしている		
案内音声が出力されない	案内の音量が小さく(音声OFFに)なっている	音量を大きくする	45ページ
イグニッションキーをONの位置にしたあと、しばらく画面にムラがある	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがある	バックライトが温まれば、数分後には解消される	
画面が見にくい	画面のコントラスト、明るさ調整が不適正である	コントラスト、明るさを調整する	44ページ

症状	原因	対処	参照ページ
VICSレベル1、2（文字表示型／図形表示型）が表示できない	VICSの情報として送出されていない	地区等により送出される情報は異なる	
	VICSの放送エリア外である	VICSの放送エリアに移動する	
	データの取り込みが完全ではない	更新データを受信するまで待つ	
VICSレベル3（渋滞、規制、駐車場）の表示ができない	「VICS設定」でこれらの表示条件が表示しない設定になっている	「する」に設定する	145ページ
	VICSの放送エリア外である	VICSの放送エリアに移動する	
VICS渋滞が考慮探索されない	「アクティブルートサーチ」が「しない」の設定になっている	「する」に設定する	141ページ
VICS情報の表示が乱れる	電波や光の情報がうまく受信されない	情報を受信次第表示が更新されます	
VICSの時間が時刻と違う	時計ではなく、表示中のVICS情報の提供時刻を示しています VICS情報を長時間受信していない場合、古い時間が表示されます	情報を受信次第更新されます	

一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げの販売店に問い合わせてください。

■ オーディオ・テレビ関係

症状	原因	対処	参照ページ
動作しない	電源が入っていない	オーディオ・テレビの電源を入れる	21ページ
映像が不鮮明になったり、雑音が入ったりする	電波が弱い	他の場所に車を移動して再確認する	
	バッテリー電圧が低下している	バッテリー電圧／バッテリー液量／バッテリー液比重および配線を確認する（負荷状態で11ボルトを下回ると誤動作の原因となります）	
映像が出ない	停車していない	車を完全に停止する	
映像が出ないまたは動きが悪い	車室内の温度が低い	車室内の温度を常温にする	
映像に斑点やしま模様が出る	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、自動車などからの影響	妨害電波を受けない場所に車を移動する	
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください	
映像が二重三重になる。またはゆれる	近くの山やビルで電波が反射している	他の場所に車を移動する	
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるもの	故障ではありません。しばらくそのままでお待ちください。	
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある	液晶のバックライトの特性によるもの	故障ではありません。しばらくすると安定します。	
音が出ない	音量の調整不良	音量スイッチを押して確認する	190ページ
片側のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードが外れている	スピーカーコードの接続を確認する	
	音量の調整不良	左右音量調整をして確認する	303ページ
音質調整をしても音質が変化しない	調整した音質が放送、ディスクに含まれていない	放送、ディスクを変更して確認する	
CD／MD／DVDが入らない	電源が入っていない	イグニッションキーを「ACC」または「ON」の位置にする	21ページ
	すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている	すでに入っているCD／MD／DVDを取り出してから、お好みのCD／MD／DVDを入れる	22ページ
CD／DVDの再生ができない	結露している	しばらく放置してから使用する	
	CD／DVDに大きなキズやソリがある	他のCD／DVDを入れる	
	CD／DVDがひどく汚れている	クリーニングする	
MDの再生ができない	結露している	しばらく放置してから使用する	
	MDのディスクにキズや汚れがある。MDにソリがある。	他のMDを入れる	

症状	原因	対処	参照ページ
再生が始まらない／音がとぶ／音が歪む／早送り／早戻しができない	車内温度が50℃以上である	車内温度を常温まで下げてから、演奏させる	
	ディスクに傷が付いている	他のディスクを再生してみる	
	ディスクがひどく汚れている		
	録音状態が良くない		
	本機対応のディスクでない		
	結露している	しばらく放置してから使用する	
映像も音も出ない	電源が入っていない	イグニッションキーを「ACC」または「ON」の位置にする	21ページ
	接続コードの接続が不完全	各接続コードの接続を確認する	
CD-R/CD-RWが再生できない	クローズセッション（ファイナライズ）処理を行っていない	クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、再度、試してみる	
MP3/WMAが再生されない	書き込みに失敗している／対応フォーマット以外で書き込まれている	書き込みに失敗していないか確認する。または、「MP3/WMAについて」を参照し、本機対応のフォーマットで書き込みを行う。	213ページ
Music Rackの再生が始まらない／音が飛ぶ／音が歪む／早送り･早戻しができない	Music Rackに録音されていない	音楽を録音する	229ページ
	録音状態が良くない	他の音楽データを再生してみる	
	本機対応の音楽データではない		
“メモリースティック”が入らない	すでに別の“メモリースティック”が入っている	“メモリースティック”を取り出してから入れ直す	23ページ
	“メモリースティック”の入れ方が間違っている	本書を参照し、正しく入れ直す	23ページ
“メモリースティック”の再生が始まらない／音が飛ぶ／音が歪む／早送り･早戻しができない	“メモリースティック”に傷がついている	他の“メモリースティック”を再生してみる	
	“メモリースティック”の端子部がひどく汚れている		
	録音状態が良くない		
	本機対応の音楽データではない		
放送局が受信できない／雑音が入る	アンテナが伸びていない（ラジオ）	アンテナを伸ばす（ラジオ）	
	放送局の周波数（チャンネル）が合っていない	周波数（チャンネル）を正しく合わせる	196ページ 265ページ
	周りに障害物などがあり、受信状態が良くない	見通しが良いところに移動する	
自動的に放送局が選べない	電波の弱い地域にいる	手動で受信する	196ページ 265ページ

■ 表示メッセージ(ナビゲーション関係)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
自宅を設定してください	自宅が登録されていないときに、「自宅」にタッチしたため。	自宅を登録してからお使いください。	82ページ
該当する電話番号はありません	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。	58ページ
該当する郵便番号はありません	郵便番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	郵便番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。	59ページ
該当するデータはありません	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。	59ページ
現在の地域、または時刻において文字多重放送は受信できません	一般文字情報を受信できなかったため。	選局しなおしてください。	102ページ
これより広域の地図ではVICS情報を表示できません	VICS表示中に1kmスケールより広域の地図にしたとき。	地図スケールを1km以下の詳細な地図に切りかえてください。	37ページ
情報を受信中につきしばらくお待ちください	VICSメニューを受信していないとき。	しばらくしてもメッセージを表示する場合、選局しなおしてください。	
情報がありません	FM多重放送を行っている放送局を選局していないか、または情報を受信していないとき。	選局しなおしてVICSの情報を受信してください。	

■ 表示メッセージ(オーディオ・テレビ関係)

メッセージ	原因	対処	参照ページ
Discを確認してください	CD、MDが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しのときは正しく入れてください。	22ページ
Discが読めません車内音度が下がるまでお待ちください※1	CD/DVD(MD)プレーヤーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままでお待ちください。	
走行中は音声をお楽しみください	走行中にテレビ/DVD/VTRを見ようとしたため。	車を安全な場所に停車させてからお楽しみください。	264ページ 277ページ 296ページ
HDDの温度異常が発生しました 一部使用できない機能があります	ハードディスク内の温度が異常に高いまたは低いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままでお待ちください。	

※1　この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えてCD(MD)の再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときはお買い上げの販売店にご相談ください。

操作中、画面にはいろいろなメッセージが表示されます。メッセージには、現在の状態を知らせたり、次の操作をガイドしたりするもののほか、上記のようなエラーメッセージを表示する場合があります。上記のエラーメッセージが表示された場合は、「処置」の内容をよくお読みになり、その指示に従ってください。

保証について／規格

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げ店でお受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げの日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

■ アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いときは、保証書記載（裏面）に従い修理させていただきますので、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品は、製造打切り後、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げの販売店または（株）ホンダアクセス「お客様相談室」にお問い合わせください。
- 修理によって登録内容が消去される場合があります。修理を依頼する前には、必ず登録している内容の控えを取ってください。

■ 規格／付属品

ナビゲーション	受信周波数	1575.42MHｚ
	受信感度	－130ｄBm
GPSアンテナ	外形寸法	36mm（幅）×11.8mm（高さ）×38mm（奥行）
	重量	50g
モニター部	受信チャンネル	VHF1～12チャンネル、UHF13～62チャンネル
	液晶パネル	7型ワイド（16：9）低反射パネル
	画面寸法	156.24mm(幅)×83.37mm(高さ)×176.5mm(対角)2
	ドット数	336,960ドット（縦234×横480）
	有効画素率	99.99%以上
	表示方法	透過型カラーフィルター方式
	駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリックス方式
	動作温度範囲	0℃～+45℃
ラジオ・チューナー部	受信周波数	AM522～1,629kHz FM76～90MHz
	実用感度	AM22dBμV（S／N20dB） FM14dBf（IHF）
	周波数特性	30～15,000Hz（FM）
	ステレオセパレーション	40dB（1kHz）
CD部	ワウ・フラッタ	測定限界以下
	高調波歪み率	0.06%（1kHz、0dB、0.5W出力時）
	周波数特性	20～20,000Hz
	S／N比	89dB（1kHz）
	ダイナミックレンジ	87dB以上（1kHz）

次ページに続く→

MD部	ワウ･フラッタ	測定限界以下
	高調波歪み率	0.06%（1kHz、0dB、0.5W出力時）
	周波数特性	20〜20,000Hz
	S／N比	89dB（1kHz）
	ダイナミックレンジ	87dB（1kHz）
HDD部	ワウ･フラッタ	測定限界以下
	高調波歪み率	0.08%（1kHz、0dB、0.5W出力時）
	周波数特性	20〜20,000Hz
	S／N比	88dB（1kHz）
	ダイナミックレンジ	86dB（1kHz）
共通部	定格出力	15W×4（1kHz、1%4Ω）（EIAJ）
	最大出力	45W×4
	適合負荷インピーダンス	4Ω（各チャンネル）
	電源電圧	DC13.2V（11-16V）アース専用
	消費電流	1W×4出力時約3A 最大約14A
	外形寸法	180mm（幅）×100mm（高さ）×149mm（奥行） ※突起は含まず。
	重量	約3.4kg
付属品		取扱説明書、保証書類一式

※ ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

※ 本機は、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンの許諾が必要であり、マクロビジョンが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

※ ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
DOLBY 、ドルビー、PRO LOGICおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

※ DTSおよびDTS 2.0+Digital Outは米国Digital Theater System,Inc.の登録商標です。

※ Windows Media™およびWindows®ロゴは、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

※ MPEG Layer-3オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonから実施許諾されています。

※ 本製品の供給は、収益を発生する放送システム、ストリーミングアプリケーション、その他のコンテンツ配信システム、または物理的媒体で、本製品で創作されたコンテンツを配信する権利を暗示するものでもありません。当該使用には、独立したライセンスが必要です。詳細に関しては、http://mp3licensing.comにアクセスしてください。

アドバイス

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 液晶パネルは、非常に精度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があり得ますので、あらかじめご了承ください。

Gracenote CDDBのご利用について

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、エメリービル市のGracenote("Gracenote") からの技術とデータが含まれています。この製品はGracenote の技術("Gracenote Embedded Software") により、ディスク識別を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報("Gracenote Data") を得ることも可能です。この技術はGracenote Database("Gracenote Database") に実装されています。

- Gracenote Data、Gracenote Databese、Gracenote Embedded Software を商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。
- 標準エンドユーザー機能及びこの製品の機能によってのみ、Gracenote Data にアクセスすることに同意すること。
- 第三者に、Gracenote Embedded Software またはGracenote Data の譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
- この文章中で明白に許可されたこと以外でのGracenote Data、Gracenote Database やGracenote Embedded Software の使用あるいは応用をしないことに同意すること。
- これらの制約に違反した場合、あなたのGracenote Data、Gracenote Databese、Gracenote Embedded Software を使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Databese の全ての使用をやめることに同意すること。
- GracenoteはGracenote Data、Gracenote Databese やGracenote Embedded Software の所有権を含むすべての権利を保有しています。
- Gracenote はこの同意のもとで、Gracenote の名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded Software やGracenote Data の各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。Gracenote は、すべてのGracenote Data の正確さに関する、明示或いは黙示、真実の表明あるいは保証は、一切致しません。GracenoteはGracenote が明らかに問題であると判断した際、または更新が必要な際には、データカテゴリーを変更したり、データを消去することができます。
Gracenote Embedded Software が、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Software の機能が断絶しないものであるという保証は致しません。
Gracenote は新しく拡張された或いは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。或いはまた、将来Gracenote が提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenoteは、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性及び権利侵害の不存在を含む全ての明示または黙示の保証をしません。Gracenoteは、Gracenote Component またはいかなるGracenote Server の利用により生じた結果について保証しません。
Gracenote はいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。

End User Licence Agreement for Devices (Revision J-2-1)

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

（約款の適用）
第1条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）
第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）
第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
（1）VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
（2）VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
（3）加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
（4）VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

（VICSサービスの種類）
第4条　VICSサービスには、次の種類があります。
（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICSサービスの提供時間）
第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契約

（契約の単位）
第6条　当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）
第7条　VICSサービスの提供区域は、別表1のとおりとします。ただし、そのサービス提供区域内であっても、電波の伝わりにくいところでは、VICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）
第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICSサービスの種類の変更）
第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）
第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）
第12条　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料金

（料金の支払い義務）
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表IIに定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保守

（当センターの保守管理責任）
第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）
第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑則

（利用に係る加入者の義務）
第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）
第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。

また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

次ページに続く→

■ 別表1

「サービスの提供区域」

東京都　23区及び昭島市、あきる野市、稲城市、青梅市、清瀬市、国立市、小金井市、国分寺市、小平市、狛江市、立川市、多摩市、調布市、西東京市、八王子市、羽村市、東久留米市、東村山市、東大和市、日野市、府中市、福生市、町田市、三鷹市、武蔵野市、武蔵村山市

神奈川県　厚木市、綾瀬市、伊勢原市、海老名市、小田原市、鎌倉市、川崎市、相模原市、座間市、逗子市、茅ヶ崎市、秦野市、平塚市、藤沢市、三浦市、南足柄市、大和市、横須賀市、横浜市

埼玉県　上尾市、朝霞市、入間市、岩槻市、桶川市、春日部市、加須市、上福岡市、川口市、川越市、北本市、行田市、久喜市、熊谷市、鴻巣市、越谷市、さいたま市、坂戸市、幸手市、狭山市、志木市、草加市、秩父市、鶴ヶ島市、所沢市、戸田市、新座市、蓮田市、鳩ヶ谷市、羽生市、飯能市、東松山市、日高市、深谷市、富士見市、本庄市、三郷市、八潮市、吉川市、和光市、蕨市

千葉県　我孫子市、市川市、市原市、印西市、浦安市、柏市、勝浦市、鎌ヶ谷市、鴨川市、木更津市、佐倉市、白井市、袖ヶ浦市、館山市、千葉市、銚子市、東金市、流山市、習志野市、成田市、野田市、船橋市、松戸市、茂原市、八街市、八千代市、四街道市

愛知県　安城市、一宮市、稲沢市、犬山市、岩倉市、大府市、岡崎市、尾張旭市、春日井市、蒲郡市、刈谷市、江南市、小牧市、新城市、瀬戸市、高浜市、知多市、知立市、津島市、東海市、常滑市、豊明市、豊川市、豊田市、豊橋市、名古屋市、西尾市、日進市、半田市、尾西市、碧南市、

大阪府　池田市、和泉市、泉大津市、泉佐野市、茨木市、大阪市、大阪狭山市、貝塚市、交野市、門真市、河内長野市、岸和田市、堺市、四条畷市、吹田市、摂津市、泉南市、大東市、高石市、高槻市、豊中市、富田林市、寝屋川市、羽曳野市、東大阪市、枚方市、藤井寺市、松原市、箕面市、守口市、八尾市

京都府　綾部市、宇治市、亀岡市、京田辺市、京都市、城陽市、長岡京市、福知山市、舞鶴市、宮津市、向日市、八幡市

長野県　飯田市、飯山市、伊那市、上田市、大町市、岡谷市、更埴市、駒ヶ根市、小諸市、佐久市、塩尻市、須坂市、諏訪市、芽野市、中野市、長野市、松本市

兵庫県　相生市、明石市、赤穂市、芦屋市、尼崎市、伊丹市、小野市、加古川市、加西市、川西市、神戸市、三田市、洲本市、高砂市、宝塚市、龍野市、豊岡市、西宮市、西脇市、姫路市、三木市

福岡県　飯塚市、大川市、大野城市、大牟田市、春日市、北九州市、久留米市、古賀市、田川市、太宰府市、筑後市、筑紫野市、中間市、直方市、福岡市、前原市、宗像市、柳川市、山田市、八女市、行橋市

広島県　因島市、尾道市、呉市、竹原市、廿日市市、広島市、福山市、府中市、三原市、三次市

宮城県　石巻市、岩沼市、角田市、気仙沼市、塩竈市、白石市、仙台市、多賀城市、名取市、古川市

北海道(札幌地区)　赤平市、芦別市、石狩市、岩見沢市、歌志内市、恵庭市、江別市、小樽市、北広島市、札幌市、砂川市、滝川市、伊達市、千歳市、苫小牧市、登別市、美唄市、三笠市、室蘭市、夕張市

静岡県　熱海市、伊東市、磐田市、御殿場市、静岡市、島田市、下田市、裾野市、天竜市、沼津市、浜北市、浜松市、袋井市、富士市、藤枝市、富士宮市、三島市、焼津市

群馬県　安中市、伊勢崎市、太田市、桐生市、渋川市、高崎市、館林市、富岡市、沼田市、藤岡市、前橋市

福島県　会津若松市、いわき市、喜多方市、郡山市、白河市、須賀川市、相馬市、二本松市、原町市、福島市

岡山県　井原市、岡山市、笠岡市、倉敷市、総社市、高梁市、玉野市、津山市、新見市

沖縄県　糸満市、浦添市、沖縄市、宜野湾市、名護市、那覇市

宮崎県　小林市、西都市、日南市、延岡市、都城市、宮崎市

岐阜県　恵那市、大垣市、各務原市、岐阜市、関市、高山市、多治見市、土岐市、中津川市、羽島市、瑞浪市、美濃加茂市、山県市、瑞穂市

三重県　伊勢市、尾鷲市、亀山市、桑名市、鈴鹿市、津市、久居市、松阪市、四日市市

山口県　岩国市、宇部市、小野田市、下松市、下関市、長門市、萩市、光市、防府市、美祢市、柳井市、山口市、周南市

茨城県　石岡市、笠間市、北茨城市、古河市、高萩市、土浦市、下館市、下妻市、日立市、常陸太田市、ひたちなか市、水戸市、結城市

北海道(旭川地区)　旭川市、士別市、名寄市、富良野市、留萌市

和歌山県　有田市、海南市、御坊市、新宮市、田辺市、和歌山市

滋賀県　大津市、近江八幡市、草津市、彦根市、守山市、八日市市、栗東市

奈良県　生駒市、橿原市、香芝市、御所市、桜井市、天理市、奈良市、大和郡山市、大和高田市

栃木県　足利市、今市市、宇都宮市、大田原市、小山市、鹿沼市、黒磯市、佐野市、栃木市、日光市、真岡市、矢板市

山梨県　塩山市、大月市、甲府市、都留市、韮崎市、富士吉田市、山梨市、南アルプス市

新潟県　小千谷市、柏崎市、加茂市、五泉市、三条市、新発田市、上越市、白根市、燕市、栃尾市、豊栄市、長岡市、新潟市、新津市、見附市、村上市、両津市

石川県　金沢市、小松市、珠洲市、七尾市、羽咋市、松任市、輪島市

北海道（函館地区）　函館市

熊本県　荒尾市、牛深市、宇土市、菊池市、熊本市、玉名市、人吉市、水俣市、八代市、山鹿市

大分県　宇佐市、臼杵市、大分市、杵築市、佐伯市、竹田市、津久見市、中津市、日田市、別府市

香川県　坂出市、善通寺市、高松市、丸亀市、さぬき市、東かがわ市

愛媛県　今治市、伊予市、伊予三島市、宇和島市、大洲市、川之江市、西条市、東予市、新居浜市、松山市、八幡浜市

佐賀県　伊万里市、鹿島市、唐津市、佐賀市、多久市、武雄市、鳥栖市

長崎県　諫早市、大村市、佐世保市、島原市、長崎市、平戸市、福江市、松浦市

鹿児島県　阿久根市、出水市、指宿市、大口市、鹿児島市、加世田市、鹿屋市、国分市、川内市、垂水市、西之表市、枕崎市

徳島県　阿南市、小松島市、徳島市、鳴門市

高知県　安芸市、高知市、宿毛市、須崎市、土佐市、土佐清水市、中村市、南国市、室戸市

福井県　大野市、小浜市、鯖江市、武生市、敦賀市、福井市

富山県　魚津市、小矢部市、黒部市、新湊市、高岡市、砺波市、富山市、滑川市、氷見市

山形県　上山市、寒河江市、酒田市、新庄市、鶴岡市、天童市、長井市、南陽市、東根市、村山市、山形市、米沢市

秋田県　秋田市、大館市、男鹿市、能代市、本荘市、湯沢市

青森県　青森市、黒石市、五所川原市、十和田市、八戸市、弘前市、三沢市、むつ市

次ページに続く→

島根県	出雲市、江津市、大田市、浜田市、平田市、益田市、松江市、安来市
鳥取県	倉吉市、境港市、鳥取市、米子市
岩手県	一関市、大船渡市、釜石市、北上市、久慈市、遠野市、花巻市、宮古市、水沢市、盛岡市、陸前高田市
北海道（釧路地区）	釧路市、根室市、帯広市
北海道（北見地区）	網走市、北見市、紋別市

■ 別表2

視聴料金　315円(うち消費税15円)
ただし､車載機購入価格に含まれております。

地図データについて

収録データについて

■ 収録データの補足説明

※1 「全国約3,000万件個人宅電話番号・名称データ」による「電話番号」検索は公開「電話番号」及び公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域により格差がありますがデータ収録内で全国平均91%の精度でのピンポイント検索が可能です。なお、検索された物件の一部では家形図周辺の検索表示になる場合があります。また、電話番号非公開訪問先宅（データ収録外物件）については入力電話番号「局番」周辺の位置検出となります。

※2 「全国約3,300万件住所検索データ」による「住所」検索は住所の整備状況により一部検索出来ない住所があります。また、検索された住所の一部では家形図周辺の検索表示になる場合があります。尚、約3,300万件の住所データは事業所および施設の住所データも含みます。

※3 「全国約1,100万件50音データ」及び「全国約1,100万件タウンページ電話番号データ」によるピンポイント検索は、全国平均97%の精度でのピンポイント検索が可能です。また、国土地理院発行地図の番号未掲載や電話番号登録時の状況により周辺地域による位置検出となる場合があります。なお、収録されているデータは2005年3月時のタウンページデータです。

※4 市街地カバー面積は、収録地域によって全域をカバーしていない場合があります。

地図・情報について

このGathers ナビゲーションシステムの「地図」は「全国デジタルデータベース」（財団法人日本デジタル道路地図協会作成）と「交通規制データベース」（財団法人日本交通管理技術協会作成）をもとに、株式会社ゼンリンが独自に収集した情報（高速道路・有料道路は2005年4月までに、国道・都道府県は2005年1月現在までに）を網羅し、作成したものです。本品に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により、現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては、実際の道路状況および交通規制に従ってください。

地図の内容は、予告なく新しい地図データに更新されることがあります。

■地図版権について

- この地図作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しています。（測量法第30条に基づく成果使用承認　平14総使、第396-127 号）
- 本品に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき、全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制原図を用いて、（財）日本交通管理技術協会（TMT）が作成したものを使用しています。（承認番号　05-2）
- 本品に使用している交通規制データは2004年4月現在のものです。本データが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等に従ってください。
- 本品に使用している交通規制データの著作権は、（財）日本交通管理技術協会が有し、株式会社ゼンリンは二次的著作物作成の使用実施権を取得しています。
- 本品に使用している交通規制データを、無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 「VICS」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 本品に使用している祭事の画像情報の一部は「金森盈写真文庫」から提供を受けています。

©2005 MBA, Inc.
©2005 ZENRIN CO.,LTD.
©2005 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPRATION
©2005 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPRATION
©2004 .TMT
©ジオ技術研究所

個人宅電話番号・名称データについて

個人宅電話番号・名称データは、（株）ダイケイのテレデータ（おおむね2005年2月までに収集されたデータ）を使用しております。

※ 個人情報保護に関する基本方針、およびナビゲーション地図に搭載されております個人データのお取り扱いにつきましては下記アドレスのホームページを御覧ください。
http://www.honda.co.jp/ACCESS/

マイクロソフトからの使用許諾契約書

下記の使用許諾書をよくお読みのうえ、本ナビゲーションを正しくお使いください。

■使用許諾契約書

本ナビゲーションには、Microsoft社製Windows CE for AutomotiveがOSとして使用されています。
Windows CE for Automotive並びに、それに関連した媒体、印刷物、「オンライン」、電子文書(以下「MSソフトウェア」という)は、無体財産権に関する法律、条約により国際的に保護されております。MSソフトウェアは許諾されるものであり、販売されるものではありません。お客様が本契約書の条項に同意されない場合、MSソフトウェアを使用複製することはできません。MSソフトウェアを使用複製した場合、お客様は本契約書の条項に拘束されることを承諾されたものとします。
本契約は、お客様に以下のことを許諾致します。

- お客様は、本ナビゲーションにおいてのみMSソフトウェアを使用することができます。
- MSソフトウェアの使用方法は、十分にテストの上、決定されたものであり、MSは一切責任を負いません。
- MSソフトウェアは提供時の現状のままで、そこに含まれるあらゆる瑕疵とともに提供されるものであり、品質、性能、正確性その他不適切な取扱に伴う危険について何ら保証致しません。お客様がMSソフトウェアを使用する際支障をきたすことや、また、MSソフトウェアが第三者の知的財産権を侵害していないことについても何ら保証致しません。お客様が、MSソフトウェアにつき、MS以外の者から保証を受けたとしても、かかる保証はMSを一切拘束しないもとします。
- 法律の許す限りにおいて、MSは、MSソフトウェアの使用から生ずるいかなる損害(間接損害、特別損害、結果損害、偶発損害)についても、一切責任を負わないものとします。
- お客様が、MSソフトウェアにつき、リバースエンジニアリング、逆コンパイルその他解析作業を行うことは禁じられます。但し、法律が明示的に許諾する範囲においてはこの限りではありません。
- 別途契約書が提示されない限り、MSソフトウェアのバージョンアップ品または付属品についても本契約が適用されるものとします。
- お客様に、復元または再インストールのためのソフトウェアが別媒体によって提供された場合、お客様は、提供されたソフトウェアを、復元または再インストールのためにのみ使用できるもとします。
- お客様は、本ナビゲーション製品の一部として、本契約に基づくMSソフトウェアの使用の権利を移転できるものとします。本契約に基づくMSソフトウェアの使用権を本ナビゲーションと分離して移転することはできません。
- MSソフトウェアはアメリカ合衆国が原産国です。お客様は、アメリカ合衆国の輸出管理規制およびアメリカ合衆国その他の政府が発する輸出地に関する規制等、MSソフトウェアに適用される輸出に関する国際的、国内的規制を遵守することに同意するもとします。

目的別索引

ナビゲーション関係

地図に関して

目的		項目	参照ページ
地図の表示について	地図画面の見方を知りたい	画面の見かた	34 ページ
	地図記号について知りたい	地図マーク一覧	174 ページ
	現在地が知りたい	現在地を表示する	36 ページ
	現在地付近の地図を見たい	地図をスクロールする	36 ページ
	地図の縮尺を切りかえたい	縮尺を切りかえる	37 ページ
	市街地図の表示に切りかえたい	縮尺を切りかえる	37 ページ
	地図の向きをかえたい	方位を切りかえる	38 ページ
	画面を2分割して表示させたい	地図表示を切りかえる	39 ページ
	ナビ画面とオーディオ画面を同時に表示させたい	全画面とマルチ画面	24 ページ
	地図を立体的に表示させたい	方位を切りかえる	38 ページ
	立体的な施設マークを表示させたい	3Dアイコン表示	135 ページ
	施設(コンビニ・ガソリンスタンドなど)を表示させたい	ランドマーク表示	134 ページ
	目的地に到着する時間を表示させたい	到着予想表示	139 ページ
	明るさやコントラストをかえたい	ナビ画面の明るさやコントラストを調整する	44 ページ
	地図の色をかえたい	地図色切換	134 ページ
地図の呼び出しについて	施設の名称の一部を入力して呼び出したい	施設を50音で探す	55 ページ
	施設を検索して呼び出したい	施設を探す	51 ページ
	電話番号を入力して呼び出したい	電話番号から探す	58 ページ
	郵便番号を入力して呼び出したい	郵便番号から探す	59 ページ
	住所の一部を入力して呼び出したい	住所を50音で探す	56 ページ
	住所を検索して呼び出したい	住所リストから探す	50 ページ
	インターチェンジや駅を検索して呼び出したい	路線別で探す	52 ページ
	ドライブコースを検索して呼び出したい	おすすめドライブナビゲーターから探す	52 ページ
	登録した地点から呼び出したい	登録地点から探す	62 ページ
	以前の目的地から呼び出したい	目的地履歴から探す	54 ページ
	マップコードを入力して呼び出したい	マップコードから探す	59 ページ
	個人名を入力して呼び出したい	個人名で探す	57 ページ
	緯度経度を入力して呼び出したい	緯度経度から探す	60 ページ
	現在地の近くにある施設を呼び出したい	現在地周辺／目的地周辺から探す	60 ページ
	案内ルートの近くにある施設を呼び出したい	ルート周辺から探す	61 ページ
	目的地の近くにある施設を呼び出したい	現在地周辺／目的地周辺から探す	60 ページ
	現在地の近くにある建物を呼び出したい	周辺の建物から探す	62 ページ

目的地案内に関して

目的		項目	参照ページ
目的地案内を開始する前に	目的地を決めたい	目的地を設定する	64 ページ
	案内を開始させたい	目的地案内を開始する	68 ページ
	ルートを選びたい	ルートの探索結果画面	65 ページ
目的地案内を開始する前、または目的地案内中に	目的地までのルートを知りたい	ルート情報(案内道路情報)を表示する	71 ページ
	目的地に到着する時間を知りたい	到着情報の表示	77 ページ
	経由地を設定したい	経由地を設定する	67 ページ
	通るインターチェンジ(IC)を指定したい	インターチェンジ(IC)を指定する	66 ページ
	区間ごとのルートをかえたい	利用道路を変更する(条件変更)	72 ページ
	表示されているルートをかえたい	別ルートを選択する	72 ページ
	音声案内の音量をかえたい	案内音量を調整する	45 ページ
	料金所の手前で金額を知りたい	料金案内	78 ページ
	曲がる交差点の目印が知りたい	画面の見かた	34 ページ
	曲がる交差点を立体的に表示したい	交差点・高速分岐案内	75 ページ
	進む車線を知りたい	レーン(車線)情報表示	76 ページ
	目的地を消去して案内を中止したい	ルートを消去する	74 ページ
	都市高速の地図を表示させたい	都市高速マップ	78 ページ
	ルート全体を表示させたい	全ルートを表示する	70 ページ
	常に最短のルートに変更したい	より最適なルートが見つかった場合(アクティブルートサーチ)	68 ページ

VICS

目的		項目	参照ページ
VICSについて	VICS情報を地図に表示させたい	VICS設定	145ページ
	FM多重放送を表示させたい	FM多重放送を見る	102ページ
	VICS図形情報を表示させたい	VICS情報を見る	103ページ
	割り込み情報を表示させたい	割込み情報を見る	104ページ
	VICS記号について知りたい	VICS道路交通情報マーク一覧	184ページ

その他

目的		項目	参照ページ
便利な機能	自宅を登録したい	特別地点(自宅／よく行く地点)を登録する	82ページ
	リスト画面を操作したい	リスト画面を切りかえる	28ページ
	覚えておきたい地点を登録したい	地点を登録する	84ページ
	迂回する地点を登録したい	迂回地点を登録する	90ページ
	電話をかけたい	ハンズフリー電話を使う	109ページ
	ハンズフリー電話の音量を調整したい	電話設定	147ページ
	オプションキーの機能を変更したい	オプションキー設定	155ページ
わからなくてお困りのとき	画面のメッセージがわからない	表示メッセージ(ナビゲーション関係)	326ページ
	故障かどうかわからない	故障かな？と思ったら	322ページ
	ナビゲーションについてもっとよく知りたい	Q&A	313ページ

次ページに続く→

オーディオ・テレビ関係

オーディオについて

目的		項目	参照ページ
ラジオの使い方について	ラジオを聴きたい	ラジオを聴く	195ページ
	放送局を探したい	聴きたい放送局を選ぶ	196ページ
	放送局を記憶させたい	放送局を記憶する	197ページ
	交通情報を聴きたい	交通情報を受信する	199ページ
CDの使い方について	CDを聴きたい	CD/MDを聴く	205ページ
	聴きたい曲を探したい	聴きたい曲(ファイル)を選ぶ	206ページ
	聴きたい曲が何番目に入っているかわからない	曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)	209ページ
	今聴いている曲やCDを繰り返し再生したい	繰り返し聴く REPEAT(リピート)	211ページ
	いつもと違う順番で聴きたい	曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)	210ページ
MDの使い方について	MDを聴きたい	CD/MDを聴く	205ページ
	聴きたい曲やグループを選びたい	聴きたい曲(ファイル)を選ぶ	206ページ
	聴きたい曲を探したい	曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)	209ページ
	今聴いている曲を繰り返し再生したい	繰り返し聴く REPEAT(リピート)	211ページ
	いつもと違う順番で聴きたい	曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)	210ページ
MP3/WMAについて	MP3/WMAを聴きたい	CD/MDを聴く	205ページ
	聴きたいフォルダや音楽ファイルを選びたい	聴きたい曲(ファイル)を選ぶ	206ページ
	聴きたい音楽ファイルを探したい	曲のイントロだけを聴く SCAN(スキャン)	209ページ
	今聴いている音楽ファイルを繰り返し再生したい	繰り返し聴く REPEAT(リピート)	211ページ
	いつもと違う順番で聴きたい	曲順を変えて聴く M.I.X.(ミックス)	210ページ
	MP3/WMAについて知りたい	MP3/WMAについて	213ページ
	MP3/WMAファイルの作り方を知りたい		

目的		項目	参照ページ
“メモリースティック”の使い方について	“メモリースティック”の曲を聴きたい	“メモリースティック”の曲を聴く	218ページ
“メモリースティック”の使い方について	聴きたい曲やグループを選びたい	聴きたい曲を選ぶ	219ページ
“メモリースティック”の使い方について	聴きたい曲を探したい	曲のイントロだけを聴く SCAN（スキャン）	221ページ
“メモリースティック”の使い方について	今聴いている曲を繰り返し再生したい	繰り返し聴く REPEAT（リピート）	223ページ
“メモリースティック”の使い方について	いつもと違う順番で聴きたい	曲順を変えて聴く M.I.X.（ミックス）	222ページ
Music Rackの使い方について	Music Rackを聴きたい	Music Rackの曲を聴く	234ページ
Music Rackの使い方について	聴きたい曲やアルバムを選びたい	聴きたい曲を選ぶ	235ページ
Music Rackの使い方について	聴きたい曲やアルバムを選びたい	聴きたい曲を探す	237ページ
Music Rackの使い方について	聴きたい曲を探したい	曲のイントロだけを聴く SCAN（スキャン）	244ページ
Music Rackの使い方について	今聴いている曲を繰り返し再生したい	繰り返し聴く REPEAT（リピート）	246ページ
Music Rackの使い方について	いつもと違う順番で聴きたい	曲順を変えて聴く M.I.X.（ミックス）	245ページ
Music Rackの使い方について	Music Rackに曲やアルバムを録音したい	Music Rackへ録音する	229ページ
Music Rackの使い方について	よく聴く曲を登録したい	Music Rackの曲を「お気に入り」へ登録する	247ページ
Music Rackの使い方について	曲名やアルバム名を変更したい	アルバム情報を編集する	252ページ
Music Rackの使い方について	曲の順番を並べかえたい	曲を並べかえる	257ページ
Music Rackの使い方について	曲やアルバムを消去したい	消去する	257ページ
Music Rackの使い方について	CDDBのタイトル情報を取得したい	ダウンロードして取得する	259ページ
Music Rackの使い方について	Music Rackについて知りたい	Music Rackをご使用になる前に	226ページ

テレビ・DVDについて

目的		項目	参照ページ
テレビについて	テレビを見たい	テレビを見る	264ページ
	放送局を探したい	放送局を選ぶ	265ページ
	放送局を記憶させたい	放送局を記憶する	267ページ
	テレビの操作画面を表示したい	画面の見かた	262ページ
	今、聞いている音声を切りかえたい	音声多重機能を使う（二重音声放送）	269ページ
DVDについて	DVDを見たい	DVDを再生する	277ページ
	見たい場面を探したい	見たい映像を探す	286ページ
	他のアングルにかえたい	アングルの切りかえ	289ページ
	他の言語にかえたい	言語の切りかえ	289ページ
	今見ている場面を繰り返し再生したい	繰り返し見る REPEAT（リピート）	288ページ
	DVDメニューを表示したい	メニュー／タイトルメニューを表示する	278ページ
外部機器について	外部機器（VTRなど）の映像を見たい	VTR（別売）を見る	296ページ

DVD初期設定に関して

目的		項目	参照ページ
	言語をかえたい	優先する音声を切りかえる	290ページ
		字幕の言語を切りかえる	291ページ
		ソフトメニューの言語を切りかえる	291ページ
	視聴制限を設定したい	視聴制限を設定する	292ページ
	画面のサイズを切りかえたい	映像出力を切りかえる	293ページ

画面の調整に関して

目的		項目	参照ページ
	テレビ・DVD・VTRの画質をかえたい	画面の調整（テレビ）	270ページ
		画面の調整（DVD）	294ページ
		画面の調整（VTR）	297ページ
	テレビ・DVD・VTRの画面サイズをかえたい	画面モードを切りかえる（テレビ）	270ページ
		画面モードを切りかえる（DVD）	294ページ
		画面モードを切りかえる（VTR）	298ページ

音の調整に関して

目的		項目	参照ページ
	メディアに合った音質にしたい	メディア・エキスパンダーの設定	302ページ
	自分の車に合った音質にしたい	カスタマイズサウンドデータベースの設定	305ページ
	イコライザーを調整したい	イコライザー特性（メーカー設定）を選ぶ　Maker's EQ	305ページ
		イコライザーカーブの設定 Parametric EQ	306ページ
	音のバランスを調整したい	バランス／フェダーの設定 BAL./FAD.	303ページ
	音の到達時間差を調整したい	タイムコレクションの設定	303ページ
	スペアナを表示したい	スペアナ画面の切りかえ	191ページ

録音設定に関して

目的		項目	参照ページ
	CDを自動で録音したい	自動録音	307ページ
	録音時の音質を調整したい	録音 BitRate	307ページ
	アナログ録音の録音時間を設定したい	録音時間	307ページ

その他

目的		項目	参照ページ
わからなくてお困りのとき	画面のメッセージがわからない	表示メッセージ（オーディオ・テレビ関係）	326ページ
	故障かどうかわからない	故障かな？と思ったら	322ページ

索　引

五十音順

あ行 アーティスト 238、253
アクティブルートサーチ 68、141
アナログ録音 227、230
アルバム 235、238、252
アングル 272、289
案内音量 45
案内設定 139
行き先を探す 49
緯度経度 60
イルミ連動 136
インターチェンジ(IC)変更 66
迂回距離 140
迂回地点 90、91
映像出力切換 293
選んで探す 50
エンコード 312
オーディオ･テレビ音量 190
オーディオ･テレビ画面 24、188
「お気に入り」 241、247
おすすめドライブナビゲーター 52
オプションキー 155
音質調整 302
音声案内 78
音声言語 289、290
音声多重 269
か行 回避エリア考慮 142
各部の名称 19
壁紙 25、153
画面消 25、153
画面の調整 270、294、297
画面モード 270、294、298
簡易図形表示型(レベル2) 95
キーワード 56、239
規格 327
規制考慮 66
規制マーク表示 99、146
軌跡表示 136
行政界色分け表示 138
緊急･注意警戒表示 97
携帯電話を接続する 111
経由地 67、72
言語コード一覧 310
現在地画面 34、36
現在地周辺 60
交差点案内 75
高速入口案内図 76
高速分岐案内 76
交通情報 199
行程ガイド 40
合流案内 79、140
コーナーカメラ 25、91、166
故障かな？と思ったら 322
個人情報消去 308
個人名で探す 57
5ルート 65、72
さ行 最近10枚 241
サブタイトル(字幕言語) 289、291
残距離表示 77
サンプリングレート 312
市街地図 37
市街地図収録都市リスト 178
時間曜日規制考慮 141
事故多発地点案内 79、140
自車位置マーク 34
自車位置を修正する 144
自車マーク変更 137
システム設定 153、307
施設を探す 51
施設50音 55
自宅を登録する 82
視聴制限(パレンタルロック) 272、292、295
自動着信 147
自動録音 307
字幕言語 289、291
ジャイロ／車速センサー 313
車種設定 141
ジャンル 55、237、254
ジャンル一覧 175
住所50音 56
住所リストから探す 50
渋滞表示 98、145
周辺迂回 74
周辺施設を探す 42、60
周辺施設一覧 175
周辺の建物 61
縮尺切りかえ 37
受話音量 127、148
順調表示 98、145
条件変更 72
詳細案内図表示 139
照明色 138
スクロール 35、36
スクロール方面表示 138
スケール 34、37
スコープガイド 75、143
スペアナ 191

	接近音	88
	全ルート表示	70
	送話音量	127、148
た行	タイトル情報を取得する	259
	ダウンロード	259
	タッチスイッチ	20
	建物情報	43
	近くで探す	60
	地図切換	39
	地図上の文字	137
	地図色切換	134
	地図バージョン	144
	地図表示型（レベル3）	95
	地図マーク一覧	174
	地点を登録する	84
	地点編集	85
	着信音量	112、147
	着信履歴	117、125
	チャプター	286
	駐車場情報	98、105
	駐車場マーク表示	146
	直線誘導線表示	35、139
	通信設定	149
	ディスクの出し入れ	22
	ディスプレイ角度調整	22
	テキスト作成	254
	デジタル録音	228、229
	テレビを見る	264
	電源のON/OFF	21、186
	電波／光ビーコンの受信	317
	電話を受ける	112
	電話をかける	116
	電話を切る	115
	電話設定	147
	電話帳（メモリー）	117、119
	電話番号から探す	58
	冬期閉鎖区間考慮	66、142
	到着予想表示	77、139
	登録地点から探す	62
	道路ふち取り	137
	特長	16
	特別地点	82、85
	都市高速強調表示	137
	都市高速マップ	78、137
な行	ナビ画面調整	44
	ナビゲーション画面	24、188
	ナビゲーション設定	134
	二重音声放送	269
	ノースアップ	38
は行	ハードディスク情報	307
	発信履歴	117、123
	パネルスイッチ	19
	ハンズフリー電話	109
	ビーコン（間欠極小ゾーン型）	95
	ビーコン図形/文字情報	97
	ビットレート	307、312
	ビル立体表示	135
	フェリー	77、142
	踏み切り案内	79、140
	プリセットスイッチ（ラジオ）	194、196
	プリセットスイッチ（TV）	262、265
	フロントカメラ	25、91、166
	ヘディングアップ	38
	方位マーク	34、38
	方面看板表示	76、142
	本書の見かた	10
ま行	マップコード	59
	マルチアングル	272、289
	マルチ音声	272
	マルチ画面	24
	マルチストーリー	272
	名称で探す	55
	メニュー画面	27
	メニュー言語	291
	“メモリースティック”	148、215、312
	“メモリースティック”の曲を聴く	218
	“メモリースティック”の出し入れ	23
	目的地周辺	60
	目的地を設定する	64
	目的地履歴	54
	文字･数字入力	31
	文字表示型（レベル1）	95
	最寄り検索	42
や行	郵便番号	59
	よく行く地点	64、82
	よく聴く10枚	242
ら行	ラジオを聴く	195
	ランドマーク	42、134
	リアカメラ	25、162
	リアモニター	25、171
	リアルドライブビュー	40
	リージョンコード	273
	リスト画面	27
	リモコン	172
	料金案内	78
	リルート	68
	ルート周辺	61
	ルート消去	74

次ページに続く→

	ルート情報	71
	ルートスクロール	70
	ルート表示	34
	ルートフォルダ	214、312
	レーン情報表示	76、142
	録音 BitRate	307、312
	録音モードの設定	227、307
	路線番号表示	35、136
	路線別	52
わ行	割込み情報	104、146
	ワンタッチスクロール	36
	ワンタッチダイヤル	117、120

アルファベット／数字

A.MEMO（ラジオ）	197
A.MEMO (TV)	267
ANGLE	289
AUDIO	289
BAL./FAD.	303
CD/MD	201
CD/MDを聴く	205
CDチェンジャー（別売）の曲を聴く	205
Customized Sound Database	305
DVD	271
DVD初期設定	290
DVDメニュー	278
DVDを再生する	277
ETC	160
ETCレーン表示	76
FM多重放送	95、102
GAE	143
GPS	313
Gracenote CDDB	226、312、329
IC変更	66
M.I.X. (CD/MD)	210
M.I.X. (Memory Stick)	222
M.I.X.（Music Rack）	245
Maker's EQ	305
MDの出し入れ	23
Media Xpander	302
MDLP	203、204
Memory Stick	215
Memory Stick設定	148
Memory Stickの曲を聴く	218
Memory Stickの初期化	148
MP3/WMA	203、213、312
Music Rack	225
Music Rackの曲を聴く	234
Music Rackの編集	252
Music Rackへ録音する	229
OPTIONスイッチ	19、35、155
Parametric EQ	306
QQコール	158
Q&A	313
REPEAT (CD/MD)	211
REPEAT（DVD）	288
REPEAT (Memory Stick)	223
REPEAT（Music Rack）	246
SCAN (CD/MD)	209
SCAN (Memory Stick)	221
SCAN（Music Rack）	244
SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）	312
SUBT.	289
Time Correction	303
TV	261
VICS	93
VICS情報有料放送サービス契約約款	330
VICS情報	97、103
VICS設定	145
VICSタイムスタンプ	34、96
VICS駐車場情報	98、105
VICS道路交通情報マーク一覧	184
VICS割込み情報	104
VTRを見る	296
2画面シンクロマップ	39、138
2画面表示	39
3Dアイコン	135
3D角度調整	41、135
3Dマップ	38
8画面	266

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または
株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル　0120-663521

(受付時間：**9時～12時　13時～17時**／但し、土日・祝祭日は除く)

販売元　株式会社ホンダアクセス　〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元　アルパイン株式会社　〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番地8号

PART NO. 08A40-1J0-4000-8A
PART NO. 68-06194Z21-A